



1995年1月1日発行(通巻307号) 毎月1日発行 昭和54年3月20日第3種郵便物認可

MOTORCYCLE SPORTS RULES

国内競技規則
1995年版

MEJ
MOTORCYCLE FEDERATION OF JAPAN

臨時増刊

この国内競技規則書は、日本小型自動車振興会からオートレースの公益資金の補助を受けて作成されたものです。

超高速域ほど安定する、
新設計のディフューザー。

涼

頭頂部から入り後頭部で排出されるエアの力で
帽体内部の熱気を強力に吸い出すディフューザーと、
スライドによって空気が
調節できるクラウンパッドで、
帽体内部は蒸れ知らず。

実戦で磨かれた、
強靱なスーパーcLc帽体。

強

最も優れた素材を高度な成型方法で
仕上げたスーパーcLc帽体を採用。
多くのGPライダー、F-1ドライバーたちの
厚い信頼に育てられ、幾多の実戦で
証明されてきた強度を誇る。

スーパーcLcだから違う、
かぶると実感する驚きの軽さ。

軽

軽量化の追求から誕生した
軽くて強いスーパーcLc帽体、
コンパクトに改良されたディフューザー。
さらに首に負担をかけない低重心設計。
スーパーeの真価は、かぶった時にわかる。



好評のIEダクトを改良し、より
低く、開口部を拡張してエアの
流入量・排出量を向上させた
IEダクト2。



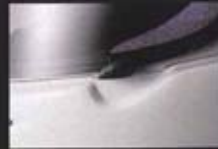
素早くシールドチェンジをした
り水洗いするための、瞬時に取
り外せるスーパーアドシスシ
ールド。



ブローベント・マウススリット
からエアを吸入、頭部の熱気
を逃がす新設計。従来にはない
ボリューム感は剛性をも確保。



マウススリット部に段差をほどこ
した新形状採用。これにより、
チンバー部分の剛性は一層の強
度アップを実現。

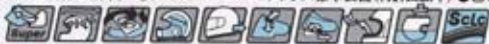


シールド内部に微量のエアを
流入して曇りを防ぐ。走行中に
シールドが不用意に開かないた
めのロック付き。

WHITE GRAY-METALLIC BLACK CANDY-RED



●機種名:super e ●帽体:ScLe(スーパー・コンプレックス・ラミネート・コンストラクション) ●規格:スネル1990、JIS C種 ●内装:
フルシステム内装、クレードル・パッド(頬パッド調節可能-特許出願中) ●シールド:スーパーアドシス標準装備(特許出願中) ●色:
白、グレイメタリック、黒、キャンディレッド ●サイズ
:(53-54) (55-56) (57-58) (59-60) (61-62)



(究極の
ハイ・パフォーマンスモデル)

¥44,000



Racing Specialities

※価格に消費税は含まれていません。
●アライ製品については、品質管理課までお問い合わせください。
直通 TEL (046) 645-3661
株式会社 アライヘルメット 〒330 埼玉県大宮市東町2-12
TEL(046)641-3825~7



シールドの曇りを防ぐ着脱可能なノーズディフレクター。晴れた日は取り外して軽快に。



内装は着脱自在。ヘルメットが丸洗いで、汗で汚れた内装も爽やか、かつ新品同様のフィット感によりみえる。



オールシーズン対応可能なデュペーザーで、夏は強力にクールダウン。冬の冷たい外気は、クラウンパッドでシャットアウトできる。



Come ride with us.  **HONDA**

*RIDE THE BIKE THAT'S
GOT MY WINNING
COLORS!*

CHAMPION

'94 FIM FIM ROAD RACING WORLD CHAMPIONSHIP

MICK DOOHAN & the NSR500

それはひとつの頂点の極みと、
新たな闘いに挑むものの意志の彩り。
'94ワールドGPチャンピオンカラーが栄光の瞬間を鮮やかに蘇らせた。
NSRシリーズの限定チューンバージョン〈SP〉のニューグラフィック。
GPを勝ち抜いた男の不屈の闘志が、
先端を走り続けるマシンに熱く宿る。

New
NSR250R *PROSPEC* **SP**

1994 WORLD GP CHAMPION COLOR 限定販売 1,500台 — '95年1月25日発売予定

FOR SP MODEL ONLY ■前後マグネシウムホイール ■ミシュラン社製ハイグリップラジアルタイヤ ■専用設計のカートリッジタイプフロントサスペンション

●型式MC28 ●水冷2サイクルエンジン ●ケースリットバルブ30度V型2バルブ4バルブ ●最高出力40PS/6000rpm ●最大トルク3.3kgm/8,500rpm ●乾燥重量137kg ●車体色：スパープリングレット

◇価格には保険料・税金(消費税等)を含む。登録費用は別途です。◇価格は消費税別です。詳しくは販売店にお尋ねください。◇速度警告機能付PGM-MEMORYカット(オプション)

バイクが好きだから、セーフティライド。

カタログご希望の方は、カタログ請求券と切手190円(送料)を同封し、機種名と住所・氏名・年令・職業を明記の上、〒150 東京都渋谷区郵便局留 本田技研工業株式会社カタログ係まで。

カタログ請求券
NSR250R SP
190

Get Moving with the NSR.

明日のチャンピオンへ

一希望小売価格¥200,000(北海道、沖縄および一部地域を除く)
0,000円)を使用することによって、速度警告仕様とすることが可能です。



見る・見られる・いい運転。

- バイクは昼間もライト・オン!
- カーブ・交差点では、スローインクダウン!

バイクでひろがるいい仲間

バイクは いつも 光ってる

HRC商品のご予約・お問合せは下記取扱い、販売店及びホンダ二輪ディストリビュータ(代理店)へどうぞ。

HRCサービスショップ(94年11月現在)

- | | | | | |
|---|--|--|--|---|
| 桜グループ 店舗
〒911-03 宮城県仙台市青葉区1-12
TEL.022-63-2611 | 桜グループ 店舗
〒296 埼玉県浦和市東浦和5-17-10
TEL.049-272-1770 | 桜グループ 店舗
〒481 東京都大田区西三軒上-17-1
TEL.03-554-2523 | MITANI MOTOR SPORTS SUZUKA 店舗
〒513 三重県桑名市御坊2-147-1
TEL.0575-79-2683 | 桜梅本商会 店舗
〒700 岡山県岡山市東区中央1-2-9
TEL.0862-22-3011 |
| 桜本舗スポーツ ウィーラー 店舗
〒982 宮城県仙台市太白区大野町下町1-37-14
TEL.022-269-2578 | 新インターテック 店舗
〒230 埼玉県大宮市西一内1-1
TEL.048-648-0284 | ハルキ・プロ 店舗
〒189 東京都大田区南町1-9-2
TEL.0425-68-3851 | モトショップ ヨシハル 店舗
〒518 三重県津市南千代2-12-2
TEL.059-25-7770 | 南ホダショップ ライフ 店舗
〒800 福岡県北九州市小倉南区守松町2-1-11
TEL.093-993-0800 |
| 南TOWNS 原動機ホンダ 店舗
〒325-26 茨城県水戸市青葉3-6-15
TEL.027-234-1984 | U-GEAR (ユー・ギア) 店舗
〒121 千葉県江戸川区西葛西4-1-1051
TEL.03-562-11051 | ホンダショップ 成田 店舗
〒211 千葉県成田市中央町中野4-9-439
TEL.048-411-4171 | スーパーネット コタニ 店舗
〒802 京都府京都市中京区錦林2-8
TEL.077-72-4308 | 南PSC 店舗
〒660-12 和歌山県白旗大津町1184-1
TEL.066-252-3525 |
| 南ホンダウィング 荘内 店舗
〒884-01 鹿児島県鹿児島市大正中道1-1
TEL.0234-92-3838 | 本田パールショップ 町田店 店舗
〒195 東京都町田市小杉町1528
TEL.0427-34-6001 | 機スーパースポーツ まるやま 店舗
〒255 神奈川県相模原市相模原3-2-28
TEL.0483-34-0611 | 機アールエス タイチ 店舗
〒574 大阪府大東市中央4-1-25
TEL.0720-74-2528 | 機TOMS 店舗
〒603 京都府京都市北区新西白河町1-3
TEL.075-491-5582 |
| 南ワールドクラブ 店舗
〒230-35 茨城県水戸市千代町大宮山(宇津原2期)
TEL.0296-49-3138 | オートショップ スガハラ 店舗
〒114 東京都北区王子3-20-2
TEL.03-3914-7560 | 南ライダーズサロン 横浜 店舗
〒226 神奈川県横浜市西区沢田65-19
TEL.045-781-3028 | 機サイクルワールド 店舗
〒473 高知県神戶市南区高次4-13
TEL.078-529-2222 | ミネモーターサイクル 店舗
〒654-01 兵庫県神戸市須磨区砂浜中野5-1338-8
TEL.078-762-5448 |
| 南LFACTORY 店舗
〒229-02 栃木県小山市東原1-10-15
TEL.0285-25-0528 | HONDA SPORTS MOTO BUM 店舗
〒110 東京都台東区東上野4-13-23
TEL.03-3831-4255 | ラ・モト・KOHSAKA 店舗
〒481 東京都大田区南町1-9-2
TEL.0425-79-3988 | | |
| 南ホンダショップ 和光 店舗
〒351-01 埼玉県和光市北台2-22-11
TEL.048-461-7878 | 本田井本 Honda 店舗
〒152-01 東京都港区芝正区下井戸2-4-1
TEL.03-3252-2568 | ホンダワールドクラブ 店舗
〒123 三重県津市南千代1678
TEL.0593-78-1455 | | |

- | | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|---|---|---|--|--|---|
| 北海道 | 青森 | 山形 | 宮城 | 茨城 | 群馬 | 栃木 | 埼玉 | 千葉 | 東京 |
| 機オートランド 札幌 店舗
〒154 北海道札幌市東区南1-4-12
TEL.011-852-3222 | 機モトウエイ 店舗
〒270-12 東京都葛飾区西葛西4-4
TEL.0272-46-8440 | 山田オート販売 店舗
〒213 東京都中央区本町2-1-1
TEL.03-3855-3281 | 機オートショップ 北 店舗
〒950 宮城県仙台市青葉区1-12
TEL.022-63-2611 | 機オートショップ 山形 店舗
〒982 宮城県仙台市青葉区1-12
TEL.022-63-2611 | 機オートショップ 群馬 店舗
〒370-12 東京都葛飾区西葛西4-4
TEL.0272-46-8440 | 機オートショップ 栃木 店舗
〒325-26 茨城県水戸市青葉3-6-15
TEL.027-234-1984 | 機オートショップ 埼玉 店舗
〒330 埼玉県大宮市東浦和5-17-10
TEL.049-272-1770 | 機オートショップ 千葉 店舗
〒296 埼玉県浦和市東浦和5-17-10
TEL.049-272-1770 | 機オートショップ 東京 店舗
〒100 東京都千代田区千代田1-1-1
TEL.03-3252-2568 |
| 機ホンダウィング 函根 店舗
〒949 新潟県新潟市東区1-1-1
TEL.015-84-5510 | 機マジェスティロード ツツミ 店舗
〒270-20 東京都葛飾区西葛西4-4
TEL.0272-46-8440 | 機オートボイスP 店舗
〒161 東京都豊島区南池袋2-47
TEL.03-3678-8788 | 機ホンダウィング 南 店舗
〒984 鹿児島県鹿児島市中央1-1-1
TEL.011-784-5111 | 機オートショップ 茨城 店舗
〒300 茨城県水戸市青葉3-6-15
TEL.027-234-1984 | 機オートショップ 宮城 店舗
〒980 宮城県仙台市青葉区1-12
TEL.022-63-2611 | 機オートショップ 群馬 店舗
〒370-12 東京都葛飾区西葛西4-4
TEL.0272-46-8440 | 機オートショップ 埼玉 店舗
〒330 埼玉県大宮市東浦和5-17-10
TEL.049-272-1770 | 機オートショップ 千葉 店舗
〒296 埼玉県浦和市東浦和5-17-10
TEL.049-272-1770 | 機オートショップ 東京 店舗
〒100 東京都千代田区千代田1-1-1
TEL.03-3252-2568 |
| 機バイクーズ 店舗
〒215 千葉県千葉市中央区1-14-12
TEL.04-44-32-6310 | 久保田モーターサイクル 店舗
〒195 東京都町田市小杉町1528
TEL.0427-34-6001 | 機平野モーターズ 店舗
〒133 江戸川区東中野1-14-1
TEL.057-3637-2106 | 機ホンダウィング 東 店舗
〒985 鹿児島県鹿児島市中央1-1-1
TEL.011-784-5111 | 機オートショップ 栃木 店舗
〒325-26 茨城県水戸市青葉3-6-15
TEL.027-234-1984 | 機オートショップ 宮城 店舗
〒980 宮城県仙台市青葉区1-12
TEL.022-63-2611 | 機オートショップ 群馬 店舗
〒370-12 東京都葛飾区西葛西4-4
TEL.0272-46-8440 | 機オートショップ 埼玉 店舗
〒330 埼玉県大宮市東浦和5-17-10
TEL.049-272-1770 | 機オートショップ 千葉 店舗
〒296 埼玉県浦和市東浦和5-17-10
TEL.049-272-1770 | 機オートショップ 東京 店舗
〒100 東京都千代田区千代田1-1-1
TEL.03-3252-2568 |
| 機ナカガハ 店舗
〒784 札幌市中央区南一条西5-7-8
TEL.011-541-9417 | 機プロショップ ツツミ 店舗
〒270-20 東京都葛飾区西葛西4-4
TEL.0272-46-8440 | 折藤スピードショップ 店舗
〒100 東京都千代田区千代田1-1-1
TEL.03-3252-2568 | 機ホンダウィング 西 店舗
〒986 鹿児島県鹿児島市中央1-1-1
TEL.011-784-5111 | 機オートショップ 群馬 店舗
〒370-12 東京都葛飾区西葛西4-4
TEL.0272-46-8440 | 機オートショップ 宮城 店舗
〒980 宮城県仙台市青葉区1-12
TEL.022-63-2611 | 機オートショップ 群馬 店舗
〒370-12 東京都葛飾区西葛西4-4
TEL.0272-46-8440 | 機オートショップ 埼玉 店舗
〒330 埼玉県大宮市東浦和5-17-10
TEL.049-272-1770 | 機オートショップ 千葉 店舗
〒296 埼玉県浦和市東浦和5-17-10
TEL.049-272-1770 | 機オートショップ 東京 店舗
〒100 東京都千代田区千代田1-1-1
TEL.03-3252-2568 |
| 機ホンダワールドクラブ 店舗
〒230-35 茨城県水戸市千代町大宮山(宇津原2期)
TEL.0296-49-3138 | 機オートショップ 仙台 店舗
〒980 宮城県仙台市青葉区1-12
TEL.022-63-2611 | 機オートショップ 山形 店舗
〒982 宮城県仙台市青葉区1-12
TEL.022-63-2611 | 機オートショップ 南 店舗
〒984 鹿児島県鹿児島市中央1-1-1
TEL.011-784-5111 | 機オートショップ 茨城 店舗
〒300 茨城県水戸市青葉3-6-15
TEL.027-234-1984 | 機オートショップ 宮城 店舗
〒980 宮城県仙台市青葉区1-12
TEL.022-63-2611 | 機オートショップ 群馬 店舗
〒370-12 東京都葛飾区西葛西4-4
TEL.0272-46-8440 | 機オートショップ 埼玉 店舗
〒330 埼玉県大宮市東浦和5-17-10
TEL.049-272-1770 | 機オートショップ 千葉 店舗
〒296 埼玉県浦和市東浦和5-17-10
TEL.049-272-1770 | 機オートショップ 東京 店舗
〒100 東京都千代田区千代田1-1-1
TEL.03-3252-2568 |
| 機オートショップ 和光 店舗
〒351-01 埼玉県和光市北台2-22-11
TEL.048-461-7878 | 機オートショップ 札幌 店舗
〒154 北海道札幌市東区南1-4-12
TEL.011-852-3222 | 機オートショップ 仙台 店舗
〒980 宮城県仙台市青葉区1-12
TEL.022-63-2611 | 機オートショップ 南 店舗
〒984 鹿児島県鹿児島市中央1-1-1
TEL.011-784-5111 | 機オートショップ 茨城 店舗
〒300 茨城県水戸市青葉3-6-15
TEL.027-234-1984 | 機オートショップ 宮城 店舗
〒980 宮城県仙台市青葉区1-12
TEL.022-63-2611 | 機オートショップ 群馬 店舗
〒370-12 東京都葛飾区西葛西4-4
TEL.0272-46-8440 | 機オートショップ 埼玉 店舗
〒330 埼玉県大宮市東浦和5-17-10
TEL.049-272-1770 | 機オートショップ 千葉 店舗
〒296 埼玉県浦和市東浦和5-17-10
TEL.049-272-1770 | 機オートショップ 東京 店舗
〒100 東京都千代田区千代田1-1-1
TEL.03-3252-2568 |
| | 機オートショップ 函根 店舗
〒949 新潟県新潟市東区1-1-1
TEL.015-84-5510 | 機オートショップ 山形 店舗
〒982 宮城県仙台市青葉区1-12
TEL.022-63-2611 | 機オートショップ 東 店舗
〒985 鹿児島県鹿児島市中央1-1-1
TEL.011-784-5111 | 機オートショップ 茨城 店舗
〒300 茨城県水戸市青葉3-6-15
TEL.027-234-1984 | 機オートショップ 宮城 店舗
〒980 宮城県仙台市青葉区1-12
TEL.022-63-2611 | 機オートショップ 群馬 店舗
〒370-12 東京都葛飾区西葛西4-4
TEL.0272-46-8440 | 機オートショップ 埼玉 店舗
〒330 埼玉県大宮市東浦和5-17-10
TEL.049-272-1770 | 機オートショップ 千葉 店舗
〒296 埼玉県浦和市東浦和5-17-10
TEL.049-272-1770 | 機オートショップ 東京 店舗
〒100 東京都千代田区千代田1-1-1
TEL.03-3252-2568 |
| | 機バイクーズ 店舗
〒215 千葉県千葉市中央区1-14-12
TEL.04-44-32-6310 | 機オートショップ 山形 店舗
〒982 宮城県仙台市青葉区1-12
TEL.022-63-2611 | 機オートショップ 西 店舗
〒986 鹿児島県鹿児島市中央1-1-1
TEL.011-784-5111 | 機オートショップ 茨城 店舗
〒300 茨城県水戸市青葉3-6-15
TEL.027-234-1984 | 機オートショップ 宮城 店舗
〒980 宮城県仙台市青葉区1-12
TEL.022-63-2611 | 機オートショップ 群馬 店舗
〒370-12 東京都葛飾区西葛西4-4
TEL.0272-46-8440 | 機オートショップ 埼玉 店舗
〒330 埼玉県大宮市東浦和5-17-10
TEL.049-272-1770 | 機オートショップ 千葉 店舗
〒296 埼玉県浦和市東浦和5-17-10
TEL.049-272-1770 | 機オートショップ 東京 店舗
〒100 東京都千代田区千代田1-1-1
TEL.03-3252-2568 |
| | 機ナカガハ 店舗
〒784 札幌市中央区南一条西5-7-8
TEL.011-541-9417 | 機オートショップ 山形 店舗
〒982 宮城県仙台市青葉区1-12
TEL.022-63-2611 | 機オートショップ 東 店舗
〒985 鹿児島県鹿児島市中央1-1-1
TEL.011-784-5111 | 機オートショップ 茨城 店舗
〒300 茨城県水戸市青葉3-6-15
TEL.027-234-1984 | 機オートショップ 宮城 店舗
〒980 宮城県仙台市青葉区1-12
TEL.022-63-2611 | 機オートショップ 群馬 店舗
〒370-12 東京都葛飾区西葛西4-4
TEL.0272-46-8440 | 機オートショップ 埼玉 店舗
〒330 埼玉県大宮市東浦和5-17-10
TEL.049-272-1770 | 機オートショップ 千葉 店舗
〒296 埼玉県浦和市東浦和5-17-10
TEL.049-272-1770 | 機オートショップ 東京 店舗
〒100 東京都千代田区千代田1-1-1
TEL.03-3252-2568 |
| | 機ホンダワールドクラブ 店舗
〒230-35 茨城県水戸市千代町大宮山(宇津原2期)
TEL.0296-49-3138 | 機オートショップ 山形 店舗
〒982 宮城県仙台市青葉区1-12
TEL.022-63-2611 | 機オートショップ 西 店舗
〒986 鹿児島県鹿児島市中央1-1-1
TEL.011-784-5111 | 機オートショップ 茨城 店舗
〒300 茨城県水戸市青葉3-6-15
TEL.027-234-1984 | 機オートショップ 宮城 店舗
〒980 宮城県仙台市青葉区1-12
TEL.022-63-2611 | 機オートショップ 群馬 店舗
〒370-12 東京都葛飾区西葛西4-4
TEL.0272-46-8440 | 機オートショップ 埼玉 店舗
〒330 埼玉県大宮市東浦和5-17-10
TEL.049-272-1770 | 機オートショップ 千葉 店舗
〒296 埼玉県浦和市東浦和5-17-10
TEL.049-272-1770 | 機オートショップ 東京 店舗
〒100 東京都千代田区千代田1-1-1
TEL.03-3252-2568 |
| | 機オートショップ 和光 店舗
〒351-01 埼玉県和光市北台2-22-11
TEL.048-461-7878 | 機オートショップ 山形 店舗
〒982 宮城県仙台市青葉区1-12
TEL.022-63-2611 | 機オートショップ 東 店舗
〒985 鹿児島県鹿児島市中央1-1-1
TEL.011-784-5111 | 機オートショップ 茨城 店舗
〒300 茨城県水戸市青葉3-6-15
TEL.027-234-1984 | 機オートショップ 宮城 店舗
〒980 宮城県仙台市青葉区1-12
TEL.022-63-2611 | 機オートショップ 群馬 店舗
〒370-12 東京都葛飾区西葛西4-4
TEL.0272-46-8440 | 機オートショップ 埼玉 店舗
〒330 埼玉県大宮市東浦和5-17-10
TEL.049-272-1770 | 機オートショップ 千葉 店舗
〒296 埼玉県浦和市東浦和5-17-10
TEL.049-272-1770 | 機オートショップ 東京 店舗
〒100 東京都千代田区千代田1-1-1
TEL.03-3252-2568 |
| | 機オートショップ 函根 店舗
〒949 新潟県新潟市東区1-1-1
TEL.015-84-5510 | 機オートショップ 山形 店舗
〒982 宮城県仙台市青葉区1-12
TEL.022-63-2611 | 機オートショップ 東 店舗
〒985 鹿児島県鹿児島市中央1-1-1
TEL.011-784-5111 | 機オートショップ 茨城 店舗
〒300 茨城県水戸市青葉3-6-15
TEL.027-234-1984 | 機オートショップ 宮城 店舗
〒980 宮城県仙台市青葉区1-12
TEL.022-63-2611 | 機オートショップ 群馬 店舗
〒370-12 東京都葛飾区西葛西4-4
TEL.0272-46-8440 | 機オートショップ 埼玉 店舗
〒330 埼玉県大宮市東浦和5-17-10
TEL.049-272-1770 | 機オートショップ 千葉 店舗
〒296 埼玉県浦和市東浦和5-17-10
TEL.049-272-1770 | 機オートショップ 東京 店舗
〒100 東京都千代田区千代田1-1-1
TEL.03-3252-2568 |
| | 機バイクーズ 店舗
〒215 千葉県千葉市中央区1-14-12
TEL.04-44-32-6310 | 機オートショップ 山形 店舗
〒982 宮城県仙台市青葉区1-12
TEL.022-63-2611 | 機オートショップ 東 店舗
〒985 鹿児島県鹿児島市中央1-1-1
TEL.011-784-5111 | 機オートショップ 茨城 店舗
〒300 茨城県水戸市青葉3-6-15
TEL.027-234-1984 | 機オートショップ 宮城 店舗
〒980 宮城県仙台市青葉区1-12
TEL.022-63-2611 | 機オートショップ 群馬 店舗
〒370-12 東京都葛飾区西葛西4-4
TEL.0272-46-8440 | 機オートショップ 埼玉 店舗
〒330 埼玉県大宮市東浦和5-17-10
TEL.049-272-1770 | 機オートショップ 千葉 店舗
〒296 埼玉県浦和市東浦和5-17-10
TEL.049-272-1770 | 機オートショップ 東京 店舗
〒100 東京都千代田区千代田1-1-1
TEL.03-3252-2568 |
| | 機ナカガハ 店舗
〒784 札幌市中央区南一条西5-7-8
TEL.011-541-9417 | 機オートショップ 山形 店舗
〒982 宮城県仙台市青葉区1-12
TEL.022-63-2611 | 機オートショップ 東 店舗
〒985 鹿児島県鹿児島市中央1-1-1
TEL.011-784-5111 | 機オートショップ 茨城 店舗
〒300 茨城県水戸市青葉3-6-15
TEL.027-234-1984 | 機オートショップ 宮城 店舗
〒980 宮城県仙台市青葉区1-12
TEL.022-63-2611 | 機オートショップ 群馬 店舗
〒370-12 東京都葛飾区西葛西4-4
TEL.0272-46-8440 | 機オートショップ 埼玉 店舗
〒330 埼玉県大宮市東浦和5-17-10
TEL.049-272-1770 | 機オートショップ 千葉 店舗
〒296 埼玉県浦和市東浦和5-17-10
TEL.049-272-1770 | 機オートショップ 東京 店舗
〒100 東京都千代田区千代田1-1-1
TEL.03-3252-2568 |
| | 機ホンダワールドクラブ 店舗
〒230-35 茨城県水戸市千代町大宮山(宇津原2期)
TEL.0296-49-3138 | 機オートショップ 山形 店舗
〒982 宮城県仙台市青葉区1-12
TEL.022-63-2611 | 機オートショップ 東 店舗
〒985 鹿児島県鹿児島市中央1-1-1
TEL.011-784-5111 | 機オートショップ 茨城 店舗
〒300 茨城県水戸市青葉3-6-15
TEL.027-234-1984 | 機オートショップ 宮城 店舗
〒980 宮城県仙台市青葉区1-12
TEL.022-63-2611 | 機オートショップ 群馬 店舗
〒370-12 東京都葛飾区西葛西4-4
TEL.0272-46-8440 | 機オートショップ 埼玉 店舗
〒330 埼玉県大宮市東浦和5-17-10
TEL.049-272-1770 | 機オートショップ 千葉 店舗
〒296 埼玉県浦和市東浦和5-17-10
TEL.049-272-1770 | 機オートショップ 東京 店舗
〒100 東京都千代田区千代田1-1-1
TEL.03-3252-2568 |
| | 機オートショップ 和光 店舗
〒351-01 埼玉県和光市北台2-22-11
TEL.048-461-7878 | 機オートショップ 山形 店舗
〒982 宮城県仙台市青葉区1-12
TEL.022-63-2611 | 機オートショップ 東 店舗
〒985 鹿児島県鹿児島市中央1-1-1
TEL.011-784-5111 | 機オートショップ 茨城 店舗
〒300 茨城県水戸市青葉3-6-15
TEL.027-234-1984 | 機オートショップ 宮城 店舗
〒980 宮城県仙台市青葉区1-12
TEL.022-63-2611 | 機オートショップ 群馬 店舗
〒370-12 東京都葛飾区西葛西4-4
TEL.0272-46-8440 | 機オートショップ 埼玉 店舗
〒330 埼玉県大宮市東浦和5-17-10
TEL.049-272-1770 | 機オートショップ 千葉 店舗
〒296 埼玉県浦和市東浦和5-17-10
TEL.049-272-1770 | 機オートショップ 東京 店舗
〒100 東京都千代田区千代田1-1-1
TEL.03-3252-2568 |
| | 機オートショップ 函根 店舗
〒949 新潟県新潟市東区1-1-1
TEL.015-84-5510 | 機オートショップ 山形 店舗
〒982 宮城県仙台市青葉区1-12
TEL.022-63-2611 | 機オートショップ 東 店舗
〒985 鹿児島県鹿児島市中央1-1-1
TEL.011-784-5111 | 機オートショップ 茨城 店舗
〒300 茨城県水戸市青葉3-6-15
TEL.027-234-1984 | 機オートショップ 宮城 店舗
〒980 宮城県仙台市青葉区1-12
TEL.022-63-2611 | 機オートショップ 群馬 店舗
〒370-12 東京都葛飾区西葛西4-4
TEL.0272-46-8440 | 機オートショップ 埼玉 店舗
〒330 埼玉県大宮市東浦和5-17-10
TEL.049-272-1770 | 機オートショップ 千葉 店舗
〒296 埼玉県浦和市東浦和5-17-10
TEL.049-272-1770 | 機オートショップ 東京 店舗
〒100 東京都千代田区千代田1-1-1
TEL.03-3252-2568 |
| | 機バイクーズ 店舗
〒215 千葉県千葉市中央区1-14-12
TEL.04-44-32-6310 | 機オートショップ 山形 店舗
〒982 宮城県仙台市青葉区1-12
TEL.022-63-2611 | 機オートショップ 東 店舗
〒985 鹿児島県鹿児島市中央1-1-1
TEL.011-784-5111 | 機オートショップ 茨城 店舗
〒300 茨城県水戸市青葉3-6-15
TEL.027-234-1984 | 機オートショップ 宮城 店舗
〒980 宮城県仙台市青葉区1-12
TEL.022-63-2611 | 機オートショップ 群馬 店舗
〒370-12 東京都葛飾区西葛西4-4
TEL.0272-46-8440 | 機オートショップ 埼玉 店舗
〒330 埼玉県大宮市東浦和5-17-10
TEL.049-272-1770 | 機オートショップ 千葉 店舗
〒296 埼玉県浦和市東浦和5-17-10
TEL.049-272-1770 | 機オートショップ 東京 店舗
〒100 東京都千代田区千代田1-1-1
TEL.03-3252-2568 |
| | 機ナカガハ 店舗
〒784 札幌市中央区南一条西5-7-8
TEL.011-541-9417 | 機オートショップ 山形 店舗
〒982 宮城県仙台市青葉区1-12
TEL.022-63-2611 | 機オートショップ 東 店舗
〒985 鹿児島県鹿児島市中央1-1-1
TEL.011-784-5111 | 機オートショップ 茨城 店舗
〒300 茨城県水戸市青葉3-6-15
TEL.027-234-1984 | 機オートショップ 宮城 店舗
〒980 宮城県仙台市青葉区1-12
TEL.022-63-2611 | 機オートショップ 群馬 店舗
〒370-12 東京都葛飾区西葛西4-4
TEL.0272-46-8440 | 機オートショップ 埼玉 店舗
〒330 埼玉県大宮市東浦和5-17-10
TEL.049-272-1770 | 機オートショップ 千葉 店舗
〒296 埼玉県浦和市東浦和5-17-10
TEL.049-272-1770 | 機オートショップ 東京 店舗
〒100 東京都千代田区千代田1-1-1
TEL.03-3252-2568 |
| | 機ホンダワールドクラブ 店舗
〒230-35 茨城県水戸市千代町大宮山(宇津原2期)
TEL.0296-49-3138 | 機オートショップ 山形 店舗
〒982 宮城県仙台市青葉区1-12
TEL.022-63-2611 | 機オートショップ 東 店舗
〒985 鹿児島県鹿児島市中央1-1-1
TEL.011-784-5111 | 機オートショップ 茨城 店舗
〒300 茨城県水戸市青葉3-6-15
TEL.027-234-1984 | 機オートショップ 宮城 店舗
〒980 宮城県仙台市青葉区1-12
TEL.022-63-2611 | 機オートショップ 群馬 店舗
〒370-12 東京都葛飾区西葛西4-4
TEL.0272-46-8440 | 機オートショップ 埼玉 店舗
〒330 埼玉県大宮市東浦和5-17-10
TEL.049-272-1770 | 機オートショップ 千葉 店舗
〒296 埼玉県浦和市東浦和5-17-10
TEL.049-272-1770 | 機オートショップ 東京 店舗
〒100 東京都千代田区千代田1-1-1
TEL.03-3252-2568 |
| | 機オートショップ 和光 店舗
〒351-01 埼玉県和光市北台2-22-11
TEL.048-461-7878 | 機オートショップ 山形 店舗
〒982 宮城県仙台市青葉区1-12
TEL.022-63-2611 | 機オートショップ 東 店舗
〒985 鹿児島県鹿児島市中央1-1-1
TEL.011-784-5111 | 機オートショップ 茨城 店舗
〒300 茨城県水戸市青葉3-6-15
TEL.027-234-1984 | 機オートショップ 宮城 店舗
〒980 宮城県仙台市青葉区1-12
TEL.022-63-2611 | 機オートショップ 群馬 店舗
〒370-12 東京都葛飾区西葛西4-4
TEL.0272-46-8440 | 機オートショップ 埼玉 店舗
〒330 埼玉県大宮市東浦和5-17-10
TEL.049-272-1770 | 機オートショップ 千葉 店舗
〒296 埼玉県浦和市東浦和5-17-10
TEL.049-272-1770 | 機オートショップ 東京 店舗 |

- 各店の主な取扱い車のカテゴリをロードレースはRZR、トライアルはTZRの記号で店名の右側に表示してあります。
- ここに掲載してある店名は'94年11月現在のものです。
- HRC市販レーサー及びパーツはレース専用ですので一般公道での使用はできません。



株式会社 ホンダレーシング

〒352 埼玉県新座市野火止8-18-4

営業ブロック直通

TEL.048-477-9538/FAX.048-478-7531

関東オートレーティング部

- 〒479-12 豊田市赤坂町4-23 TEL.0549-21-0811
- Honda販売は色の
- 〒481 春日井市西宮町3-1-7 TEL.0548-51-0339
- シャトルモーターズ
- 〒496 桑名市西神前町7-28 TEL.0567-28-5125

三重

- 加納オートレーティング
- 〒519 日守町中川町1-2-23 TEL.0552-52-5274
- ササキスポーツクラブ
- 〒516-02 鈴鹿市船場町750-1 TEL.0593-86-9600
- ザ・バイク・イサカ
- 〒516-02 鈴鹿市船場町799-15 TEL.0593-89-3430

富山

- 山手
- 〒913 新井市山手町字石丸380-8 TEL.0563-78-9181
- 海木ワキエンジニアリング
- 〒913 新井市山手町字石丸380-8 TEL.0563-78-9181
- 海木ワキエンジニアリング五国
- 〒913 新井市山手町字石丸380-8 TEL.0563-78-9181

水戸

- 水戸オートレーティング
- 〒170 水戸市本町4-2-1 TEL.026-25-4444
- ボータークラブ
- 〒170 水戸市本町4-2-1 TEL.026-25-4444
- パトルファクトリー
- 〒170 水戸市本町4-2-1 TEL.026-25-4444

MITANI MOTOR SPORTS

- 〒171-21 多志町大内町大字2534 TEL.02663-8-2222
- レーシングガレージ ニク
- 〒171 多志町大内町大字2534 TEL.02663-8-2222
- 海オートレック
- 〒171 多志町大内町大字2534 TEL.02663-8-2222

山梨

- Hondaランド小林
- 〒382 原市東町3-4-55 TEL.0764-38-6128

京都

- バイク工房岩倉
- 〒600 東区東船場9-9-19 TEL.075-62-0840
- オートショップ廣口
- 〒600 東区東船場9-9-19 TEL.075-62-0840
- バイクパーツ ナカムラ
- 〒600 東区東船場9-9-19 TEL.075-62-0840

兵庫

- モトマツク
- 〒601 芦屋市本町5-26 TEL.0774-33-5464
- 本田モーターズ
- 〒601 芦屋市本町5-26 TEL.0774-33-5464
- カンズ・バイク
- 〒601 芦屋市本町5-26 TEL.0774-33-5464

横浜カスノモーターサイクル

- 〒212 横浜市中区新島町2-19 TEL.045-62-0229
- 横久保村モーターズ
- 〒215 横浜市中区新島町2-19 TEL.045-62-0229
- RSひいたあひん
- 〒215 横浜市中区新島町2-19 TEL.045-62-0229

セーフティスポーツ カタヤマ

- 〒269 高知市本町1-4 TEL.0775-23-7331
- 海カメオカ トライアルランド
- 〒269 高知市本町1-4 TEL.0775-23-7331
- 石原自動車商会
- 〒269 高知市本町1-4 TEL.0775-23-7331

大阪

- 左古自動車
- 〒532 大阪市北区中之島2-21-5 TEL.06-308-2200
- モトスポーツGLAD
- 〒537 東淀川区大東1-15-25 TEL.06-761-4381
- モトショップアルト
- 〒544 大东区北斎場中町4-4 TEL.06-716-4891

モトリバティ 山ノ内オートレーシング

- 〒562 大東区東門外1-15-1 TEL.06-576-5277
- 長尾モーターズ
- 〒524 大東区東門外長尾2-11-14 TEL.06-659-5278
- TECHNICAL SHOP GOLD WING
- 〒563 大東区東門外4-8 TEL.0775-33-9406

レーシングワールド

- 〒566 東淀川区長尾2-1-5 TEL.0775-33-9298
- レーシングチーム トクノ
- 〒566 東淀川区長尾2-1-5 TEL.0775-33-9298
- 桂太等
- 〒567 東淀川区長尾2-1-5 TEL.0775-33-9298

海都元Hondaパルス

- 〒568 高槻市南町4-4 TEL.0773-73-2532
- オーヴァーレーシングサービス
- 〒568 高槻市南町4-4 TEL.0773-73-2532
- ヨシレーシング
- 〒573 枚方市上三軒巻3-9 TEL.0773-69-1817

びわくあくらふと

- 〒524 大東区東門外3-1 TEL.0773-72-2141
- ライダーズ・スクエア・リンク
- 〒571 東淀川区長尾2-1-5 TEL.06-763-7250
- 機キタコ
- 〒571 東淀川区長尾2-1-5 TEL.06-763-7250

オートマチック

- 〒717 神戸市東灘区3-8-7 TEL.078-789-1308
- ニュースーパーモーター
- 〒718 東灘区東本町4-8-27 TEL.078-724-3177
- 機ミスターヒロ
- 〒630 姫路市東区4-615 TEL.0793-36-1550

ベストスポーツ

- 〒611 八尾町2-25-69 TEL.0729-58-0822
- オートプラザサカ
- 〒611 八尾町2-25-69 TEL.0729-58-0822
- 機ウィング32
- 〒616 河内長野市上町11-14 TEL.0721-43-3832

機ルノー

- 〒390 津市井筒町2-7 TEL.0772-77-1980
- 機日本ビート工業
- 〒381 津市下町4-102-10 TEL.0772-57-7600
- バイクランド
- 〒663 北条郡北条町北条2-15-5 TEL.0729-25-1548

海月木オートセンター

- 〒597-15 長尾町本町1405-1 TEL.0723-47-1150

兵庫

- 機Hondaプラザ静岡
- 〒670 神戸市北長区北長町6-13 TEL.079-582-5388
- Hondaオート・ファミリー
- 〒670 神戸市北長区北長町6-13 TEL.079-582-5388
- 機サイクルワールド
- 〒670 神戸市北長区北長町6-13 TEL.079-582-5388

スポーツコーナーマツモト

- 〒668 芦屋市東町7-18 TEL.0771-32-4787
- 機ビリーバー
- 〒662 西宮市上池田1-11 TEL.06-481-1011
- KOレーシング
- 〒661 西宮市上池田1-11 TEL.06-481-1011

イシモーターサイクル

- 〒662 西宮市上池田1-11 TEL.06-481-1011
- 機J・A・S
- 〒662 西宮市上池田1-11 TEL.06-481-1011
- オートバイ
- 〒664 伊丹市東町字長尾1-1 TEL.0721-63-6287

BITO R&D

- 〒688 神戸市東灘区長尾3-18 TEL.0796-77-9429
- 機工ホム
- 〒674 神戸市東灘区長尾3-18 TEL.0796-77-9429
- スーパープライベートF2
- 〒676 西宮市上池田1-11 TEL.0796-77-9429

モト・ビット フジワラ

- 〒676-11 宝塚市東区東宝塚1-114 TEL.079-940-0113
- パワーサービス イマズ
- 〒678 宝塚市東区東宝塚1-114 TEL.079-940-0113
- 海大機ホム
- 〒678 宝塚市東区東宝塚1-114 TEL.079-940-0113

徳島

- シマ エンタープライズ
- 〒760 高松市新町2-4-6 TEL.0742-34-9598

岡山

- 木村商会
- 〒701-13 真山町門前500-3 TEL.08628-7-2551
- 機輪乗モーター
- 〒704 高松市港町571 TEL.0864-2-2617
- 機バドック
- 〒708 津山市二宮2 TEL.0868-29-3181

南ホングウイング カダヤ

- 〒708 津山市南町7-2 TEL.0868-29-1012
- X-LANDオカサワラ
- 〒708 津山市南町7-2 TEL.0868-29-1012

鳥取

- HIRO SPORTS
- 〒685-02 米子市東町中町8-5 TEL.0857-84-2158

広島

- Hondaオート山田
- 〒720 福山市本町4-2-8 TEL.0849-22-0681
- 機バイクステーション
- 〒729-01 尾道市南町5125 TEL.0848-47-5819
- 機バイクシティ広島
- 〒729-01 尾道市南町5125 TEL.0848-47-5819

海ホングウスポート ステージン

- 〒730 広島市中区西本町10-2 TEL.082-242-8151
- 機ホングウイング ワタリ
- 〒730 広島市中区西本町10-2 TEL.082-242-8151
- 相模機
- 〒730-01 広島市安芸区東山1-105-10 TEL.082-478-7650

機ホングウアルト エルフ

- 〒733 広島市安芸区東山1-105-10 TEL.082-242-8151
- 海単車
- 〒737 尾道市東区東3-1 TEL.0843-27-7088
- バイクハウス せらも
- 〒728 三次市高瀬町945-1 TEL.08240-2-1715

山口

- HondaウイングP-10
- 〒750-02 宇高市大字東長町2890-4 TEL.0836-61-8140
- ケイイコー
- 〒750-02 宇高市大字東長町2890-4 TEL.0836-61-8140

ホンダ二輪ディストリビューター一覧

- 機ホンダ二輪東京・本社
- 〒100 東京都千代田区千代田1-18-3
 - 城東支店
 - 〒113 東京都葛飾区大谷口北町2-8
 - 多摩支店
 - 〒183 東京都府中市岩間町2-3-1
- 機ホンダ二輪関東・本社
- 〒331 埼玉県大宮市大宮4-4-805
 - 横浜支店
 - 〒360 埼玉県浦和市南町4-1-3
 - 宇都宮支店
 - 〒320 栃木県宇都宮市南町3-17-37
 - 長野支店
 - 〒381 長野県長野市西田東町421-2
 - 新潟支店
 - 〒950 新潟県新潟市西町3-3-4
 - 福島支店
 - 〒923 福島県いわき市北地区いわき5-2-16
 - 茨城支店
 - 〒254 茨城県川原市南町3-2
- 機ホンダ二輪中部・本社
- 静岡営業所
 - 〒410-03 静岡市東区清水128-2
 - 北陸営業所
 - 〒930 石川県金沢市御幸4-8
- 機ホンダ二輪東北・本社
- 〒430 静岡県浜松市東区町4-950-1
 - 三重支店
 - 〒515 三重県津市西町381-1
 - 富山支店
 - 〒930-61 富山県富山市西町15-2
 - 石川支店
 - 〒924 石川県金沢市御幸4-8
 - 福井支店
 - 〒910 福井県福井市南町3-11-5
 - 岐阜支店
 - 〒601-24 岐阜県岐阜市南町4-2
 - 山梨支店
 - 〒400-11 山梨県山梨市上池田1-11-15
 - 長野支店
 - 〒381-11 長野県長野市西田東町421-2
 - 新潟支店
 - 〒950-02 新潟県新潟市西町3-3-4
- 機ホンダ二輪近畿・本社
- 大阪南支店
 - 〒542 大阪府大阪市平野区南港西1-5
 - 大阪東支店
 - 〒547 大阪府大阪市平野区南港東1-5
 - 京都支店
 - 〒602 京都市南区西九条区田辺1-11-17
 - 神戸支店
 - 〒658 兵庫県神戸市東灘区東灘町2-18-19
 - 奈良支店
 - 〒631-24 奈良県大和郡大和町上野3-1
 - 和歌山支店
 - 〒639-11 和歌山県和歌山市白上213-5
 - 鳥取支店
 - 〒682 鳥取県東出雲郡大東町寺之内上4丁目7
 - 岡山支店
 - 〒700 岡山県岡山市東区1-3-56
 - 広島支店
 - 〒730 広島市中区西本町10-2
 - 山口支店
 - 〒750 山口県宇布市河原町1-1
 - 徳島支店
 - 〒760 高松市新町2-4-6
 - 香川支店
 - 〒760 高松市新町2-4-6
 - 愛媛支店
 - 〒790 松山市東区東町1-1-1
 - 高松支店
 - 〒760 高松市新町2-4-6
 - 福岡支店
 - 〒810 福岡市東区東区1-1-1
 - 佐賀支店
 - 〒820 佐賀県佐賀市南町1-1-1
 - 熊本支店
 - 〒860 熊本県熊本市南町2-10-10
 - 鹿児島支店
 - 〒890 鹿児島県鹿児島市南町20-10
 - 宮崎支店
 - 〒880 宮崎県宮崎市西町1140
 - 大分支店
 - 〒870 大分県大分市南本町2-10-10
 - 長崎支店
 - 〒850-01 長崎県長崎市西町223-1
 - 新潟支店
 - 〒950-02 新潟県新潟市西本町10-2
 - 山梨支店
 - 〒400-11 山梨県山梨市上池田1-11-15
 - 長野支店
 - 〒381-11 長野県長野市西田東町421-2
 - 岐阜支店
 - 〒601-24 岐阜県岐阜市南町4-2
 - 山梨支店
 - 〒400-11 山梨県山梨市上池田1-11-15
 - 長野支店
 - 〒381-11 長野県長野市西田東町421-2
 - 新潟支店
 - 〒950-02 新潟県新潟市西町3-3-4

- 〒120 東京都足立区小岩1-18-3
- 〒120 東京都足立区小岩1-18-3
- 〒173 東京都葛飾区大谷口北町2-8
- 〒183 東京都府中市岩間町2-3-1
- 〒331 埼玉県大宮市大宮4-4-805
- 〒360 埼玉県浦和市南町4-1-3
- 〒320 栃木県宇都宮市南町3-17-37
- 〒381 長野県長野市西田東町421-2
- 〒950 新潟県新潟市西町3-3-4
- 〒923 福島県いわき市北地区いわき5-2-16
- 〒254 茨城県川原市南町3-2
- 〒289-25 千葉県浦安市1275
- 〒260 千葉県千葉市中央区浜野町1025
- 〒308 茨城県下市町2-本町524
- 〒372 群馬県伊勢崎市内町2034
- 〒400 山梨県甲府市南町6-3-13
- 〒400 山梨県甲府市南町6-3-13
- 〒384 長野県岡谷市南町1-11-15
- 〒951 新潟県新潟市東区西町4-2244-1
- 〒480-11 愛知県愛知郡長久手町大字長秋寺東邊18
- 〒410-03 静岡市東区清水128-2
- 〒930 石川県金沢市御幸4-8
- 〒430 静岡県浜松市東区町4-950-1
- 〒515 三重県津市西町381-1
- 〒930-61 富山県富山市西町15-2
- 〒924 石川県金沢市御幸4-8
- 〒910 福井県福井市南町3-11-5
- 〒601-24 岐阜県岐阜市南町4-2
- 〒400-11 山梨県山梨市上池田1-11-15
- 〒381-11 長野県長野市西田東町421-2
- 〒950-02 新潟県新潟市西町3-3-4
- 〒730 広島市中区西本町10-2
- 〒750 山口県宇布市河原町1-1
- 〒760 高松市新町2-4-6
- 〒760 高松市新町2-4-6
- 〒790 松山市東区東町1-1-1
- 〒760 高松市新町2-4-6
- 〒810 福岡市東区東区1-1-1
- 〒820 佐賀県佐賀市南町1-1-1
- 〒860 熊本県熊本市南町2-10-10
- 〒890 鹿児島県鹿児島市南町20-10
- 〒880 宮崎県宮崎市西町1140
- 〒870 大分県大分市南本町2-10-10
- 〒850-01 長崎県長崎市西町223-1
- 〒950-02 新潟県新潟市西本町10-2
- 〒400-11 山梨県山梨市上池田1-11-15
- 〒381-11 長野県長野市西田東町421-2
- 〒601-24 岐阜県岐阜市南町4-2
- 山梨支店
- 山梨県山梨市上池田1-11-15
- 長野支店
- 長野県長野市西田東町421-2
- 岐阜支店
- 岐阜県岐阜市南町4-2
- 山梨支店
- 山梨県山梨市上池田1-11-15
- 長野支店
- 長野県長野市西田東町421-2
- 新潟支店
- 新潟県新潟市西町3-3-4

- TEL.03-3879-5111
- TEL.03-3879-5111
- TEL.03-3855-8111
- TEL.03-3755-7111
- TEL.0423-62-4511
- TEL.0465-21-0373
- TEL.0282-48-1001
- TEL.0796-36-3261
- TEL.0294-42-3191
- TEL.0292-59-0360
- TEL.025-275-5160
- TEL.040-562-7711
- TEL.0463-23-5114
- TEL.0473-63-1511
- TEL.043-281-3121
- TEL.0296-24-5305
- TEL.0270-21-0211
- TEL.0552-26-3636
- TEL.0552-26-4421
- TEL.0286-22-7161
- TEL.025-273-6451
- TEL.0561-63-1511
- TEL.0559-53-5061
- TEL.0762-49-5210
- TEL.0534-54-0111
- TEL.0598-51-5111
- TEL.0562-47-1211
- TEL.06-700-8600
- TEL.06-762-5123
- TEL.075-622-6101
- TEL.078-412-3800
- TEL.078-967-2881
- TEL.07435-4-8558
- TEL.075-431-2101
- TEL.0726-21-7879
- TEL.0734-45-5000
- TEL.0739-24-7800
- TEL.0799-22-5622
- TEL.0795-22-3376
- TEL.0792-84-1818

- 機山科ホンダ
- 〒664 兵庫県豊明市城東町20-19
- 機ホンダ二輪中国・本社
- 〒730 広島県広島市中区南大町4-5-28
- 福島営業所
- 〒732 福島県福島市南町5-11-78-7
- 岡山支店
- 〒701-01 岡山県岡山市大内町828-2
- 山梨支店
- 〒400 山梨県山梨市上池田1-11-15
- 機ホンダ二輪西国・本社
- 〒791 愛媛県松山市高岡町43
 - 〒761 香川県高松市吉野町西4-536
 - 〒710 徳島県徳島市大町4-1-9-3
 - 〒780 高知県高知市阿佐1-19
- 機ホンダ二輪九州・本社
- 福岡支店
 - 〒811-01 福岡県北九州市若狭町大字下町631-1
 - 久留米支店
 - 〒820 福岡県久留米市津井町橋2-5-48
 - 大分支店
 - 〒870 大分県大分市大字古市町上野山1258-2
 - 佐賀支店
 - 〒840-2 佐賀県佐賀市鎮西区大字八丁目3190-1
 - 長崎支店
 - 〒851-01 長崎県長崎市西町223-1
 - 熊本支店
 - 〒860 熊本県熊本市南町2-10-10
 - 鹿児島支店
 - 〒890 鹿児島県鹿児島市南町20-10
 - 宮崎支店
 - 〒880 宮崎県宮崎市西町1140
 - 大分支店
 - 〒870 大分県大分市南本町2-10-10
 - 福岡支店
 - 〒811-01 福岡県北九州市若狭町大字下町631-1
 - 久留米支店
 - 〒820 福岡県久留米市津井町橋2-5-48
 - 大分支店
 - 〒870 大分県大分市大字古市町上野山1258-2
 - 佐賀支店
 - 〒840-2 佐賀県佐賀市鎮西区大字八丁目3190-1
 - 長崎支店
 - 〒851-01 長崎県長崎市西町223-1
 - 熊本支店
 - 〒860 熊本県熊本市南町2-10-10
 - 鹿児島支店
 - 〒890 鹿児島県鹿児島市南町20-10
 - 宮崎支店
 - 〒880 宮崎県宮崎市西町1140
- 西国支店
- 〒791 愛媛県松山市高岡町43
 - 〒761 香川県高松市吉野町西4-536
 - 〒710 徳島県徳島市大町4-1-9-3
 - 〒780 高知県高知市阿佐1-19
- 機ホンダ二輪北国・本社
- 〒820 佐賀県佐賀市南町1-1-1
 - 〒860 熊本県熊本市南町2-10-10
 - 〒890 鹿児島県鹿児島市南町20-10
 - 〒880 宮崎県宮崎市西町1140
 - 〒870 大分県大分市南本町2-10-10
 - 〒850-01 長崎県長崎市西町223-1
 - 〒950-02 新潟県新潟市西本町10-2
 - 〒400-11 山梨県山梨市上池田1-11-15
 - 〒381-11 長野県長野市西田東町421-2
 - 〒601-24 岐阜県岐阜市南町4-2
 - 山梨支店
 - 山梨県山梨市上池田1-11-15
 - 長野支店
 - 長野県長野市西田東町421-2
 - 岐阜支店
 - 岐阜県岐阜市南町4-2
 - 山梨支店
 - 山梨県山梨市上池田1-11-15
 - 長野支店
 - 長野県長野市西田東町4



WE HOPE YOUR

比類なき高性能。

航空宇宙産業でも使用されている最先端の複合素材 ACM (アドバンスド・コンポジット・マテリアル) をシェルに採用し、安全性と軽量化を極限まで追及。その完成度は他に類を見ない。

NR
[RC-3] 規格/スネルM90、
JIS-C種、MFJ公認

NRヘルメット
08H20-RC3-02R(ML)
●カラー/NRレッド×クリア
(カーボンクロス)
●サイズ/M、L
¥288,000



NRヘルメット
08H20-RC3-01W(ML、XL)
●カラー/シヤスタホワイト
●サイズ/M、L、XL
¥198,000

RHEOS



T.OKADA



H.AOKI



SUPPORT in '95



Super
Boldor

- ・表示価格はすべてメーカー希望小売価格です。消費税は含まれておりません。
- ・掲載商品の仕様及び価格は予告なく変更することがあります。
- ・この広告の写真は、印刷のため実際の色と違うことがあります。

最先端技術を纏う。

品質が高いこと、安全であること、機能性に富むこと。それらを追及し、最新技術から生み出されるスーパーボールドールレーシングスーツ。その性能の高さは世界を駆けるトップレーサーにより実証されている。



IMORA MODEL

イモラ モデル
既製サイズ ¥138,000
オーダーサイズ ¥168,000
・この広告の写真の内股ベンチレーション
ジャージ仕様はオプション装備となります。

NEW BO

新機構トリプルY P V S 装着。このマシンは

●この写真は、プロフェッショナルライダーのサーキット走行を撮影したものです。一般公道では無理な走行をせず、安全な運転をしましょう。●写真中のヘルメットは、撮影のため準備したものです。
●価格はメーカー希望小売価格（北海道・沖縄および一部地域を除く）●価格は参考価格です。●価格には保険料、税金、古車減価償却、登録などの付加費用等は含まれていません。●消費税は別途計算の上申し受けます。●詳しくは販売店にお問い合わせください。

見る・見られる・いい運転。

●バイクは昼間もライト・オン!

●カーブ・交差点では、スロー・インクダウン!

バイクでひろがるいい仲間

バイクは いつも 光ってる

●セマハーターサイクルに関するお問い合わせは、下記のお客相談室へ

お客相談室 96-0120-090-819

●カタログご希望の方は、機種名・種別名と住所・氏名・年齢・職業を明記し、郵送料として郵便切手150円分を同封の上、下記へお申し込みください。
〒430静岡県静岡市東区2500 ヤマハ・発動機株式会社広報室 佐藤のブログ 宛



TRIPLE YPVS



SILVER SILENCER



41mm FRONT FORK



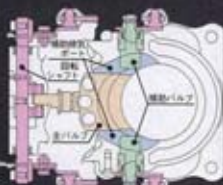
NEW CARBURETOR

R N S P R

SP仕様を凌ぐTZRの新たな頂点である。

数々のレースで栄冠を勝ち取ってきた、ヤマハ2サイクルテクノロジー。その結晶であるTZRがいま、大きな飛躍の時を迎えようとしている。TZR250SPR誕生。SPレースで極めて高い戦績を誇るSP仕様の後継モデルにして、ストリートにおいても高度なパフォーマンスを発揮する新しい概念のニューマシンだ。その核ともいえるテクノロジーが新機構トリプルYPVS。きめ細かい排気制御により、定評あるSP仕様の高速域性能に低中速域からの十分なパワーを付加。レースでのさらに高い戦闘力の追求が、ストリートにおける走行性能の高さにも直結した。加えて、キャブレター、タイヤ、サスペンション、フレームなど、全身を一層進化させている。半端な万能性に妥協することなく、先駆的な走りと高度な戦闘力の追求のなかで生まれたSPR。このマシンから、新たな2サイクルスーパーバイクの伝説が生まれる。

TRIPLE YPVS: YPVS(ヤマハ・パワーバルブ・システム)は、エンジン回転数を検知したコンピュータが、排気ポートに設けたパワーバルブを制御し、エンジン全回転域で最適な排気タイミングを実現する。ヤマハ独自の排気制御システム。従来は主排気ポートだけの制御であったこのシステムをさらに進化させ、主排気ポートへは従来SP仕様だけに採用されていた板状のフラットバルブを採用し、さらに



左右の補助排気ポートへも制御バルブを設け、より幅広くきめ細かな制御を実現したものが、今回SPRに搭載された、トリプルYPVSである。これにより、2サイクルならではのクイックなレスポンスと、低中速域からの豊かなトルクとを、極めて高い次元で両立させている。

new TZR250 SPR

●3XV●Engine Type: Water-cooled, 2-stroke, crankcase reed valve 90° V-twin ● Displacement: 249cc ● Max. Power: 40ps / 9,000rpm ● Max. Torque: 3.6kg-m / 7,000rpm ● Dry Weight: 132kg ● Coloring: Bluish White Cocktail ¥780,000

※オプションで別途販売している仕様 (¥10,000税) もあります。

ON^and OFF

バイクとマリンスポーツの総合情報TV番組

●テレビ東京、テレビ大阪、テレビ愛知、テレビせとち、TXN九州、テレビ北海道、土曜日18:30から ●東北放送、木曜日24:45から ●静岡放送、日曜日24:20から ●テレビ新潟、木曜日24:50から

YAMAHA

ヤマハ発動機株式会社

RSS Racing Service Shop

コンペモデル(レース専用車)

1120cc (1000cc)のキットパーツ

は、RSSで扱っています。

コンペモデルに関する御相談は技術
係のRSSをおすすめします。
お近くのRSSに御相談下さい。



風の覇者。

風になるのではない。風を突き抜けるのだ。



'95 TZ250 ¥1,790,000



'95 TZ125 ¥998,000

※価格には、同梱パーツも含まれます。※写真は参考のためにカラーリングしてあります。
※改良のため、製品の仕様は予告なく変更する場合がありますのでご了承下さい。
●価格は全てメーカー希望小売価格です。メーカー希望小売価格には消費税は含まれていません。

見る・見られる・いい運転。

バイクでひろがるいい仲間

- バイクは昼間もライト・オン!
- カーブ・交差点では、スロー・インクダウン!

バイクは いつも 光ってる

北海道地区

YSP札幌南 RR・MX
北海道札幌市中央区南2条西1丁目1-1
TEL.011-563-6021
YSP札幌東 RR
北海道札幌市東区北34条東2丁目8-1
TEL.011-783-0818
YOU SHOP SHIMA MX
北海道札幌市東区厚別5条10丁目
TEL.011-592-4474
YSP札幌西 RR・MX
北海道札幌市西区南12条1丁目10-21
TEL.011-662-6626
YOU SHOP平岸 RR・MX
北海道札幌市白石区南郷通1丁目2-14
TEL.011-861-8193
衛ミカホ スポーツツク MX
北海道札幌市東区北20条東3丁目30
TEL.011-742-9607
YOU SHOPトヨキ MX
北海道札幌市中央区南5条西5丁目7
TEL.011-541-5678
天内モータースポーツ RR・MX
北海道札幌市東区北34条東10丁目2-1
TEL.011-753-5668
はいくはうす サンラッド RR
北海道札幌市白石区中央1条5丁目3-16
TEL.011-824-2497
衛オールドランド札幌 RR・MX・TR
北海道札幌市東区厚別中央3条1丁目1-43
TEL.011-892-3323
YOU SHOP勝木 MX
北海道札幌市東区北18条東3丁目17
TEL.011-741-3132
衛クルムス SAPPRO RR
北海道札幌市東区北20条東1丁目3-5
TEL.011-723-4364
バイクロード RSR RR
北海道札幌市豊平区平岡1条6丁目1-26
TEL.011-886-1577
衛アマモーターサイクル RR・MX・TR
北海道札幌市豊平区平岡1条東2丁目1丁目1-2
TEL.011-862-6600
有オートフレンド北海道 RR
北海道千歳市豊原4丁目1-2
TEL.0123-22-3996
YSP小樽 RR・MX
北海道小樽市若竹13条21丁目
TEL.0134-33-3211
藤沢オートサイクル RR
北海道磯谷郡磯谷町磯谷193
TEL.0136-57-5552
株野村商会 MX
北海道小樽市本町1丁目1-3
TEL.0144-32-2618
YSP旭川 MX
北海道旭川市神楽3条4丁目331
TEL.0156-61-8086
YOU SHOP世紀屋 RR
北海道旭川市南7条3丁目101
TEL.0156-48-0321
バイク屋 にやろめ RR
北海道旭川市東光14条6丁目
TEL.0156-33-8978
モーターサイクルプロショップZP MX
北海道旭川市豊栄12条12丁目
TEL.0156-54-5051
R'Pit オオツキ RR
北海道旭川市緑町12丁目3869-5
TEL.0166-51-2300
衛モトショップワークス RR・MX
北海道旭川市花咲町5丁目
TEL.0166-51-3069

YOU SHOPほうけんしゃ MX
北海道札幌市東区北13条4丁目
TEL.0166-31-3307
YOU SHOPオカジマ MX
北海道札幌市東区4丁目4-27
TEL.0125-23-2579
YSP専広 菊びとう商会 RR
北海道札幌市東区南7条東2丁目
TEL.0155-48-1417
ハジモータープロジェクト RR
北海道札幌市東区南29条11丁目
TEL.0138-51-6686
YOU SHOP勇三 MX
北海道河東郡寿都町新通7丁目3-17
TEL.0155-42-4882
YSP釧路 MX
北海道釧路市南東大通り9丁目8-4
TEL.0154-53-0025
函館マジマ株 MX
北海道函館市中央17丁目11
TEL.0138-51-6686
YOU SHOPライティングスポーツ MX
北海道函館市南東大通り271-1
TEL.0138-46-0111
衛ナソダオート RR・MX
北海道函館市南東大通り4丁目1-42
TEL.0138-73-7212
YOU SHOP山本 MX
北海道山越区八雲町東雲町5-6
TEL.01376-3-3857
YOU SHOP大嶋 MX
北海道網走郡美幌町大嶋2丁目20-2
TEL.01527-3-3288
YSP北見 MX
北海道室蘭市東野町字山田553-1
TEL.0157-56-3131
衛村松商会 RR・MX
北海道室蘭市東野町40-9
TEL.011-383-7384
モトマドール MX・TR
北海道室蘭市東野町東1丁目19-8
TEL.01237-2-6171

東北地区

YOU SHOPよこえ RR
宮城県仙台市青葉区宮ヶ丘1丁目5-10
TEL.022-556-6952
BS ハタヤマ TR
宮城県仙台市青葉区神宮西字水産ビル2F
TEL.022-255-5056
有衛岸オートバイ店 RR
宮城県仙台市青葉区南2丁目8-31
TEL.022-244-1955
YOU SHOP黒松 MX
宮城県仙台市青葉区宮ヶ丘1丁目22-21
TEL.022-234-3582
YSP仙台西 MX
宮城県仙台市青葉区松木2丁目1-12
TEL.022-234-2012
YSP仙台中央 MX
宮城県仙台市青葉区本郷2丁目4-3
TEL.022-259-4222
NOVA モーターサイクル RR・MX
宮城県仙台市太白区宮沢1丁目3-1
TEL.022-243-2263
衛ビストロショップ イノ MX
宮城県仙台市青葉区水町通2丁目3-10
TEL.022-271-9393
YSP仙台北 MX
宮城県仙台市青葉区山王3丁目41-15
TEL.022-276-9955
ピットイン わたなべ MX
宮城県仙台市太白区ひばり83-10
TEL.022-245-4077
PSSティーズ RR・MX
宮城県仙台市青葉区八幡3丁目1-44
TEL.022-225-2755
YOU SHOPスカイロード RR・MX
宮城県仙台市青葉区宮沢4丁目4-8
TEL.0223-25-2339
YSP石巻西 TR
宮城県石巻市松田字新田下56-1
TEL.0225-22-9272
YSP名取 MX
宮城県名取市南郷野宮字赤木12-12
TEL.022-286-2278
YSP気仙沼 MX・TR
宮城県気仙沼市中央2丁目1-8
TEL.0226-24-1331
有三星モーターズ RR・MX
宮城県山形市東1丁目1-14
TEL.0236-22-9925
YSP山形南 RR・MX
宮城県山形市山王5丁目4-1
TEL.0236-31-9707
YSP山形西 RR・MX
宮城県山形市あかろけ3丁目7-26
TEL.0236-44-1335
モトショップ ワンバイン MX
山形県山形市中央2丁目6-28
TEL.0236-94-0623
YOU SHOPテラオ RR・MX
山形県酒田市五日町1325-22
TEL.0233-22-2905
YOU SHOPヤマカ RR
山形県酒田市中央4丁目1-76
TEL.0238-23-1108
YSP酒田 MX
山形県酒田市こがね町2丁目1-16
TEL.0234-33-3032
YSP福島南 RR
福島県福島市島野字野田558-1
TEL.0246-46-3116
バイクワールド ハイブリッジ RR
福島県福島市上名東字南町25-1
TEL.0246-33-0248

YSP福島北 RR・MX
福島県伊達市伊達町南川16-3
TEL.0245-84-2033
衛オエックスレーシング東北 RR
福島県須賀川市須賀町138
TEL.0248-72-1201
有衛本館商業店 RR・MX
福島県山形市東下町10-8
TEL.0249-22-1784
YSP鶴沖央 RR・MX
福島県山形市東横敷51
TEL.0249-38-0095
大倉オート MX
秋田県秋田市中野町4-53
TEL.0188-28-2873
太平オート TR
秋田県秋田市山内区宮内町38
TEL.0188-34-0695
モトショップ菊地 MX
秋田県秋田市中野町中野イナリ1丁目11
TEL.0188-74-2387
エキスパート RR
秋田県横手市八幡町25-1
TEL.0182-32-9911
YSP秋田大曲 TR
秋田県秋田市中野町21-13
TEL.0187-66-2569

東京地区

スポーツショップコム RR・MX
東京都大田区南123-3
TEL.0292-47-5215
MIYAMOTO MOTORCYCLE MX
東京都大田区千代田町1201-1
TEL.0292-41-1837
YOU SHOPモト MX
東京都大田区南町247-2
TEL.0292-47-8595
YOU SHOPタカ RR・MX
東京都大田区千代田町15-48
TEL.0292-54-6681
YSPつくば学園 RR・MX
茨城県つくば市大字女木字榎町700-1
TEL.0298-57-3321
衛オートショップ大月 RR・MX
茨城県大月市大月町2丁目1-10
TEL.0296-77-6924
衛井原商会 MX
茨城県鹿嶋市崎町2736-1
TEL.0297-62-0148
カシマレーシング RR
茨城県鹿嶋市東町11311
TEL.0296-83-7428
オートショップ坂 MX
茨城県土浦市南郷2丁目15-24
TEL.0298-21-1335
モトショップタカシ RR・MX・TR
栃木県宇都宮市南町1769-4
TEL.0286-52-4166
モトハウス マツモト RR
栃木県高橋市埼玉上中島79-85
TEL.0287-63-6656
バイクショップ竹沢 MX
栃木県鹿沼市北見323-31
TEL.0289-76-1030
衛小島監三輪業 RR
栃木県足利市東町239-2
TEL.0284-71-2730
ガレージ ハイブリッド MX
栃木県下野郡栗岡町大字大前1584
TEL.0282-62-4799
衛モトショップシタ RR・MX
群馬県高崎市中央町456-4
TEL.0273-61-0222

YSP前橋西 RR・MX
群馬県前橋市大字1丁目15-15
TEL.0272-53-1078
有スーパーバイク倶楽部 TR
群馬県前橋市北城町733-5
TEL.0272-53-5364
YSP前橋 MX
群馬県前橋市東町3-15-5
TEL.0272-21-4325
株真 RR・MX
群馬県北田市内ヶ内ヶ1447-1
TEL.0276-46-1725
ザ・オート イシハラ MX
群馬県前橋市東町大字大橋574-1
TEL.0276-57-0025
YSP大宮中央 MX
埼玉県大宮市大宮町4-57-12
TEL.048-663-3730
サイクルロード イー RR・MX
埼玉県大宮市日通町2-748-2
TEL.048-661-7677
オートショップアカシ RR・MX・TR
埼玉県上尾市南9-17
TEL.048-775-8726
大島オートサービス RR・MX
埼玉県大島郡大島町大字大島130-1
TEL.0480-33-0079
YOU SHOPワクトリー RR・MX
埼玉県川口市南1丁目1-17
TEL.0489-87-0940
YSP川口北 RR
埼玉県川口市南郷5-172
TEL.0482-26-8585
YSP与野 RR・MX
埼玉県与野市下善倉1176
TEL.048-832-2930
YSP川越東 MX
埼玉県川越市永井町51-6
TEL.0485-25-2306
有ロッカース RR・MX
埼玉県川口市南郷422-6
TEL.0429-54-6681
YSP上福岡南 MX
埼玉県上福岡市大井町南郷2-3-11
TEL.0492-66-5550
YSP館原 RR・MX
埼玉県館原市南郷野田大字山神502-2
TEL.0485-32-1690
衛イトウ RR
埼玉県東松山市上郷字1244
TEL.0493-23-0113
YSP東松山 RR・MX
埼玉県東松山市戸ヶ崎22-24
TEL.0493-24-0488
有金城サイクル三車店 RR
埼玉県三車市戸ヶ崎2181
TEL.0489-56-2780
衛プレスト RR
埼玉県蕨市谷中町6623
TEL.0485-52-8990
スリーA RR
埼玉県八潮市北新田273番地
TEL.0489-97-6638
スポーツショップ フクシマ RR
埼玉県浦和市東1-14-35
TEL.0474-22-8198
ピットクルー RR
千葉県船橋市南郷西3-21-9
TEL.0474-79-5330
オートプラザKAME RR
千葉県千葉市美浜区美洲1-16-4
TEL.043-241-8198
ピットクルー千葉中央店 RR
千葉県千葉市中央区千代町2丁目7
TEL.043-232-7770

MX
千葉県千葉市美浜区美洲1108-9
TEL.043-233-6005
YOU SHOP Alice RR
千葉県千葉市花見川区徳町453-1
TEL.043-272-3071
コシカモーターズ16号店 RR
千葉県八千代市藤原25-1
TEL.0474-84-2217
YSP智志野 RR
千葉県習志野市藤崎2-2-30
TEL.0474-78-8218
オートショップ クラウド RR・MX
千葉県佐倉市上志津1782-12
TEL.043-461-8729
有サガオートサービス RR
千葉県佐倉市南郷1701-1
TEL.0479-63-1558
オートショップ南平台成田店 RR・MX
千葉県成田市南平台成田543
TEL.0471-23-2506
YSP松戸東 MX
千葉県松戸市南郷302-2 ユー・マンションP
TEL.0473-69-0456
野田ヤマハ MX
千葉県成田市南中野台543
TEL.0471-23-2506
YSP市川西 MX
千葉県市川市南1丁目4-10
TEL.0473-71-8782
RSマスタ RR
千葉県船橋市南294
TEL.0471-45-6581
YSP流山 MX
千葉県流山市南流山4丁目28-5
TEL.0471-50-1871
YSP足立中央 RR・MX
東京都足立区本木2-29-15
TEL.03-3886-5122
村上製作所 RR・MX
東京都足立区北本2-29-15
TEL.03-3886-5805
MCS-イヤマ MX
東京都墨田区押上3-30-11
TEL.03-3612-1345
YOU SHOPヨネクラ RR・MX
東京都江東区日本田16-10
TEL.03-5690-1830
ピットステーショントライアングル RR・MX
東京都江戸川区西葛5-10-8
TEL.03-3698-1207
YSP京葉 MX・TR
東京都江戸川区西葛5-12-14
TEL.03-3656-5485
衛オートショップスガノ RR
東京都江戸川区西葛3-14-1
TEL.03-3675-3626
YOU SHOPカワダ RR・MX・TR
東京都江戸川区西葛5-14-19-32
TEL.03-3651-1330
YSP葛飾南 RR
東京都葛飾区新小岩4-36-13
TEL.03-3699-5056
モトロー RR・MX
東京都世田谷区松原1-55-10
TEL.03-3321-0959
EIJU PRO RR・MX
東京都世田谷区藤原3-15-9
TEL.03-5716-6337
MHプロダクト RR・MX
東京都世田谷区松原4-65-51-1
TEL.03-3483-6091
YSP練馬 RR・MX
東京都練馬区関町1-1-6
TEL.03-3528-7111

*各ショップの取り扱い区分を、RR(ロードレース)、MX(モトクロス)、TR(トライアル)の記号でショップ名の右側に表示してあります。

HAVE A NICE RIDE! ナイスライディングをよろしく。
●TZ250、TZ125は運輸者の認定を受けていませんので、ナンバープレートを取得することはできません。●TZ250、TZ125は道路を走行できません。道路を走行すると、道路交通法及び道路運送車両法の違反となります。●私道、社内の境内、公園、海辺、堤防上、農道、林道など、いわゆる道路の形態を踏襲していないところでも人や車が自由に出入りできるところは、道路と見なされます。走行場所は十分に注意してください。



RSS

Racing
Service
Shop

大地の鼓動。

大地を蹴るのではない。大地を掴むのだ。



'95 YZ250 ¥559,000



'95 YZ125 ¥475,000



'95 YZ80LW (ラージネイール) ¥319,000
YZ80 ¥299,000 ※写真は'95YZ80LWです。



'95 WR250Z ¥580,000

※改良のため、製品の仕様は予期なく変更する場合がありますのでご了承下さい。
●価格は全てメーカー希望小売価格です。メーカー希望小売価格には消費税は含まれていません。

見る・見られる・いい運転。

- バイクは昼間もライト・オン!
- カーブ・交差点では、スローイングダウン!

バイクでひろがるいい仲間

バイクは いつも 光ってる

YSP谷原 東京都練馬区高松3-3-5 TEL.03-3998-1011	RA	YSP小金井 東京都小金井市南町5-7-30 TEL.0423-85-8511	RA	YSP藤沢 神奈川県藤沢市藤沢2535 TEL.0467-24-0011	RA・MX	北沢モーターズ 長野県小原町九千町大字北沢川322-6 TEL.0268-35-2934	RA	YSP浜松北 静岡県浜松市東区御幸471 TEL.053-434-4127	RA・MX	モトスイング 愛知県豊田市中区藤3丁目6-8 TEL.0565-80-3133	TR	
太平洋モーターズ 東京都杉並区阿佐ヶ谷4-6-30 TEL.03-3330-8000	MX	YSP分寺 東京都小金井市貫井北町5-12-7 TEL.0423-23-2977	MX	YSP茅ヶ崎 神奈川県茅ヶ崎本町1-3-5 TEL.0467-51-2983	MX	YSP佐久 長野県佐久郡白田町大字白田1115 TEL.0267-92-2008	RA・MX	タイラレーシング族 静岡県浜松市東区町653-30 TEL.053-437-2125	RA	南モトハウス21st 愛知県岡崎市住吉町作部3-3 TEL.0566-98-2248	RA	
もとしょぶ神楽坂 東京都新宿区神楽坂5-60 TEL.03-3235-3141	MX	街多摩川輪乗 東京都多摩川中央町5-22-11 TEL.03-2488-2907	RA	株梅田モーターズ 神奈川県多摩川中央町5-22-11 TEL.0467-87-0211	MX	YSP上田 長野県上田市御幸1-3-72 TEL.0268-25-2750	MX・TR	スピードアンリミテッド 静岡県浜松市東区町2728 TEL.053-464-9548	TR	ライダーエージェンツオオカ 静岡県静岡市清水区下田2-880-3 TEL.0537-31-6992	RA	
YSP上板橋 東京都板橋区上板橋3-12-4 TEL.03-3934-6666	RA	YOU SHOPチェイス 東京都多摩市北町147 TEL.0423-73-3910	RA	YSP高産渋谷 神奈川県渋谷区下和泉952 TEL.0462-89-3777	MX	ディーテースポーツ 静岡県藤枝市南町1518 TEL.0225-24-1702	RA・MX・TR	レーシングスポーツ 静岡県浜松市東区町1219 TEL.053-421-7001	RA・MX	YOU SHOPモトキッズ 愛知県豊田市中区小瀬町4丁目2-1 TEL.0532-63-6103	RA	
YSP成増 東京都板橋区成増3-4-9 TEL.03-3977-5025	RA	ライダーショップキュー 神奈川県横浜市西区磯子4-1-22 TEL.0427-51-2121	RA	YSP大和 神奈川県大和市深見4-1-1 TEL.0462-63-6000	MX	株ブライトン 静岡県浜松市東区131 TEL.025-261-0770	RA	YSP浜北大橋 静岡県浜松市東区島72-2 TEL.053-586-6880	RA・MX	YSP豊橋南 愛知県豊橋市南町字高松989-2 TEL.0532-48-2581	MX	
YSP目黒中央 東京都目黒区中央町1-10-10 TEL.03-3712-0207	RA	SP忠男横浜店 神奈川県横浜市保土ヶ谷区星川町1-11-6 TEL.045-333-3544	MX	モトショップOUT RUN 神奈川県横浜市中区上2-3-2 TEL.0467-78-0194	RA	YSP新潟中央 新潟県新潟市東区454 TEL.025-284-6602	RA	モスオートウェア 新潟県新潟市東区下大瀬151 TEL.0538-34-4817	RA・MX	YSP豊川中央 愛知県豊川市桜町2丁目7-34 TEL.05338-6-0388	MX・TR	
ハヤシカスタム 東京都大田区九軒2-1-1-101 TEL.03-3756-2140	RA	YSP鶴見 神奈川県横浜市中区鶴見区常町9丁目4-5 TEL.045-505-3626	MX	アクロス 神奈川県横浜市磯子区磯3-17-12 TEL.0427-56-5456	MX	YOU SHOPさいとう 新潟県中蒲原郡亀田町袋塚6-5-44 TEL.025-381-2917	MX	YOU SHOPモトベア 静岡県浜松市東区島476-2 TEL.0538-34-6935	MX	株田スポーツレジャーショップ 静岡県豊川市本郷中野2丁目56 TEL.05338-5-3068	MX	
SP忠男 東京都大田区中4-6-6 TEL.03-3741-1771	RA	YSP横浜南 神奈川県横浜市南区南大田町2-160 TEL.045-741-6123	RA・MX	YSP相模原中央 神奈川県相模原市南区見5-2-18 TEL.0427-59-4516	RA・MX	RSS高喜屋 新潟県新潟市東区西沢大字南田4-423 TEL.0257-83-2423	MX	YSP磐田 静岡県磐田市東区見508 TEL.0538-32-7504	MX	モーターショップヨハシ 愛知県豊川市本郷町野中4-1-3 TEL.05338-6-1958	RA	
YSP大森 東京都大田区大森東3-14 TEL.03-3763-3028	RA	ツツミモーターズ 神奈川県横浜市港北区小机町1512 TEL.045-471-8186	RA	モトウイン マルフク 神奈川県川崎市中原区南幸本郷883 TEL.0463-71-1784	MX	YOU SHOP小林ヤマハ 新潟県長岡市保田1丁目8-3 TEL.0258-32-3425	MX	株イトラードコーポレーション 静岡県浜松市東区2104-1 TEL.0538-43-4646	RA・MX	YSP刈谷 愛知県刈谷市一ツ木町朝陽50-1 TEL.0666-23-2547	RA・MX	
YSP下丸子 東京都大田区下丸子3-18-3 TEL.03-3759-9590	RA・MX	YSP田奈 神奈川県横浜市緑区田奈町15-1 TEL.045-982-4650	MX	サンユー バイクサービス 神奈川県川崎市中原区大倉町高第3丁目5-5 TEL.045-935-6363	RA	蓄テカニカルショップイグエ 新潟県長岡市保田1-3-68 TEL.0258-28-1627	RA・MX	ガレージTT 石川県金沢市東区今井19-14 TEL.0762-44-4592	MX	YDS岡部 愛知県名古屋市中区津島1丁目2204 TEL.052-431-8171	RA・MX	
YSP真の宮 東京都中野区真の宮5-9-2 TEL.03-3825-1475	RA	YSP横浜旭 神奈川県横浜市旭区東葉木台180 TEL.045-363-5111	RA・MX	井上モーターズ 山梨県甲府市御田4-11-16 TEL.0552-28-3377	RA	YSP長岡東 新潟県長岡市保田1-3-2 TEL.0258-32-5078	RA・MX・TR	YSP金沢西 石川県金沢市古町町837 TEL.0762-37-1313	MX	YSP名東本郷 愛知県名古屋市長区本郷2-278 TEL.052-773-5559	MX	
YSP福生 東京都福生市福生165-11 TEL.0425-53-2345	RA	YOU SHOP港北ニュータウン 神奈川県横浜市港北区茅ヶ崎南3-1-27 TEL.045-942-4688	RA	YSP甲府バイパス 山梨県甲府市御田15-12-22 TEL.0552-28-1961	RA	中部地区	YSP金沢中央 石川県石川郡野々市町新田2丁目295-2 TEL.0762-54-6191	MX	YSP金沢中央 石川県石川郡野々市町新田2丁目295-2 TEL.0762-54-6191	MX	モロ商会 愛知県名古屋市中区北區北2-269 TEL.052-413-0022	TR
YSP藤野ヤマハスポーツプラザ 東京都藤野市藤野1-34-16 TEL.0424-82-7891	RA	YSP洋光台 神奈川県横浜市磯子区洋光台6丁目12-1 TEL.045-831-0778	MX	YOU SHOPばらあひ 山梨県東都志郡上野3-2-6 TEL.0554-45-2819	RA・MX	YSP静岡南 静岡県静岡市中区中田3丁目7-27 TEL.054-286-4441	RA・MX	南ハイパスオート 石川県川崎市野津町22-4 TEL.0764-74-4141	MX	バイク&バイク 愛知県名古屋市中区日村村328 TEL.052-794-8705	MX	
ライディングハウス 東京都立川市羽羽2-27-9 TEL.0425-28-9465	TR	YSP鎌倉 神奈川県鎌倉市東郷210 TEL.0467-31-8439	RA	YSP中巨摩 山梨県中巨摩郡富田町西花輪275-2 TEL.0552-73-6640	RA	株YSP静岡中央 静岡県静岡市清水区保田1-5-14 TEL.054-293-2260	MX	YSP富山東 富山県富山市上江崎町2-1-25 TEL.0764-33-4628	MX	スポーツラサイトウ 愛知県名古屋市中区金山地味12-28 TEL.052-795-2362	MX	
YSP東大和 東京都東大和市東島橋5-884-12 TEL.0425-65-0775	MX	YOU SHOP小野田 神奈川県鎌倉市小野田11-25 TEL.0467-45-5593	MX	YSP長野南 長野県長野市南1-1-1509 TEL.0262-93-5616	RA・MX	モトショップ スギウラ 静岡県静岡市清水区136 TEL.054-247-4543	TR	オートショップ福 富山店 富山県富山市野津町511-5 TEL.0764-51-8190	MX	YSP松尾わかみ 愛知県名古屋市中区白区桶狭間2丁目137 TEL.052-803-2624	RA・MX・TR	
バイクルーム多摩 東京都八王子市大塚1457 TEL.0426-76-3304	MX	YSP南川崎 神奈川県川崎市川崎区南1-4-18 TEL.044-233-3333	RA・MX	YSP長野中央 長野県長野市山崎1-2-1 TEL.0262-41-7841	MX	秋山モーターズ 静岡県富士市中央3丁目12-5 TEL.0545-52-2259	MX	YSP富山中央 富山県富山市中野町2丁目4-12 TEL.0764-21-8259	MX	バイクショップカツラガ 愛知県名古屋市中区白区桶狭間1丁目515 TEL.052-804-2378	RA	
YSP八王子南 東京都八王子市片倉町780-1 TEL.0426-36-9425	RA	YOU SHOP PHANTOM 神奈川県川崎市中原区北加賀2-9-1 TEL.044-559-1675	RA	YSP安曇野 長野県安曇野郡穂積町4888 TEL.0263-72-2334	RA	YOU SHOPワタイ 静岡県富士市駅前1-6-23 TEL.0545-52-7624	MX	サイクルショップ伊藤 富山県富山市大町町南1499 TEL.0764-54-2571	MX	ルーニングプロジェクト 愛知県名古屋市中区白区桶狭間3-901 TEL.052-802-0117	RA	
YSP八王子中央 東京都八王子市南町7-12 TEL.0426-46-6181	RA	YSP川崎中央 神奈川県川崎市中原区南井9847 TEL.044-755-1141	RA・MX	YSP松本 長野県松本市北2丁目2-20 TEL.0263-26-2780	RA	街モトランド三澤 静岡県富士市黒岩町大沢179-4 TEL.0547-71-3929	MX	YSP福井南 福井県福井市北町7-5 TEL.0776-53-8331	MX	YSP名港 愛知県名古屋港区明2-2-202 TEL.052-381-1317	MX	
YSP八王子西 東京都八王子市東浅川町557-7 TEL.0426-43-5425	MX	街モトショップ機ヶ谷 神奈川県川崎市中原区下井8833-5 TEL.044-865-8933	RA	三沢モーターズ 長野県松本市大字島立777 TEL.0263-47-3157	RA・MX・TR	株青山商会 静岡県浜松市東区堂411-1 TEL.0559-22-9311	MX	堀場サイクル 福井県福井市神倉町2-1-13 TEL.0770-22-0633	TR	バイクショップワカ 愛知県名古屋市中区中島町2丁目102 TEL.052-363-6664	RA・MX・TR	
YOU SHOPサンライズ 東京都武蔵村山市本町1丁目8-1 TEL.0425-63-1148	MX	YOU SHOPAST 神奈川県川崎市中原区高島3-13-12 TEL.044-954-5512	MX・TR	南翔武 長野県松本市御田4丁目5-32 TEL.0263-34-1151	RA・MX	株中島技術開発研究所 静岡県浜松市大岡2740-1 TEL.0559-24-0617	RA	ヤマハオートセンター株 愛知県岡崎市大町町市本28 TEL.0564-22-0024	MX	YSP尾張小牧 愛知県岡崎市小牧町稲原180 TEL.0567-54-3228	RA・MX・TR	
有サム 東京都町田市南町2207-16 TEL.0427-26-1123	MX	株マックス 神奈川県横浜市中区南2丁目11-7 TEL.0466-56-0200	MX	バイクショップ ヒロ 長野県松本市出川2丁目5-6 TEL.0263-25-6529	MX	石田オートサロン 静岡県三島市長沢41-5 TEL.0559-77-4737	MX	YSP岡崎中央 愛知県岡崎市西通町1丁目6 TEL.0564-21-0511	MX	YOU SHOP栗木 愛知県豊田市中区藤3丁目1-19 TEL.0567-32-2762	RA・MX	
YSP町田中央 東京都町田市中央町184-15-11 TEL.0427-29-6456	RA	街サカエオート 神奈川県横浜市中区南大塚2-1-10 TEL.0468-36-0010	TR	オートショップモモ 長野県安曇野郡松川町7032-52 TEL.0261-62-2288	RA・MX	バイクショップ錦屋 静岡県岡崎市東区前355-4 TEL.0550-62-0144	RA・MX	街オートショップヨタ 愛知県岡崎市永覚町3-22-1 TEL.0565-29-1388	MX	YSP名古屋北 愛知県名古屋市中区栄町3-23 TEL.0569-29-0505	RA・MX・TR	
YSP小平 東京都小平市小川町1-11-11 TEL.0423-45-4731	MX	株クラブペンティス横浜 神奈川県横浜市東区南2-3-10 TEL.0468-43-6884	RA	YSP伊那 長野県伊那市大字伊那1308-2 TEL.0265-73-8285	RA・MX・TR	石野モーターズ 静岡県浜松市東区島37-1 TEL.054-441-2913	RA・MX	街セファモーター大進 愛知県豊田市中区本郷1-5 TEL.0565-34-0330	RA	オートスポーツプラザ2輪倶楽部 愛知県豊田市中区南町3-23 TEL.0569-22-5521	RA	
YSP三鷹 東京都三鷹市野崎4-3-8 TEL.0422-32-5454	MX	ティンキー湘南 神奈川県鎌倉市南町1-21-15 TEL.0466-43-5790	MX	テクニカルショップQ 東京都三鷹市調子町調子町4555-22 TEL.0266-26-2259	MX	中央モーターズ 静岡県浜松市東区新田309-1 TEL.053-421-3518	RA	トクイオートレーシング 愛知県豊田市中区栄町2丁目38 TEL.0565-21-0511	MX	RACING GARAGE SUPPORT 愛知県豊田市中区南町長882-1 TEL.0562-95-1584	RA	
YSP東小金井 東京都小金井市南町1-7-34 TEL.0422-52-9656	RA・TR	ジェスマーターサイクル 神奈川県横浜市磯子区磯7-5-37 TEL.0466-25-2567	RA	YSP小諸 長野県小諸市町乙300-8 TEL.0267-22-0640	RA・MX	株川島モーターズ 静岡県浜松市東区下1丁目10-8 TEL.053-471-2543	MX	協和自動車株式会社 愛知県豊田市吉原町甲43 TEL.0565-52-6911	MX	YSP一宮中央 愛知県一宮市伊勢町馬場町39-4 TEL.0586-44-2303	MX	

※各ショップの取り扱い区分を、RR(ロードレース)、MX(モトクロス)、TR(トライアル)、の記号でショップ名の右側に表示してあります。

HAVE A NICE RIDE!

ナイスライディングをよろしく。

●YZ250、YZ125、YZ80、YZ80LW(ラージホール)、WR250Zは運輸者の認定を受けていませんので、ナンバープレートを取得することはできません。
●YZ250、YZ125、YZ80、YZ80LW(ラージホール)、WR250Zは道路を走行できません。道路を走行しますが、道路交通法及び道路運送車両法の違反となります。
●私道、社寺の境内、公園、海沿い、堤防上、農道、林道など、いわゆる道路の形態を整えていないところで人や車が自由に出入りできるところに、道路と見なされず、走行場所には十分注意してください。

YAMAHA
ヤマハ発動機株式会社

RSS

Racing
Service
Shop

バランス
均衡の奇跡。

均衡を保つのではない、均衡を操るのだ。



'95 TY250Z ¥850,000

※改良のため、製品の仕様は予期なく変更する場合がありますのでご了承下さい。
●価格は全てメーカー希望小売価格です。メーカー希望小売価格には消費税は含まれていません。

見る・見られる・いい運転。

- バイクは昼間もライト・オン!
- カーブ・交差点では、スローインクダウン!

バイクでひろがるいい仲間

バイクはいつも光ってる

新小モーターズ RR・MX 愛知県津島市今宿町2-14 TEL.0567-25-3894	有YSP長岡 MX 京都府長岡京市中山北ノ町1-12 TEL.0754-03-0389	YSP和歌山 RR・MX・TR 和歌山和歌山市平字1丁目5 TEL.0734-26-0750	YSP徳山 RR・TR 山口県徳山市大字徳山字久米後1412-1 TEL.0834-25-0122	YSP福岡東 MX 福岡県福岡市東区渡辺ノ原1丁目12-24 TEL.092-612-5223	アバンテージュ MX 熊本県熊本市東区筑前7484-75 TEL.096-385-8475
岡本ヤマハ商会 MX 三重県桑名市安土1丁目855-2 TEL.0594-33-2071	有ナカキホンダ MX 高知県高知市八幡町277-1 TEL.0748-37-7111	YSP神戸灘 RR・MX 兵庫県神戸市東灘区太田町3丁目5-12 TEL.078-843-2747	YSP宇都 RR・TR 山口市宇都町南支1丁目3-26 TEL.0836-31-6476	YSP大津 MX 福岡県福岡市中央区島村1丁目4-42 TEL.092-752-1771	YSP蓮台寺 MX 熊本県熊本市蓮台寺町781-1 TEL.096-355-0812
サンビモーターズ RR・MX 三重県桑名市伊勢通3 TEL.0594-22-1616	有高田モーターズ TR 滋賀県大津市東町7-21 TEL.0748-22-0767	YSP西神戸 RR・MX 兵庫県神戸市西区伊川谷南瀬717-2 TEL.078-974-9351	バイク・サン MX 山口県防府市大字御前911-1 TEL.0835-21-8193	YSP博多 RR・MX 福岡県福岡市博多区平道橋2丁目2-76 TEL.092-474-2369	YSP熊本東 MX 熊本県熊本市東区中5丁目15-15 TEL.096-368-1233
YOU SHOPコダマ RR・MX・TR 三重県高市郡高市町西尾西1丁目38-10 TEL.0594-75-5407	有溝口オート商会 MX 滋賀県彦根市池田町13-6 TEL.0749-22-2126	YOU SHOPパートII RR・MX 兵庫県神戸市中央区喜多通2丁目1-24 TEL.078-251-2080	ライダーズボットムラ MX・TR 鳥取県鳥取市北町北2丁目125 TEL.0857-28-5334	B・フィールド MX 福岡県福岡市博多区東区東2丁目1-41 TEL.092-511-4393	YSP延岡 RR 高知県延岡市北町5丁目1-1 TEL.0982-37-5162
モトスベイス RR・MX 三重県鈴鹿市寺寺町1082-1 TEL.0593-98-2896	スポーツショップ豊中 MX 大阪府豊中市東町4丁目3-23 TEL.06-982-3577	イシイ MTC RR 兵庫県西宮市上野町5番地2-45 TEL.0798-52-2094	有クワ・田中オート MX 鳥取県安来市北町293-4 TEL.0854-22-1107	モーターランドフジモ RR 福岡県福岡市博多区東区東2丁目7-27 TEL.092-411-0784	YSP平治台 RR・MX・TR 高知県平治台町船越2丁目168-1 TEL.0985-22-8188
モトガレージウ RR・MX 三重県鈴鹿市佐野5丁目14-25 TEL.0593-79-4488	スポーツショップ RR・MX 大阪府東淀川区東1丁目10-1 TEL.06-943-6615	YSP甲子園 RR・MX 兵庫県西宮市大橋町2-5 TEL.0798-22-1102	有クワ・田中オート MX 鳥取県安来市北町293-4 TEL.0854-22-1107	モーターランドフジモ RR 福岡県福岡市博多区東区東2丁目7-27 TEL.092-411-0784	YSP延岡 RR 高知県延岡市北町5丁目1-1 TEL.0982-37-5162
三谷モーターズスポーツカ TR 三重県鈴鹿市津島町2147-71 TEL.0593-70-2689	YOU SHOP御殿山 RR 大阪府枚方市磯島町3番5 TEL.0720-40-1517	MOTO SHOP ルパン RR・MX・TR 兵庫県姫路市北町1丁目16-11 TEL.06-498-1201	有クワ・田中オート MX 鳥取県安来市北町293-4 TEL.0854-22-1107	荻尾商店 MX 福岡県筑紫野市上杉通273-1 TEL.092-532-9082	バイクショップねよし MX 宮崎県宮崎市北2丁目19-3 TEL.0985-54-0463
ササキスポーツクラブ RR 三重県鈴鹿市津島町3丁目9-35 TEL.0593-86-5600	YSP大阪北 RR・MX 大阪府大阪市東淀川区2-8 TEL.0720-24-6560	株伊丹 カワサキ MX 兵庫県伊丹市南宮西町5-1 TEL.0727-77-0818	YSP五色台 MX 香川県高松市香西町450-1 TEL.0878-81-5000	グランオートヨシムラ RR 福岡県香椎市香椎西5丁目150-1 TEL.092-581-2195	ヨコヤマモーターズ MX 宮崎県宮崎市宇治町799 TEL.0986-37-0129
de' LIGHT RR 三重県鈴鹿市佐野町30-20 TEL.0593-70-3528	YSP茨木 MX 大阪府茨木市西野町13-19 TEL.0726-25-8989	オートスポーツ加古川 TR 兵庫県加古川市神野町石守1440 TEL.0794-26-5050	大林モーターズ MX 香川県綾歌郡綾歌町下法華町638-2 TEL.0877-98-2067	アウトオブ・ファクトリー MX・TR 福岡県香椎市香椎西4丁目11-11 TEL.092-585-1121	YSP鹿児島 MX 鹿児島県鹿児島市上宮田2丁目5 TEL.0992-51-6006
YSP西日わんわん RR・MX・TR 三重県四日市市ときわ2丁目1138-1 TEL.0593-53-7371	RSタイガ RR・MX・TR 大阪府大阪市東淀川区7丁目1-25 TEL.0720-74-5315	有クワ・田中オート MX 鳥取県安来市北町293-4 TEL.0854-22-1107	有クワ・田中オート MX 鳥取県安来市北町293-4 TEL.0854-22-1107	ライダースショップWIN RR 福岡県香椎市香椎西1丁目183-1 TEL.092-581-4121	YSP国分 MX 鹿児島県国分市中央5丁目7-2 TEL.0995-45-5678
三谷モーターズスポーツ TR 三重県鈴鹿市津島町2147-71 TEL.0593-70-2689	YSP大阪東 RR・MX 大阪府大阪市東淀川区1丁目1-32 TEL.0725-93-7796	有クワ・田中オート MX 鳥取県安来市北町293-4 TEL.0854-22-1107	有クワ・田中オート MX 鳥取県安来市北町293-4 TEL.0854-22-1107	オートハウスアツ RR・MX 長崎県長崎市中央町21-16 TEL.0958-48-5290	バイクショップHÖZÖZI TR 長崎県西彼杵郡野母海浜町1714-1 TEL.0958-84-1805
B2マシナ MX 三重県久米郡神前町50 TEL.0592-55-2147	YOU SHOPエル MX 大阪府東淀川区東3丁目8-40 TEL.0722-74-3830	有クワ・田中オート MX 鳥取県安来市北町293-4 TEL.0854-22-1107	有クワ・田中オート MX 鳥取県安来市北町293-4 TEL.0854-22-1107	オートハウスアツ RR・MX 長崎県長崎市中央町21-16 TEL.0958-48-5290	バイクショップHÖZÖZI TR 長崎県西彼杵郡野母海浜町1714-1 TEL.0958-84-1805
バイクショップハヤシ RR 三重県津島郡二見町山田屋17-1 TEL.05964-2-1683	YOU SHOPクボ MX 大阪府堺市日置区長原寺町44-1 TEL.0722-87-5318	有クワ・田中オート MX 鳥取県安来市北町293-4 TEL.0854-22-1107	有クワ・田中オート MX 鳥取県安来市北町293-4 TEL.0854-22-1107	オートハウスアツ RR・MX 長崎県長崎市中央町21-16 TEL.0958-48-5290	バイクショップHÖZÖZI TR 長崎県西彼杵郡野母海浜町1714-1 TEL.0958-84-1805
株ナグ エス・イー・ティ RR 岐阜県各務原市大野町3-241 TEL.0583-83-7998	YOU SHOP R's products MX 大阪府高槻市神代橋4569-1 TEL.0724-94-0247	有クワ・田中オート MX 鳥取県安来市北町293-4 TEL.0854-22-1107	有クワ・田中オート MX 鳥取県安来市北町293-4 TEL.0854-22-1107	オートハウスアツ RR・MX 長崎県長崎市中央町21-16 TEL.0958-48-5290	バイクショップHÖZÖZI TR 長崎県西彼杵郡野母海浜町1714-1 TEL.0958-84-1805
株カーレーシングクラブ MX 岐阜県高山市本郷町415 TEL.0577-34-6333	YOU SHOPミタニ RR 大阪府大阪市東淀川区下新庄5丁目21-4 TEL.06-322-6323	有クワ・田中オート MX 鳥取県安来市北町293-4 TEL.0854-22-1107	有クワ・田中オート MX 鳥取県安来市北町293-4 TEL.0854-22-1107	オートハウスアツ RR・MX 長崎県長崎市中央町21-16 TEL.0958-48-5290	バイクショップHÖZÖZI TR 長崎県西彼杵郡野母海浜町1714-1 TEL.0958-84-1805
モトハウスボジション MX 京都府亀岡市中央町ササキの道1-34 TEL.0771-25-1600	YOU SHOPイタヤ MX 大阪府大阪市東淀川区中津中1丁目6-2 TEL.06-961-2561	有クワ・田中オート MX 鳥取県安来市北町293-4 TEL.0854-22-1107	有クワ・田中オート MX 鳥取県安来市北町293-4 TEL.0854-22-1107	オートハウスアツ RR・MX 長崎県長崎市中央町21-16 TEL.0958-48-5290	バイクショップHÖZÖZI TR 長崎県西彼杵郡野母海浜町1714-1 TEL.0958-84-1805
YSP嵯峨野 RR 京都府京都市右京区嵯峨野区沢原野町13-1 TEL.075-682-1317	バイクブラザ光 MX 大阪府大阪市東淀川区小島町5丁目5-9 TEL.0729-96-1217	有クワ・田中オート MX 鳥取県安来市北町293-4 TEL.0854-22-1107	有クワ・田中オート MX 鳥取県安来市北町293-4 TEL.0854-22-1107	オートハウスアツ RR・MX 長崎県長崎市中央町21-16 TEL.0958-48-5290	バイクショップHÖZÖZI TR 長崎県西彼杵郡野母海浜町1714-1 TEL.0958-84-1805
有トムス TR 京都府京都市北区賀野下高田町1-3 TEL.075-491-5552	クイズモーターワークス RR・MX 奈良県奈良市東家荘町25-5 TEL.0742-24-4411	有クワ・田中オート MX 鳥取県安来市北町293-4 TEL.0854-22-1107	有クワ・田中オート MX 鳥取県安来市北町293-4 TEL.0854-22-1107	オートハウスアツ RR・MX 長崎県長崎市中央町21-16 TEL.0958-48-5290	バイクショップHÖZÖZI TR 長崎県西彼杵郡野母海浜町1714-1 TEL.0958-84-1805
軟カモーターサイクル RR・MX 京都府京都市伏見区下島町195 TEL.075-622-0225	YSP飛鳥 MX 奈良県橿原市本郷2-208-13 TEL.07444-3-0201	有クワ・田中オート MX 鳥取県安来市北町293-4 TEL.0854-22-1107	有クワ・田中オート MX 鳥取県安来市北町293-4 TEL.0854-22-1107	オートハウスアツ RR・MX 長崎県長崎市中央町21-16 TEL.0958-48-5290	バイクショップHÖZÖZI TR 長崎県西彼杵郡野母海浜町1714-1 TEL.0958-84-1805
まつもとモーターズ TR 京都府京都市伏見区納涼ノ下24-6 TEL.075-631-7144	オートショップ イナムラ MX 奈良県大和郡山田町小瀬町110 TEL.07435-6-5749	有クワ・田中オート MX 鳥取県安来市北町293-4 TEL.0854-22-1107	有クワ・田中オート MX 鳥取県安来市北町293-4 TEL.0854-22-1107	オートハウスアツ RR・MX 長崎県長崎市中央町21-16 TEL.0958-48-5290	バイクショップHÖZÖZI TR 長崎県西彼杵郡野母海浜町1714-1 TEL.0958-84-1805
乳レオ タニモト西院 MX 京都府京都市北区西院西今中町13-2 TEL.075-314-0051	YOU SHOP TAKAI MX 奈良県高市郡下西町1丁目8-5 TEL.07457-9-0066	有クワ・田中オート MX 鳥取県安来市北町293-4 TEL.0854-22-1107	有クワ・田中オート MX 鳥取県安来市北町293-4 TEL.0854-22-1107	オートハウスアツ RR・MX 長崎県長崎市中央町21-16 TEL.0958-48-5290	バイクショップHÖZÖZI TR 長崎県西彼杵郡野母海浜町1714-1 TEL.0958-84-1805
オートショップ小西 MX 京都府宇治市本郷2-95-2 TEL.0774-22-2519	YOU SHOPMOTOI MX・TR 和歌山県新宮市東3丁目4-9 TEL.0736-34-1035	有クワ・田中オート MX 鳥取県安来市北町293-4 TEL.0854-22-1107	有クワ・田中オート MX 鳥取県安来市北町293-4 TEL.0854-22-1107	オートハウスアツ RR・MX 長崎県長崎市中央町21-16 TEL.0958-48-5290	バイクショップHÖZÖZI TR 長崎県西彼杵郡野母海浜町1714-1 TEL.0958-84-1805
イクハス ファースト MX 京都府宇治市平道橋ノ原104-1 TEL.0774-24-5810	モトスポーツ マルタ RR 和歌山県新宮市東3丁目3-11 TEL.0736-34-1873	有クワ・田中オート MX 鳥取県安来市北町293-4 TEL.0854-22-1107	有クワ・田中オート MX 鳥取県安来市北町293-4 TEL.0854-22-1107	オートハウスアツ RR・MX 長崎県長崎市中央町21-16 TEL.0958-48-5290	バイクショップHÖZÖZI TR 長崎県西彼杵郡野母海浜町1714-1 TEL.0958-84-1805

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

中国地区

*各ショップの取り扱い区分を、RR(ロードレース)、MX(モトクロス)、TR(トライアル)、の記号でショップ名の右側に表示してあります。

HAVE A NICE RIDE!

ナイスライディングをよろしく。

●TY250Zは運輸省の認定を受けていませんので、ナンバープレートを取得することはできません。●TY250Zは道路を走行できません。道路を走行しますと、道路交通法及び道路交通法違反の違反となります。●私道、社内の境内、公園、海辺、堤防上、農道、林道など、いわゆる道路の形態を整えていないところでも人や車が自由に出入りできるところは、道路と見なされます。走行場所には十分注意してください。



ヤマハ発動機株式会社

Code Name

あいつの気配。

静寂。しかし、空気は察していた。あいつの鼓動を、誰にも真似できない、勇猛な肢体を。
震撼。しかし、地上は平静であった。あいつの包容力に、憎いほどまで熟成された、走りの悦楽に。
突然、いや必然的に、遙か彼方から、いくつものロードを辿って、その姿を現した、あいつ。
それは、研ぎ澄まされた鉱石のように、眩しいくらい輝いていた。それは、弾丸のように、加速力に満ち溢れていた。
あいつの名は、Type S。筆爽と、心を、辺りを貫く、威圧感がある。
あいつには、ススキビックマルチの系譜と、レーシングヒストリーを語る資質がある。

GSX400 IMPULSE TYPE S



●エンジン：水冷・4サイクル・4気筒・DOHC・4バルブ・399cc ●最高出力：53ps/11,000rpm ●最大トルク：3.8kg-m/5,500rpm ●乾燥重量：176kg ●ボディカラー：パールメタルホワイト/パールスズキミチアムブルー ●メーカー希望小売価格 ¥579,000（北海道）

カタログ希望の方は、機種名、雑誌名を明記し、切手190円を同封のうえ、〒432-91 浜松市高塚町300 スズキ株式会社 スズキインフォメーションセンターへインバースType S係へ。

見る・見られる・いい運転。

- バイクは昼間もライト・オン！
- カーブ・交差点では、スロー・インクダウン！

バイクでひろがるいい仲間

バイクは いつも 光ってる

me, Type S



一部地域を除く ●価格には保険料・税金(消費税を含む)・登録などに伴う諸費用は含まれていません。消費税額は別途計算の上、申し受けます。●価格は参考価格です。詳しくは販売店にお問い合わせ下さい。●速度警告灯は標準もタイプ設定しております。(10,000円高)

もっと個性的にもっとあなたらしく
Personal Best  **SUZUKI**

ロードレースをより身近に…。確かな技術と
熱いハートであなたをサポートします。

Kawasaki Road Race Racing ARK

MFJレース全日本クラスで戦う技術と経験が、
確かなレースノウハウを築きました。

上級ライダーから初心者まで、
レースに意欲を燃やす仲間が集まります。

本格的なレース活動をめざす方、
初めて参戦したいとお考えの方——、
熱い情熱があれば、きっと充実のバイクライフを
満喫できるはずです。

私たちはKawasaki RR Racing ARK /
ロードレースをより身近にお届けして、
モータースポーツ活動のお手伝いと発展をめざします。



ノーマル車で楽しめるネイキッドレースなら、ZRXとZEPHYRがベスト!
またSPクラスもZXR400R/750Rなら最高の性能を発揮します。



ZRX



ZEPHYR



ZXR400R



見る・見られる・いい運転。

- バイクは昼間もライトオン!
- カーブ・交差点では、スローイングダウン!

バイクでひろがるいい仲間

バイクはいつも光ってる



“ARK”はカワサキの
信頼ある正規取扱店です。

Kawasaki

Let the good times roll.



■Kawasaki レーシングキット



'91~'95 ZXR400R
SPキットセット

J9998-0230

メーカー希望小売価格 ¥188,000

※メーカー希望小売価格は参考価格です。詳しくはARKにおたずねください。※消費税額は別途計算のうえ申し受けます。



'91~'95 ZXR400R
エアボックスセット

J9998-0229

メーカー希望小売価格 ¥85,000



'89~'95 ZEPHYR
スポーツキットセット

J9998-0217

メーカー希望小売価格 ¥39,800

ZXR750Rのレース
部品に関しましては、
お近くのARKまたは
下記までお問い合わせ
ください。

株ケイ スポーツシステム
スポーツ推進部

☎078(922)5136まで

本格的なレース活動をめざす方、これから参戦したいとお考えの方、
お気軽にお問い合わせください。

Kawasaki RR Racing ARK

レースライセンス、チューンアップ、キットパーツ、
トランスポーター……、レースに係わるさまざまな
ご質問、ご要望もお気軽に。

〈栃木県・宇都宮市〉 モトショップ タカハシ

〈群馬県・佐波郡〉 OMEGA POINT

〈埼玉県・東松山市〉 イトウ

〈東京都・町田市〉 モーターサイクル ドクター 須田

〈石川県・金沢市〉 城北カワサキ

〈京都市・左京区〉 KFライムグリーン

〈京都市・山科区〉 E-shop 山科カワサキ

〈京都市・向日市〉 志賀サイクル

〈大阪府・貝塚市〉 月木レーシング

☎0266(52)4166

☎0270(64)2177

☎0493(23)0113

☎0427(96)4121

☎0762(58)4060

☎075(712)7112

☎075(501)1516

☎075(921)4531

☎0724(47)1150

〈大阪府・堺市〉

〈大阪府・松原市〉

〈神戸市・兵庫区〉

〈兵庫県・姫路市〉

〈岡山県・倉敷市〉

〈福岡県・春日市〉

〈福岡県・久留米市〉

〈大分県・大分市〉

日本ビート工業

E-shop Mr.hiro

プロショップKiyo

姫路カワサキ

オートショップ カメイ

E-shop ODA

能塚モータース

E-shop ヨネムラ

☎0722(57)7600

☎0723(36)1550

☎078(577)3033

☎0792(81)2685

☎0864(75)1144

☎092(573)0503

☎0942(26)6161

☎0975(45)1845

KAZEに入ませんか? **KAZE**

「Kawasaki Amusing Zone for Everybody」——KAZEはどなたにも、思う存分スポーツやアウトドアライフをお楽しみいただけるメンバーズクラブです。ぜひ、あなたもご入会ください。

ご入会のお申し込みはARK、または
KAZEフリーダイヤルまで、お気軽に。 ☎0120-100819

Kawasakiに関するご意見、ご要望はお気軽に……
お客様相談室







東京: ☎03(3595)0563 明石: ☎078(925)2009

カタログご希望の方は機種名と住所、氏名、生年月日、職業をご記入になり、
送料190円分の切手を同封して、下記までお申し込みください。
〒673 明石市川崎町1-1 株 カワサキモータース ジャパン (カタログ係)まで。

Kawasaki
株式会社 カワサキモータース ジャパン

SIGNAL FLAGS

公式シグナル(シグナル旗およびシグナル)
競技中、競技役員が次のシグナル旗(フラッグ)を示した場合、各ライダーはこの旗に従わなければならない。

旗の種類	旗の意味		旗の種類	旗の意味	
	ロードレース	モトクロス		ロードレース	モトクロス
 国旗	レーススタート (通常線シグナルで示す)	レーススタート (スターティングマシン) で行なう場合もある。	 赤旗	レースまたはプラクティスが中断され、すべてのライダーは最大限の慎重さと注意を持ってそれぞれのピットに戻る。サーキットを閉鎖する場合にも用いる。	全ライダー停止
 黄旗	静止 危険予告・ 追い越し禁止	危険予告・減速	 黒旗	白ナンバーを付けた黒ボードを併用する。 示されたナンバーを付けているライダーは次のラップでピット停止。	ナンバーを示したボードと併用。指示されたライダーは走行中止。
 白旗	振動 コース上(ランオフエリア含む)に危険がある。 減速・停止準備・追越禁止	危険予告・徐行・停止準備・安全確認・追い越し禁止	 青旗	静止 追越しシグナル。1台またはそれ以上のスピードの速いマシンが追い越そうとしている。	
 白旗	静止 1つ先のポスト付近に徐行中の介入車両あり	(スノーモビル) コース上にサービス車両(救急車等)あり	 青旗	振動 追い越される寸前	警告、ラップされようとしている。
 赤ストライプ付黄旗	コース表面が滑りやすい状態		 チェッカー旗	レース終了	レース終了
 緑旗	先に出した合図の解除 (コースクリアー)	先に出した合図の解除	レースナンバープレート ライセンス識別カラー		

ロードレース

タテ235×ヨコ285mm

 GP125	 GP250	 SS
 SP	 SB	 SB耐久

注：タテ×ヨコの数字は、ナンバープレートの寸法
数字の書体は、FIMの指定に基づくMFJの正規のものである。

モトクロス

●タテ235×ヨコ285mm

 ジュニア	 国内B級	 国内A級
 国際A級(125cc)	 国際A級(250cc)	 国際B級

トライアル

●タテ150以上×ヨコ175mm以上

 ジュニア	 国内B級	 国内A級
 T.NIPPON 国際B級	 T.NIPPON 国際A級	

スノーモビル

 SJクラス	 S4クラス	 S3クラス
 S2クラス	 S1クラス	

ヘルメットのMFJ公認マーク

ロードレース特選 ロードレース用、モトクロス用 トライアル用、ツーリング用

*MFJ公認ヘルメットでMFJ公認マークの貼付されていないヘルメットは、特別検査料(1000円)を支払い、特別検査を受けなければならない。

レーシングスーツのMFJ公認マーク

*使用するレーシングスーツには、MFJ公認マークが付いていなければならない。



MFJ 国内競技規則書 1995年版

CONTENTS

信号旗/レースナンバープレート・ライセンス識別カラー	22
MFJ国内競技規則	24

ROAD RACE

細則1 ロードレース競技細則	47
細則2 '95全日本選手権大会特別規則	62

MOTOCROSS

細則3 モトクロス競技細則	79
細則4 '95全日本選手権大会特別規則	87

TRIAL

細則5 トライアル競技細則	103
細則6 '95全日本選手権大会特別規則	112

SNOWMOBILE

細則7 スノーモビル競技細則	116
細則8 '95全日本選手権大会特別規則	124

TECHNICAL RULES

MFJ技術規則	137
基本仕様<ロードレース>	142
基本仕様<モトクロス>	150
基本仕様<トライアル>	155
SPクラスの仕様	160
SSクラスの仕様	165
耐久レースの追加仕様	170
国内GPクラスの仕様	172
国内モトクロスの仕様	176
国内トライアルの仕様	180
FIM技術仕様	182
スノーモビルの仕様	189
ドラッグレースの仕様	192
ロードレースジュニアクラスの仕様	199
ミニバイクの仕様	203

SUPPLEMENT

ドラッグレース競技細則	207
細則9 MFJライセンス昇格・降格に関する規則	217
MFJ共済会制度	223
MFJ公認車両・部品・用品	224
全国公認サーキット	239
歴代チャンピオンリスト	242



国内競技規則



ロードレース



モトクロス



トライアル



スノーモビル



技術規則



付録

1995年1月1日発行
ライディング臨時増刊・通巻307号

財団法人

日本モーターサイクルスポーツ協会

〒103 東京都中央区東日本橋2-16-7 第2オカノビル7F ☎03(3865)8441

■発行所：財団法人 日本モーターサイクルスポーツ協会

■編集：亜玄騎ライディング編集部 ■印刷：株三秀堂

この国内競技規則書は、日本小型自動車振興会からオートレースの公益資金の補助を受けて作成されたものです。

1995

MFJ国内競技規則

▼第1章 総 則

- 1. モーターサイクル・スポーツの国内的統括25
- 2. 公認競技会、承認競技会の格式および種目25
- 3. 大会特別規則ならびに公式通知26

▼第2章 ライセンス

- 4. 競技ライセンスとその種目27
- 5. 競技ライセンスの取得資格28
- 6. 競技ライセンスの有効期間30
- 7. 競技ライセンスの効力の失効等30
- 8. 競技ライセンス資格の昇格および降格30

▼第3章 競技会

- 9. 競技参加者31
- 10. 競技参加者の遵守事項31
- 11. ライダーの装備32
- 12. 出場車両33

- 13. MFJ公認車両および公認部品・用品33
- 14. 燃料およびオイル33
- 15. 競技出場の申し込み33
- 16. 出場料およびMFJ共済会掛金34
- 17. ライダーおよび車両の変更34
- 18. 車両検査34
- 19. 競 技35
- 20. 優勝者等の決定35
- 21. 入 賞35
- 22. 入賞者の車両検査35
- 23. 競技結果および記録の公表36
- 24. 公式得点（ポイント）36
- 25. 競技会の延期および中止等36
- 26. 損害に対する責任37
- 27. 抗 議37
- 28. 違反行為に対する罰則38
- 29. 大会審査委員会の権限38

本国内競技規則は、国際モーターサイクリスト連盟（Fédération Internationale Motocycliste：略称FIM）の国際スポーツ憲章、FIM競技規則に基づいて作成され、日本国内のモーターサイクル・スポーツの国内規則の一部として発行する。

本国内競技規則は、総則と細則に大別され、競技種目によって内容に差異のある事項は細則に示される。

第1章

総則



1 モーターサイクルスポーツの国内的統括

- 1) この規則は、わが国のモーターサイクル・スポーツの国内管理並びにこれの普及振興、競技の安全、公正および秩序を保持することを目的とする。
- 2) 財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会（以下「MFJ」という）は、国際モーターサイクリスト連盟（Fédération Internationale Motocycliste以下「FIM」という）の日本における代表機関として、国際スポーツ憲章、FIM競技規則に準拠してこの規則を制定する。
- 3) モーターサイクル・スポーツに参画するすべての者は、スポーツマンとしての誇りを堅持し、本国内競技規則ならびに特別規則等を遵守する等、善良なる市民でなければならない。
- 4) この規則は、MFJの主催またはMFJの公認する競技会に適用され、各競技種目の細部については、別に定めるそれぞれの細則による。また公認競技会以外の競技会（以下「承認競技会」という）についても適用される。
- 5) 個々の競技会における判定および競技規約全般の解釈は、本規則に基づいて当該大会審査委員会が行い、これを最終的なものとする。

また競技会において疑義が生じた場合、本規則に規定されていない事項はFIM国際スポーツ憲章、FIM競技規則およびその趣旨により判定する。

2 公認競技会、承認競技会の格式および種目

1) 公認競技会の格式

(1) 国内格式競技会

国内格式競技会は、MFJライセンス所持者のみが参加することができ、この競技会運営にはMFJ国内競技規則が適用される。

(2) 国際格式競技会

国際格式競技会は、各国モーターサイクル協会（以下「FMN」という）が発行するFIMインターナショナルライセンスを所持する複数のFMNのライダーが参加することができ、この競技会はFIM競技規則が適用される。

2) 格式の内訳およびその優先順位は、下記のとおりとする。

公 認 格 式		技 術 会	
優先順位	国 際 格 式	優先順位	国 内 格 式
1	世界選手権競技会 (FIMカップ含む)	6	全日本選手権
2	国際選手権競技会 (パンパシフィック選手権含む)	7	特別競技会
3	日本(MFJ)グランプリ	8	エリア選手権
4	全日本選手権(インターナショナル)	9	地方選手権競技会
5	国際競技会	10	県選手権競技会
		11	その他公認競技会
		12	承認競技会

3) 公認競技会の種目

公認競技会の種目は次のとおりとする。

- | | |
|------------|-------------------------|
| (1) ロードレース | (5) ドラッグレース |
| (2) モトクロス | (6) エンデューロ |
| (3) トライアル | (7) その他MFJスポーツ委員会で認める競技 |
| (4) スノーモビル | |

4) 承認競技会の種目は、競技会のフォーマットが銘柄競技会およびそれ以外の競技会で次のとおりとする。

- | | |
|------------|-------------------------|
| (1) ロードレース | (5) エンデューロ |
| (2) モトクロス | (6) ミニバイクレース |
| (3) トライアル | (7) その他MFJスポーツ委員会で認める競技 |
| (4) スノーモビル | |

3 大会特別規則ならびに公式通知

- 1) 競技会は、本規則および各種目別細則に基づいて行われるほか、競技会の運営、競技の細部および指示は、大会ごとの特別規則、公示または公式通知によって行われる。
- 2) 大会特別規則および公式通知は、競技会主催者（以下「主催者」という）が制定または発行する。
 - (1) 大会特別規則には次の各項が示される。
 - ① 競技会の名称・フォーマット
 - ② 競技会の組織
 - ③ 主催者の名称、所在地および連絡先
 - ④ 開催日時・場所
 - ⑤ 競技の種目および内容
 - ⑥ 参加資格
 - ⑦ 出場申し込み受け場所
 - ⑧ 出場申し込み期間
 - ⑨ 出場料とMFJ共済会掛金
 - ⑩ 出走者の定員
 - ⑪ 賞およびその詳細
 - ⑫ その他
- 3) 公式通知には大会特別規則に規定し得なかった競技会運営の細部にわたる規則および大会特別規則発表後に生じた問題を処理するため、主催者は参加者に対し、公式通知をもって指示することができる。
 ただし、その内容は大会特別規則およびMFJ国内競技規則に反するものであってはならない。

第2章

ライセンス



国内競技規則

4 競技ライセンスとその種目

1) ライセンスには、競技ライセンス、Lライセンスおよびピットクルーライセンスとがあり、競技ライセンスは公認競技会に、Lライセンスは承認競技会に参加するために必要な証書である。

また、ライセンスを受けた者は、自動的にその住所地を管轄するMFJ公認都・道・府・県協会（以下「県協会」という）に所属する。

2) 競技ライセンスの種目と競技会の参加区分は、次のとおりとする。

●競技ライセンス別の種目

ロードレース		モトクロス/トライアル		スノーモビル	
クラス	国際	クラス	国際A級	クラス	A級
	国内		国際B級		B級
	フレッシュマン		国内A級		ジュニア
	ジュニア		国内B級		
	ジュニア				

ドラッグレース	
クラス	A級
	B級

●競技ライセンス別の参加できる競技会

取得している ライセンス	競技ライセンス						
	ロードレース ライセンス	モトクロス ライセンス	トライアル ライセンス	スノーモビル ライセンス	ドラッグレース ライセンス	エンデューロ ライセンス	Lライセンス
公認競技会	ロードレース	○	-	-	-	-	-
	モトクロス	-	○	-	-	-	-
	トライアル	-	-	○	-	-	-
	スノーモビル	-	-	-	○	-	-
	ドラッグレース	-	-	-	-	○	-
	エンデューロ	-	-	-	-	-	○
承認競技会	ロードレース	○	-	-	-	-	-
	モトクロス	○	○	○	○	○	○
	トライアル	○	○	○	○	○	○
	エンデューロ	○	○	○	○	○	○
	ミニバイク	○	○	○	○	○	○
	スノーモビル	○	○	○	○	○	○
その他 MFJ スポーツ委員会 の認める競技会	○	○	○	○	○	○	

*運転免許を受けているもの限り、ピットクルーライセンスでライダーとして承認競技会に参加できる（Lライセンスと同じ）

'95ロードレースライセンス区分

'95年度の区分と構成		参加可能格式
国際ライセンス (インターナショナル)	①'94の国際A級 ②'94の国内A級で国際ライセンスを希望するもの。 ③'94の国内B級で昇格基準を得た者で国際ライセンスを希望するもの。	世界選手権 (参加資格は別途) 国際選手権 (参加資格は別途) 国内で行われるインターナショナル競技会 全日本選手権 (参加資格は別途) エリア選手権 その他承認・公認競技会
国内ライセンス (ナショナル)	①'94の国内A級で国内ライセンスを希望するもの。 ②'94の国内B級で昇格基準を得た者で国内ライセンスを希望するもの。 ③'94の国内B級で昇格基準に達しなかったもの。	エリア選手権/地方選手権 地方大会/その他承認・公認競技会
フレッシュマン	'94の国内C級	地方選手権/地方大会
ジュニア	ジュニア	その他承認・公認競技会

3) FIMライセンス (MFJを経由して取得することができる)

国内・国外における世界選手権競技会、国際競技会に参加することのできるライセンスの区分は、次のとおりである。

種目	競技ライセンス区分	取得資格
ロードレース	① 大会のみ有効なライセンス 国内における世界選手権競技会に使用できる	当該種目の国際B級以上のライセンス所有者 (ロードレースは国際)
モトクロス トライアル	② 年間ライセンス 国内・国外で行われる世界選手権、国際競技会に使用できる	当該種目の国際A級ライセンス所有者 (ロードレースは国際)

5 競技ライセンスの取得資格

競技ライセンス取得申請を行う者は、次の要件をみたしていなければならない。

- 1) 日本にスポーツ国籍を有すること。
- 2) 日本にスポーツ国籍を有しない者は、日本国内に3ヶ月以上継続的に居住した外国国籍の者が、その期間を公的に証明できる書類を提出でき、かつ本人が所属する国のFMNの承諾書を受けていること。ただし、本人が所属する国のFMNからFIMインターナショナルライセンスの発給を受けており、かつFMNからの移籍許可を得て、MFJスポーツ委員会が認めた場合は、3ヶ月の居住証明は不要とする。

当該年度にMFJから他国協会 (FMN) に移籍した者は、当該年度内はMFJライセンスの再取得はできない。

- 3) 過去6ヶ月以内に重大な刑罰上の犯罪により処罰された者でないこと。
- 4) 種目による条件

(1) モトクロス、トライアル、スノーモビル、エンデューロ、Lライセンス

- ① 運転免許 (小型特殊免許を除く・以下同じ) を受けていること。
- ② 運転免許を受けていない9歳以上の者は競技ライセンス講習会の修了証 (発行後6ヶ月以内のものに限る・以下同じ) を受けていること。
- ③ 運転免許を受けることのできる身体的要件を備えていること。

(2) ロードレース

- ① 運転免許 (原付以上) を受けているもの。

a 国内ライセンス

下記いずれかの要件を満たしていること。

ア MFJの公認するロードレース国内ライセンス講習会の修了証を受けていること。

有効期間：受講日より6ヶ月



- イ MFJ国内公認以上のサーキットにおける3時間以上の走行証明書を受けていること（走行券やカードは不可）。
- 準国内公認サーキットにおける走行の場合は上記に加えて当該サーキットと所属ブロック支部の推薦を必要とする。
- 有効期間：発行日より1年間
- ウ フレッシュマンライセンスにて、公認・承認ロードレース大会に2回以上出走の実績があること。
- 準国内公認サーキットにおけるレースの場合は上記に加えて当該サーキットと所属ブロック支部の推薦を必要とする。
- 有効期間：前々年度（'93年1月1日以降）の大会より。
- エ フレッシュマンライセンスにて、MFJ国内公認サーキット以上の施設で開催された公認・承認ロードレース大会にて下記の成績を得たもの。
- 準国内公認サーキットにおけるレースの場合は下記に加えて当該サーキットと所属ブロック支部の推薦を必要とする。
- ・予選出走台数が20台以上のレースで10位以内に入賞。
 - ・予選出走台数が10台以上のレースで6位以内に入賞。
- 有効期間：前々年度（'93年1月1日以降）の大会より。
- ⑥ フレッシュマンライセンス
- 下記いずれかの要件を満たしていること。
- ア MFJ国内公認以上の格式のサーキットにてサーキットライセンス講習会の修了証を受けていること。
- イ MFJ準国内公認サーキットにてサーキットライセンス講習会の修了証を受けたものは上記に加えて当該サーキットと所属ブロック支部の推薦を必要とする。
- ウ MFJの公認するフレッシュマンライセンス講習会を受講し修了証を得たもの。
- ② 運転免許証を受けていない者
- ① フレッシュマンライセンス
- 満16歳以上で運転免許証を有しないものはMFJの公認するロードレースジュニアライセンス講習会を受講し修了証を受けていること。
- ② ジュニアライセンス
- 満12歳以上16歳未満の者はMFJの公認するロードレースジュニアライセンス講習会を受講し修了証を受けていること。
- (3) ドラッグレース
- 運転免許を受けており、下記要件を満たしていること。
- ドラッグレース講習会を受講し修了証を受けていること。
- (4) ビットクルー
- 16歳以上であること。
- ※本規則でいう「スポーツ国籍」とは競技参加者が最後にライセンスを交付されたFIM加盟の各国モーターサイクル協会「FMN」の国籍とする。
- ※ライセンス取得後の昇格については別に定めるMFJライセンス昇格・降格に関する規則による。（217頁参照）

6 競技ライセンスの有効期間

1. MFJの発行するライセンスの有効期間は、交付された日から当該ライセンスに表示された年の12月31日までとする。
2. MFJライセンスは未更新期間がある場合、ライセンス区分が降格したり、再度走行証明を取得する等の条件が付される場合がある。詳細については別に定めるMFJライセンス昇格・降格に関する規則による。(217頁参照)

7 競技ライセンスの効力の失効等

- 1) 次の者のライセンスの効力は失効し、または停止される。
 - (1) 日本のスポーツ国籍を失った者。
 - (2) 運転免許の効力を失った者、または停止されている者。
 - (3) 氏名・年齢等を偽り、不正にライセンスを受けた者。
 - (4) MFJの認めない競技会に出場した者。
 - (5) 前条の有効期限を経過し、継続申請をしなかった者。
 - (6) MFJスポーツ委員会の裁定により、停止処分を受けた者（スポーツ委員会の定める期間）。
 - (7) 海外での競技会への参加に関しては、事前にMFJに報告し、許可を得なければならない。
(相手国協会に対しMFJより出場許可を文書で発行する)

8 競技ライセンス資格の昇格および降格

- 1) 競技ライセンスの昇格および降格については、別に定めるMFJライセンス昇格・降格に関する規則による。(217頁参照)



9 競技参加者

1) MFJの公認または承認する競技会に参加することのできる者は、次のとおりとする。

(1) ライダー

- ① 当該競技に必要なMFJ競技ライセンスを受け、参加申請した者。(効力の停止中の者を除く)。
- ② 当該競技の参加に必要な諸手続きを行なっているもの。
- ③ 満20歳未満の者は、親権者の承諾書を提出したもの。
- ④ 負傷しているライダーは、主催者の指定する医師の競技参加の承諾を得ているもの。

(2) ピットクルー

- ① 当該競技に必要なMFJピットクルーライセンスを受けて参加申請をした者。
- ② 当該競技の参加に必要な諸手続きを行なっているもの。

(3) エントラント

ここで規定するエントラントとは下記の者で競技参加申請を行なった団体または個人を言う。

- ① MFJ公認クラブまたはMFJライセンス取得者
- ② MFJメーカーライセンスを所有している車両メーカー
- ③ MFJ賛助会員ライセンスを所有しているコンストラクター、部品関連メーカー

※ エントラント資格を有し、エントリー用紙により参加申請をすることによりMFJ国内競技規則に定められている抗議者の資格が得られる。

2) 主催者および競技役員は、競技会当日随時ライセンスの提示を求めることにより、ライダーおよびピットクルーの資格要件を確かめることができ、もし本規則に違反している者に対しては、所定の罰則が適用される。

10 競技参加者の遵守事項

1) 競技参加者は、次の事項を守らなければならない。

- (1) 競技会中は、MFJ国内競技規則に従って行動し、参加者は、すべての行動に対して責任を持たなければならない。
- (2) 国内競技規則および競技管理上のあらゆる規定および競技役員の指示に従い、かつレース場以外では交通規則を守らなければならない。

- (3) 常にスポーツマンとしての態度を保ち、下品でいやしい言葉や言動は厳に慎まなければならない。
 - (4) 競技に関する業務についているときは、アルコール類あるいは薬品（興奮剤、麻薬等）によって精神状態をつくろってはならない。
 - (5) 競技会中は、参加するためのライセンスを必ず携帯していなければならない。
 - (6) 競技会に参加することが認められた者が出場しない場合（競技現場での不参加を含む）は、正当な理由をもって、その旨主催者に通告しなければならない。この通知を怠るか、または欠場の理由が正当でない場合、主催者は速やかにMFJスポーツ委員会に報告し、ペナルティを求めることができる。
 - (7) ライダーまたはエントラントが集団で競技または予選を欠場した場合、または、そのような働きかけをした場合、主催者は速やかにMFJスポーツ委員会に報告し、ペナルティを求めることができる。
- 2) 特にライダーは、上記のほか次の事項を守らなければならない。
- (1) 必要以外にハンドルから手を離したり、足をフットレストから離し、または外につき出したりするような危険な姿勢をとってはならない。
 - (2) 他のライダーの走行を妨害するような走りかたをしてはならない。
 - (3) 競技中（公式練習も含む）は、他人の迷惑、または危険を伴うような行為をしてはならない。
 - (4) 車両は、それ自体が持つ動力およびライダーの筋力、または重力などの自然現象以外の方法で、走ったり、加速したりしてはならない。
 - (5) 他の者の援助を一切受けてはならない。
他の者による援助とは、そのレースに参加しているライダー、決められた位置についている担当のメカニックおよび業務執行中の競技役員以外の者が車両に触れることをいう。
なお、援助に関する細部については、別に定める競技種目細則による。
 - (6) 競技中の車両には、いかなる者も同乗させてはならない。
 - (7) ライダーは競技中、アルコール類、または薬品等（興奮剤、麻薬等）によって精神状態をつくろってはならない。
 - (8) 競技監督が必要と認めた場合、ライダーに対し医師団長もしくは指定医師による診断を受けさせ、競技出場の健康上の理由による可否を最終的に決定することができる。

11 ライダーの装備

- 1) ライダーの装備は、次のとおりとする。
 - (1) ヘルメット
 - ① ライダーは、コース（ラン・オフ・エリアを含む）にある間は、MFJが公認したヘルメットを装着しなければならない。
 - ② MFJ公認ヘルメットには、規定の認証マークが貼付されていなければならない。
 - ③ MFJが公認するヘルメットの規格については、各競技種目別細則により定める。
なお、国際競技会においてはFIMで認められた各FMN規格のマークが前項のマークとみなされる。
 - ④ 競技会の車両検査の際、ヘルメット検査が行われ、MFJが公認したものであっても、損傷しているなど著しくその機能を失っていると認められるものは、ラ

ライダーの安全上からその使用を禁止する。

- ⑤ MFJ公認ヘルメットで、その認証マークの貼付されていないヘルメットについては、その場で特別検査を受け合格すれば使用することができる。

この場合は、別に定める特別検査料（各競技種目別細則による）を支払わなければならない。

(2) 服装

- ① ロードレースのレーシングスーツについては、MFJ公認のものでなければならない。
- ② ライダーの服装は、競技中ライダーの身体の安全を確保し、運転を妨げるものであってはならない。
- ③ その他細部については、各競技種目別細則により定める。

12 出場車両

- 1) 競技に出場する車両のクラス区分等は、各競技種目別細則の定めるところによる。
- 2) 車両は細則に示す「出場車両」と「基本仕様」に合致し、かつ大会特別規則の条件を充たし、安全上完全に整備されているものでなければならない。
- 3) 大会審査委員会により危険であると判断された車両は、理由のいかんを問わず競技に使用することはできない。

13 MFJ公認車両および公認部品・用品

- 1) MFJ公認車両および公認部品・用品については、「MFJ車両・部品公認ならびに承認に関する規則」の定めるところによる。

なお、公認された車両および部品・用品については、MFJの発行する月刊「ライディング」誌、その他により公示される。

- 2) 公認は、MFJ技術委員会において審査し、承認された日を基準にして一定の告知期間の後に正式に発効する。告知期間は、MFJ競技規則第5章公認制度（139頁）を参照のこと。
- 3) 車両は、当該競技会公式車検日時点で公認が発効されている車両でなければ出場申し込みをすることができない。

14 燃料およびオイル

- 1) 競技に使用する燃料・オイル等については別に定めるMFJ技術規則による。
- 2) その他燃料については、次のとおりとする。
- (1) ガソリンおよびオイルには、オクタン価や燃焼効率を高めるような添加剤、あるいは起爆剤を加えてはならない。
- (2) ガソリンにオイルを混合する必要があるときは、安全を確認して作業しなければならない。また主催者より作業場所の指定がある場合は、必ずその指示に従わなければならない。
- (3) ガソリンおよびオイルを入れる容器とその取扱いは、消防法により定められているところによる。
- 3) 世界選手権に関してはFIM規則が優先される。

15 競技出場の申し込み

- 1) 競技会への出場の申し込みは、次のとおりとする。
- (1) 主催者が準備した用紙の記載事項のすべてを記入し、この競技規則を厳守する

ことを誓約しなければならない(エントリー時で当該ライセンスを取得していること)。

- ① 車両の登録はエントリー用紙に下記事項を記入すること。参加受理書発送後記入事項に変更がある場合は、選手受付時に車両変更手続きを行わなければならない。
 - ㊦ 銘柄
 - ㊧ 車名
 - ㊨ 年式
 - ㊩ フレーム打刻型式頭番号
 - ㊪ エンジン打刻型式頭番号
- (2) 主催者は、エントラント、ライダーおよびピットクルーのいずれに対しても、その理由を明らかにすることなく申し込みを拒否、または無効とする権限を有する。
- (3) 申し込み期間、申し込み場所、その他の詳細については、当該競技主催者の定める大会特別規則に示される。
- 2) 競技出走者数または出場申し込み者数の定員は、大会特別規則に示される。
なお、出場申し込み者数が10名に満たない場合は、そのクラスの競技会を中止することがある。

16 出場料およびMFJ共済会掛金

- 1) エントラントまたはライダーは、出場申し込みのとき、大会特別規則に明示する出場料を支払わなければならない。
- 2) ライダーは、出場申し込みのときMFJ共済会掛金を主催者に支払わなければならない。MFJ共済会については、別に定める規則による。
- 3) いったん主催者に受理された出場料および共済会掛金は、競技会の延期および中止等に合致する以外は払い戻しされない。

17 ライダーおよび車両の変更

- 1) エントリーされたライダーの変更は認められない。
- 2) 登録された車両の変更は、原則として認められない。変更する必要が生じた場合は、所定の書式に従って車両の変更申請を行い、競技監督がこれを認めた場合限り、車両の変更が認められる。
車両変更手数料は5,000円とする。
 - (1) 公式予選終了後、安全上の理由により、フレームボディおよびクランクケースなどを交換する必要が生じた場合は、競技監督に申告し、元の部品を提示して、許可を受けなければならない。
 - (2) 公式車検終了後ライダー間でマシンを交換することは禁止される。
 - (3) 紛争に際して製造メーカーについての立証の責任は、参加者側にあるものとする。

18 車両検査

- 1) 競技車両は、本規則および各競技種目別細則の定めるところにより、車両検査を受けなければならない。車両検査の時刻、および場所は公式通知により示される。
- 2) 車両は、競技直前に車両検査を受けたままの状態に保たれているかどうかのチェックを受けなければならない(スタート前チェック)。チェックの時刻およびチェ

ックの場所は、公式通知により示される。

- 3) ライダーが車両仕様申告を行う場合は、車両検査時に大会事務局より配布された車両仕様書をもって申請することができる。

19 競技

- 1) 出場者数が多い場合は、予選またはタイムトライアルによって決勝競技出場者を決定することができる。その詳細については、各競技種目別細則および大会特別規則の定めるところによる。
- 2) スタートの方法はそれぞれの種目の細則および大会特別規則の定めるところによる。
- 3) 競技中競技役員が合図旗（シグナル旗）を示した場合、各ライダーはただちにそれに従わなければならない。
- 4) 合図旗（シグナル旗）とその意味については、各競技種目別細則の定めるところによる。
- 5) 停止
 - (1) 競技中、コース内で停止する場合には、ライダーはただちに車両をコース脇によせ、他のライダーの走行の邪魔にならないよう十分注意しなければならない。
 - (2) 競技中、車両をコースの進行方向と逆方向に移動してはならない。ただし、競技役員の指示による場合はこの限りではない。
 - (3) 事故または車両故障などの理由によってリタイヤ（中途退場）する場合は、その地点からもっとも近い競技役員（コース審判）に報告し、用意してある用紙によってリタイヤ届けを提出しなければならない。
 - (4) ライダーは、リタイヤ届けを提出した競技役員に車両をあずけて退場しなければならない。
 - (5) ライダーは、停止車両をその競技が終了するまで、競技役員の管理下におかななければならない。
ただし、その競技に支障のない地点まで、車両を移動させることを競技役員（コース審判）から指示された場合には、これに従わなければならない。
- 6) ゴールライン通過の際、ライダーは、マシンと離れた状態にあってはならない。
- 7) 競技の終了
競技の終了は、チェッカー旗によりトップ走者がゴールしたのち、細則および大会特別規則に示す時間を経過した時点である。

20 優勝者等の決定

優勝者、入賞者および完走者の定義については、それぞれの種目の細則の定めるところによる。

21 入賞

入賞者は、原則として6位までとし、その詳細は大会特別規則に示される。
また賞は主催者（大会事務局）から交付されるが、これの交付時間等詳細は大会特別規則により示される。

22 入賞者の車両検査

- 1) 競技終了後、原則として1位から6位までの車両は、レース終了後、ただちに車両保管区域に確保され、暫定結果発表後30分間保管され、必要に応じて検査される。

- 2) その他、種目別細則ならびに大会特別規則による。

23 競技結果および記録の公表

- 1) 競技終了後、暫定結果の公表を行う。
- 2) 競技の正式結果は、暫定結果発表後3時間以内に公表される。
- 3) 参加者は、公表された競技の正式結果に対して抗議することはできない。

24 公式得点（ポイント）

- 1) 公認競技会における成績により、MFJから公式に与えられる得点（ポイント）は、下記のとおりとし、これの詳細は、別に定める「MFJライセンス昇格・降格に関する規則」による。

① 全日本選手権・エリア選手権および地方選手権競技会

台数 順位	25以上	22-24	20-21	18-19	16-17	14-15	12-13	10-11	8-9	6-7	5	0-4
1位	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	不成立
2位	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	
3位	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15		
4位	13	13	13	13	13	13	13	13	13			
5位	11	11	11	11	11	11	11	11				
6位	10	10	10	10	10	10	10					
7位	9	9	9	9	9	9						
8位	8	8	8	8	8							
9位	7	7	7	7								
10位	6	6	6									
11位	5	5										
12位	4	4										
13位	3											
14位	2											
15位	1											

② 県大会その他

順位	予選出場台数（トライアルは除く）					
	12台以上	10~11	8~9	6~7	5	0~4
1位	10	10	10	10	10	不成立
2位	9	9	9	9	9	9
3位	8	8	8	8		
4位	7	7	7	7		
5位	6	6	6			
6位	5	5	5			
7位	4	4				
8位	3	3				
9位	2					
10位	1					

25 競技会の延期および中止等

- 1) 競技は、天候・異変その他安全確保に支障をきたすおそれがある等、特別の理由がある場合にかぎり、競技の一部を打ち切りまたは中止することができる。
- 2) 前項の判断決定は、大会審査委員会が行う。
- 3) すべての関係者は、大会審査委員会の決定した競技の一部打ち切りまたは中止に従わなければならない。
- 4) 原則として中止されたレースは別の日程で再レースを行わない。
- 5) レースの短縮及び打ち切り
 - (1) 決勝レース出走前の短縮
 - ① 出走前にレース周回数・時間を短縮する場合は、原則として本来のレースの75%以上とする。（但し、モトクロスの場合+2周は考慮しない）
 - ② 75%以上に短縮し参加者に発表した後にさらに状況が悪化し、短縮が必要となった場合さらにその75%以上まで短縮することが出来る。



- ③ 上記を上回る短縮の場合は選手の得点(ポイント)は半分とする。
 ④ 上記の短縮の決定は大会審査委員会が行い、参加者にこのことが速やかに通知されなければならない。

(2) 決勝レース出走後の短縮・打ち切り

- ① トップ走者(トライアルの場合は、選手の95%以上)が定められた周回数/時間/セクション数の75%を完走しないうちにレースを打ち切った場合。

(但し、モトクロスの場合+2周は考慮しない)

- ② ロードレース：走行が2周以下=中止・ノーポイント

走行が3周以上=再スタートが不可能な場合は半分の得点(ポイント)

- ③ トライアル：選手の95%以上が終了したセクション数が、全セクションの25%未満のクラス=中止・ノーポイント

選手の95%以上が終了したセクション数が、全セクションの25%以上のクラス=半分のポイント

- ④ モトクロス他：中止・ノーポイント

- 6) トップ走者(トライアルの場合は、選手の95%以上)が決められた周回数(または時間)の75%以上を完走して競技を打ち切った場合は、大会審査委員会は、その競技の判定結果にその理由を付して発表するものとする。

- 7) 競技の中止と出場料等の返却は、下記表の通りとする。参加者はその他の一切の損害賠償を主催者に請求することは出来ない。

事 例	出 場 料	共 済 会 掛 金
予選が1回も行われず中止	選手受付した全員に返却	共済会の適用となる練習走行が行なわれていなければ返却する
予選は行われ、決勝グリッド発表後中止	決勝進出者のみ返却	返却しない
決勝スタートが行われたのち中止	返却しない	返却しない

- 8) 大会審査委員会が本項に関して下した裁定に対しては、何人も抗議することはできない。

26 損害に対する責任

- 1) 競技中、車両およびその付属品等が破損した場合、その責任は参加者が負わなければならない。ただし、車両が車検長または大会審査委員会によって保管されている期間中に生じたものを除く。

車検長または大会審査委員会は、車両を保管している期間中に、これらの車両がなんらかの理由によって破損した場合には、1台当たり10万円を最高限度額として、その所有者に補償する。

- 2) 競技会開催期間中、またはその前後に起こされた傷害は、参加者自ら責任を負うものとする。
 3) 競技役員は、その職務に最善をつくすが、仮に競技役員の行為によって起きたエントラント、ライダー、ピットクルーおよび車両等の損害に対しても、競技役員はいっさいの責任を負わない。

27 抗議

- 1) 抗議は、暫定結果発表後30分以内にライダー及びエントラントだけが行うことができる。抗議しようとする時の手続きならびにこれの措置は、次のとおりとする。

(1) 大会事務局に備えつけられた抗議申し立て書に記載し、1項目ごとに抗議保証

金を添えて大会事務局に提出すること。

- (2) 正式の手続きにより提出された抗議申し立て書のみが受け付けられ、大会審査委員会において審議裁定される。
- (3) 大会審査委員会は、証人を必要と認めた場合は証人をたて、その証言を求め、十分に実情を調査したうえで裁定を下すものとする。
- (4) 大会審査委員会が下した裁定に対しては、いっさい抗議することはできない。
- (5) 抗議保証金は、抗議が成立した場合のみ返還される。
抗議保証金は、1項目につき10,000円とする。

28 違反行為に対する罰則

- 1) 大会中（競技中も含む）における本規則または大会特別規則に違反する行為に対しては、その軽重によって大会審査委員会ならびに競技監督の権限で下記の罰則を科することができる。

軽重 順位	罰 則	内 容	決 定 機 関
1	訓 戒	文書による注意……始末書を提出	大会審査委員会
2	罰 金	現金100,000円以下	大会審査委員会
3	タイム/ポイント/周回数に対する罰則	当該ライダーの実際の成績に影響を及ぼすタイム/ポイント/周回数の加算・減算のペナルティ	大会審査委員会
4	失 格	大会、イベント、レースまたは結果から失格となる	大会審査委員会
5	資格停止	一定期間競技会に参加する資格を停止する	スポーツ委員会
6	資格剥奪	競技会に参加する資格を剥奪する	スポーツ委員会

※罰金はMFJにて保管され、安全対策等に使用される。

※罰則の詳細はリザルトに公示される場合がある。

違反の事実認定は、競技監督の判断を優先するが、罰則の量刑ならびに適用は、大会審査委員会の決定によるものとする。

- 2) ライセンスについての罰則は、大会審査委員会の報告に基づき、MFJスポーツ委員会によって、さらに事後の出場停止、資格停止までおよびかどうか審査裁定され、30日以内に通告される。

29 大会審査委員会の権限

大会審査委員会は、本規則ならびにその細則に基づき、当該競技会において最終的な権限を行使することができる。

附 則

1. 本規則は、1995年1月1日から施行する。



Front

Rear

**勝つために大胆にステップアップした
NEW 80S。**

BT-80SからNEW80Sへ。目指したのは、「速さ」だけではない。ライダーの感性を刺激する「操る楽しさ」まで身につけることだった。そこで、フロントでは、シビアなレースになればなるほど心強い、大胆な旋回性能を実現。リアでは、MS・BELTのしなやかさに強靱さを加えることで、キレのいい加速感、スライドコントロール性、グリップ耐久性までが高まった。これぞ、正真正銘、プロ・グリップ。アクセルを開け、コーナーを自在に駆け抜けてほしい。

サーキット・スペック

**BT-80S
RADIAL**

MS・BELT

BATTLAX
from BRIDGESTONE MOTORSPORT



Q.R.I.P.(クイック・リリース・インナー・パッド)システム
手軽な脱着で洗濯できる新設計の内装パッド。
センター サイドパッド、ストラップカバー全て取り外し可能。



後方下端部のパッド形状をスムーズにすることで、
風切音を大幅に低減。また、首回りの自由度も確保。

X-8
AERO-VORTEX

●ヘルメットのあこびは1、2カ所(極めよじ) 安全確保のための改造しないでください。 ●カクゴに希望の方は郵便切手60円を添えて本社までお送りください。
●商品は改良のため予告なく仕様変更することがあります。 ●部品、修理、その他要望は貴客の得意先の営業所サービス課までお問い合わせください。
船場化工株式会社 本社・東京支店/〒110 東京都台東区上野5-8-5 CP10ビル7F ☎(03)5688-5185
大阪支店 ☎(06)885-2123 九州営業所 ☎(092)411-7048 仙台営業所 ☎(022)215-0255 名古屋営業所 ☎(052)323-7825

SHOEI

Vの体感。

換気性を高めたVベンチレーション&インター・リリース、
2つの機能でライダーに新しい快適さをもたらすX・B・V、デビュー。



¥36,500



QRSB
クイック・リリース・シールド・ベース
の採用により、シールドのワンタッチ
交換が可能。



D.L.V. (デュアル・ライナー・ベンチレー
ション) システム
通気孔を二重ライナーの間にトンネル
状に配置、ヘルメット内に2倍の空気の
循環。通気は、トンネルを通りボー
テックス・ベンチレーターより誘致。



ボーテックス・ベンチレーター
GPライダーによる実走行テストから生
まれたエア・アフレイト(翼型式)。
翼型効果による空気の誘致性能は
数々の風洞実験が立証済み(当社
比圧力係数測定で180%の効果)



アップパー・ロアエアインターク
ベンチレーションの入口となるエアインテーク。RVでは
空気の空気流入量を持つ設計を採用。もちろんアッ
パー、ロア共に翼型可能。



●規格: スネル規格 M20, JS規格 C種 (MFJ公認) ●カラー: 白、黒、キャンディレッド、マゼンタブルー、アンスラサイトメタリック ●サイズ: S, M, L, XL ●構造: カーボン&ファイバーグラスM.L.構造、デュアルライナー
システム ●シールド(CX-11)は標準装備のソフトスモークと別売のクリアー、スモーク、アンバーの4種類、各¥3,800です。 ●特許出願中 ●シールド(CF-11)は別売でソフトスモーク、ライトスモークの2種類、
各¥4,500です。CF-11は、ティアオフ・フィルム装着可能(別売、5枚入り¥1,000)です。

ガンバレ!! 未来のトップライダー。

世界のトップライダーたちが、熱いドラマを繰り広げている鈴鹿サーキット。
しかし、その一方で、年少者や初心者の人たちのためのレースも数多く開催しています。
今年は新カテゴリーのNK1、Lライセンスから参加可能な GP miniも開催。
さらに、手軽にモーターレーシングの世界を体験できるようになりました。
鈴鹿サーキットは、レース界に新風を吹き込むトップライダーの誕生を願っています。
ガンバレ! 夢を賭けたライダーたち。鈴鹿サーキットは応援します。

NK1 SUZUKA



SUPER BIKERS in SUZUKA



GP mini



'95 鈴鹿選手権シリーズ(鈴鹿サンデーロードレース・ブロンズカップ鈴鹿ロードレース・鈴鹿NK1/NK4シリーズ)暫定カレンダー

選手種	精 式	ライセン	日 程	コ ー ス	地 方 選 手 権										主 催 者	
					承 認					公 認						
					L・国内	J・国内	FE・国内	国 内	FE・国内	FE・国際	国内・国際	公 認				
					GPmini	GP80	GP125	GP250	SP250	SP400	NK411	NK41	NK1	GP125	GP250	
第1戦	1月7-8日	全					○	○			●	●	●		○	鈴鹿サーキット
(ブロンズ)	1月22日	南									(●)	(●)	(●)			ミスターヒロ
第2戦	1月29日	南			●	●	○	○			●	●				テクニカルスポーツ
第3戦	2月26日	東							●				●	○	○	鈴鹿サーキット
第4戦	3月11-12日(全日本併催)	全									●	●				鈴鹿サーキット
第5戦	4月16日	南			●	●	○	○			●	●				テクニカルスポーツ
(日本GP)	4月21-22(WGP併催)・23日	全											●			鈴鹿サーキット
第6戦	5月6-7日	全							●		●	●		○	○	鈴鹿サーキット
(ブロンズ)	5月14日	南				●	(●)			(●)						ミスターヒロ
第7戦	5月10-11日(全日本併催)	全														鈴鹿サーキット
第8戦	6月18日	南			●	●	○	○							○	テクニカルスポーツ
第9戦	7月21-30日(8戦ウィーク)	全	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	鈴鹿サーキット
第10戦	9月3日	南			●	●	○	○								テクニカルスポーツ
第11戦	9月9-10日(全日本併催)	全											●			鈴鹿サーキット
第12戦	9月30日・10月1日	全					○	○	●	●	●	●	●			鈴鹿サーキット
第13戦	11月12日	西				●	●	○	○		●	●	●			鈴鹿サーキット
(ブロンズ)	11月26日	南				●	(●)		(●)							ミスターヒロ
最終戦	12月2-3日	全									●	●	●			鈴鹿サーキット
鈴鹿選手権対象戦数						5	6	8	8	5	5	9	9	7	3	3

○…自動昇格対象レース ●(●)…ブロンズはサンデー予選不通過者対象のレースです。
●…自動昇格対象レースではありませんが、申請昇格が可能です。※このカレンダーは変更になる場合があります。

'95 スーパーバイカーズ in SUZUKA カレンダー

選手種	日付/コース	Lライセンス以上mini			主 催 者
		SBプロダクション	SBmini	SBオープン	
第1戦	'95 1/15	南	○	○	Jレーシング
第2戦	'95 2/19	南	○	○	Jレーシング
第3戦	'95 3/19	南	○	○	Jレーシング

'95 中部選手権シリーズ/三重県モトクロスシリーズ鈴鹿モトクロス暫定カレンダー

選手種	日 付	J80	NH125	NR250	NHオープン	NA125	NA250	IB125	IB250	IA	主 催 者
(オールスター)	1/3	○						○	○	○	鈴鹿サーキット
中部・三重	2/12	○	○	○	○	○	○	○	○	○	鈴鹿サーキット
三重県	3/26	○	○	○	○	○	○	○	○	○	鈴鹿サーキット
(全日本)	5/13-14	○									鈴鹿サーキット
中部・三重	7/9	○	○	○	○	○	○	○	○	○	鈴鹿サーキット
(世界GP)	8/19-20	○									鈴鹿サーキット
中部・三重	10/8(NGK杯)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	鈴鹿サーキット

●…IAクラスはオープン参加とし、賞典からは除外される。

「世界へ挑戦するための切符。SMSCライセンス」

鈴鹿モータースポーツクラブ(SMSC)では鈴鹿サーキット(国際レーシングコース/南コース)でスポーツ走行をお楽しみいただくための会員を募集中です。8H・WGPが開催される世界最高峰のコースに君もチャレンジしてみませんか? 明日のGPライダーになるための第1歩。それがSMSCのライセンスです。

—スポーツ走行ライセンス—

- 2輪会員(国際レーシングコース/南コース)
 - ミニバイク会員(南コース)
- 講習日:フルコースレースのない日曜日(MSCビル2階TB)

スポーツ走行をアシストされる方のための「ヒットクルーバスポート会員」も募集しております。(講習不要・毎日受付中)

会員特典

★鈴鹿サーキット開催レース入場無料(世界選手権レース除く) ★鈴鹿サーキット/多摩テックの年間入場無料
★鈴鹿サーキットホテル宿泊割引 ★鈴鹿サーキット天然温泉割引 ★SMSCオリジナルグッズの進呈
そのほか、F1・8H・WGPなど世界選手権チケットの優先販売も検討中です。ご期待下さい。

■SMSCライセンスについての詳細は、鈴鹿サーキット/SMSC事務局までお問い合わせ下さい。

主催者連絡先/エントリー申し込み先

- テクニカルスポーツ
〒513 三重県鈴鹿市住吉町6786
TEL.0593-78-1455
- チームミスターヒロ
〒580 大阪府松原市立部2丁目499-1
TEL.0723-36-1550
- Jレーシング
〒468 名古屋市天白区植田西3丁目901
TEL.052-802-0117
- 鈴鹿サーキット/SMSC事務局
〒510-02 三重県鈴鹿市稲生町7932
TEL.0593-78-3405



DUCATI



916

'94 SUPERBIKE WORLD CHAMPION



Engine: Twin-cylinder "L" 90° engineotto cycles 4 strokes

Cooling system: with fluid

Displacement: 916 cc

Max. horse power: 114 bhp at 9000 r.p.m.

Fuel system: Weber electronic indirect type

Frame: Steel trestle using engine as stressed member

Castor: adjustable

Trail: 97 mm

Front suspension: Showa fork "Upside-down" fully adjustable

Rear suspension: progressive type with Showa shock absorber, fully adjustable Single-side swingarm

Wheelbase: 1410 mm

Dry weight: 195 Kg

The above specifications are subject to modification without notice

ドゥカティのための、ドゥカティ専用オイル



AGIP "4T DUCATI"

- Semi-Synthetic
- Multigrade Oil
- SAE 10W/40, API SG, CCMC G4
- ¥2,200 (Without TAX)



AGIP "4T SUPER DUCATI"

- Full Synthetic
- Multigrade Oil
- SAE 10W/30, API SG, CCMC G4
- ¥3,800 (Without TAX)



カシバグループ・モーターサイクル輸入総代理店

株式会社 **カシバモータース**

定休日 全曜日・第2、第4土曜日・祝祭日
営業時間 AM9:00 ~ PM6:00

本社 ●渋谷区笹塚2-7-8
営業 ☎03-3378-0181
サービス ☎03-3378-2571
パーツ ☎03-3377-1182

八王子営業所 ●八王子市宇津木町728-1
営業 ☎0426-91-6511
サービス ☎0426-91-7311
パーツ ☎0426-91-7611

横浜営業所 ●横浜市港南区日野8-1-2
営業 ☎045-841-0181
サービス ☎045-841-0181



elfオイル MOTO(モト)シリーズ

	用途	規格	SAE	油種	価格	内容
MOTO XT4	4サイクル用	-	10W40	100% 化学合成	¥3,000/1L	ハイパフォーマンスに最適。高回転での 伸びに優れます。レースにも使えます。
MOTO 4 HPM	4サイクル用	-	15W50	半化学 合成	¥1,700/1L	空冷・水冷問わず、シングル、ツインに 最適。高温エンジンに特にお薦め。
MOTO XT2	2サイクル用 混合・分離両用	TC	30	100% 化学合成	¥2,800/1L	パワー特性、ピクアップに的を絞って 開発。スポーツ2サイクルに最適。
MOTO 2 HPM	2サイクル用 混合・分離両用	TC	30	半化学 合成	¥1,700/1L	高性能と経済性を高次元で融合。オイル 切れ、スモーク等も減少させます。
MOTO T	ミッション用	GL4	10W30	鉱物	¥1,700/1L	シフトタッチに優れ、ギアの摩耗を防ぎ ます。シャフトドライブにもOK。
MOTO F5-F20	フォーク オイル	-	F5/5W F20/20W	100% 化学合成	¥1,800/1L	F5とF20を混ぜ合わせて、好みの粘 度が作り出せる。ミックスタイプ。
MOTO C	チェーン オイル	-	-	-	¥1,200/0.2L	優れた透過性、防錆性、非揮散性を達成。 シールチェーンにも使えます。
MOTO A	エアフィルタ ー用	-	-	-	¥1,500/0.5L	湿式タイプ用。燃焼の基本、きれいな 空気を供給しやすく送り込みます。
L DOT 5.1	ブレーキ フルード	DOT 5.1	-	100% 化学合成	¥2,200/0.5L	高沸点、高ウエット潤滑タイプ。フィー リング等にも優れます。

elfレース専用 HTXシリーズ

	用途	規格	SAE	油種	価格	内容
HTX 976	2サイクル用	-	50	100% 化学合成	¥4,000/1L	優れたパワー特性を実現。 ホンダRS125、RS250指定オイル。 recommended by MSD
HTX 740	ミッション用	GL4	75W	100% 化学合成	¥7,000/2L	乾式クラッチ専用ミッションオイル。湿 式車にはHTX830をご使用下さい。
HTX 830	4サイクル用	-	10W30	100% 化学合成	¥7,600/2L	出力特性、レスポンスに秀でるレース 用最高級。性能優先の為1000cc交換。
HTX 833	4サイクル用	-	15W40	100% 化学合成	¥9,000/5L	四輪F1のために開発されたレース専 用オイル。超ハイパワー車に最適。
HTX 820	4サイクル用	-	15W50	100% 化学合成	¥9,000/5L	耐久レース用オイル。高白油や劣劣 の激走にも耐える。1L

誰の真似もしない、
誰の真似もできない。
ホンダとともに、マイケル・ドゥーハンとともに、世界GPを4年間戦ってきたelf。
そしていま、ワールドタイトル獲得。しかしこの栄光に酔いしれてばかりはいられません。
来期のタイトルを守るために、そして何よりもこの困難な戦いの中で開発してきた独自のテク
ノロジーを、すべての製品に反映させ続けるために……誰の真似もしない、誰も真似できない……
オリジナル・メーカー・elfの戦いは続きます。



elfオイル代理店

北海道
札幌店 011-563-1411
旭川店 011-822-6111
札幌店 011-822-6111
旭川店 011-822-6111
札幌店 011-822-6111
旭川店 011-822-6111

関東
東京店 03-3802-5211
横浜店 045-288-5375
川崎店 044-351-2800
さいたま市店 048-839-3301
浦和店 048-839-3301
上野店 048-839-3301
池袋店 048-839-3301
有明店 048-839-3301
大塚店 048-839-3301
池袋店 048-839-3301
有明店 048-839-3301
大塚店 048-839-3301

中部
名古屋店 052-66-5186
岐阜店 058-21-3095
愛知店 052-69-1660
岐阜店 058-21-3095
愛知店 052-69-1660
岐阜店 058-21-3095
愛知店 052-69-1660

関西
大阪店 075-643-3201
京都店 075-643-3201
神戸店 078-991-2904
大阪店 075-643-3201
京都店 075-643-3201
神戸店 078-991-2904

中国
広島店 082-238-0421
岡山店 086-65-5223
福岡店 092-861-6642
福岡店 092-303-0750

elf関連油、特殊燃料、日本総代理店
unico co., ltd
ユニコ株式会社
東京都港区六本木1-1-11 Phone: 03-3418-2187

明日への挑戦



RACING COURSE 2輪

開催日	大会名
3/26日	SUGO選手権ロードレース第1戦
4/16日	SUGO選手権ロードレース第2戦
4/29(土)~30日	全日本選手権ロードレース第3戦
5/28日	SUGO選手権ロードレース第3戦
6/18日	SUGO選手権ロードレース第4戦
7/1(土)~2日	全日本選手権ロードレース第7戦
8/6日	SUGO選手権ロードレース第5戦
8/25(金)~27日	SUPER BIKE世界選手権レース
9/17日	SUGO選手権ロードレース第7戦
10/8日	SUGO選手権ロードレース第8戦
10/21(土)~22日	全日本選手権ロードレース第10戦(MFJ GP)
11/3日	SUGO耐久ロードレース

RACING COURSE 4輪

開催日	大会名
5/13(土)~14日	全日本ニューツーリングカーレース
7/29(土)~30日	SUGOインターフォーミュラF-3000&F3レース
9/9(土)~10日	全日本GTレース
11/11(土)~12日	NI耐久ラウンドシリーズSUGO500km耐久レース

MOTOCROSS COURSE

開催日	大会名
6/10(土)~11日	全日本選手権モトクロスレース第6戦
9/2(土)~3日	全日本選手権モトクロスレース第10戦
9/24日	全日本ATVレース

ライセンス講習会

日程	ロード2輪	カート	ロード4輪(A5)	オフィシャル	ファミリー体験走行
第1回	3月5日	1月15日	3月21日	*3月5日	3月11日
第2回	3月19日	2月19日	5月3日	*3月19日	3月12日
第3回	4月9日	3月26日	8月14日	*4月9日	3月18日
第4回	5月7日	*4月16日	10月1日	*5月7日	5月6日
第5回	5月21日	*5月21日		*5月21日	5月7日
第6回	6月11日	6月25日		6月4日	5月20日
第7回	6月24日	7月9日			6月10日
第8回	7月15日	*8月20日			6月24日
第9回	7月23日	9月23日			7月15日
第10回	8月14日	10月10日			7月22日
第11回	8月20日	11月19日			8月14日
第12回	9月3日	12月17日			8月15日
第13回	9月30日				8月16日
第14回	10月15日				8月19日
第15回	11月4日				8月20日
第16回	11月18日	*カードジュニアライセンス(10才~12才)の講習会も同時開催		*モトクロス講習会も同時開催	9月2日
第17回	12月3日				9月3日
第18回	12月10日				9月30日
					10月1日
					10月14日
					10月15日
					11月4日
					11月18日
受付	8:30~9:00	お問い合わせ下さい。	12:00~13:00	12:00~13:00	10:45~11:15
学費	9:00~12:00		13:00~16:00	13:00~16:00	
実技	13:00~14:00		16:00~18:00	17:00~18:00	12:00~12:30
方法	*必ず電話予約をして下さい。 *2輪講習会……………SUGOスポーツクラブ 0224-83-3127 (開催日、1ヶ月前より受付開始) *4輪講習会……………奥州VICIC 022-225-1301 *申込用紙に記入の上、申込み下さい。 *Eニイタカート講習会…SUGOスポーツクラブ 0224-83-3118				
申込	持参するもの 運転免許証明印鑑、筆記用具、承認書(未成年者のみ)、写真2枚(2.5×3cm)、受講料、保険証 *オフィシャル 写真4枚(2.5×3cm)、申請料 走行に必要なもの(オフィシャル 講習会参加者は不要) 実技車両、皮つなぎ、ヘルメット、グローブ、ブーツ *競技役員講習会 ロードレース、モトクロスの競技役員になるための講習会です。 *Eニイタ 受講希望者の方は、電話で確認下さい。				
講習会に必要なもの					

<レース日程は94年12月暫定>



- テニス(27面) ●冒險ジャルダン(フィールドアシック)
- ゴーカート ●レーシングカート ●ランドカー ●プール
- アーチェリー ●おかしな自転車 ●つり堀
- ガーデンゴルフ ●ローラースケート ●カフェテリア
- オリエンテーリング ●ウォークラリー ●ミニ運動会
- レーシング、カート、モトクロス、トライアル、の各コース也



- ホテルくぬぎ山荘、49室200名収容
会議室・ダイニング・ラウンジ・バー
パーベキューガーデン 他
- キャンプ場
5人用・8人用テント・篝火場 他
- オートキャンプ

仙台市郊外・村田町



ランド内休園日:火曜日(7月-8月を除く)
宮城県栗田郡村田町菅生6-1 ☎(0224)83-3111H
東京営業所/☎(03)3575-4771

DAYTONA

宮崎 敦 / アプリリアRSV250R
IA GP250
第3戦SUGO、第4戦筑波
ポールポジション
'94シリーズランキング4位

ファーストラップ を制した人が タイヤウォーマー を使っている事実。



タイヤウォーマー 各98,000円/前後セット



ファーストラップからタイヤのグリップをベストな状態に保つにはタイヤウォーマーが必需品。スタートから全開で行けるグリップでライバルに確実なアドバンテージが得られます。

- ★発熱量 500w/100v。過熱防止機能付で安全。
- ★加熱スピード 130℃ /20分。(サイド部/室温18℃の時)

適合クラス	品番
スーパーバイククラス (10907)
GP250/NK4/SS400クラス (19175)
GP125クラス (19544)

タイヤサイズ適合表

品番	スリック	レイン
(10907)	F 125/595R-17	F 120/599R-17
	R 185/635R-17	R 180/635R-17
(19175)	F 125/595R-17	F 120/599R-17
	R 165/620R-17	R 155/630R-17
(19544)	F 80/570-17	F 265/325-17
	F 80/595-17	
	F 265/325-17	
	R 105/585-17	R 285/400R-17
	R 105/575R-17	
	R 115/65R-17	
	R 285/400-17	

DAYTONA

●全国のデイトナ取扱店、有名部品、用品店にてお求めになれます。●通販をご希望の方は、住所、氏名（フリガナを付けて下さい）、生年月日、TEL、品番、商品名を明記し現金書留にて下記住所本社または東京支社までにお申し込み下さい。
(10,000円以上お買い上げの方は送料サービス、10,000円未満お買い上げの方は送料824円を同封して下さい。●当社総合カタログをご希望のお客様は1,000円（消費税込み）と送料350円を同封の上現金書留でお申し込み下さい。

株式会社 **デイトナ** 本社 〒438 静岡県磐田市岩井1836 TEL0538-35-6114(代)
東京支社 〒167 東京都杉並区善福寺1-15-20 TEL03-3395-3444(代)

ROAD RACE

ロードレース

▼細則1 ロードレース競技細則

1. 適用の範囲	48
2. ロードレース	48
3. 競技会と開催クラス	48
4. 公式シグナル	49
5. 参加資格	49
6. 出場申し込み	50
7. 参加受理	50
8. ゼッケン・ナンバー	50
9. ライダーの装備	50
10. 出場受け	51
11. 出場車両の変更	51
12. 車両および装備の検査	51
13. ブリーフィング	52
14. 公式予選 (オフィシャルプラクティス)	52
15. 決勝レース出場台数	53
16. スタート方法	53
17. スタートにおける反則	55
18. "ウェット" および "ドライ" レース	56
19. レース中の行為	56
20. 停車指示	58
21. レースの停止	58
22. 中断されたレースの再スタート	58
23. リタイア (棄権)	59
24. レース終了	59
25. 優勝者、入賞順位、完走者および得点	59
26. レースの終了後の車両保管と再検査	60
27. レースおよび大会の延期・中止等	60
28. 抗議	60
29. 違反に対する罰則	61
30. 本規則の解釈	61
31. 本規則の施行	61

▼細則2 '95全日本選手権大会特別規則

1. 公 示	62
2. 開催種目と競技会の日程	62
3. 追加のクラス	62
4. コース	62
5. 大会審査委員会	63
6. 参加資格	63
7. 出場料およびMFJ共済会掛金	64
8. ビット要員	64
9. スポーツ走行	64
10. レース当日の練習走行	64
11. ゼッケンナンバー	64
12. 車両の変更	65
13. タイヤの使用本数の制限	65
14. 公式予選	65
15. タイムキーピングシステム	65
16. スタートグリッド	65
17. レース距離	65
18. 賞および得点 (ポイント)	65
19. 2ヒート制の規定	66
20. 主催者の権限	66
21. 本規則の施行	66
'95全日本ロードレース選手権開催日程	67

ロードレース 競技規則

1 適用の範囲

以下に記す規則は、国内競技規則に基づき、すべての国内のロードレース競技会に適用される（世界選手権を除く）。

2 ロードレース

ロードレースとは、舗装され、完全にクローズドされたサーキットで行われるレースであり、国内競技規則およびこの細則により運営・管理される。スプリントレースと耐久レースに区別される。

耐久レースの詳細については特別規則による。

スプリントレースの定義：①レースの総走行距離250km以下もしくは走行時間2時間以下

②個人競技

耐久レースの定義：下記いずれかに合致すること。

①レースの総走行距離が250kmを超えるものもしくは走行時間2時間を越えるもの。

②2人もしくは3人の交代で行われる。

3 競技会と開催クラス

'95年度よりライセンス区分の変更に伴い競技会と開催クラスは下記とする。

出場可能 ライセンス	大会格式	昇格ポイント対象種目		昇格		その他承認公認レース (特別昇格は可能)
		自動昇格	申請昇格	申請昇格	申請昇格	
国際ライセンス	全日本選手権	G P 125	G P 250	スーパーバイク		
国際ライセンス 国内ライセンス	エリア選手権	G P 125	G P 250	スーパーバイク (国内ライセンス参加)	S P 250 S S 750	S P 400 ネイキッド その他シングル/ツインレース等
国内ライセンス	地方選手権	G P 125	G P 250		S P 250 S S 750	S P 125 G P 80 ネイキッド その他シングル/ツインレース等
フレッシュマン ライセンス		G P 125			S P 250	S P 400 S P 125 G P 80 ネイキッド M P 12 (ミニバイク) その他シングル/ツインレース等
ジュニア						G P 80 その他

自動昇格＝規定の得点を得た場合は次年度は上級クラスへ強制的に昇格となる。

申請昇格＝規定の得点を得かつ申告をしたもののみ昇格する。(選択が出来る)

特別昇格＝規定の得点に満たない者または自動/申告昇格対象種目以外のクラスで同等の成績を得たものが申告を行い、審査される。

4 公式シグナル

1) 公式練習、予選および決勝レース中は、下記の公式シグナルが使用される。

(1) 寸法

・シグナル用旗 60×80cm (最小限)

・赤旗 80×100cm

(2) コントロールラインで使用される旗

・シグナルライトまたは国旗……レース・スタート

・白黒チェッカー旗……レース終了

・赤旗……レースまたはプラクティスが中断され、すべてのライダーは最大限の慎重さをもってそれぞれのピットに復帰。赤旗はサーキットを閉鎖する場合にも用いられる。

・黒旗と白ナンバーを付した黒の合図板との併用……示されたナンバーを付けているモーターサイクルのライダーは次のラップでピット停止。

(3) 各コーナーポストで使用される旗

・黄旗……危険!

静 止……追い越し禁止。

振 る……減速・停止準備・追い越し禁止。

・赤色ストライプ付き黄旗……コース表面滑りやすい。

・赤旗……レース停止。コントロールライン上で赤旗が出されたらすぐに提示する。

・緑旗……コースクリア。

・白旗……コース上に徐行している介入車両あり。

静 止……1つ先のポスト付近に徐行中の介入車両あり。

振 る……直前に徐行中の介入車両あり。

介入車両がコース上に停止したら、すみやかに白旗を黄旗に入れかえる。

・青旗……追い越しシグナル。1台またはそれ以上の高速マシンが貴方を追い越そうとしている。

静 止……間もなく追い越される。

振 る……追い越される寸前。

・黒旗と白ナンバーを付した黒のシグナル板との併用……示されたナンバーを付けているモーターサイクルのライダーはピット停止。

フライングによるピットストップの場合は区別する為にPの文字をシグナル板に示す。オイルもれの場合はすみやかに安全な場所で停止する。

2) ライトによるシグナル

スタートの際、国旗の代わりに、ライトによるシグナルを使うことができる。

・黄色燈の点滅1、2回 黄旗と同意味。

・緑色燈 緑旗と同意味。

・赤色燈 赤旗と同意味、競技監督および監視ポストで使用。

ライトによるシグナルは、スタート時と特に夜間に行われるレースに使用されなければならない。



5 参加資格

1) エントラントおよびライダー

エントラントおよびライダーは、1995年度版MFJ国内競技規則・第3章〔⑨競技参加者〕(31頁)に合致していなければならない。

6 出場申し込み

- 1) 出場申し込み場所および期間は、大会特別規則の定めるところのものとする。
- 2) 出場申し込み手続き
 - (1) 各部門とも所定の申し込み書に必要事項をすべて記入し、出場料およびMFJ共済会掛金を添えて大会事務局に提出しなければならない。
 - (2) 2クラス以上に出場を申し込み場合は、別々に申し込み書を提出しなければならない。
 - (3) 郵送の場合は、現金書留又は主催者の定める方法とし、締切り日当日の消印のあるものまでが有効となる。
 - (4) 電話による申し込みおよび締切り日以後の申し込みはいつさい受け付けない。
(締切り日以降のエントリー料金返却に際しての郵送料、送金手数料は返却金から差し引かれる)

7 参加受理

- 1) 必要事項を記入した出場申し込み書、金額を大会事務局が受理したもののみ、参加受理書が発送される。
- 2) いったん受理された出場料、MFJ共済会掛金はいかなる理由があっても返却されない。公式予選を通過しなかったものも同様である。
- 3) 大会が取り止めた場合、また参加申請が拒否された場合のみ出場料、MFJ共済会掛金が返却される。(申し込み者が必要な手続きを怠った場合は、返却されない)

8 ゼッケン・ナンバー

- 1) 主催者によってナンバーが割り当てられ、参加受理書に記入して通知される。
- 2) ゼッケン・ナンバーは、車両検査までに、規定の書体および色分けて記入しておかななければならない。
- 3) ゼッケン・ナンバーについては、車両検査時に検査され、判読しにくいと判断された場合には修正が要求される。

9 ライダーの装備

- 1) ヘルメット
 - (1) ヘルメットはフルフェイス型のもので、MFJが公認したものでなければならない。
 - (2) MFJの公認したヘルメットには、下記の認証マークが貼付されている。
 - (3) 競技会の車両検査受け付け時に、ヘルメット検査が行われる。MFJの公認したヘルメットでも、検査に合格しなかったヘルメットは、当該ライダーの安全上その使用を禁止する。
 - (4) MFJ公認ヘルメットであっても、MFJの公認マークの貼付されていないヘルメットについては、特別検査料(1,000円)を支払い、特別に検査を受け合格しなければならない。
- 2) ライダーの服装
 - (1) レーシングスーツ

- ① 革もしくは革と同等の素材（MFJの許可を得たもの）であり、MFJの公認したものでなければならない。
- ② MFJが公認したレーシングスーツには、公認マークが貼付されている。
- ③ 競技会の車両検査受付時にレーシングスーツの検査が行われ、合格しなかった場合は、ライダー本人の安全上使用を禁止する。



MFJが公認したレーシングスーツには、シルバー地の公認マークが付いていなければならない。



(2) ブーツ・グローブ

革もしくは革と同等の素材（MFJの許可を得たもの）であり、フックなどが外部に突出していないものでなければならない。

- (3) 競技中のライダーは、レーシングスーツの下に肌着を着用しなければならない。ただし、レーシングスーツに裏地がついている場合は着用しなくてもよい。

10 出場受け

- 1) 出場受けの時間および場所は、公式通知に示される。
- 2) 定められた時間内に、必ず本人または参加者がMFJライセンス、参加受理書を提出して出場資格の確認を受けなければならない。
- 3) MFJライセンスまたは参加受理書の提示ができない者は、出場が認められない。

11 出場車両の変更

- 1) 車両の変更は国内競技規則・第3章〔⑩ライダーおよび車両の変更〕(34頁)による。
- 2) 車両変更の申請は、同部門・同クラスの車両に限られ、手数料5,000円を添付して大会事務局に申請しなければならない。

12 車両および装備の検査

- 1) 車両検査は、公式通知に示されたタイムスケジュールに従って、パドック内の車両検査区域において行われる。
- 2) 車両検査のための車両は、ライダー本人が持参し、必ずタイムスケジュールに示された時間内に検査を受けなければならない。これ以後の検査は競技監督が、不可抗力な事情によるものとして特別に認めた場合以外は行われない。
- 3) ライダーは、車両仕様書を提出し、装備品一式の検査を受けなければならない。
- 4) 一大会において同一車両を複数のライダーが使用する事は出来ない。
- 5) 同一車両で複数の種目へのエントリーはできるが、競技運営進行上支障をきたさないことを条件とする。
- 6) 車両検査時持込み台数は、エリア選手権・地方選手権および地方大会は出場1レースにつき1台に限られ、全日本選手権は2台までとする（Tカーは同一メーカーに限る）。
- 7) 車両検査において、規則違反または安全上出場が不適当と判断された車両は、公式予選を含まいっさいの走行を拒否される。
- 8) テレメトリーは禁止される。
- 9) 音量測定は車検時に全車測定、もしくは予選通過車両全車に対して行なう。

- 10) 主催者は、大会期間中、必要に応じて随時車両検査を行う権限を有する。
- 11) ガソリン
 - ① 使用するガソリンはMFJ技術規則(141頁参照)に合致しなければならない。
 - ② 使用するガソリンは当該レースのサーキットで供給するものを使用しなければならない。供給されるガソリンの仕様は特別規則もしくは公式通知に記載される。

13 ブリーフィング

主催者がブリーフィング(競技に関する要領説明)を行なう場合はライダー本人が必ず出席しなければならない。出席なき場合は罰則が課せられる場合がある。

14 公式予選

- 1) 公式予選
 - (1) 公式予選は、原則として各クラス別に行われる。
 - (2) 公式予選の日程および時間は、特別規則に示される。
 - (3) 公式予選は、タイムトライアル方式とレース方式がある。
通常はタイムトライアル方式で行う。レース方式で行う場合は、特別規則または公式通知等に示される。
- 2) 公式予選の内容
 - (1) レースに出場するすべてのライダーは、必ず公式予選に参加し、最終的に出場資格を取得しなければならない。
 - (2) 公式予選においては、競技役員による車両の安全チェックがなされた後にスタートし、定められた時間内であれば走行を中断し、また再スタートすることができる。
 - (3) 公式予選では、ラップタイムが測定されている。この測定で、ベストラップタイムが甚だしく劣る者はたとえ定員内であってもレース出場資格を与えられない場合がある。
 - 基準
 - 全日本選手権：トップタイムの110%以内
 - エリア選手権以下：トップタイムの120%以内
 - (4) 公式予選において測定される各ライダーのベストラップタイムにより、大会特別規則に示されたレース出場台数を限度としてスタート位置が定められる。ベストラップタイムが同じ場合は、セカンドラップタイムによる。
 - (5) 各クラスの公式予選義務周回数は、特別規則に示される。なお、最初の1ラップ目は計測されないが、周回数には算定される。
 - (6) 2種目以上に出場するライダーは、出場全種目の公式予選に出場しなければならない。
 - (7) 予選が複数の組にわかれて行われる場合の予選順位
 - ① 予選結果を総合タイム順によって決定する場合と予選組ごとの順位により決定する場合がある。通常タイム順によって決定する。
 - ② 天候の変化等により路面状況に大きな差異が認められると競技監督が判断した場合には各予選組ごとの順位によって決定する。この決定に対する抗議は一切受けつけない。
 - ③ 各予選組ごとのタイム順で決定した場合のグリッドは各予選組のトップのタイムを比較しその順番で振り分けることとする。
 - ④ 各予選組ごとのタイム順で決定した場合にグリッド数によって端数が出る場合



の優先順序は下記とする。(ウエイティングも同様)

例：グリッド数30台、予選4組

- ④ 予選組上位7台で28台が選抜される。
- ⑤ 残り2台を予選組の8位(4台)のなかから決定するには…
 - ・各予選組の1位のタイムと8位のタイムを比較する。
 - ・各予選組8位のものからタイム差の少ない順に2名を選出する
- (8) 最終的な予選選出方法とスターティンググリッドは大会審査委員会の決定による。
- (9) 予選通過者で出場不可能となった者は、すみやかにその旨を届け出なければならない。
- (10) レース出場が不可能となったことを届け出たライダーがいた場合、予選タイムを基準として繰り上げる場合がある(スタート前チェック時間内に連絡のないライダーはリタイヤとみなす)。
- (11) ウエイティング(繰り上げ出場)の方法
 - ① 予選結果発表後1時間以内にウエイティングの願い書を提出する。
 - ② 願い書提出者のうち上位3名のは、全装備にてスタート前チェックを済ませてコースインゲートにて待機する。全日本選手権等別途ウォーミングアップ走行が設定されている場合は、これに走行できる。
 - ③ スタート前チェック終了時点でリタイヤがない場合は出走は不可となる。

15 決勝レース出場台数

決勝レース出場台数は、各サーキットごとに定められ、特別規則に示される。

16 スタート方法

- 1) レースのスタート位置は、各ライダーに与えられているゼッケンナンバーとは関係なく、公式予選の結果によって決定される。
- 2) スタート方法は同時スタートとし、下記の3種類がある。通常はクラッチスタートにて行われる。
 - (1) 押しがけスタート
 - (2) クラッチスタート
 - (3) ルマン式スタート(耐久)
- 3) スタート位置は、すべてのライダーが正規のスタートラインからスタートされたものとし、各ライダーに与えられたスタート位置による距離的、時間的なハンディキャップは一切考慮されない。
- 4) クラッチスタートの場合のスタート手順は以下の通りとする。
 - (1) スタート約30分前
 - ライダーは、スタート前チェックを受け、マシンとともにコース外のウエイティングエリアに待機する。
 - (2) スタート15分前(サイティングラップ)
 - ① ライダーはコースに出て1周のサイティングラップを行う。サイティングラップを開始してから5分間でピットロードの出口を閉鎖する。この5分間はピットロード出口にて1分ごとのカウントダウンボードとホーンにて示す。
 - ② 出口が閉鎖された後にやってきたライダーおよびサイティングラップを走らなかったライダーはサイティングラップを終了したライダーがグリッドについてからオフィシャルの指示に従って定められたグリッドにつくことが出来る。(サイ

ティングラップ完了後からウォーミングアップラップスタート3分前ボードが提示されるまで)

- ③ サイティングラップを走らなかったライダーもウォーミングアップを回って正規のグリッドに着けることができる。
- ④ ライダーがサイティングラップから戻ってきたら、オフィシャルがコースサイドでグリッド例を示す番号パネルを表示し、ライダーが自分のグリッドポジションにつくの補助する。
- ⑤ 競技監督はレースが“ウェット”か“ドライ”かを判断し、グリッド上のライダー、およびまだピットレーンにいるライダーにボードを表示することによってそのことを伝える。ボードが表示されない場合には、自動的に“ドライ”レースだということになる。

(3) 注意事項

- ① サイティングラップ開始後の車両交換、追加給油は厳禁される。
- ② スタートグリッド上におけるタイヤ交換と修理はグリッドで3分前のボードが表示されるまで行なう事ができる。

(4) ウォーミングアップラップスタート5分前

- ① 5分前ボード：カウントダウン開始
- ② 3分前ボード：ライダー、ライダー1名につき2名のメカニックと1名の傘持ち以外の全員がグリッドを離れている事。モーターサイクルに対するすべての介入が禁止される。
- ③ 1分前ボードとイエローフラッグ：各ライダーごとに1名のメカニック以外の全員がグリッドを離れている事。
- ④ 30秒前ボードとエンジン始動ボード：メカニックによって補助されたライダーはマシンを押してエンジンを始動する。メカニックはグリッドから退去し、オフィシャルによって2～3列ずつの集団に別れて順番にスタートする。この時ライダーがエンジンをかけられない場合はマシンをコースサイドに移動し、このライダーはエンジンを始動し最後尾からウォーミングアップラップを走る。

さらにかからなかった場合マシンをピットレーンまで押してピットからディレイドスタートする。この際競技役員が移動、ならびに再スタートを補助する事ができる。

- ⑤ ウォーミングアップラップの時は、ライダーは自分のスタートグリッドポジションをキープしなくてはならない。

(5) スタート

- ① グリッドに戻ったライダーは、エンジンをかけたままの状態、自分のグリッドポジションで静止する。
- ② もし、マシン等に問題があった場合は、このライダーはすみやかにピットにもどらなければならない。
- ③ スタートを遅らせることを意図して、ライダーが、グリッドにつくことは禁止される。もし、ライダーが遅れて戻ってきて、既にレッドライトが点燈されている事に気がついたら、このライダーはゆっくりとしたスピードでピットに向かわなければならない。そしてこのライダーは、ピットからディレイドスタート(遅れてスタートすること)する。
- ④ スタートライン上、コースの中央地点では、赤旗を持った競技役員が、ライダー全員がグリッドに着くのを待つ。さらにこの競技役員は、マーシャルカーが姿を見せるまでそこに残っている。スターターの指示が出たら、この競技役員はコ



- ースを離れる。
- ⑤ 緑旗と赤旗を持った二人目の競技役員がグリッドの最後尾に待機する。
- ⑤-1 緑旗を掲示することによって、この競技役員はグリッドの用意ができたことを示し、コースの中央にいる（スタート・ラインのところ）競技役員がスターターの指示に従ってコースから離れる。
- ⑤-2 赤旗を掲示することによって、この競技役員は、レース・マネージメント・カーの後ろからやってきたライダーを停止させ、このライダーが緑色灯点灯後にグリッドの最後尾より静止状態からスタートするか、あるいはピットに戻るかをチェックする。
- ⑥ 列の番号表示ボードを持つスタートマーシャルは、グリッド各列の向かい側に立ち、自分の列のマシンが静止したらただちにボードを下げる。すべてのボードが下げられたら、スターターはグリッドが静止していることを確認して「赤色灯」を点灯する。赤色灯が点灯されてから1秒以上5秒以内に赤色灯に代わって緑色灯が点灯され、レースがスタートする。
- ⑦ スタートグリッドに戻ってきた時点で、エンジンが止まったり、スタート出来ないライダーがいた場合は……、
- ⑦-1 ライダーは手を挙げ、さらにこの列を担当するスタートマーシャルがボードを揚げて（あるいは掲げつづけて）、ボードの反対側の黄色面をスターターに向けることによって、この状況を伝える。
- ⑦-2 スタートグリッドに戻ってきた時にトラブルがあった場合、スターターは、スタートを取り止めるよう判断して下記の手順をとる。
- ⑧ 赤色灯がまだ点灯されていない場合には、スタートディレイド（スタート延期）のボードがスタートラインにて掲示され、赤旗が掲げられる。
- ⑨ 赤色灯がすでに点灯されていたら、スターターは「点滅する黄色灯」を点灯し（赤色灯はそのまま）、さらにスタートディレイドのボードがスタートラインで掲げられる。
- ⑩ ⑧⑨両方の場合：
 エンジンは停止されスタートの手順は5分前の所から再開される。この場合レース距離は1周減算される。このような状況で、スタートの手順が1回以上繰り返された場合には、1回ごとに1周ずつ減らされていく。このことはラップカウンターに表示される。
- ⑪ スタートの合図が出された後に、スタート出来なかった場合のみ競技役員がただちに介入し、エンジンを掛けるためにマシンをコースに沿って押す。もし、数回の試みによってもエンジンが掛らない場合には、競技役員がピットへ運ぶ。
- ⑫ スタートした集団がピットの出口を通過した後に、ピットレーンで待っているライダーがスタートする（競技役員の手指示にしたがって）。
- ※全日本選手権以外の大会についてはサイティングラップスタートの時間、グリッド列ボードの配列（隔列の場合もある）又はその他の手順について省略する場合がある。この場合各特別規則ならびに公式通知に示される。

17 スタートにおける反則

- 1) スタートラインについた車両およびライダーは、スタート用意からスタート合図が出されスタートが終了するまでスタート合図の統制下にある。
- 2) スタート合図が行われる前に自分のスタートポジションから前進した場合は、大会審査委員会の決定により、下記いずれかのペナルティが科せられる。

- (1) 競技結果への1分間の加算。
- (2) 一旦ピットストップを命じる。その場合には、メカニカルトラブルによる黒旗かフライングによるものかを区別するために黒旗と共に提示するブラックボードに「P」の文字を記入する。
- (3) ピットクルーがスタートの規則に従わなかった場合も反則とみなされ、当該ライダーに1分間もしくは失格のペナルティが科せられる。
- (4) ペナルティは、当該ライダーのピット要員にただちに通告されるが、判定に対する抗議は一切受けられない。

18 “ウェット” および “ドライ” レース

- 1) すべてのレースはウェットかドライに分けられる。グリッド上で、ボードが表示される。ボードが表示されない場合にはレースは自動的にドライとなる。この分類の目的は、ライダーにレース中天候状況の変化による影響があることを示すためである。
- 2) ドライレース
ドライレースと分類されたレースは天候状況が路面状態に影響を及ぼし、ライダーがタイヤ交換を望む可能性があるとして競技監督が判断した場合に中断される。
- 3) ウェットレース
ウェットレースと分類されたレースは、変化して行く状況、またはウェットの状況で通常開始され、天候の理由により中断されることはない。タイヤ交換を望むライダーはレース中ピットに入りタイヤ交換する。
- 4) すべての場合において、最初にレースが天候上の理由により中断された場合、再スタートは自動的に“ウェット”レースとなる。

19 レース中の行為

- 1) 走行中の遵守事項は、国内競技規則・第3章〔⑩競技参加者の遵守事項〕(31頁)のほかに次による。これに違反した場合罰則が課せられる。
 - (1) ライダーは、指示を伝えるフラッグシグナルに従わなければならない。
 - (2) もしライダーがコースアウトしたら、ライダーは、オフィシャルが指示した場所または、そのライダーが有利にならないような場所からレースに復帰することが出来る。
※この際オフィシャルは下記の補助ができる。
 - ・マシンを起こす補助。
 - ・修理・調整が行われている間マシンを支えている。
 - ・ライダーの再スタートを補助する。
 - (3) リタイヤする場合ライダーは自分のマシンをオフィシャルに指示された安全な場所に止めなければならない。
 - (4) もしライダーがレースからリタイヤを余儀なくされるようなマシントラブルにあった場合、そのライダーは遅いスピードでピットまで戻ろうと試みず、コースアウトしてオフィシャルの指示に従い、安全な場所にマシンを止めなければならない。
 - (5) 修復作業のためにゆっくりと戻るライダーは、出来るかぎりピット設置側を走行しなければならない。
 - (6) コース外側より、作業もしくは工具・部品等の援助を受けてはならない。この場合は失格とされる。



- (7) いかなる場合でも、逆方向への走行あるいは規定外のコースを走行してはならない。これに違反した場合は罰則が科せられる。
- (8) レース中（予選中を含む）直線部分では前車を追い越すためあるいは後車のスリップ・ストリーミングを外す目的以外で、進路を著しく変更することは禁止される。
- 2) ピット
- ピットとは車両の修理、調整、部品交換、燃料補給などの作業を行うことを目的に、ライダーに与えられた区域である。
- 3) ピットイン
- (1) ピットインする車両のライダーは、ピットロード入口手前よりピット側に車両を寄せ、手または足でピットインの合図を行ったのち、安全を確認してピットロードを徐行しなければならない。
ピットエリア（停車区域）を走行することは禁止される。
- (2) ピットインする車両のライダーは、自己のピットに出来るだけ近いピットロードからピットエリアに入り、出来るだけ自己のピットに近づけて車両を停車させなければならない。
- (3) ピットインしてピットエリアに入った車両及び当該車両のライダーやピットクルーは、ピットロード及びピットエリアにおいて他の車両の通過を妨げてはならない。
- (4) ピットインの際、自己のピット前を通り過ぎて停車した車両のライダーは、競技役員承認を得て、当該車両のライダーおよびピットクルーによって押し戻し、自己のピットにつけることができる。
- 4) ピットアウト
- (1) ピットロードにおいてはピットインしてくる車両に優先権がある。
- (2) ピットロードに出てコースに復帰するライダーは、ピットロードを出て最初のコーナー出口に達するまで、コースピット側に沿って走行しなければならない。その間、後方から近づく車両の走行を妨げてはならない。
- (3) ピットでエンジンを止めたライダーは、メカニックの補助を受けてマシンを再スタートすることができる。
- 5) ピット作業
- (1) レース中、車両の修理、調整、部品交換は、ピットに準備してある部品と工具によって行わなければならない。給油中は、必ずエンジンを停止しなければならない。
- (2) ピット区域内にオイルをこぼしたり、汚したりした場合は、安全上ただちに清掃しなければならない。
- 6) ピット作業人員
- (1) 大会の格式によって登録できるピットクルーの人数が大会特別規則に示される。
- (2) レース中にピットインした車両に対しての作業は、登録した2名のメカニックと、その車両のライダーの計3名だけに限られる。（全日本選手権は細則2全日本選手権特別規則参照）（64頁）
- (3) ライダーに対するピットクルー（メカニック、ピットサインマンおよびヘルパー）の合図は、大会競技役員の使用する合図旗にまぎらわしいものであってはならない。また主催者により定められたピット区域またはピットサインエリアのみで合図を送ることができる。
- (4) ピット作業を行う者は、すべてピットクルーライセンス所持者で、大会への参

加申請がなされた者でなければならない。大会当日の追加は一切認められない。

ただし参加申請がなされている者の変更は認められる（変更料1,000円）。

- (5) ピットクルーは競技期間中を通じて、すべて大会競技役員の指示に従わなければならない。
- (6) ピットクルーが諸規則に違反した場合の責任は、そのピットクルー担当のライダーに帰属し、罰則が科せられる。

20 停車指示

- 1) レース続行が危険とみなされるライダーまたは車両について、競技監督は、大会審査委員会の同意を得てピットインを命じるか、レースから除外することができる。
- 2) 天災、大事故等の不慮の事態が発生した場合は、競技監督は、赤旗によって全ライダーに対し、停止を指示することができる。

21 レースの停止

事故または、天候その他の事情で継続が危険になって、レース停止が必要になった場合、競技監督はスタート・ゴールラインに赤旗を掲げ、同時にすべてのコースポストで赤旗を掲げ、レースが停止されたことを告げるものとする。

天候上の理由に関してレースは1度のみ停止される。

レース停止の決定は競技監督、あるいは競技監督が「不可避の理由において欠席している場合には競技監督代理にて出されるものとする。

赤旗がスタートラインとすべてのコーナーポストにて掲示されたら、ライダーはただちにスローダウンし、レースの結果が前周終了時点のものであることを認識しピットレーンに戻る。したがって、結果は赤旗が表示される前にライダー全員がレース状態でフル・ラップを走行していた最後の時点のものとされる。

- 1) 競技結果が2周以下しか走行をしていないことを示すものであった場合
レースは無効とされ、まったく新しいレースが行われる。もしレースの再スタートが完全に不可能である場合、このレースは中止されたと宣言される。
- 2) 競技結果が3周以上走行したことを示すが、本来のレース距離の75%未満しか完了されていない場合、レースは再スタートされ、2つのレースのラップ数とタイムが合計され、最終結果が決定される。もしレースの再スタートが完全に不可能だと判断された場合、リザルトは有効となり、半分のポイントが与えられる。
- 3) もし、リザルトが本来のレース距離の75%以上であった場合、レースは完了したものとみなされ、ポイントはフルに与えられる。

22 中断されたレースの再スタート

レースが再スタートされる場合、再スタートはコース・コンディションが許すかぎり早く行われなくてはならない。ライダーがピットに戻りしだい、競技監督は新たなスタート時刻を発表する。このスタート時刻は状況が許すかぎり最初の赤旗が掲示されてから30分以内に設定される。

- 1) 競技結果が2周以下の場合の再スタートには下記各項が適用される。
 - (1) 全ライダーがスタート出来る。
 - (2) マシンは修理・給油が出来る。
 - (3) 転倒車両を使用する際には車検長の許可を必要とする。
 - (4) 登録され車検に合格しているTカーに交換できる。
 - (5) 周回数は原則的にもとのレースと同じとする。



- (6) グリッドポジションは本来のレースと同じとする。
 - (7) 再スタート出来ないライダーのグリッドはそのまま空席とする。
 - (8) スタートの手順は通常にサイティングラップから始める。
- 2) 競技結果が3周以上75%未満の場合の再スタートには下記各項が適用される。
- (1) 前回のレースでトップの周回数の75%を走行しているライダーだけが再スタートできる。
 - (2) 第2レースが開始される前に、第1レースの結果が公示されなくてはならない。
 - (3) 転倒車両を使用する際には車検長の許可を必要とする。
 - (4) マシンは修理・給油ができる。
 - (5) 登録され車検に合格しているTカーに交換できる。
 - (6) 第2レースの周回数は、本来のレース距離を満たすために必要な周回数とする。
(前回のレース結果の周回数に基づく)
 - (7) グリッドポジションは第1レースの結果に基づく。
 - (8) レースの最終結果は、二つのレースの周回数を合算し、最大数の周回のライダーが優勝者となる。周回数が同数の場合二つのレースのタイムを合計したタイムによって順位が決定される。

23 リタイヤ (棄権)

- 1) リタイヤと停止は、国内競技規則・第3章〔⑱競技〕(35頁)による。
- 2) ライダー本人が負傷その他の理由でリタイヤ届を提出できないときには、競技役員判定によりリタイヤと認めることができる。
- 3) ピット以外の地域でリタイヤする場合、ライダーは車両をレース(または予選)終了まで競技役員管理下におかなければならない。ただし、競技役員から車両移動を指示された場合は、これに従わなければならない。

24 レース終了

各レースの終了は、チェッカー旗によりトップ走者がゴールしたのち特別規則に示す時間を経過した時である。

注：原則的にコース1周の距離を1kmにつき1分とする。

25 優勝者、入賞順位、完走者および得点

- 1) 優勝者
優勝者は規定の距離(周回数)または時間を完走して最初にフィニッシュライン(コントロールライン)を通過したライダーである。
優勝者がフィニッシュラインを通過したら他のライダーはその時点で走行している周回を終え、フィニッシュラインを通過したら終了となる。
- 2) 入賞者および順位の優先順位(耐久レースは特別規則による)
入賞者および入賞順位は、チェッカーを受けた完走者の中から周回数の多い順に決定される。なお、周回数が同じ場合は、ゴールライン通過の順位による。
- 3) その他の優先順位
周回数の多い者を優先する。同周回数の場合は、ゴールラインの通過順位による。
- 4) 完走者
優勝者の周回数の75%(少数点以下は切り捨てる)以上を走行したライダーを完走者とする。
- 5) 得点
得点は、国内競技規則・第3章〔㉔公式得点〕(36頁)によって与えられる。

26 レース終了後の車両保管と再検査

- 1) 上位入賞車両は、所定の位置より競技役員の誘導に従って車両保管区域へ入らなければならない。
- 2) 上位入賞車両は、音量測定およびエンジンを分解して排気量を測定するほか、規定を越える改造などについて再検査を行うことがある。
- 3) 上位入賞車両は、暫定結果発表後30分間保管される。

4) 燃料検査

燃料検査の手順

- (1) 燃料検査は各大会の審査委員会が必要と認めた場合実施できる。
 - (2) 燃料検査を行う対象クラス、ライダーは審査委員会が決定する。
 - (3) レース終了後に燃料タンク内に残っている燃料が十分でないとして予測される場合、燃料テストはウォームアップラップ開始直前または公式予選中に実施されてもよい。
 - (4) 各分析ごとに、それぞれ1ℓのサンプルを2サンプル採取する。
ひとつは検査用、ひとつは保管用として封印され、当事者によってサインが施され、主催者が保管する。
潤滑油を混合した場合は混入したオイルも添えて提出しなければならない。
車検にて判別出来ない場合はMFJ指定の機関にて分析を依頼し検査する。
サンプルはエントラントに提出義務があり、その対価は自己負担とする。
 - (5) 結果が「不合格であった場合、当事者は本人の費用負担によってMFJ指定の別の機関にて保管用サンプルの分析を依頼することが出来る。
 - (6) 分析の費用負担は下記の通り
 - ① 大会審査委員会の決定により、特定の大会もしくはクラスに検査を行う場合、
・最初の検査の費用は主催者が負担する。
・結果が不合格で当事者が再度検査を要求する場合は当事者が負担する。
 - ② 抗議が出され特定のライダーの検査をする場合は抗議者が費用を負担し、検査の結果違反が立証された場合は返却される。
 - ③ 検査の結果違反が立証された場合は違反者が検査料を負担しなければならない。
 - (7) 競技結果
サンプル分析の結果、違反が立証された場合MFJスポーツ委員会に報告され、罰則が課せられる。又、当日受領した賞典等は返却しなければならない。
- 5) 出場者は、車両保管解除と同時に、保管車両を速やかに引き取らねばならない。
主催者は車両保管解除発表後、保管車両の責任は一切負わない。

27 レースおよび大会の延期・中止等

- 1) 大会は、原則として本規則に発表した日程から変更または延期されることはない。
- 2) レースまたは大会が参加申し込み後に中止された場合、参加者が支払った出場料、MFJ共済会掛金は返還されるが、他の一切の損害賠償を主催者に請求することはできない。

28 抗議

- 1) 抗議は、国内競技規則・第3章〔②抗議〕(37頁)による。
- 2) 車両の分解検査に要した費用は、その抗議が「不成立の場合は抗議提出者、成立し

た場合には抗議対象者が支払わねばならない。この車両の分解等に要した費用は車検長が算定する。

29 違反に対する罰則

競技規則による違反行為に対する罰則は、国内競技規則・第3章〔違反行為に対する罰則〕(38頁)による。

30 本規則の解釈

規則および競技に関する疑義は、事務局あてに質問をすることができる。なお、この回答は、大会審査委員会の解釈、決定が最終的なものとして示される。

31 本規則の施行

本規則は、1995年1月1日より有効となる。



'95全日本 ロードレース選手権大会 特別規則

1 公 示

全日本ロードレース選手権はFIM国際スポーツ憲章に基づいたMFJ国内競技規則と全日本選手権シリーズを通じて、共通した項目をまとめた本大会特別規則と各大会の特別規則に基づきFIM・MFJ公認の国際格式競技会として開催される。

2 開催種目と競技会の日程

- 1) 開催種目は下記とする。

国際 (インターナショナル)	GP125
	GP250
	スーパーバイク
- 2) クラス数
大会にはGP125、GP250、スーパーバイクの3クラスが必ず含まれていなければならない。
- 3) レースウィークの日程
 - ① 全日本選手権は下記日程で開催される。
 - 月～木曜日：当該大会にエントリーしている選手は走行してはならない。これに違反した場合罰則が適用される。
 - 金曜日：スポーツ走行 各クラス 30分×2回
 - 土曜日：公式予選 各クラス 20分×2回
 - 日曜日：午前 ウォーミングアップラン 各クラス10分
10：30～16：00以内 決勝レース
- 4) 競技会の日程は巻末に示す。

3 追加のクラス

全日本選手権には併催クラスが追加されても良い。ただし全日本選手権対象クラスを含めて全体で6クラスを限度とする。また併催クラスを追加する場合下記の条件が満たされなければならない。

- ・パドックが充分広く、主催者が全日本選手権のレースを優先させ規定の予選時間・決勝レース距離を設定できること。

4 コース

コースはMFJが国際公認もしくは準国際公認したコースとする。

5 大会審査委員会

- 1) 大会審査委員長はMFJロードレース委員会の委員もしくは主催者が指名する1級競技役員でMFJが任命する。
- 2) 任命された審査委員長が定時までに会場に到着しない場合は次席のものがこれにあたる。

6 参加資格

'95全日本選手権の参加資格

年間を通じてエントリー出来る資格

- ・前年度全日本選手権にてポイントを得た者
- ・当該年度全日本選手権にてポイントを得た者
- ・MFJスポーツ委員会にて認められた者（世界選手権出場者等）

限定資格（年間で任意の3大会の任意のクラスにエントリー出来る資格）

- ① 当該年度全日本選手権に出場し予選を通過したがポイントは得られなかった者
- ② 当該年度エリア選手権に国際ライセンスにて出場し1～6位に入賞した者（どのクラスでもよい）
- ③ 当該年度エリア選手権に国内ライセンスで下記クラスに出場し優勝した者
GP125/GP250/スーパーバイク：国際ライセンスに自動昇格し、以後の全日本の限定資格が与えられる
- ④ 前年度全日本選手権にエントリーした者
- ⑤ 前年度の成績により昇格する者

——'96年に追加適用される項目——

- ・前年度国際ライセンスにてエリア選手権に出場し15点以上のポイントを得た者
- ・前年度国内ライセンスにてエリア選手権に出場し15点以上のポイントを得た者
※上記③と④の間に入る。

エントリーが多い場合の選抜（予選予備）

上記資格者のエントリー数が多く、適正予選組数に制限する場合は上記①～⑤を優先順位とし、主催者が定める方法によって選抜される。（金曜日の練習時に該当者のみタイム測定をする等）

当該全日本選手権大会のエントリー締切り後に発生した暫定資格でも予選組数等運営に支障がない場合はプログラムに載らなくても公式通知で公示することによって主催者権限にて出場を認められる。

（この特別措置の適用はエントリー締切り後のエリア選手権にて得た資格に限る。）

'95全日本選手権参加資格に関する経過措置

- 1) 1995年度に限り下記の者に関しては主催者の権限において全日本選手権へのエントリーが認められる。（全大会）
 - ① '94年度ロードレース国際A級ライセンス所持者
 - ② '94年の成績にて国内A級から昇格した者
（自動昇格・申請昇格・特別昇格すべて）
 - ③ '94年の成績にて国内B級から特別昇格（2階級特別昇格に該当する）した者
- 2) 予備予選を行なう場合の優先順序については各大会の大会特別規則または公式通知に示される。



7 出場料およびMFJ共済会掛金

出場料：1クラス	14,000円
MFJ共済会掛け金	1人1口 4,500円
合計	18,500円

8 ピット要員

- 1) 1ライダーに対して6名のピットクルーが認められる。いずれもピットクルーライセンスが必要であり、当日の変更は可能であるが追加は認められない。
- 2) ピットエリアではライダー1名について3名のピットクルーが作業できる。

9 スポーツ走行

- 1) スポーツ走行は各クラス（予選組）ごとに最低下記時間が設定され、MFJライセンスにて走行できる。
無料のスポーツ走行時間：30分間
有料のスポーツ走行時間：30分間
- 2) 天候等やむを得ない理由にて短縮または中止される場合がある。

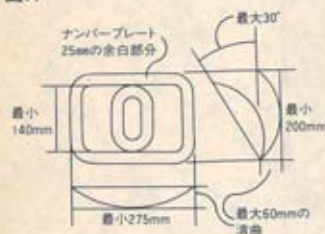
10 レース当日の練習走行

- 1) レース当日の朝、各クラスごとに最低10分間の練習走行が行われる。
- 2) 天候等やむを得ない理由にて短縮または中止される場合がある。

11 ゼッケンナンバー

- 1) 前年度全日本選手権の有得点者には当該クラスのランキング順位に従って年間指定ゼッケンナンバーが与えられる。
- 2) その他のライダーには大会ごとに主催者からゼッケンナンバーが指定される。
- 3) ランキング順位に従って定められたゼッケンナンバーを変更する場合はスポーツ委員会にて許可が必要であり、別途定める料金を必要とする。
- 4) 全日本選手権ゼッケン（ナンバープレート）規定
 - ① モーターサイクルのフロントと両サイドにナンバーが装着され、観客と競技役員が明確に識別できるようにしなくてはならない。
 - ② 文字およびバックグラウンドは、図Aに記載されている寸法に適合していなくてはならない。
 - ③ 文字の色は黒か白とし、バックグラウンドの色と判別しやすいようにされなくてはならない。
 - ④ バックグラウンドは最低限、下記の面積が単色でなければならない。蛍光色は禁止される。
・幅=275mm ・高さ=200mm
 - ⑤ ナンバープレートは、垂直から30°以上傾斜してはならない。
 - ⑥ ナンバープレートは、湾曲による突出が水平方向からも垂直方向からも60mm以上あつてはならない。
 - ⑦ 文字の周囲には最低25mm幅の余白が残されていなくてはならない。
 - ⑧ ナンバーの明瞭度に関して議論が持ち上がった場合、車検長の決定を最終のものとする。

図A





12 車両の変更

- 1) 公式予選ではライダーは複数の車両を使用してもよいが、これはそのライダーの名前でTカーとして登録され、車検に合格していることを条件とする。
- 2) 公式車検終了後選手間でのマシンの交換はできない。
- 3) 何らかの理由で、レースが停止されることになった場合、レースの再スタート前にマシンを交換する事が出来るが、そのライダーの名前でTカーとして登録され車検に合格していることを条件とする。
- 4) レース停止の場合を除き、通常、Tカーとのマシン交換はサイティングラップのためにコースインするまでとする。

13 タイヤの使用本数の制限

- 1) 予選において使用出来るタイヤは2セットに制限する。
 - ① 雨天時のレインタイヤの使用本数の制限はない。
 - ② 「雨天時」とは路面が一部でも濡れている状況をいう。
 - ③ 「レインタイヤ」とはスリックタイヤ以外のすべてのタイヤをいう。
カットスリックもレインタイヤとみなすが、カットスリックのレインタイヤ判定は競技監督が行なう。
- 2) 予選のスタート前チェック時にペイントを行う。
- 3) 予選終了後は制限しない。
※上記制限は1エントリーに対するものとし、Tカーも含み以上の本数とする。

14 公式予選

- 1) 公式予選は各クラス（予選組）ごとに最低20分間を2回行う。
- 2) 天候等やむを得ない理由にて短縮される場合がある。

15 タイムキーピングシステム

主催者の定める大会特別規則にて自動計測装置の取り付けを義務づけられた場合、これに従わなければならない。

16 スタートイングリッド

スタートイングリッドの数、配置は各大会の特別規則に示される。

17 レース距離

- 1) 各クラスの決勝レースの距離を下記のように定める。

GP125	50km～130km
GP250	60km～130km
スーパーバイク	70km～250km
- 2) 天候等やむを得ない理由によって上記の距離から短縮される場合がある。

18 賞および得点

- 1) 賞の詳細については公式通知に示される。
- 2) 得点は国内競技規則・第3章「公式得点」によって与えられる。
- 3) 2ヒート制で行なわれる場合は次項参照。
- 4) MFJのスポーツ国籍以外の選手については賞典は与えられるが、全日本選手権の得点が与えられない。(但し下位は繰上げない)
- 5) MFJグランプリ大会については上記の得点に3点が追加される。
- 6) 全日本選手権のランキングは上記得点の総合計によって決定される。その他の詳細は全日本選手権ランキング決定方法(222頁)に示される。

19 2ヒート制の規定

- (1) 第1レース、第2レースとも独立したレースとして行われる。
- (2) 走行距離：2つのレースは同周回数とし、トータルの走行距離は開催規定内にあること。
- (3) 第1レース、第2レースともにグリッドは予選結果に基づき決定される。
- (4) 第1レース、第2レースの間は原則として最低3時間のインターバルを設けること。
- (5) 2ヒート制の場合のポイントと賞の配分については規定の半分ずつそれぞれのヒートの結果に基づき与えられる。

・レースごとのポイント

1位	10	6位	5	11位	2.5
2位	8.5	7位	4.5	12位	2
3位	7.5	8位	4	13位	1.5
4位	6.5	9位	3.5	14位	1
5位	5.5	10位	3	15位	0.5

- (6) 第1レースにて完走しなかったライダーも第2レースに出場できる。
- (7) 両レースの間にマシンを交換することが許可される。ただしこの場合両方のマシンが車検を通過していること、そして両方が同じ型式であることを条件とする。

20 主催者の権限

- 1) 参加申し込みの受付に際して、その理由を示すことなく、参加者、ライダー、ピットクルーを選択あるいは参加を拒否することができる。
- 2) 競技監督が必要と認めた場合、ライダーに対し、指定医師による健康診断書の提出を要求し、競技出場の健康上の理由による可否を最終的に決定することができる。
- 3) 競技番号の指定、あるいはピット・ガレージの割り当て等にあたり、各参加者の優先順位を決定することができる。
- 4) やむを得ざる理由により、公式プログラムの印刷に間に合わなかったライダーの氏名登録または変更について許可することができる。
- 5) すべての参加者、ライダー、ピットクルーおよびその参加車両の音声、写真、映像など報道、放送、放映、出版、ビデオ等に関する権利を有し、この権限を第3者が使用することを許可できる。

21 本規則の施行

本規則は、各競技会の参加申し込み受付日より有効となる。なお本規則に示されていない事項は国内競技規則による。

本規則は1995年1月1日より適用される。

'95全日本ロードレース選手権開催日程

*併催地方大会がある場合は特別規則に示す。

開催月日	大会名/会場/開催クラス	出場申し込み先	出場申し込み期間
3月10日(金) ～ 3月12日(日)	MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第1戦 サンスタースーパーバイク100マイルレース 会場:鈴鹿サーキット ☎0593(78)1111	鈴鹿サーキットランド SMSC事務局 〒510-02 三重県鈴鹿市稲生町7992 ☎0593(78)3405	1月31日(火) ～ 2月9日(木)
4月7日(金) ～ 4月9日(日)	MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第2戦 MINEスーパーバイク100kmレース 会場:MINEサーキット ☎08375(8)0321	MINEサーキット 〒759-21 山口県美祿市西厚保町 ☎08375(8)0321	2月28日(火) ～ 3月9日(木)
4月28日(金) ～ 4月30日(日)	MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第3戦 SUGOスーパーバイク2ヒートレース 会場:スポーツランドSUGO ☎0224(83)3111	スポーツランドSUGO 〒989-13 宮城県柴田郡村田町菅生6-1 ☎0224(83)3111/3127	3月21日(火) ～ 3月30日(木)
5月12日(金) ～ 5月14日(日)	MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第4戦 スーパーバイク750ビッグマシンレースin筑波 会場:筑波サーキット ☎0296(44)3146	(財)日本オートスポーツセンター 〒105 東京都港区虎ノ門1-5-8 オフィス虎ノ門1ビル ☎03(3591)6056	4月4日(火) ～ 4月13日(木)
5月26日(金) ～ 5月28日(日)	MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第5戦 スーパーバイク750ビッグマシンレースin FISCO 会場:富士スピードウェイ ☎0550(78)1234	MFJ関東内 全日本RR事務局 〒135 東京都江東区東陽4-1-13 東陽セントラルビル ☎03(3649)1791	4月18日(火) ～ 4月27日(木)
6月9日(金) ～ 6月11日(日)	MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第6戦 サンスタースーパーバイク200kmレース 会場:鈴鹿サーキット ☎0593(78)1111	鈴鹿サーキットランド SMSC事務局 〒510-02 三重県鈴鹿市稲生町7992 ☎0593(78)3405	5月2日(火) ～ 5月11日(木)
6月30日(金) ～ 7月2日(日)	MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第7戦 SUGOスーパーバイク2ヒートレース 会場:スポーツランドSUGO ☎0224(83)3111	スポーツランドSUGO 〒989-13 宮城県柴田郡村田町菅生6-1 ☎0224(83)3111/3127	5月23日(火) ～ 6月1日(木)
9月8日(金) ～ 9月10日(日)	MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第8戦 サンスタースーパーバイク2ヒートレース 会場:鈴鹿サーキット ☎0593(78)1111	鈴鹿サーキットランド SMSC事務局 〒510-02 三重県鈴鹿市稲生町7992 ☎0593(78)3405	8月1日(火) ～ 8月10日(木)
9月29日(金) ～ 10月1日(日)	MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第9戦 TIスーパーバイクインターナショナルレース 会場:TIサーキット英田 ☎08687(4)3311	TIサーキット(株) 全日本RR事務局 〒701-26 岡山市英田郡英田町滝宮1210 ☎08687(4)3311	8月15日(火) ～ 8月24日(木)
10月20日(金) ～ 10月22日(日)	MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ最終戦 MFJグランプリスーパーバイクレースin SUGO 会場:スポーツランドSUGO ☎0224(83)3111	スポーツランドSUGO 〒989-13 宮城県柴田郡村田町菅生6-1 ☎0224(83)3111/3127	8月12日(火) ～ 9月21日(木)

全大会国際格式

'95世界選手権競技会の開催日程

開催月日	大会名/会場	開催クラス	出場申し込み先
4月21日(金) ～ 4月23日(日)	FIMロードレース世界選手権第3戦 マルポロ・グランプリ・ジャパン 会場:鈴鹿サーキット	GP-1 GP-2 GP-3	鈴鹿サーキットランド SMSC事務局 〒510-02 三重県鈴鹿市稲生町7992 ☎0593(78)1111
7月28日(金) ～ 7月30日(日)	FIM世界耐久選手権第5戦 "コカ・コーラ" 鈴鹿8時間耐久ロードレース大会 会場:鈴鹿サーキット	スーパーバイク	鈴鹿サーキットランド SMSC事務局 〒510-02 三重県鈴鹿市稲生町7992 ☎0593(78)1111
8月25日(金) ～ 8月27日(日)	FIMスーパーバイク世界選手権第9戦 SUGOスーパーバイク日本大会 会場:スポーツランドSUGO	スーパーバイク	スポーツランドSUGO 〒989-13 宮城県柴田郡村田町菅生6-1 ☎0224(83)3111/3127

2次災害防止にご協力下さい

最近転倒後に後続車にひかれる2次的な事故が多発しております。
転倒、もしくは故障で停止したときに2次事故防止に充分に気を配って行動して下さい。

転倒、又は故障停止したら

2次災害防止を基本的に

転倒したら2次災害の防止。つまり、後続車にひかれる、あるいは後続車を転倒させる等、事故の増大を防止するよう心がけて下さい。

先ず逃げる

転倒したら、先ず安全な所にできるだけ早く逃げて下さい。

特に、オイルによる転倒は、後続車も同じ所に次々と転倒してきます。

後続車への合図

ポストから黄旗が振られますが、できるかぎり後続車に知らせる努力をして下さい。タイミングを見て、電源と燃料コックをOFFにして火災やガス洩れの防止をして下さい。

障害物のかたづけ

オフィシャルと協力して散乱部品のかたづけを素早く行って下さい。オイルやガソリンがこぼれていたら処理作業も素早く行って下さい。安全上、走って来るレーサーに背中を向けないよう心がけて下さい。

コース内はヘルメットを

自分が転倒した所は他のライダーも転倒し易い場所です。いつ飛び込んで来るかわかりません。

ガードレールの外に出るまではヘルメットを被ったままで行動して下さい。コース内(グリーンも含む)にライダーがいる間は黄旗が振られ、追い越し禁止です。他のライダーを拘束しますので、出来るだけ早くコース外に退場して下さい。

転倒車両を見たら

転倒したマシンは、オイル、ガソリン等をこぼす可能性があります。

走行中に転倒車を目撃したら次の間には充分注意をして通過して下さい。

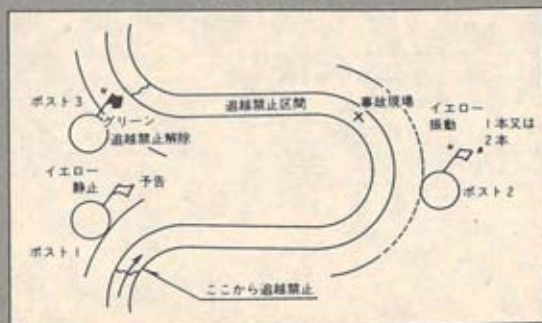
再スタート

マシンが再スタートが可能かどうかの確認をする。

マシンの点検はコース内の危険な場所で行わないで下さい。オフィシャルの指示に従い安全な場所へ移動して下さい。

- 1) オイル、ガソリン、冷却水、ブレーキオイル等の洩れが無いか確認をして下さい。オイル洩れなどがあった場合は無理にピット帰還はしないで下さい。
- 2) 走行に危険のある部分の破損、重要保安部品の破損が無いか、また破損部分が鋭利になり2次被害を与えないか確認して下さい。
- 3) カウリング内に泥、砂利、草等が入っていないかを確認し、またタイヤに泥が付着したままライン上に復帰してはいけません。後方の安全を充分に確認し余裕をもってコースに復帰して下さい。

黄旗の出され方



あなたのさがしもの、ここに 있습니다。

ウェア・パーツからアクセサリ・オイルまで
国内外の一流ブランドを取り揃え
みなさまのご来店をお待ちしております。

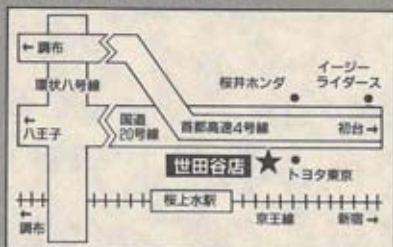
SHOP LIST

TRY! MOTOR SPORTS KOMINE

株式会社コミネオートセンター
本社：〒111 東京都台東区小島2-20-11
Tel. 03(3862)9811(代) Fax. 03(3866)5134(代)



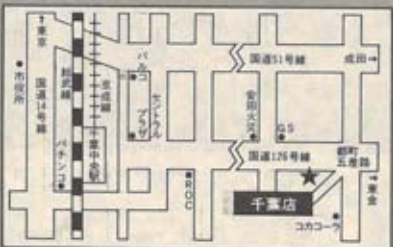
大阪支店 ☎0727(24)1555
大阪府箕面市萱野2-4-8



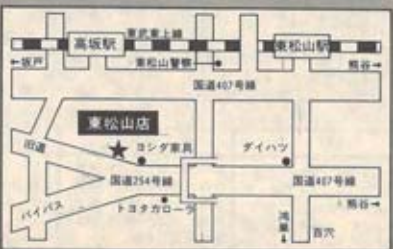
世田谷店 ☎03(3327)7732
東京都杉並区下高井戸1-18-19



相模原店 ☎0427(52)3686
神奈川県相模原市横山2-15-8



千葉店 ☎043(232)1884
千葉県千葉市中央区都町3-22-5



東松山店 ☎0493(23)0335
埼玉県東松山市今泉277



藤沢店 ☎0466(81)2757
神奈川県藤沢市亀井野3263-4



鳩ヶ谷店 ☎048(284)2961
埼玉県鳩ヶ谷市桜町1-6-11



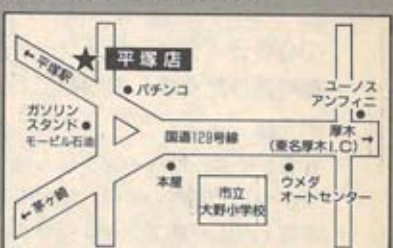
高崎店 ☎0274(42)3215
群馬県藤岡市立石1221



練馬店 ☎03(3904)3147
東京都練馬区高野台4-19-5



多摩店 ☎0425(51)9623
東京都福生市熊川1115-7



平塚店 ☎0463(24)2888
神奈川県平塚市四之宮427-1



大宮店 ☎048(652)1431
埼玉県大宮市日進町3-681



太田店 ☎0276(32)0438
群馬県太田市新道町59-1



初心者ライディングスクールから世界選手権情報まで、
 毎号盛りだくさんの内容でお送りする日本唯一のトライアル専門誌
 例えば・・・

有名ライダー独占インタビュー ニューモデルインプレッション
 ワールド・国内の情報「NEWS SCRAP」 海外・国内のスタジアムトライアル
 連載・黒山一郎ブラック団サポート学入門 読者のページ「WAIST BAG」
 などなど

お求めは全国の書店にて、また定期購読もできます。

毎月24日発売
 定価 700円

●定期購読の方法

「トライアルジャーナル〇月号より定期購読申し込み」と明記の上、下記の(株)フラヌエールまで料金と送料を添えて現金書留にてお申し込み下さい。
 また、郵便振替でもOK。口座番号は京都5 51465 加入者名(株)フラヌエールです。

●12ヶ月 8,400円、送料1,560円 申込先 〒604 京都市中京区堀川通姉小路西入ル (株)フラヌエール

■TJスタジアムトライアルビデオ

'93年全日本選手権シリーズR1~R4ダイジェスト編集。白熱したシリーズの模様と、エキサイティングな走りを満載。
 定価 2,880円



'92年全日本選手権シリーズR1~R5総集編。最多の興奮のシーンをこの1本に凝縮。
 定価 2,880円

■TJオリジナルバインダー

(本誌12冊組じ込み可能)
 定価 1,500円(税込)



■ツートラ参考書のロングセラー



ツーリングトライアルの楽しさを1冊の本にまとめてみました。
 内容●ツートラカタログ
 ●A級ライダー達のツートラ
 ●ツートラの傾向と対策
 ●各主催者のPR・他

現金書留または本誌組じ込みの振替用紙にて送料を添えてお申し込み下さい。なお、書籍とTJグッズは別配送となります。
 定価 1,850円(税込) 送料350円 B5判 124ページ 平綴 1989年4月発行

送料	510円	610円	820円	1020円
地域	京都市内	山梨・神奈川県・長野・静岡・富山・岐阜・愛知・石川・福井・三重・鳥取・岡山・島根・広島・山口・香川・徳島・愛媛・高知・近畿全地区(京都市内は除く)	秋田・山形・宮城・福島・茨城・栃木・群馬・埼玉・新潟・千葉・東京・大分・宮崎・福岡・熊本・鹿児島・佐賀・長崎	北海道・青森・岩手・沖縄

●TJバインダー・ビデオ購入方法 (3部までは送料が同じになっております) 現金書留もしくは本誌組じ込みの振替用紙をご利用の上、送料をプラスして下さい。

1995年 筑波サーキットは 25周年のAnniversary year

ライセンスを取得して、レースを楽しむ。
レース観戦で、手に汗握る。
筑波サーキットは
モータースポーツの楽しさを提供して25年。
そして、これからも……



筑波サーキットライセンスとは…

筑波サーキットを走るための走行許可証です。
ライセンスは、「一般会員」「スポーツ会員」があります。
「一般会員ライセンス」は、ノーマル車両のみの走行になります。
「スポーツ会員ライセンス」は、レース仕様車両が走行できます。
これからレースに出ようと思っている人趣味でサーキット走行を楽しみたい人は
ライセンスの取得をおすすめします。
*「スポーツ会員ライセンス」は、「一般会員ライセンス」を取得後、別途お申
込を承ります。

ライセンスの取得方法は…

サーキットで講習会(講義と体験走行)を受講して
いただきます。
予約の必要はありません。講習会の当日、午後1
時から2時までにサーキットで受付してください。

講習会日程

95. 1月22日	29日	7月9日	23日
2月5日	26日	8月27日	
3月5日	12日	9月10日	24日
4月9日	23日	10月8日	22日
5月7日	21日	11月12日	26日
6月11日	25日	12月10日	17日

*日程は、都合により変更になる場合がございますので、予めお問い合わせの上、ご来場下さい。

当日の用意は…

1. 写真(運転免許証用タテ3cm×ヨコ2.5cm)を2輪は4枚、4輪は2枚。
2. 運転免許証(2輪は自動2輪)
3. 印鑑
4. 筆記用具
5. 20才未満の方は親権者の承諾書
6. ヘルメット(2輪はフルフェイス)
7. グローブ
8. 体験走行用の車両(仮排気系はノーマルに限りです)

受講料は…

料金は、16,000円です。一般会員ライセンス発行料、教材費です。
2輪は、MFJ発行のフレッシュマンライセンス(レース競技ライセンス)発行料も含まれていますのでともお得です。

ライセンス発行は…

講習会終了後、仮ライセンスを発行いたします。
約3週間後に本ライセンスがご郵送されます。
有効期間は、取得日より1年間です。

本部 〒105 東京都港区虎ノ門1丁目5番8号
オフィス虎ノ門1ビル2F ☎03-3591-6056

筑波サーキット 〒304 茨城県結城郡千代川村
村岡 ☎0296-44-3146~7

95 TSUKUBA RACE CALENDAR (2輪)

開催月日	レース名称	主催者	開催月日	レース名称	主催者	開催月日	レース名称	主催者
1月8日(日)	スポーツキッズ'95ニューイヤーズバトル	スポーツキッズクラブ	5月20日(土) 5月21日(日)	'95トランスエコー	ゴールプロジェクト	10月10日(日)	第19回タイムトンネルフェスティバル	フリーランスプランニング
1月15日(日)	第13回バトルオブツイン	フリーランスプランニング	6月4日(日)	テスト・オブ・フリーランスROUND010	フリーランスプランニング	10月22日(日)	Y.E.S.S. えんじいサーキットレースザ・サウンド・オブ・シングル	YESS東京
2月18日(土) 2月19日(日)	'95関東ロードレース選手権シリーズ第1戦 筑波ロードレース大会	JASC	6月10日(土) 6月11日(日)	'95関東ロードレース選手権シリーズ第9戦 筑波サーキット開設25周年記念 筑波ロードレース大会	JASC	10月28日(土)	'95関東ロードレース選手権シリーズ第16戦 筑波ロードレース大会	JASC
3月18日(土) 3月19日(日)	'95関東ロードレース選手権シリーズ第2戦 筑波ロードレース大会	JASC	7月15日(土) 7月16日(日)	'95関東ロードレース選手権シリーズ第10戦 筑波ロードレース大会	JASC	11月18日(土) 11月19日(日)	'95グラッドスラム・4	ゴールプロジェクト
4月9日(日)	Y.E.S.S. えんじいサーキットレース ザ・サウンド・オブ・シングル	YESS東京	7月23日(日)	Y.E.S.S. えんじいサーキットレース ザ・サウンド・オブ・シングル	YESS東京	11月25日(土) 11月26日(日)	'95筑波SP耐久ロードレース大会	JASC
4月15日(土) 4月16日(日)	'95関東ロードレース選手権シリーズ第5戦 筑波ロードレース大会	JASC	9月2日(土) 9月3日(日)	筑波モータースポーツフェスティバル '95モトバラダイス関東	JASC トヨタダイス関東	12月2日(土)	テスト・オブ・フリーランス SPECIAL ROUND0	フリーランスプランニング
5月7日(日)	'95KAZE	ガクキライダーズ クラブKAZE	9月15日(日)	ヒュージ&タイニー'95	ゴールプロジェクト	12月10日(日)	レース・ザ・ドリーム	スタッフハウス
5月12日(金) 5月14日(日)	全日本ロードレース選手権シリーズ第4戦 筑波インターナショナルロードレース大会	JASC	9月23日(金) 9月24日(土)	'95関東ロードレース選手権シリーズ第14戦 筑波ロードレース大会	JASC			

グラフィカルなスーツ、
アドバンテージを握る。

KUSHTANI



RACING SUITS CAMPAIGN

クシタニレーシングスーツキャンペーン
'94・11・20→'95・1・31

クシタニからのライダーサポートプレゼント!!

PRESENT ①

レーシングスーツお買い上げの方にもれなく、全国のクシタニショップおよび特約店でご利用頂ける、1万円の金券をプレゼント。



PRESENT ②

レーシングスーツお買い上げの方にもれなく、メンテナンスが無料になるメンテナンスフリーパスをプレゼント。

(フリーパスの有効期間は1年間、はつれ、やぶれのみ対応、パーツ・キム交換は有料です。)



イージーオーダーがお買い得!!

チームでレーシングスーツのイージーオーダーを3着以上ご注文の場合、既製品同価格でご提供致します。



株式会社クシタニ
静岡県浜松市三島町231-430
☎053(441)2251

セーフティキアテ快速ライディング **UMCA**

安全の世界を創造します。

SHOP LINE-UP

- 山形店 ☎022-739-3663
- 新潟店 ☎025-25-5184
- 秋田店 ☎0187-63-7200
- 青森店 ☎0173-63-2785
- 岩手店 ☎0485-24-2264
- 大宮店 ☎048-649-2814
- 川口店 ☎048-255-9290
- 人間店 ☎0429-32-7004
- 千葉店 ☎043-242-8363
- 上野店 ☎03-3836-7681
- 練馬店 ☎03-3831-5010
- 世田谷店 ☎03-3708-3551
- 神奈川店 ☎0423-69-3599
- 横浜店 ☎045-641-9645
- 平塚店 ☎0463-21-7880
- 浜松店 ☎053-456-9418
- 名古屋店 ☎052-522-0749
- 名古屋東店 ☎0561-62-9033
- 岐阜店 ☎0583-70-0186
- 京都店 ☎075-673-1301
- 津屋川店 ☎0720-35-1991
- 美濃店 ☎0727-22-4105
- 堺店 ☎0722-22-3316
- 西宮店 ☎0788-73-6641
- 姫路店 ☎0794-47-6333
- 岡山店 ☎086-225-8330
- 広島店 ☎082-230-0012
- 北九州店 ☎093-921-3014
- 熊本店 ☎096-379-1752

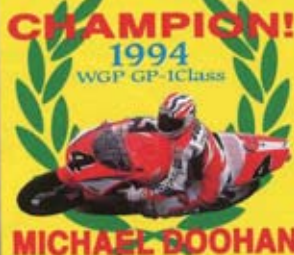


Produced by

GIRA Co.,Ltd.

株式会社 ジーラ 二輪事業部 〒488 愛知県尾張旭市東本地ヶ原町3-20 TEL.0561-52-4500 FAX.0561-52-4454

ヒーローたちの武装



B・ガリア

辻村 猛

井形 とも子

J・フィリス



D・チャンドラー

伊藤 真一

M・ドゥーハン

原田 哲也

D・ピーティー

A・バロス



革製靴性に優れた国内産の最高級皮革を厳選し、純レース用として特殊なナメン加工を施し、引き裂き強度・耐摩耗性・衝撃吸収性に抜群の性能を発揮します。革の厚さも1.5mm~1.8mmとし、安全性・運動性・機能性・耐久性のすべてにおいて、より一歩を追求しています。



縫製 NANKAIならではの優れた縫製技術とコンピュータミシンの導入により、確実な縫製と繊細かつ丈夫で美しい仕上げ。そして耐久性の向上も実現しています。ファスナー・スナップ・ベルクロ・裏生地・縫糸などのパーツ類は長年の経験の中から厳選された良品だけを採用しています。



プロテクションGPライダーたちの経験とアドバイスを活かし、随所にシルボセン・ケブラー・硬質ウレタン・特殊プラスチックなどの最新の素材をNANKAI 独自のプロテクションとして装備しています。

ツナギの中のツナギ
GPライダーのノウハウが生きる！
高品質で安心できる本格仕様。

MFJ公認

3大要素は「革」・「縫製」・「プロテクション」
NANKAIレーシングスーツの

NANKAI契約の歴代の世界チャンピオン、スペインサー・ガドナー・レイニーたちやドゥーハン・ピーティー・平など国内外のトップライダーたちから絶大な信頼と絶賛を受けているNANKAIレーシングスーツ。それは30年にわたり蓄積されたNANKAIのノウハウとNANKAI契約ライダーたちの実践からの的確なアドバイスを、そして厳選された素材と最先端技術を駆使し、製作された究極のレーシングスーツです。



ナンカイのレザースーツは、耐久性にも優れているし、とても快適だ。クオリティーも高く軽んだときでも、唯一、大丈夫なスーツだ。それはサーキットでも、ストリートユースにおいても。だから僕はナンカイのレザースーツだけをグランプリ用に選ぶ。
'93世界GP500ccランキング3位
ダリル・ピーティー
Daryl Beattie

マイケルドゥーハン



FOR GOOD MOTORCYCLE LIFE
NANKAI 南海部品株式会社
〒530 大阪市北区豊崎3-6-28 ☎(06)344-1581(代)

武装革命

ADRENALIN

ÖHLINS

ADVANCED SUSPENSION TECHNOLOGY

ハイパーツイン登場!

NEW EVOLUTION

オーリンスはサスペンションにおいて、いつも世界をリードし、様々な輝かしい歴史を刻んできました。そして新たな衝撃が生まれる'95年春、世界に先駆けて日本のモーターサイクリスト待望のハイパーツインショックがオーリンスからいよいよ発売されます。ハイパーツイン(新型フルアジャスタブルツインショック)とは、長い沈黙を破ってオーリンスが世の全てのライダーに贈る自信作です。サスペンションとは、ハンドリングとは、ジオメトリーとは……、これらの問いを一掃する全ての機能を持ったハイパーツイン。'95年2月、今までの概念を変えるショックの登場です。



価格 118,000円

HONDA	CB400スーパーフォア CB1000スーパーフォア CB900F/1100F	適用 車種
KAWASAKI	ゼファー400(Z400) ゼファー1100(Z900) ZRX400	
SUZUKI	GSX1100S	
YAMAHA	XJR400 XJR1200 V-MAX	

ツインショックから積み上げたこれらのノウハウと技術力で、サスペンションのトップメーカーとして歩みつけたオーリンスが、その集大成ともいえる画期的なツインショックを開発。伸縮(20段階)・圧側(4段階)の減衰調整、部材の車体アライメント調整を可能としたショック全長無段階調整機構(±5mm)。そして、あらゆるレースシーンで目にする油圧式スプリングプリロードアジャスターをも装備。今までにない機能と高性能を誇るこのツインショックは、乗り手の可能性を大きく広げてくれるでしょう。

①油圧式スプリングプリロードアジャスター ②圧側減衰調整 ③伸縮減衰調整 ④ショック全長無段階調整



Champion with Marchesini

チャンピオンの選択はマルケジーニ



好評につきワールドチャンピオンフェア延長 '95 4/30まで

'94年、ロードレースのチャンピオン達。GP10のM.ドゥーハン、GP20のM.ピアッジ、GP30の坂田和人。そしてスーパーバイクのC.フォガティ。彼らに共通していることは、ホイールにはマルケジーニを選んでること。そしてレースから得たテクノロジーは、あらゆるマルケジーニ製品にフィードバックされ、多くのユーザーに愛されています。おかげさまでワールドチャンピオンフェアも大好評を博しており、皆様の要望に応じて、ラボ・カロツェリアではフェア期間を延長することにしました。4月末までに特別セット価格にて販売している前後同一車種のホイールをお買い求めいただくと、本格派マルケジーニ特製エアゲージをプレゼント。この時期をお見逃しなく。



Present

マルケジーニ新価格表

車種	サイズ	単体価格	セット価格
ホンダRS125R(95)	F2 50-17	54,000	98,000
	R3 50-17	64,000	
ホンダRS250R(94/95)	F3 50-17	72,000	132,000
	F3 75-17	72,000	
	R5 50-17	88,000	
ヤマハTZ125R(94/95)	F2 50-17	64,000	118,000
	R3 50-17	78,000	
ヤマハTZ250R(94/95)	F3 50-17	80,000	148,000
	F3 75-17	80,000	
	R5 50-17	98,000	

●フロント+リア各1本ずつがセット価格の対象となります。

ÖHLINS & marchesini MAIL ORDER SYSTEM

お近くに販売店のない方に全国どこからでもご購入いただけるシステムをご用意いたしました。

お電話で在庫の確認およびご注文

☎ 0120-81-1113

商品価格に消費税をプラスして銀行振込、クレジットカードまたは現金書留でお支払い

宅急便にて即日発送(送料は無料です)

次のカードがご利用できます。



○クレジットカードでお支払いの場合(一括/分割/リボ払いも受け付けてます) 各クレジットカード会社のカード会員規約に基づきご指定の預金口座から自動引き落としとなります。お申込みは郵便ハガキもしくはフリーダイヤルにて①カード名義人番号②カード有効期限③お名前④ご住所⑤電話番号⑥ご希望の商品名⑦商品価格(消費税をプラスした金額)⑧お支払方法(一括/分割/リボ払い)をご記入の上「ラボ・カロツェリア」までお送りください。

○現金書留でお支払いの場合 お名前、ご住所、電話番号、ご希望の商品名を明記の上、商品の価格に消費税をプラスした金額を「ラボ・カロツェリア」までお送りください。

オーリンス取扱い販売店専集中

●表示の価格は消費税および取り付け工賃を含まない自分セットです。

マルケジーニ取扱い販売店専集中

●表示の価格は消費税および取り付け工賃を含まないものです。

●価格および仕様は改良のため予告なく変更する場合があります。●カタログをご希望の方はご希望になった誌名・号数を明記し、190円の手紙を同封してラボ・カロツェリアまでお申込みください。●オーリンス&マルケジーニ発売元・株式会社カロッツェリア・ジャパン

お問い合わせは

CARROZZERIA

ラボ・カロツェリア

〒336 埼玉県浦和市辻 6-23-13

TEL 048-863-1801 FAX 048-863-1802

FISCOは
あなたのトライを
待っている。



'95 関東ロードレース選手権シリーズ MFJエリア選手権・NKレース日程表

1. 関東ロードレース選手権第3戦
4月1日(土) 関東選手権: SP250, SP400
エリア選手権: GP125, GP250, SB
2. 関東ロードレース選手権第8戦(全日本ロード併催)
5月27日(土)・28日(日) 関東選手権: SP250
N K レース: N-NK, M-NK, NK-4, O-NK
3. NK300km耐久ロードレース
6月24日(土) N K 耐久: N-NK, NK-4, M-NK
エリア選手権: GP125, GP250, SB
4. 関東ロードレース選手権第13戦
9月16日(土) 関東選手権: GP125, GP250, SP400
エリア選手権: SB
N K レース: N-NK, M-NK, NK-4, O-NK
5. 関東ロードレース選手権第18戦
11月11日(土) 関東選手権: GP125, GP250, SP250, SP400

走行ライセンス 講習会ご案内

※ライセンスのお問合せ ☎ 0550-78-1233

- ◆受付時間 09:00~10:00 (当日受付)
- ◆講習時間 10:00~12:30
- ◆当日必要なもの
 - ①受講料
 - ②運転免許証(公安委員会)
 - ③印鑑
 - ④証明写真1枚(3cm×3cm)
 - ⑤筆記用具
 - ⑥血液型(Rh土まで調べて下さい。)

※20才未満の方は、所定の誓約書に親権者の署名捺印が必要となります。



富士スピードウェイ株式会社

■本社
〒100 東京都千代田区丸の内2-4-1 (丸ビル2F)
TEL.03-3216-5611 FAX.03-3216-5619

■レース場
〒410-13 静岡県駿東郡小山町大御神
TEL.0550-78-1234 FAX.0550-78-0205



そこには、あなたとミシュランと 自由があるだけ。

ロードレース世界GPにおける無数の勝利。そこで培われる圧倒的なテクノロジーとノウハウは、ストリートにどんな夢を見せてくれるのだろう。モーターサイクルのすべてを知りつくし、頂点に君臨するタイヤ、ミシュラン・ラジアル。強大なグリップ力とはるかに高い限界性能は、マシンパワーをつねに忠実に路面へ伝えるために、そして、あくまでもしなやかなライディングのためにあります。ストレートで、コーナーで、何のためらいもなく、速いほどに路面を捉えるその圧倒的な信頼感。マシンとライダーがぴったりとシンクロする一瞬に、まるで永遠に続くかのような解放感が訪れます。

TX11
TX11A
TX11B

TX23
TX23A
TX23B

A89X

M89X

A59X

M59X



**THE TIRE
MICHELIN**

勝利の道は カストロールから



A747

YAMAHA TZ125/250 YZシリーズ
HONDA RS125/250R TLM260
KAWASAKI KXシリーズ
MORIWAKI MH80
メーカー指定エンジンオイル
2サイクルレース専用混合専用オイル
SAE:50 化学合成油・植物油の混合油
1ℓ/¥4,000



R30

YAMAHA TZ125/250 ミッションオイル
YAMAHA YZシリーズ エンジンオイル
メーカー指定オイル
2サイクルレース専用エンジンオイル/
ミッションオイル
SAE:30 植物油
1ℓ/¥3,000



B353

レーシングエンジンを支えてきたオイル
2サイクルのミッションオイルとしても好評
4サイクルレース専用オイル/2サイク
ルレース専用ミッションオイル
SAE:40化学合成油・植物油の合成油
5ℓ/¥13,000
◆植物油を使用しているため、1回使用する
毎にオイル交換して下さい。また、他のオ
イルと混ぜて使用しないで下さい。



SYNTRON EXTRA

APIサービス最高規格SHを余裕で
クリアした最高級オイル
4サイクルエンジンオイル/2サイクル
ミッションオイル
API:SH
SAE:5W-50 化学合成油
1ℓ/¥3,000 4ℓ/¥8,600



Neues Formular RS

数多くのレースで培われた
信頼の高性能マシン用オイル
4サイクルエンジンオイル/2サイクル
ミッションオイル
API:SH
SAE:15W-50 化学合成油
1ℓ/¥2,800 4ℓ/¥7,500



レーシングブレーキ液

カストロールサポートチームが
使用している定番
レーシング専用ブレーキフルード
ドライ沸点290°C、ウェット沸点150°C
1ℓ/¥3,200



ガーリングユニバーサル ブレーキクラッチ液

KAWASAKI KXシリーズ
メーカー指定・推奨オイル
ディスクブレーキ/ドラムブレーキ用
ドライ沸点265°C、ウェット沸点165°C
DOT3/4タイプ
1ℓ/¥3,800



Castrol

カストロール株式会社
〒102 東京都千代田区麹町3-1泉屋ビル
TEL.03-3265-6101(代表)

M

モトクロス

MOTO CROSS

▼細則3 モトクロス競技細則

1. 適用の範囲	80
2. モトクロス	80
3. コースの仕様	80
4. 出場車両	80
5. MFJ公認車両・公認部品	80
6. ライダーの装備	80
7. 公式通知・タイムスケジュール	81
8. 参加定員	81
9. 参加資格	81
10. 出場申し込み	81
11. 参加受理	81
12. 賞及び得点	82
13. ゼッケンナンバー	82
14. ガソリン及びオイル	82
15. ビット及びサインエリア	82
16. 出場受付	82
17. 車両検査	83
18. ライダーの変更	83
19. 車両の変更	83
20. 部品の変更	83
21. フリープラクティクス及び公式練習	83
22. 公式予選	83
23. スタート台数	83
24. スタート位置の決定方法	84
25. 予選・決勝におけるスタート位置の変更について	84
26. ウォーミングアップ	84
27. レース	84
28. レース中の公式シグナル(合図)	85
29. レースの終了	85
30. 優勝者、入賞者、完走者及び得点	85
31. 入賞車両の検査	85
32. レース及び大会の延期、中止等	85
33. 抗議	86
34. レース中の違反行為に対する罰則	86
35. 本規則の解釈	86
36. 本規則の施行	86

▼細則4 '95全日本選手権大会特別規則

1. 競技会開催日程等	87
2. 運営・実行組織	87
3. 公式通知・タイムスケジュール	87
4. 開催部門・クラス	87
5. 競技内容	88
6. 参加資格	88
7. 出場申し込み	88
8. 出場料及びMFJ共済会掛け金	89
9. 参加受理	89
10. 賞及び得点	89
11. 出場車両	89
12. ゼッケンナンバー	89
13. ライダーの装備	90
14. ガソリン及びオイル	90
15. ビット及びサインエリア	90
16. 出場受付	90
17. 車両検査	90
18. 車両の変更	90
19. 部品の変更	90
20. フリープラクティクス及び公式練習	91
21. 公式予選	91
22. 決勝レース出場資格	91
23. スタート	91
24. レース	92
25. レース中の公式シグナル(合図)	92
26. レースの終了	92
27. 優勝者、入賞者、完走者及び得点	92
28. 入賞車両の検査	92
29. 総合順位の決定方法	92
30. レース及び大会の延期、中止等	93
31. 抗議	93
32. レース中の違反行為に対する罰則	93
33. 本規則の解釈	93
34. 本規則の施行	93
'95全日本モトクロス選手権開催日程	94

モトクロス 競技細則

1 適用の範囲

以下に記す規則は、国内競技規則とともにすべての国内モトクロス競技会に適用される。

2 モトクロス

モトクロスとは、走路面に凹凸、急勾配、走路方向が急変するような地形のところで行われるクロス・カントリーレースである。国内競技規則および本細則により管理される。

3 コースの仕様

コースの長さは1周1km以上、2km以下とし、その幅は少なくとも追い越し可能なゆとりを持たせなければならない。また、コース等は、別に定めるモトクロス会場に関する規則に準拠し、適切なレーシングコンディションと安全性が確保されていなければならない。

4 出場車両

車両は、国内競技規則・第3章 [⑫出場車両] (33頁) の限度を充たし、安全上完全に整備されているものでなければならない。

尚、改造されて型式(モデル)が判別できないような車両は競技会に出場することはできない。

5 MFJ公認車両・公認部品

MFJ公認車両及び公認部品は、国内競技規則・第3章 [⑬MFJ公認車両及び公認部品・用品] (33頁) を参照。

6 ライダーの装備

1) ヘルメット

- (1) ヘルメットは日本工業規格JIS T8133-1982-C種及びJIS-T-8133-2種(JIS-T-8133の1982年8月までの規格)、USA S.I. STANDARD-Z90-1-1970.米国スネル規格1985によって示された検査に合格したか、または、それ以上の性能を有するジェット型かフルフェイス型のもので、MFJが公認したものでなくてはならない。
- (2) MFJの公認したヘルメットには、公認マークが貼付されている。
- (3) 競技会の車両検査時にヘルメットの検査が行われ、検査に合格しなかったヘル

メットは、MFJの公認したヘルメットであっても当該ライダーの安全上、その使用を禁止される。

- (4) MFJ公認マークの貼付されていないヘルメットについては、特別検査を受け、公認ヘルメットと判明した時点で、公認シールが貼付される。その際、特別検査料(1,000円)を支払わなければならない。



2) ゴーグル

ガラスを用いたゴーグルの使用は一切禁止される。枠は柔軟な素材を使用したもので転倒時等による衝撃を受けた場合でも危険でないものでなくてはならない。

3) ライダーの服装

- (1) 服装は、レース中ライダーの身体の安全を確保し、車両の操縦を妨げるものであってはならない。
- (2) 耐火性で溶けない素材の丈夫な生地で作られた自由な動作を妨げない長袖のジャージを着用しなくてはならない。
- (3) 突出部分のない革、または革と同等以上の性能を持つ手袋及びブーツを着用しなければならない。
- (4) ライダーは競技会中、難燃性の素材を使用した肌着を着用しなければならない。



7 公式通知・タイムスケジュール

公式通知及びタイムスケジュールの詳細は、申し込み締切後に通知される。

8 参加定員

定員は定めない。

9 参加資格

参加者及びライダー

参加者及びライダーは、国内競技規則・第3章 [⑨競技参加者] (31頁参照) に合致していなければならない。

10 出場申し込み

- 1) 各部門とも所定の申し込み書に必要事項をすべて記入の上、出場料及びMFJ共済会掛け金を添えて申し込まなければならない。
- 2) 2クラス以上に出場を申し込む場合でも、申込書は1枚でよい。ただし、2クラス以上出場に必要な事項をすべて記入すること。もし記入漏れのあった場合、申し込みを拒否される場合がある。
- 3) 郵送の場合は、現金書留とし、締切日当日の消印のあるものまで有効となる。
- 4) 締切日以降の申し込み及び電話・FAX等の申し込みは一切受けつけられない。

11 参加受理

- 1) 必要事項を記入した出場申し込み書及び所定の金額を大会事務局が受理した時点で参加受理書が発送される。
- 2) 大会が中止された場合、また参加者が何らかの理由によって拒否された場合、(申込者が必要な手続きを怠った場合はこれに当てはまらない) にのみ出場料、共済会掛け金が返却される。
- 3) いったん受理された出場料・共済会掛け金は、上記2)及び細則3の [32レース及

び大会の延期、中止等] (85頁参照) の場合を除き、いかなる理由があっても返却されない。公式予選を通過しなかった場合も同様である。

12 賞及び得点

- 1) 賞の詳細は、公式通知に示される。
- 2) 得点は国内競技規則・第3章 [㉔公式得点] (36頁参照) によって与えられる。

13 ゼッケンナンバー

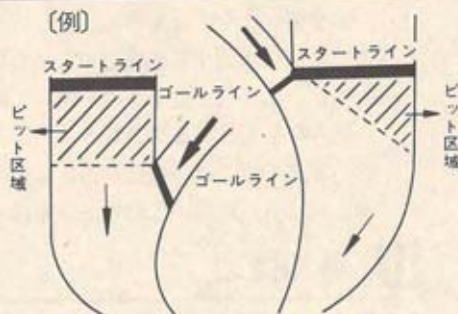
- 1) ゼッケンナンバーは、車両検査までに規定の書体及び色で記入しなければならない。(22頁参照)
- 2) 年間指定ゼッケンナンバーを与えられているライダーは、ヘルメットの両側にゼッケンナンバーを記入しなければならない。
- 3) ゼッケンナンバーの状態は、車両検査時に車検員によって点検され、判読しにくいと判断された場合には修正が要求される。
ゼッケンの修正を要求された場合、速やかに修正を行い、再度車両検査を受けなければならない。
- 4) レース中、ナンバープレートや配布されたゼッケン及びヘルメットナンバーシールを装着せずに走行した場合は、また、間違ったゼッケンナンバーを装着して走行した場合は、その周回数は記録されない。
- 5) 雨天の場合、すべてのライダーは、競技監督の指示によりヘルメットの両側面または後頭部部分にゼッケンナンバーを記さなければならない。

14 ガソリン及びオイル

- 1) ガソリン及びオイルは国内競技規則・第3章 [㉑燃料及びオイル] (33頁参照) による。
- 2) ガソリンの銘柄及びその詳細が主催者によって指定された場合は、当該指定ガソリンを使用しなければならない。
- 3) ガソリンの運搬については、消防法第16条の規定に従った方法で行わなければならない。

15 ピット及びサインエリア

ピット及びサインエリアは主催者により指定される。特に指定のない場合のピットエリアは、スタートラインからゴールラインまでの周回走行にさしつかえないコースサイドまたはコース上である。



16 出場受付

- 1) 出場受付の時間及び場所は、公式通知によって示される。
- 2) 定められた時間内に、必ずライダー本人または当該ライダーのメカニックがMFJライセンス、参加受理書を提示して出場資格の確認を受けなければならない。
- 3) MFJライセンスを提示できない者は、出場が認められない。

17 車両検査

- 1) 車両検査は、公式通知に示されるタイムスケジュールに従って、パドック内の車両検査区域において行われる。
- 2) 車両検査のための車両は、ライダー本人又は当該ライダーのメカニックが車両仕様書とともに持参し、必ずタイムスケジュールに示された時間内に検査を受けなければならない。規定時間以外の車両検査は、競技監督が不可抗力な事情によるものとして特別に認めた場合以外に行わない。
- 3) 車両検査において、規則違反または安全上出場が不適当と判定された車両は、公式予選を含む一切の走行を拒否される。
- 4) 主催者は、大会期間中、必要に応じて随時車両の検査を行うことができる。

18 ライダーの変更

ライダーの変更は認められない。

19 車両の変更

車両の変更は、車検時に提出した車両仕様書の車両と変更が生じた場合、以下の手続きに従って行われる。

破損などやむを得ず出場登録済（車両検査合格済）の車両を変更する必要がある場合は、規定の書式に従って車両の変更申請を行い、競技監督がこれを認めた場合に限り、車両の変更が認められる。

- 1) 車両の紛争に際して、銘柄についての立証の責任は参加者側にあるものとする。
- 2) その他については、特別規則に示される。
- 3) 車両変更申請は、同部門、同クラスの車両に限定され、車両変更手数料5,000円を申請書に添付し、提出しなければならない。
- 4) 公式予選終了後の車両変更は、いかなる理由があっても認められない。

20 部品の変更

エンジンアッセンブリーの変更は認められない。

21 フリープラクティス及び公式練習

ライダーは、安全確保のためにも主催者が設けた公式練習に参加しなければならない。

22 公式予選

各クラスの出場申し込み台数が、規定の同時出走最多台数（30台）を大きく越えた場合、決勝進出者決定のための公式予選が行われる。

- 1) 公式予選の内容
 - (1) 公式予選は、原則として各クラス別に行われる。
 - (2) 公式予選の日程は、特別規則に示される。
 - (3) 公式予選は原則として大会公示に示される周回数のレースによって行われる。
 - (4) 決勝進出数は、特別規則に示される。

23 スタート台数

原則として30台とする。



24 スタート位置の決定方法

スタート位置の決定方法は、大会特別規則もしくは公式通知に示される。

25 予選・決勝におけるスタート位置の変更について

一度スタート位置を選択し、グリッドに着いたものはそのスタート位置を変更することはできない。

26 ウォーミングアップ

- 1) エンジンのウォーミングアップは主催者により指定された場所及び時間帯に限られる。
- 2) ウォーミングアップ以降、スタート係によってスタートのためのエンジン始動の合図がなされた後は（キックスタートの場合は、エンジン停止の合図がなされた後）ライダーからタイムのサインがあっても競技は続行される。

27 レース

- 1) スタートまでの行動
 - (1) ライダーは、特別規則に定められたタイムスケジュールを厳守しなければならない。
 - (2) ライダーは、スタート前のチェックの後車両とともに指定区域内に待機しなければならない。
- 2) スタート
 - (1) スタートの方法については、原則として各部門ともスターティングマシンを使用したエンジンランニングスタートとする。ただしスターティングマシンを使用しない場合は、必ずヘルメット上部に左手をあてて待機し、スタート合図によりスタートすることとする。
 - (2) スタート位置は、すべて正規のスタート・ラインからなされるものとし、各ライダーに与えられたスタート位置による距離的、時間的なハンディキャップは、一切考慮されない。
 - (3) スターティングマシンが使用される場合は、車両の位置はスターティングマシンの後方の区域内とする。
 - (4) スタートの合図は、スタート係の合図（国旗等）によって行われる。ただし、スターティングマシンを使用する場合は、この限りでない。
 - (5) スタート時にフライングが認められた場合は、スタートライン前方（第1コーナー付近）において赤旗が振られ、スタートをやり直す。ただし、同一ライダーが再びフライングをした場合、当該ライダーは失格となる。
- 3) コースアウト

ライダーは、走行中、やむを得ず定められたコースを外れ、再びコースに戻る場合には、外れた地点よりコースに侵入しなければならない。
- 4) ピットエリア内で車両整備などに従事するメカニックの数は、2名以内に限定される。
- 5) レース中、サイレンサーまたはエキスパンションチャンバーが外れた場合、または破損した場合は、競技役員より当該ライダーに対して黒旗及びゼッケンを記したボードが提示され、提示されたライダーは速やかにピットインし、修理の後、当該競技役員の許可を得て、再出走が認められる。

28 レース中の公式シグナル（合図）

- 1) 公式シグナル（合図）は、約750mm×600mm寸法の旗を使用し、次のように与えるものとする。

シグナル	意味
赤旗	全員走行停止
黒旗とゼッケンを記したボード	当該ライダーは走行停止
黄旗（静止）	危険予告
黄旗（振動）	徐行、安全確認、追い越し禁止
青旗	警告、ラップされようとしている
緑旗	先に出した合図の解除、コースクリア
白黒チェッカー旗	レース終了

- 2) 競技内容が示されている規定の時間を経過した後、トップのライダーがゴールを通過した時点から、残りの周回数を示すボードが提示される。

29 レースの終了

レースの終了は、優勝者の完走後、チェッカー旗が振られ、マーシャルが定位置を離れるか、またはマーシャルがコースを一巡することによって示される。



30 優勝者、入賞者、完走者及び得点

- 1) 優勝者
優勝者は、定められた周回数またはレース時間プラス2周を最短時間で完走したライダーとする。
- 2) 入賞者及び順位の優先順位
入賞者及び入賞順位は、チェッカーを受けた完走者の中から周回数の多い順に決定され、同周回数の場合は、ゴールラインの通過順位による。
- 3) その他の順位の優先順序
周回数の多いものを優先する。同周回数の場合はゴールラインの通過順位による。
- 4) 完走者
 - (1) 優勝者の75%以上の周回数を完了したライダーが完走者とする。
 - (2) レース途中でリタイヤしたライダーも完走周回数を完了している場合は、完走者とみなされる。
- 5) 得点
 - (1) 得点は国内競技規則・第3章 [36頁] によって得点が与えられる。
 - (2) オープンクラスに関しては、自動昇格得点対象外とする。

31 入賞車両の検査

- 1) レース終了後、入賞車両は直ちに車検員によって決められた区域内に管理され、暫定結果発表後30分間保管され、必要に応じて検査される。
- 2) 入賞車両は、必要に応じて車両重量及び音量が測定され、規定を満たしていない車両の当該ライダーは失格となる。

32 レース及び大会の延期、中止等

- 1) 大会審査委員会が、特別な理由によってレースを中止しなければならないと判断した場合に限り、レースを中止することができる。
- 2) すべての大会関係者は、大会審査委員会の決定に従わなければならない。

- 3) 特にやむを得ぬ理由によって、トップ走者がそのレースに決められた周回数（または時間）の75%を完走しないうちにレースを打ち切った場合、そのレースは無効となる。
- 4) トップ走者が決められた周回数（または時間）の75%以上を完走した時点でレースを打ち切った場合、大会審査委員会はそのレースの判定結果に条件を付けて発表する。
- 5) レースまたは大会が中止された場合、参加者が支払った出場料は返却されるが、他のいかなる損害賠償を主催者に請求することはできない。公式予選終了後の中止については、決勝進出者のみ出場料が返却される。

33 抗議

- 1) 抗議は、国内競技規則・第3章 [㊟抗議] (37頁参照) による。
- 2) 車両の分解検査に要した費用は、その抗議が不成立の場合は抗議提出者、成立した場合は、抗議対象者が支払わなければならない。この車両の分解等に用いた費用は、車検長が算定するものとする。
- 3) 車両の分解検査に立ち合う者は、車検長及び抗議を受けた当事者のみとする。

34 レース中の違反行為に対する罰則

レース中の違反行為については、競技監督並びに大会審査委員会がその権限において下記の罰則を課することができる。

- 1) 失格
 - (1) 故意に走路を妨害した場合。
 - (2) レース中に他の援助を受けた場合。
 - (3) コースを逆走した場合。
 - (4) コース判定により示された合図旗に従わなかった場合。
 - (5) 1度コース外に出て、明らかに自分に有利となる所より再びコースに復帰したと判断された場合、1周減算または失格とする。
 - (6) フライングを2度繰り返した場合。
- 2) 1周減算
 - (1) ウォーミングアップ中止後、競技役員の許可なくエンジンを始動させた場合。
 - (2) 上記1)失格(5)の場合。

35 本規則の解釈

本規則及び競技に関する疑義は、大会事務局あて質疑申し立てできる。なお、この回答は大会審査委員会の決定を最終的なものとする。

36 本規則の施行

本規則は、1995年1月1日より有効とする。

細則 4

'95全日本 モトクロス選手権大会 特別規則

1 競技会開催日程等 (94頁参照)

2 運営・実行組織

大会運営・実行組織は、公式プログラムまたは公式通知に示される。

3 公式通知・タイムスケジュール

公式通知及びタイムスケジュールの詳細は、申し込み締切後に発送される。

4 開催部門・クラス

- 1) 全日本選手権シリーズの開催部門、クラス区分は次のとおりとする。

部門	国際B級	国際A級
クラス	125cc・250cc	125cc・250cc

- 2) 全日本選手権は原則として国際B級及び国際A級の2部門にて開催されるが、事前に選抜されたものによる2クラスまでのレースを併催することができる。ただし、そのレースは土曜日に開催しなければならない。エキジビションレースは日曜日に全日本選手権クラスに影響しない範囲にて開催することが認められる。
- 3) 国際A級部門は、125ccクラスと250ccクラスを開催し、各クラスの選手指定は下記のとおり行う。
- (1) 125ccクラス
- ① 前年の全日本選手権国際A級125ccクラスにおいて、ランキング16位以下のもの。
 - ② 前年の全日本選手権国際A級250ccクラスにおいて得点を獲得できなかったもので、250ccクラスへの残留を希望しなかったもの。
 - ③ 国際B級からの昇格者。
ただし、前年の総合ランキング上位3位のものは、250ccクラスへの移籍申請をすることができる。
 - ④ 当該年度31歳になる者及び身体的理由(身長165cm以下)により残留申請を提出し、決められたもの。
- (2) 250ccクラス
- ① 前年の全日本選手権国際A級250ccクラスにおける有得点者。
 - ② 前年の全日本選手権国際A級250ccクラスにおいて得点を得られなかったが、残留申請を提出し、認められたもの。
 - ③ 125ccクラスからのクラス移籍者。(前年の125ccクラスシリーズランキング15



'95全日本モトクロス選手権大会特別規則

位以内の者。但し、残留申請を提出し、決められた者を除く)

- ④ その他、スポーツ委員会が特に認めた者。

5 競技内容

1) 公式予選

原則として決勝出場台数(30台)を越えた場合、公式予選が行われ、その公式競技内容は公式通知に示される。

2) ラストチャンスレース

下記規定に則り、ラストチャンスレースが開催される。

- ① 公式予選総出場台数が40台以上の場合にのみ行われる。
- ② 公式予選にて、決勝出場資格を獲得できなかった選手にて行われる。
- ③ ラストチャンスレースのグリッドは公式予選レースストップタイムの早い組順とする。但し、予選順位がつかない場合、(1周もまわらずにリタイヤした場合等)、予選待ちのグリッド順を優先する。
- ④ ラストチャンスから決勝レースへの出場獲得者数は、上位2名とする。
- ⑤ ラストチャンスにて3位、4位となった選手は、別に定めるリザーブライダーの権利を与えられる。
- ⑥ ラストチャンスレースの時間は、5分+2周とする。
- ⑦ その他、当該大会審査委員会は、天候等不可抗力の理由により、ラストチャンスレースの有無について決定することができる。
- ⑧ セミファイナルレースが3組で行われる場合、ラストチャンスレースでの上位3名に決勝出場資格を与える。リザーブライダーは4位、5位とする。

3) 決勝レース

国際B級：25分+2周または左記時間に相当する周回数

国際A級：30分+2周または左記時間に相当する周回数

6 参加資格

1) 参加者及びライダー

参加者及びライダーは、国内競技細則・第3章 [⑨競技参加者] (31頁参照) に合致していなければならない。

2) MFJグランプリ大会の参加資格

国際A級・国際B級の各クラスともフリーエントリーとする。

3) 250ccモトクロス世界選手権日本グランプリ大会の参加資格

1995年8月19日、20日に開催される表記大会の参加資格は下記のとおりとする。

国際A級250ccクラスに指定されている選手のフリーエントリーとする。但し、定員(10名：海外選手のエントリー状況により10名を上回る場合がある)を超えた場合、下記の優先順位により出場、資格を得られる。

1995年7月8、9日開催の全日本モトクロス選手権シリーズ第7戦北海道大会までのランキング上位より下記のとおりその出場資格を与える

但し、海外選手の状況により、上記人数を上回る場合がある。

7 出場申し込み

- 1) 申し込み場所は、各主催者(申込先)住所とする。(94頁参照)

2) 出場申し込み

モトクロス競技細則 [10] 出場申し込み (81頁参照)

8 出場料及びMFJ共済会掛け金

	総額	内訳	
		出場料	共済会掛け金
1クラス	10,000円	9,000円	1,000円
2クラス(Wエントリー)	18,000円	17,000円	1,000円

9 参加受理

モトクロス競技細則 [11] 参加受理 (81頁参照)。

10 賞及び得点

- 賞の詳細は、公式通知に示される。
- 全日本選手権ランキングの得点
 - 得点は国内競技規則・第3章 [④公式得点] (36頁参照) によって与えられる。
 - MFJグランプリ大会については、規定の得点に3点が加算される。
 - 全日本選手権ランキングの順位は、上記によって与えられた得点のすべてが加算され、その得点合計によって決定される。
その詳細は、全日本選手権ランキング決定基準 (222頁参照) に示される。
- 賞及び得点の制限
国内競技規則・第3章 [④公式得点] (36頁参照) による。

11 出場車両

車両は、細則3の [④出場車両] (80頁参照) を遵守しなければならない。

12 ゼッケンナンバー

- 国際A級及び国際B級の一部 (30番まで) のライダーには、年間指定ゼッケンナンバーが割り当てられる。
指定ゼッケンを与えられた選手については、ジャージ背中側に指定ゼッケンの印刷を義務付けられる。
国際B級から国際A級への昇格者上位9名及び国際A級125ccより250ccへのクラス移籍者上位9名については、ルーキーゼッケンとし、01番より09番を与えることとする。
 - 国際A級の年間指定ゼッケンナンバー決定基準は以下のとおりとする。
 - 125ccクラス
 - 前年度国際A級125ccクラス年間シリーズランキング15位以内で、残留申請が認められたものでランキング順に指定する。
 - 16位以下のものでランキング順に指定する。(有得点者のみ)
 - 250ccクラスからの移籍者を前年の年間指定ゼッケン順に指定する。
 - 国際B級からの昇格者を、前年の総合ランキング順に指定する。
 - 上記以外のライダーは、大会ごとに主催者によって定められる。
 - 250ccクラス
 - 前年の全日本選手権シリーズランキング順
 - 前年の250ccクラスで得点を得られず250ccへの残留を希望し、認められたものの。
 - 125ccクラスからの移籍者を125ccでのシリーズランキング順に追加する。



'95全日本モトクロス選手権大会特別規則

- d. その他、特に250ccクラスに指定されたものを追加する。
- (2) 国際B級(30番まで)の年間指定ゼッケンナンバー決定基準は以下のとおりとする。
 - ① 各クラスの成績により各ライダーの代表クラスを決定する。
 - ② 各クラスのランキング順位を比較し、ランキング上位のものを優先する。
 - ③ ランキング順位が同位の場合、そのライダーの代表クラスの上位入賞回数が多いものを優先する。
 - ④ ③で決定できない場合は、代表クラスの排気量の大きい方を優先する。
 - ⑤ ④で決定できない場合は、スポーツ委員会にて最終決定する。
 - 2) 上記(1)、(2)に記載されている他のライダーには、大会毎に主催者によってゼッケンナンバーが割り当てられ、参加受理書に記入して通知される。
 - 3) ゼッケンナンバーは、車両検査までに規定の書体及び色で記入しなければならない。(18頁参照)
 - 4) ゼッケンナンバーの状態は、車両検査時に車検員によって点検され、判読しにくいと判断された場合には修正が要求される。
 - 5) レース中、ナンバープレートや配布されたゼッケン及びヘルメットナンバーシールを装着せずに走行した場合、間違ったゼッケンナンバーを装着して走行した場合は、その周回数は記録されない。
 - 6) 雨天の場合、すべてのライダーは、競技監督の指示によりヘルメットの両側面または後頭部部分にゼッケンナンバーを記さなければならない。

13 ライダーの装備

モトクロス競技細則 [6] ライダーの装備 (80頁参照)。

14 ガソリン及びオイル

モトクロス競技細則 [14] ガソリン及びオイル (82頁参照)。

15 ピット及びサインエリア

モトクロス競技細則 [15] ピット及びサインエリア (82頁参照)。

16 出場受付

モトクロス競技細則 [16] 出場受付 (82頁参照)。

17 車両検査

- 1) モトクロス競技細則 [17] 車両検査 (83頁参照)。
- 2) 車両検査持ち込み台数は、1クラスにつき国際B級部門は1台に限定し、国際A級部門については制限を設けない。ただし、車両検査を受けていない車両の使用は一切認められない。

18 車両の変更

- 1) モトクロス競技細則 [19] 車両の変更 (83頁参照)。
- 2) 公式予選終了後の車両変更は、いかなる理由があっても認められない。

19 部品の変更

モトクロス競技細則 [20] 部品の変更 (83頁参照)。

20 フリープラクティス及び公式練習

- 1) 競技会前日の練習走行は禁止される。
- 2) ライダーは、安全確保のためにも主催者が設けた公式練習に参加しなければならない。

21 公式予選

- 1) モトクロス競技細則 [22] 公式予選 (83頁参照)。
- 2) 公式予選の有無、周回数、決勝進出台数、その他の詳細は、公式通知またはプログラム等に示される。
- 3) 公式予選の組分けは、主催者により発表される。

22 決勝レース出場資格

- 1) 公式予選通過者 (予選通過人数は各大会による)
- 2) ラストチャンスでの1位、2位
- 3) リザーブライダー

ラストチャンスにて2名 (3位、4位) の選手は、リザーブライダーとして各決勝レース前のウェイティングエリアに待機し、決勝レース不出場者があった場合、決勝レースへの参加が認められる。

但し、ウェイティングエリアが閉鎖されるまでに不出場者がない場合は、決勝レースへの出場は認められない。

23 スタート

- 1) スタートの方法
 - (1) 原則として、各部門ともスターティングマシンを使ったエンジンランニングスタートとする。
 - (2) スターティングマシンを使用しないエンジンランニングスタートの際は、必ずヘルメット上部に左手を当てて待機し、スタート合図によりスタートすることとする。
- 2) スタートの手順
 - (1) ライダーはスタートの10分前までにウェイティングエリアに待機していなければならない。ウェイティングエリアは、ウェイティングエリアから最初のライダーがスターティンググリッドに着くために移動した時点で閉鎖される。
 - (2) 出場ライダー全員がスターティンググリッドに着くまでグリーンフラッグが、提示される。
 - (3) ライダー全員がスターティンググリッドに着いたことが確認された後、15秒ボードが15秒間提示される。
 - (4) 15秒ボードに引き続き5秒ボードが提示される。
 - (5) 5秒ボードが提示されて5~10秒以内にスタートとなる。
- 3) スタート台数
原則として30台とする。
- 4) 予選におけるスタート位置の決定方法
スタートの位置は、抽選結果の順位により、自由選択することができる。



95全日本モトクロス選手権大会特別規則

5) 決勝レースのスタート位置の決定方法

国際B級

スタート位置は、予選順位に基づき決定される。

国際A級

両ヒート（第1、第2ヒートとも）予選時のそれぞれの組のトップ走者のタイムの早い組から交互に上位より順番に選択できる。

6) ウォーミングアップ

エンジンのウォーミングアップは主催者により指定された時間帯及び場所に限られる。

7) ウォーミングアップ以降、スタート係によってスタートのためのエンジン始動の合図がなされた後は（キックスタートの場合は、エンジン停止の合図がなされた後）ライダーからタイムのサインがあっても競技は続行される。

8) 予選・決勝におけるスタート位置の変更について

一度スタート位置を選択し、グリッドに着いたものはそのスタート位置を変更することはできない。

24 レース

- 1) レース中の遵守事項は、国内競技規則・第3章 [10]競技参加者の遵守事項 [31頁参照] による。
- 2) ピットエリア内で車両整備などに従事するメカニックの数は、2名以内とする。
- 3) レース中、サイレンサーまたはエキスパンションチャンバーが外れた場合、また破損した場合は、競技役員より当該ライダーに対して黒旗及びゼッケンを記したボードが提示され、提示されたライダーは速やかにピットインし、修理の後、当該競技役員からの許可を得て、再出走が認められる。

25 レース中の公式シグナル（合図）

モトクロス競技細則 [28] レース中の公式シグナル（85頁参照）。

26 レースの終了

モトクロス競技細則 [29] レースの終了（85頁参照）。

27 優勝者、入賞者、完走者及び得点

モトクロス競技細則 [30] 優勝者、入賞者、完走者及び得点（85頁参照）。

28 入賞車両の検査

モトクロス競技細則 [31] 入賞車両の検査（85頁参照）。

- 1) レース終了後、入賞車両は直ちに車検員によって決められた区域内に管理され、暫定結果発表後20分間保管され、必要に応じて検査される。
- 2) 入賞車両は、必要に応じて車両重量及び音量が測定され、規定を満たしていない車両の当該ライダーは失格となる。

29 総合順位の決定方法

レースが2ヒートに分かれて行われる場合の総合順位の決定は、以下に記すとおりとする。

- 1) 1ヒート、2ヒートの合計得点が多い者。

- 2) 1ヒート、2ヒートの合計得点が同点の場合は、上位入賞者を優先する。
- 3) 上記1)、2)で決定できない場合は、2ヒート目の成績を優先する。

30 レース及び大会の延期、中止等

モトクロス競技細則 [32] レース及び大会の延期、中止等 (85頁参照)。

31 抗議

モトクロス競技細則 [33] 抗議 (86頁参照)。

- 1) 抗議は、暫定結果発表後20分以内にライダー及びエントラントだけが行うことができる。抗議しようとする時の手続きならびにこれの措置は、次のとおりとする。
 - (1) 大会事務局に備えつけられた抗議申し立て書に記載し、1項ごとに抗議保証金を添えて大会事務局に提出すること。
 - (2) 正式の手続きにより提出された抗議申し立て書のみが受け付けられ、大会審査委員会において審議裁定される。
 - (3) 大会審査委員会は、証人を必要と認めた場合は証人をたて、その証言を求め、十分に実情を調査したうえで裁定を下すものとする。
 - (4) 大会審査委員会が下した裁定に対しては、いっさい抗議することはできない。
 - (5) 抗議保証金は、抗議が成立した場合のみ返還される。
抗議保証金は、1項目につき10,000円とする。



32 レース中の違反行為に対する罰則

モトクロス競技細則 [34] レース中の違反行為に対する罰則 (86頁参照)。

33 本規則の解釈

本規則及び競技に関する疑義は、大会事務局あて質疑申し立てできる。なお、この回答は大会審査委員会の決定を最終的なものとする。

34 本規則の施行

本規則は、出場申し込み受付日より有効とする。なお、本規則に示されていない事項は、国内競技規則・細則3・モトクロス競技細則による。

1995年1月1日
全日本モトクロス選手権
大会事務局長

'95全日本モトクロス選手権大会特別規則

'95全日本モトクロス選手権シリーズ開催日程

開催日	大会名	出場申し込み先	開催場所	出場申し込み期間
4月1日(出) ～ 4月2日(回)	全日本モトクロス選手権シリーズ 第1戦中部大会	多治見コミュニティーランド 〒486 愛知県春日井市瑞穂通8-15-1 朝中部ミスターバイク内 ☎0568(84)5251	岐阜県 多治見コミュニティー ランド	2月21日(火) ～ 3月2日(木)
4月16日(出) ～ 4月17日(回)	全日本モトクロス選手権シリーズ 第2戦九州大会	MFJ九州 〒811-01 福岡県粕屋郡新宮町大字下府631-1 朝ホンダ二輪九州内 ☎092(962)4272	熊本県 HSR九州	3月7日(火) ～ 3月16日(木)
4月29日(出) ～ 4月30日(回)	全日本モトクロス選手権シリーズ 第3戦近畿大会	MFJ近畿 〒550 大阪府大阪市西区立売堀1-7-14 ☎06(534)6422	奈良県 名阪スポーツランド	3月21日(火) ～ 3月30日(木)
5月13日(出) ～ 5月14日(回)	全日本モトクロス選手権シリーズ 第4戦鈴鹿大会	朝鈴鹿サーキットランド 〒510-02 三重県鈴鹿市稲生町7992 ☎0593(78)1111	三重県 鈴鹿サーキット モトクロスコース	4月4日(火) ～ 4月13日(木)
5月27日(出) ～ 5月28日(回)	全日本モトクロス選手権シリーズ 第5戦中国大会	MFJ中国 〒733 広島県広島市西区観音新町1-18-9 広島県二輪車安全普及協会内 ☎082(295)6994	広島県 グリーンパーク弘楽園	4月18日(火) ～ 4月27日(木)
6月10日(出) ～ 6月11日(回)	全日本モトクロス選手権シリーズ 第6戦SUGO大会	SUGOスポーツクラブ 〒989-14 宮城県柴田郡村田町菅生 スポーツランドSUGO内 ☎0224(83)3111	宮城県 スポーツランドSUGO モトクロスコース	5月2日(火) ～ 5月11日(木)
7月8日(出) ～ 7月9日(回)	全日本モトクロス選手権シリーズ 第7戦北海道大会	MFJ北海道 〒065 北海道札幌市東区東雁来3条1-4-3 朝札幌地区軽自動車会館2F ☎011(782)1492	北海道 三笠山サーキット	5月30日(火) ～ 6月8日(木)
7月22日(出) ～ 7月23日(回)	全日本モトクロス選手権シリーズ 第8戦関東大会	MFJ関東 〒108 東京都江東区東陽4-1-13 東陽セントラルビル ☎03(3649)1791	長野県 コングランド	6月13日(火) ～ 6月22日(木)
8月5日(出) ～ 8月6日(回)	全日本モトクロス選手権シリーズ 第9戦四国大会	MFJ四国 〒768 香川県高松市香西東町536 朝ホンダ二輪四国香川支店内 ☎0878(81)9212	香川県 瀬戸大橋博覧会跡地	6月27日(火) ～ 7月6日(木)
9月2日(出) ～ 9月3日(回)	全日本モトクロス選手権シリーズ 第10戦SUGO大会	SUGOスポーツクラブ 〒989-14 宮城県柴田郡村田町菅生 スポーツランドSUGO内 ☎0224(83)3111	宮城県 スポーツランドSUGO モトクロスコース	7月25日(火) ～ 8月3日(木)
9月16日(出) ～ 9月17日(回)	全日本モトクロス選手権シリーズ 第11戦中部大会	多治見コミュニティーランド 〒486 愛知県春日井市瑞穂通8-15-1 朝中部ミスターバイク内 ☎0568(84)5251	岐阜県 多治見コミュニティー ランド	8月8日(火) ～ 8月17日(木)
9月30日(出) ～ 10月1日(回)	全日本モトクロス選手権シリーズ 第12戦 第33回MFJグランプリ大会	MFJ東北 〒983 宮城県仙台市宮城野区厩町3-3-10 宮城県交通会館内 ☎022(284)9484	岩手県 藤沢スポーツランド	8月22日(火) ～ 8月31日(木)

多治見コミュニティランド

愛と勇気の
ワンダーランド!!



MAP TAJIMI COMMUNITY LAND



'95モトクロス大会スケジュール (MFJ公認)

開催日	大会名称	エントリー期限
1/15	愛知県モトクロス大会 第1戦	大会20日前
2/5	中部モトクロス選手権シリーズ 第1戦	大会20日前
3/12	愛知県モトクロス大会 第3戦	大会20日前
4/1・2	全日本モトクロス選手権シリーズ 第1戦 中部大会	大会1ヶ月前
5/28	中部モトクロス選手権シリーズ 第5戦	大会20日前
7/30	中部モトクロス選手権シリーズ 第9戦	大会20日前
9/10	愛知県モトクロス大会 第6戦	大会20日前
9/16・17	全日本モトクロス選手権シリーズ 第11戦 中部大会	大会1ヶ月前
10/15	スーパープロ モトクロス大会	大会1ヶ月前

参加申込・詳しくは



多治見コミュニティランド事務局(ミスターバイク内)
〒486 愛知県春日井市瑞穂通8-15-1 TEL (0568) 84-5251 FAX (0568) 84-4846

WAKO'S

Born in the Circuit.

生まれも育ちもサーキット。WAKO'S製品、ラインナップ。

開発ステージは、コンペティションフィールド。WAKO'S製品は、終てサーキットで生まれ育ち、しかも、そのレーシングテクノロジー直系の製品は、常に進化し続けている。品質も、性能も、信頼性も、極限の走りの中で磨く。勝利に貢献する確かな実績は、プロはもちろん、多くのストリートライダーから、高い評価を得ている。動力性能をフルに引き出す2st/4stオイル、絶妙の制動タッチのブレーキフルード、運動性能を向上させるフォークオイル、そしてメンテナンスに嬉しいフィルタークリーナーなど…。ここに、WAKO'Sの製品、豊かにラインナップ。



Dinky Racing	Team BATTLE
アートナイチャー DOボイス	
with me プロフェッショナルレーシング	EM/VA HIRYU RACING



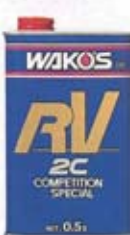
- V2R 分離・混合両用2サイクルエンジンオイル 1,700円/500ml 油性、耐摩耗性、耐燃付着性に優れたスモークレスタイプオイル。
- 2CT 分離専用2サイクルエンジンオイル 1,900円/1l 耐摩耗性、耐燃付着性はもとより、優れた洗浄性を誇ります。
- SP-R スーパープロレーシングブレーキフルード 2,800円/500ml タッチと効果を両立したニューコンセプトのブレーキフルード。公道での使用可。
- FK-10 フォークオイル 10 2,800円/1l 長時間の使用にも落ちがちな安定した性能を發揮。(FK-01 フォークオイル01 1,700円/500ml) (FK-20 フォークオイル20 1,500円/500ml)
- RP-L ラスベネ 1,500円/420ml 高い透過力と錆取り・防錆効果に優れた潤滑油。
- CC-A キャブプレタークリーナー 1,600円/420ml 速効性のキャブプレター洗浄スプレー。キャブを分解しないでカーボン、スラッジ、オイルヒストを取り除く。
- CHG チェーンガード 1,500円/220ml シールチェーンに最適なアブセ樹脂入りチェーングリス。雨や高速走行でも飛散しません。
- BSG スプレー式シリコングリス 3,000円/220ml オイルシール等のシール部、水のかかる部分、高温部など幅広く使用出来ます。
- BC-7(有機物規制外商品) スーパーブレーキパーツクリーナー 1,500円/480ml オイル、グリス等の汚れに優れた効果を生ずる選択剤タイプクリーナー。チェーンクリーナーとして最適です。
- BC-8(有機物規制外商品) ブレーキ&パーツクリーナー 1,500円/490ml 強い洗浄力かつ吐出圧力を持った使い手の良い中粒剤タイプの多目的クリーナー。
- BC-9(有機物規制外商品) ブレーキ&パーツクリーナー 1,500円/490ml 強力な洗浄力かつ速乾性に優れたブレーキ&パーツクリーナー。プラスチックを傷しません。



4CR(15W-40・15W-50)
100%化学合成4サイクルエンジンオイル
2,800円/1l
レーシングテクノロジーから
フィードバックされ開発された
100%化学合成オイル。特殊
PM耐配合により、油温の上昇を効果的に抑え、各パーツの耐久力をUP。安定したエンジン性能を持続させる。



4CT(10W-40・15W-50)
純化学合成4サイクルエンジンオイル
1,900円/1l
API最新・最高規格SH及び
CMC規格のGSをクリア。メーカーを問わず全ての4サイクルエンジンに対応。2stのミッションオイルとしても最高です。



2CRV-R
2st専用2サイクルエンジンオイル
2,200円/500ml
2stエンジンの耐久性向上を開発コンセプトに、各パーツの潜在性能を引き出し、マシン自体の耐久性UP=ローコスト化を実現している。
混合比
ロード/30:1~35:1
モトクロス/40:1~50:1



RG7590(75W-90)
半化学合成ミッションギヤオイル
3,800円/2l
レスポンスとシフトタッチを重視したミッション専用オイル。耐久性、耐燃性がさらに向上しました。(80W-120相当のS120もあります)
※逆式クラッチ使用可。

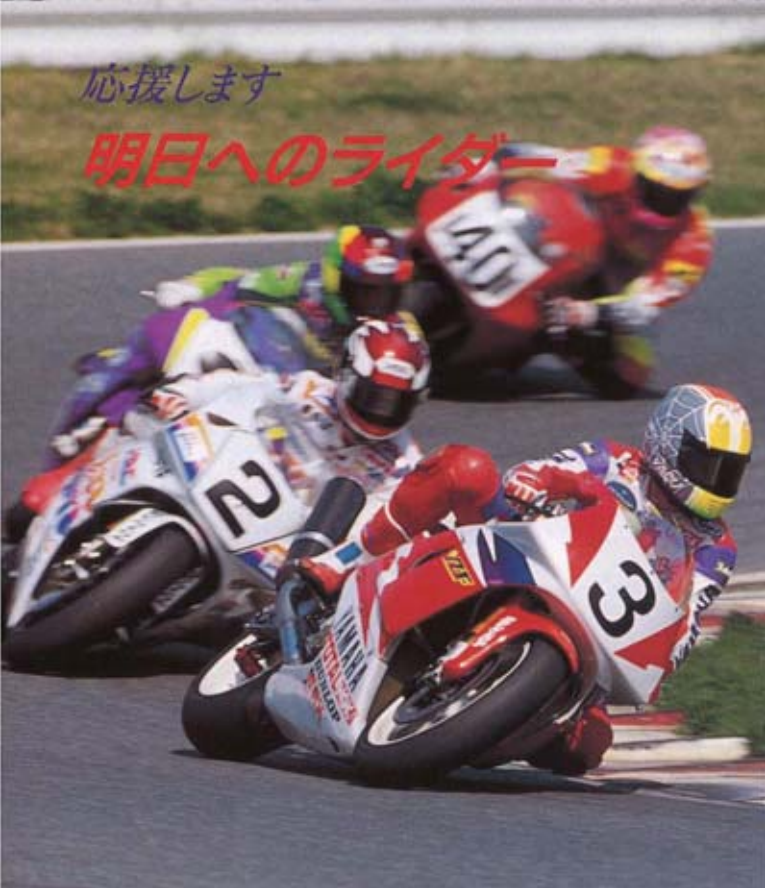
和光ケミカル
神奈川県小田原市新川16-2 TEL.0465-48-2211代

東北営業所 福島営業所 群馬営業所 栃木営業所 茨城営業所 埼玉営業所 埼玉営業所 千葉営業所
東京営業所 東京営業所 東京営業所 東京営業所 東京営業所 東京営業所 東京営業所
静岡営業所 浜松営業所 岡崎営業所 名古屋営業所 岐阜営業所

人材募集
職種:ルートセールス 年齢:20-35歳 勤務地:各営業所
詳しくは本社・人事担当の橋本 TEL.0465-48-8111

応援します

明日へのライダー



NOBLE SPORT SPIRITS
Mine circuit
By Central Park



'95年もミニバイクからスーパーバイクまで
幅広くロードレースを応援します。

1995 MINEサーキットロードレース開催予定表

4/8 全日本ロードレース選手権シリーズ第2戦 9 MINEスーパーバイク100kmレース	開催クラス GP125・GP250・スーパーバイク	参加申込先 〒759-21 山口県美祿市西厚保町長尾 MINEサーキット TEL.08375-8-0321	出場申込期間 2/28~3/9
--	------------------------------	--	--------------------

ライセンス区分	承認競技					地方選手権				エリア選手権			参加申込期間
	免	F~N	F~I	国内(N)ライセンス		国内(N)・国際(I)ライセンス							
月日 大会名称	S5	N-250	NK	S/T	S80	SP250	SP400	GP125	GP250	GP125	GP250	SB	開始~締切
2/12 西日本ロードレース選手権シリーズ第1戦	○	○			○			○	○				1/3(火)~1/12(木)
3/12 西日本ロードレース選手権シリーズ第2戦		○				○	○			○	○	○	1/31(火)~2/9(木)
西日本ロードレース選手権シリーズ第3戦										○	○	○	
5/21 西日本3時間耐久ロードレース						●	3H	●					4/1(火)~4/20(木)
6/18 西日本ロードレース選手権シリーズ第4戦		○				○	○	○	○				5/9(火)~5/18(木)
7/2 美祿ミニバイク耐久レース	○	○		○	○								5/23(火)~6/1(木)
8/6 西日本ロードレース選手権シリーズ第5戦		○				○	○			○	○	○	6/2(火)~7/6(木)
9/10 西日本ロードレース選手権シリーズ第6戦	○	○	○	○				○	○				8/1(火)~8/10(木)
10/15 西日本ロードレース選手権シリーズ第7戦		○				○	○			○	○	○	9/5(火)~9/14(木)
11/19 美祿ミニバイク耐久ファイナルレース	○			○	○								10/10(火)~10/19(木)

◎耐久レース 選手権レースのうちGP125/GP250クラスは昇格ポイント対象レース、その他のクラスは昇格ポイント対象外(特別昇格は有り)

サーキットライセンス講習会

- ・開催日 2~3回/月(問合せ確認のこと) ・申込 電話予約(当日受付可)
- ・来場時間 当日AM9:00~9:10受付
- ・当日持参するもの
 - ①運転免許証 ②印鑑 ③写真2枚(30×25) ④筆記用具 ⑤健康保険証
 - ⑥実技車両及び装備(ヘルメット、ツナギ、グローブ、ブーツ、テープ、工具)
 - ⑦未成年者は親権者の承諾書(所定の様式)及び印鑑証明書

お問い合わせ・お申込

MINEサーキット

〒759-21 山口県美祿市西厚保町長尾
☎08375-8-0321 FAX.08375-8-0323

Hight quality Racing Leather Suit

for Win...

SECRETAIRE®

S

100% ORIGINAL RACING SUIT

100% ORIGINAL RACING SUIT

充実の標準装備+COLOR CHOICE

25 COLOR 1年間修理無料

1.6mm厚高級牛革使用

25選んで下さい25色
スーツはすべてのパターンがカラーフリー。
25色の中から好きな色をお選び下さい。

セクレテール製品取扱店

- | | | |
|---------|---------------|---------------|
| 千葉県東葛飾区 | ライコランド | ☎0471-93-4182 |
| 埼玉県上尾市 | 及川オート | ☎048-775-3233 |
| 群馬県太田市 | 賢 | ☎0276-46-1735 |
| 福岡県北九州市 | レイラスポーツ | ☎093-951-6672 |
| 栃木県鹿嶋市 | モトハウスマツモト | ☎02876-3-8658 |
| 千葉県市川市 | ツーリングショップ大橋 | ☎0436-29-8896 |
| 埼玉県新座市 | ガレージBAN-CHO | ☎048-482-0346 |
| 埼玉県栗山町 | YSP栗山 | ☎0493-24-0488 |
| 山梨県甲府市 | カムイオート(甲府二輪部) | ☎0552-27-0123 |



定休日/毎週日曜日・祝、祭日

営業時間/ AM11:00~PM7:00

電車利用の場合は「日山手線、日東線より」大岡山小学校行きバスで「第七中学校前」下車、徒歩5分。

セクレテール TEL.03(3714)0533 FAX.03(3712)7645 〒152 東京都目黒区目黒本町6-21-15

熱きバトルの感動を今年も——。

ライバルとの闘い、時間との闘い、そして自分との闘い——。頂点を目指して疾走する姿と熾烈なレーシングシーンは、いつ見てもダイナミックでスピーディだ。私たちは幾度なく、繰り広げられる最高のバトルステージに身を置き、熱きレーサーの想いと走りを応援していきたい。

走行ライセンスがとりやすくなりました

- ライセンス講習会は毎日開催します。
- ライセンスは取得日より1年間有効。

■ 受付時間

AM8:30~9:00まで

■ 当日持参するもの

運転免許証、印鑑、健康保険証、写真2枚(3cm×2.5cm、無背景、無帽)、筆記用具(万年筆又はボールペン)、ヘルメット、皮手袋、皮つなぎ、ブーツ、2輪車(No付、レーサー共に可)
 ※20才未満の方については、所定の契約書に親権者の署名と、なつ印(実印)を必要とします。

■ 費用

新規ライセンス発給料22,000円・共済費5,000円
 ・合計27,000円

■ 開催日

3月より12月までの間

■ 申込方法

必ず前日まで電話で予約して下さい。
 仙台ハイランドレースウェイ
 ☎022-395-2120・2123

EZ-POWER CARBURETOR JET SYSTEM

特許出願済 No.特願平成2年第180771号

EZ-POWERは、ライダーが悪いのままに操るためにはどうすれば良いか、より乗りやすく、速く走るためにはどうすれば良いか、長年に渡り研究、開発を繰り返してきました。そこで、今回ひとつの結論が出されました。「パワーに振り回されないスムーズな加速感」。ここがポイントです。たとえピークパワーが落ちても、実用回転域での吹け上がり、伸びが向上すれば結果的にタイムは縮まるのです。このキャブレター ジェットシステムは、燃焼効率を極限まで追求。適正なガソリン量をタイミング良く燃やすことにより「誰でも、どこでも乗りやすい理想的な走り」を実現します。

EZ-POWER

WIDEOPEN STUFF

(EZ-POWERの特徴)

- 低速域から高速域まで、ネバリと伸びのあるトルクフィーリング
- ビギナーでも簡単にできるキャブレターセッティング
- 新開発ダブルフランジ構造により密着性が格段に向上



パワーポケット部

JNジェットニードル

低燃費パワーアップジェットニードル。低、中速域でのガソリン供給をコントロール。新合金を使用した精密なターレット部。EZ-POWERの特色を反映した設計。パワフルタイプ/マイルドタイプがあります。

MJメインジェット

より燃費を良くするためには、常に適正なガソリン量を保つことが大切です。そのためにEZ-POWERでは、ダブルフランジ構造を開発。漏れすぎず、漏れすぎず、また振動に左右されにくい安定した供給量を発揮します。

適合車種

□ ストロークタイプ 価格 ¥14,000 (JN×2, MJ×3)

ホンダ: CR50, 125, 250

ヤマハ: YZ50, 125, 250

スズキ: RM50, 125, 250

カワサキ: KJ50, 80, 125, 250

□ トレール(エンデューロ) 価格 ¥8,200 (JN×1, MJ×1)

ホンダ: CR25-250R

ヤマハ: DT125R, DT200WR, DT250, SEROW225

スズキ: YS125R, 200R, RMX250S 250R

カワサキ: KDX125SR, 200R/200SR, 220SR

220R(エンデューロ), 250R(エンデューロ)/250SR

※他車種及びロード用も近日発売予定

お問い合わせ先

TEL.048(668)0386/FAX.048(666)4481

WIDEOPEN STUFF
EZ-POWER

株式会社 イージーパワー

代表取締役 東福寺保雄

埼玉県大宮市大成町2丁目229番地



'95 RS パワーアップキット・ラインナップ!

GP3パワーアップキット(FOR'95RS125R)

シリンダーCOMP
シリンダーヘッド
チャンバーCOMP
CDIユニット・他 ¥260,000-
OP:カーボンサイレンサー
OP:ラム圧キット

GP2パワーアップキット(FOR'95RS250R)

シリンダーCOMP
シリンダーヘッド
チャンバーCOMP ¥500,000-
OP:ラム圧キット

※ '94RSパワーアップキットについてはご相談下さい。

MOTO BUM 

HRC サービスショップ

販売のお問合せは

ホンダスポーツMOTO BUM 〒110 東京都台東区台東4-13-23 日曜定休

AM10:00~PM9:00 TEL:03-3831-4265 FAX:03-3831-4292

テクニカルサービス

美BAMレーシング TEL:03-3833-5232



新しいベータに

試乗でまします。

2月末までのSpecial Price
希望小売価格 ¥798,000

■下記BETA取扱い店にて試乗車を御用意させて頂いております。

山口輪店
田中ホンダ
モト ワークス アイアンロード
有限会社 オートショップ矢吹
バイクショップ 古川商会
バイクサロン ハタヤマ
ガレージ三輪
スーパーバイク 達夢
ライダーズショップ キャリバー
若林製作所
ライディングハウス
トライアルワークス 小坂
エアースポーツトレーディング
ホンダショップ成田
スーパーウイングまるやま
モトショップ ヒロモーターズ
スピード アン リミテッド
BGM
モトランド
バイクショップ スエ
スポーツプラザ イトウ
三谷モーターズスポーツ館商店
TOM'S
バイクショップ 青木
サイクルショップ コニシ
オートスポーツ加古川
KOLレーシング
ミネ モーターサイクル
ケニスクラブ
R-2
たんしゃ屋 HONDA
アウト オフ ファクトリー
首席モーターズ
モトショップ モリカミ
バイク&モーターハウス H02021

〒020 岩手県盛岡市材木町3-8
〒020 岩手県盛岡市長田町4-4
〒025 岩手県北上市村崎野19-296-5
〒960-01 福島県福島市宮代字田尻12-10
〒944 新潟県新潟市美守2-9-20
〒981-01 宮城県宮城県利府町神谷沢字化粧坂10-25
〒990 山形県山形市錦町1-15
〒371 群馬県前橋市元総社町733-5
〒362 埼玉県上尾市愛宕2-24-15
〒120 東京都足立区千住東2-11-3
〒190 東京都立川市羽衣町2-27-98
〒271 千葉県松戸市古ヶ崎2-3112
〒215 神奈川県川崎市麻生区高石3-13-12
〒211 神奈川県川崎市中原区中九子439
〒255 神奈川県中郡大磯町高麗3-2-39
〒409-38 山梨県中巨摩郡田舎町山之神2183-132
〒435 静岡県浜松市市野町2728
〒410-11 静岡県裾野市千福82-1
〒437-16 静岡県小笠郡浜岡町池新田3802-1
〒385 長野県佐久市大字猪久保785-1
〒463 愛知県名古屋守山区小幡葵池14
〒513 三重県鈴鹿市道伯町2147-71
〒603 京都府京都市北区萬葉下鳥田町1-3
〒571 大阪府門真市下馬伏175
〒640 和歌山県和歌山市岩出町金池390-1 グリーンビル2
〒675 兵庫県加古川市神野町石守1440
〒661 兵庫県尼崎市水堂町1-24-4
〒654 兵庫県神戸市須磨区妙法寺字池子田1038-8
〒721 広島県福山市東深津町四丁目19-4
〒741 山口県岩国市川西4-2937-3
〒790 愛媛県南吉田町1466-1
〒816 福岡県春日市宝町4-1 ラインビル西村1F
〒874 大分県別府市南石垣5-4
〒862 熊本県熊本市健康3丁目1-51
〒851-32 長崎県西彼杵郡琴海町西海崎1727

TEL0196-22-5581
TEL0196-22-7448
TEL0198-22-5130
TEL0245-53-3766
TEL0255-72-3185
TEL022-255-5056
TEL0236-33-0361
TEL0272-53-5364
TEL0487-75-8140
TEL03-3882-7321
TEL0425-28-0455
TEL0473-64-9757
TEL044-934-5512
TEL044-411-4171
TEL0463-34-0651
TEL0552-73-0234
TEL0534-64-5048
TEL0559-94-0180
TEL05378-6-8011
TEL02676-8-1401
TEL052-795-2262
TEL0593-70-2689
TEL075-491-5552
TEL0720-84-6001
TEL0736-61-2648
TEL0794-26-5060
TEL06-438-4240
TEL078-743-5440
TEL0849-27-5050
TEL0827-43-5355
TEL0899-71-3397
TEL092-585-1121
TEL0977-21-0432
TEL096-365-5105
TEL0958-84-1805

BETA
Techno 125
100台限定
希望小売価格 **¥698,000**

BETA

TRIUMPH

JAPAN DISTRIBUTOR **RAY'S**

株式会社レイズ 二輪事業部 〒158 東京都世田谷区三軒が辻1-4-1 TEL03-3707-0031 代: 7577 大塚店 東京都長崎西5-80 TEL03-745-1010 代: 7577

トライアル

TRIAL

▼細則5 トライアル競技細則

1. 適用の範囲	104
2. トライアル	104
3. 出場車両	104
4. 参加資格	104
5. 出場申し込み	104
6. セッケンナンバー	104
7. ライダーの装備	105
8. 出場受付	105
9. ライダーおよび車両の変更	105
10. 車両および装備の検査	105
11. 練習	105
12. コース	106
13. セクション	106
14. 競技の進行	106
15. タイムキーピング	107
16. ペナルティ	107
17. ペナルティの定義	108
18. 燃料補給	110
19. 競技の終了	111
20. 車両保管	111
21. 競技結果	111
22. 抗議	111

23. 賞および得点	111
24. 審判員の権限	111
25. 違反に対する罰則	111
26. 本規則の解釈	111
27. 本規則の施行	111

▼細則6 '95全日本トライアル選手権大会特別規則

1. 公 示	112
2. 開催クラス	112
3. 運営実行組織	112
4. 参加資格	112
5. 出場料およびMFJ共済会掛金	112
6. セッケンナンバー	113
7. ヘルパー	113
8. 車両検査	113
9. スタート	114
10. 採点カード	114
11. タイムキーピング (タイムコントロール)	114
12. ペナルティ	114
13. マシンコントロール	114
14. 賞および得点	115
15. 本規則の施行	115
'95全日本選手権開催日程	115

トライアル 競技細則

1 適用の範囲

以下に記す規則は、国内競技規則とともにすべての国内トライアル競技会に適用される。

2 トライアル

トライアルとは、自然の地形を利用してさまざまな走行条件を設定し、これを採点区間とし、定められた時間内に走破することで操縦技術の信頼性を試す競技である。大会は1日または2日以上にわたって行われ、採点区間の成績とタイムキーピングによりその結果が表される。

3 出場車両

出場車両（以下車両という）は、国内競技規則・第3章〔⑬出場車両〕（33頁）の限度を満たし、安全上完全に整備されているものでなければならない。

なお、改造されて型式（モデル）が判明できないような車両は出場を認められない。

4 参加資格

1) ライダー

ライダーは、1995年度版MFJ国内競技規則・第3章〔⑨競技参加者〕（31頁）に合致していなければならない。

5 出場申し込み

1) 出場申し込みは、大会特別規則の定めるところとする。

2) 出場申し込み手続き

(1) 各部門とも所定の申し込み用紙に必要事項をすべて記入し、出場料およびMFJ共済会掛金を添えて大会事務局へ提出しなければならない。

(2) 郵送の場合は、現金書留または主催者の定める方法とし、締切日当日の消印のあるものまでが有効となる。

(3) 電話による申し込み、および締切日以降の申し込みは一切受けつけない。

6 ゼッケンナンバー

1) 主催者によってナンバーが割り当てられる。

2) ゼッケンナンバーは、車両検査までに規定の書体および色分けて記入しておかなければならない。

- 3) ゼッケンナンバーは車両検査時に検査され、判読しにくいと判断された場合には修正が要求される。

7 ライダーの装備

1) ヘルメット

- (1) ヘルメットは、日本工業規格JIS T8133-1982のA種、および同JIS T8133の1種 (JIS T8133の1982年8月までの規格) 以上のもので、MFJが公認したものでなければならない。
- (2) MFJ公認ヘルメットには、公認マークが貼付されている。
- (3) 競技会の車両審査受け付け時に、ヘルメット検査が行われる。MFJの公認したヘルメットでも、検査に合格しなかったヘルメットは、当該ライダーの安全上その使用を禁止する。
- (4) MFJ公認ヘルメットであっても、MFJの公認マークの貼付されていないヘルメットについては、特別検査料 (1,000円) を支払い、特別に検査を受け合格しなければならない。

2) ライダーの服装

- (1) 服装は、下半身は長ズボン、上半身は長袖でなければならない。
- (2) 手袋、および足首以上を保護する突出部分のないブーツなど革靴、またはゴム長靴を着用しなければならない。

8 出場受付

- 1) 出場受付の時間及び場所は公式通知に示される。
- 2) 出場受付は、定められた時間内に必ずライダー本人がMFJライセンス、参加受書を持参して当日の出場資格を確認しなければならない。
- 3) MFJライセンスを持参できない者は、出場が認められない。



9 ライダーおよび車両の変更

ライダーの変更は認められない。車両の変更は国内競技規則・第3章〔⑩ライダーおよび車両の変更〕(34頁)に該当する場合、出場受付時に手数料5,000円を添えて大会事務局へ申請し、競技監督の許可を受けた場合のみ認められる。

10 車両および装備の検査

- 1) 装備および車両の検査は、公式通知に示されたタイムスケジュールに従って、競技開始前にパドック内の車両検査場にて行われる。
- 2) ライダーは、タイムスケジュールに示された時間内に、必ず本人が車両を持参して検査を受けなくてはならない。規定時間以後の検査は、大会審査委員会が不可抗力な事情によるものとして特別に認めた以外は行われない。
- 3) 車両検査への持ち込み車両は、1台に制限される。
- 4) 主催者は、大会期間中必要に応じて随時車両の検査を行うことがある。

11 練習

大会当日は、コースおよびセクションのいかなる場所においても練習が禁止される。これに違反したライダーは失格とする。ただし主催者が特別に認めた区域内でのウォーミングアップは認められる。

12 コース

コースは、コーステープまたはコースマークにより明確に表示される。コースから外れた場合、ライダーは速やかにコースに戻らなければならない。

13 セクション

1) セクションの表示

セクションは、次のセクションマーカーおよびテープで表示される。

- (1) 入口

右側	赤地にセクションナンバー
左側	青地に“IN”などの表示
- (2) 途中

右側	赤いマーカーまたはテープ
左側	青いマーカーまたはテープ
- (3) 出口

右側	赤地にセクションナンバー
左側	青地に“OUT”などの表示
- (4) テープを使用する場合は、入口および出口に赤と青のマーカーを置く。

2) セクションの幅

- (1) セクションの横幅はできる限り自然の障害物で制限されるが、マーカーによって制限する場合は1.2m以上とし、テープによって制限する場合は2m以上とする。
- (2) 同じ側のマーカーとマーカーの間を迂回することはできない。
- (3) 採点区間

セクションにおける採点は、前輪の接地面の先端または外側（スピンドル）がセクション入口のマーカーを過ぎた時点から開始され、前輪の接地面の先端または外側（スピンドル）がセクション出口のマーカーを過ぎた時点で終了する。

14 競技の進行

- 1) ライダーは、スタートの合図を受けて初めてエンジンを始動させることができる。
- 2) タイムキーピングを採用した場合、各セクションへのライダーの進入順序は自由であるが、審判員によって指示された場合、これに従わなくてはならない。
- 3) セクション間の移動はコースマークまたはテープに従い行わなくてはならない。
- 4) ライダーはセクションに入る準備ができ次第、手を上げて審判員に合図しなければならない。
- 5) ライダーは審判員の指示により速やかにセクションに入らなければならない。
- 6) セクション内でフルペナルティ（減点5点）を受けたライダーは、速やかにセクション外へ車両を移動させなければならない。
- 7) ライダーは、セクション内で一切の援助を受けてはならない。ただしフルペナルティを受けた場合はこの限りではない。
- 8)(1) 車両の部品交換は、マーキングされていない物のみ認められる。
- (2) ライダーは、主催者の定める区域内（パドック）であれば他の援助を受けることができる。
- (3) ライダーは、移動コース上において工具、およびスペアパーツを受け取ることができる。ただし定められた区域（パドック）以外ではその他の援助を受けることはできない。（全日本選手権は規則が異なる。113頁・ヘルパーの項参照）
- (4) 競技中事故を起こした場合や、車両の故障等の理由で競技続行が不可能な場合は、速やかに大会本部に申し出なければならない。

- 9) 不適当な行為について審判員の指示があった場合、ライダーは審判員の指示に従わなくてはならない。

15 タイムキーピング

- 1) ライダーは、原則としてあらかじめ決められた順序により1分間隔でスタートする。ただし同時スタートの場合はこの限りではない。
- 2) 決められたスタート時刻に遅れたライダーは、1分につき1点の減点が課せられ、20分以上の遅れは失格となる。
- 3) コース走行時の平均速度は原則として20km/hとする。
- 4) ライダーには全コースを走破するための「持ち時間」が与えられ、これに遅れてゴールしたライダーは失格となる。
- 5) 全コースを走り終えたライダーは、定められた場所でタイムチェックを受けなければならない。

16 ペナルティ

- 1) セクションにおける減点は0-1-2-3-5-10点とする。
 - (1) クリーン……………0点
 - (2) 足つき……………1点～3点減点
 - (3) 失敗……………5点減点
 - (4) 放棄……………10点減点
 - 2) タイムキーピングによるペナルティは、次のとおり課される。
 - (1) 予定されたスタート時間に遅れた場合……………1分につき1点減点、20分以上の遅れは失格
 - (2) ゴールタイムチェックへの遅れ……………失格
 - 3) ライダーの不適切な行為に対するペナルティは、次のとおり課される。
 - (1) 競技役員および審判員に対する不適切な行為……………失格・退場
 - (2) セクションにおいて審判員の指示に従わなかった場合……………10点減点
 - (3) トライを有利にする目的で、故意に地形を変形させた場合……………10点減点
 - (4) 定められたコースを不適当にカットした場合……………50点減点
 - (5) 定められたコースを逆走した場合……………失格
 - (6) 車検で施されたマーキングが失われた場合……………失格
(次の部品は車検後交換が認められない。フレームボディ、クランクケース、サイレンサー)
 - (7) 許可された場所以外で、外部から整備の援助(部品の交換を含む)を受けた場合……………失格
- 注) 上記(4)に関しては、さらにセクション放棄の減点が加算される。



トライアルの減点は0-1-2-3-5-10

減点ゼロ
おみごと/
クリーンです



減点1
残念。
足つき1回



減点2
残念なり
足つき2回



減点3
足バタバタ
3回以上



減点5
ミスりました
失格です



トライを放棄すれば減点10

17 ペナルティの定義

セクションにおけるペナルティの定義は、次のとおりとする。

1) 足つきの定義

車両が前進しながら身体のどこかの部分、または車両のどこかの部分（フットレスト、エンジンカード（底部）、タイヤ、ホイールを除く）が地面に接地した場合、これを足つきという。

また車両の進行を停止することなくライダーのどこかの部分が障害物（立木、壁など）にもたれた場合、足つきが生じたものとみなされる。

また身体の部分で手、足についてはその付け根から先を同一とみなす。従って足つきと同時に膝を接地しても、1回の足つきとみなす。

なお、足つきによるマーカー移動、破損は足つきのみの減点となる。

(1) 1点減点（車両が前進しながら）

- ① 足つき1回
- ② 足つき状態でつま先とかかとが交互についている場合
- ③ 片足を軸にして車両を回転させた場合
- ④ 手を立木・壁等についた場合
- ⑤ 身体または車両が障害物等にもたれかかり、バランスを修正した場合
- ⑥ コーステープの内側または外側への足つき1回

(2) 2点減点（車両が前進しながら）

- ① 足つき2回
- ② 前記1)の1点減点となる行為が2回行われた場合
- ③ 両足同時の足つき

(3) 3点減点（車両が前進しながら）

- ① 足つき3回以上
- ② 前記1)の1点減点となる行為が3回以上行われた場合

2) 失敗（減点5点）

- (1) ライダーが足つきをし、車両が完全に進行方向に進むのをやめてしまった場合
- (2) 車両が停止した状態で身体または車両が障害物等にもたれかかり、バランスを修正した場合
- (3) 車両が停止した状態での足つき及びバック中の足つき
- (4) 登り坂等での足つきの状態で、フロントタイヤが浮いてタイヤがバックした時
- (5) マーカーの迂回（下図Aのようなふくらみ、またはターン）

*ただしセクションテープ併用の場合はこの限りではない（図E参照）

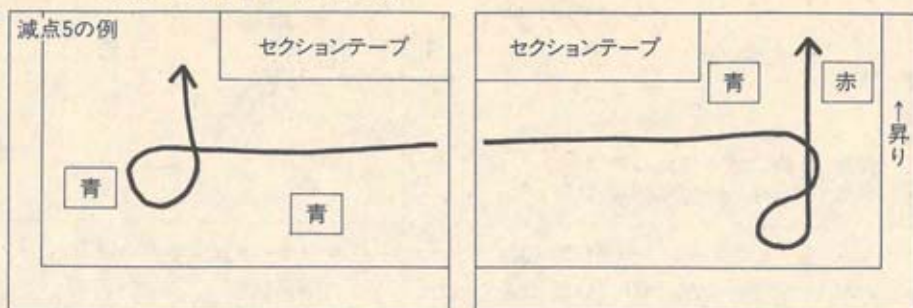


- (6) 車両・ライダーによるテープ切断、たるませ、テープを止めているクイなどを破損、または移動（修正が必要な移動）させた場合

- (7) 車体の右側、または左側に両足が同時に足つきをした場合

- (8) フロントタイヤまたはリアタイヤがテープの上からテープ外に出て立木、壁、石等に接触した場合
- (9) セクション内でライダー自身の車両がつけたわだちちに再び触れたり、踏みつけたり、または飛び越えた場合。ただしリバースおよびホップアップの場合は減点の対象にならない (図B参照)

図B



- (10) 車両によるマーカー移動、マーカー破損
- (11) 申告エスケープについては、特に審判員の判断により失敗申告とみなされたもののみとする
- 3) 減点の対象とならない行為
- (1) 接触

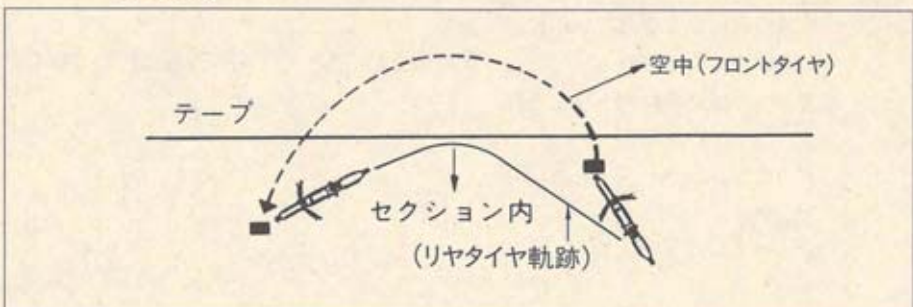
接触とは、ライダーの身体の各部分または車両の各部分が立木、壁、石等その他の障害物に触れることをいい、これによって明らかにバランスの修正が行われない限り減点の対象とはならない。

なおマーカー、テープには車両、身体どちらで接触しても接触のみであればペナルティーは課せられない。

- (2) その他減点の対象とならない例

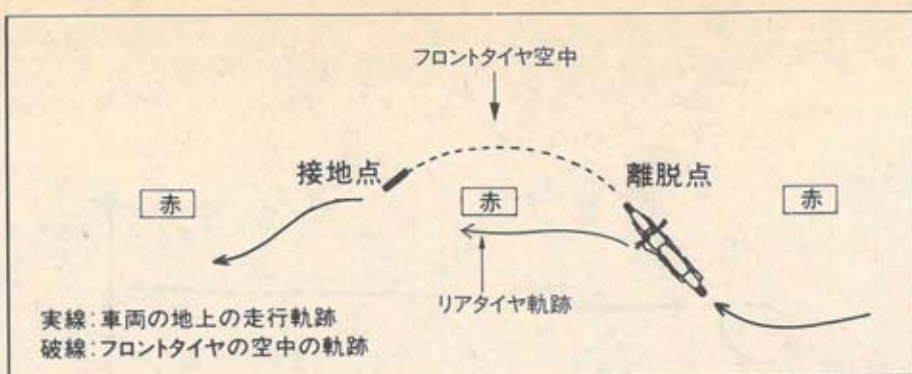
- ① テープの上からフローティングターン等によるフロントタイヤ、またはリアタイヤがテープ外に出た場合で、テープ外の立木、壁、石、地面等に触れずにテープ内に戻った場合。(図C参照)
- ② マーカー付近でのフローティングターン等によるマーカー迂回については、リアタイヤの接地面がマーカーの内側を通れば減点5の対象とはならない (図D参照)。

図C



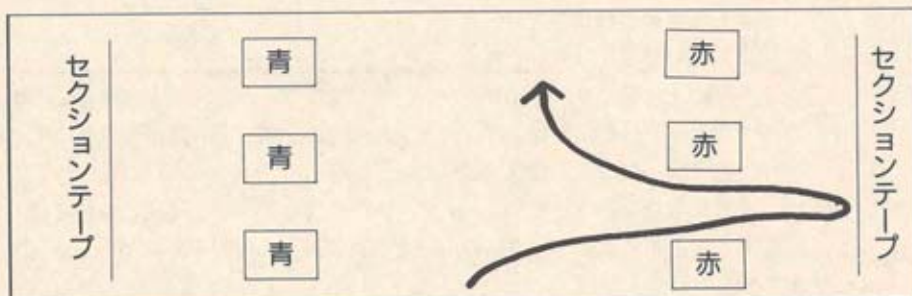
トライアル

図D



- ③ セクションテープがある場合、マーカーとマーカーを結ぶ直線をはみ出しても、テープより出ない限り減点とはならない(図E参照)。
- ④ V字型の地形でステップがかみ込んで停止をした場合、ステップに足が乗っていれば減点5の対象とはならない。そのステップ上のつま先、足の裏部分が接地しても、意識的なバランス修正がない場合、減点の対象とはならない。
- ⑤ アンダーガードが引っかかりシーソー状態になり、エンジンが停止しても減点5の対象とはならない。なおこの状態から足をつかないでエンジンを始動させて競技の続行もできる。
- ⑥ エンジンが停止して足つきを行った場合でも、車両が前進していれば減点5の対象とはならず、ただの足つきの減点となる。
- ⑦ 足つきの状態で前輪を真横に移動することは前進とみなし、減点5の対象とはならない。

図E



(3) 減点の対象とならない車両の部分

車両が停止している状態で、下記の部分が立木、壁、石、地面に触れて重心を支えても減点の対象とはならない。

- ① フットレスト
- ② エンジンガード(底部)
- ③ タイヤ
- ④ ホイール

4) 放棄

放棄とはセクションを走行しなかった場合を言う。

18 燃料補給

- 1) ライダーは、主催者の定める区域内(パドック等)で燃料補給ができる。
- 2) ライダーは、競技役員の許可を受ければ、コース上の安全な場所で燃料補給をすることができる。

19 競技の終了

バックマーカーがセクションを閉鎖する場合がある。

20 車両保管

公式通知等に車両保管方法について記載のない場合、最終ゴール時に上位入賞車両の検査を行う場合を除き、マシンコントロールでのチェック終了後は車両保管は行わない。

21 競技結果

- 1) 総減点数の少ない者から順位を定める。
- 2) 同点者の判定は次の判定基準に従って行う。
 - (1) クリーン数の多い者を上位とする
 - (2) 1点減点の多い者を上位とする
 - (3) 2点減点の多い者を上位とする
 - (4) 3点減点の多い者を上位とする
 - (5) 以上によって決定できない場合は、当該審査委員会により決定される。

22 抗議

- 1) 抗議は、国内競技規則・第3章〔㉔抗議〕(37頁)による。
- 2) 車両の分解検査に要した費用は、その抗議が不成立の場合は抗議提出者、成立した場合には抗議対象者が支払わなければならない。この車両の分解等に要した費用は車検長が算定する。
- 3) セクション審判員の下したジャッジに対しては、抗議することは一切できない。

23 賞および得点

- 1) 入賞は1位～6位とする。
- 2) 得点
得点は、国内競技規則・第3章〔㉔公式得点〕(36頁)によって与えられる。

24 審判員の権限

審判員は、競技規則に則り担当するセクション内における競技の進行、指揮の権限をもつほか、セクション内における選手の行為を減点の対象とするか否かを審判する、最終的権限を持つものである。

25 違反に対する罰則

競技規則による違反行為に対する罰則は、国内競技規則・第3章〔㉔違反行為に対する罰則〕(38頁)による。

26 本規則の解釈

本競技細則および競技に関する疑義は、事務局あてに質疑をすることができる。なお、この回答は、大会審査委員会の解釈、決定が最終的なものとして示される。

27 本規則の施行

本規則は、1995年1月1日より有効となる。なお、本規則に示されていない事項は国内競技規則による。



細則 6

'95全日本 トライアル選手権大会 特別規則

1 公 示

全日本トライアル選手権は、FIM国際スポーツ憲章に基づいたMFJ国内競技規則と各大会の特別規則に基づき、MFJ公認の全日本格式競技会として開催される。

2 開催クラス

- 1) 全日本選手権の開催クラスは、国際A級部門および国際B級部門とする。
- 2) 競技方法は国際A級部門・国際B級部門ともに個人に与えられた持ち時間とコース上に設定されたセクションの採点によるものとする。なお、各大会のセクション数及び持ち時間は、各主催者からの公式通知により発表される。

3 運営実行組織

大会運営・実行組織は公式プログラム、または公式通知に示される。

4 参加資格

- 1) 国際A級部門 当該年度に有効な国際A級ライセンスを所持する者
- 2) 国際B級部門 当該年度に有効な国際B級ライセンスを所持する者
- 3) ヘルパーライダー 当該年度に有効な国内B級以上のライセンスを所持する者

5 出場料およびMFJ共済会掛金

出場料：国際A級部門	12,000円	(MFJ共済会掛金300円含む)
国際B級部門	12,000円	(MFJ共済会掛金300円含む)
ヘルパーライダー	6,000円	(MFJ共済会掛金300円含む)

参加受理：

- 1) 必要事項を記入した出場申込書、出場料を大会事務局が受理した時点で参加受理書、公式通知等が発送される。
- 2) いったん受理された出場料、MFJ共済会掛金はいかなる理由があっても返還されない。
- 3) 大会が取り止めになった場合、また参加が拒否された場合にのみ出場料、MFJ共済会掛金が返還される。(申し込み者が必要な手続きを怠った場合は、これにあてはまらない。)

6 ゼッケンナンバー

1) 主催者がゼッケンナンバープレート、胸ゼッケン等を配布した場合、競技期間中これを取りつけなくてはならない。

2) 全日本選手権ゼッケンナンバー決定基準

国際A級

(1) 前年度全日本選手権シリーズランキング順により決定する。

(2) 国際B級部門より昇格した者を、前年度全日本選手権ランキング順により追加する。

(3) 上記以外の選手については大会毎に与えられる。

国際B級

(1) 国際A級への昇格者を除く前年度の全日本選手権シリーズランキング順により決定する。

(2) 上記以外の選手については大会毎に与えられる。

7 ヘルパー

ライダー1名に対し、1名のヘルパーが認められる。ヘルパーの資格、および遵守事項は次のとおりとする。

1) ヘルパーは、トライアル国内B級以上のライセンス所持者で、ライダーのエントリー時にヘルパーの申請料を添付し、申し込まなければならない。エントリー締切後の追加、変更は一切認められない。

また大会により、ヘルパーの受付を認めない場合がある。

ヘルパーミーティングが開催される場合、これに出席しなくてはならない。

2) ヘルパーの車両はMFJ公認車両でなくてはならず、選手と同様に車検を受けなければならない。

3) 車両のフロントナンバープレートに、選手と同じゼッケンナンバーを表示しなくてはならない。ナンバープレートの地色および数字の色は下記のとおりとする。

国際A級のヘルパー……白地赤文字

国際B級のヘルパー……白地緑文字

4) 移動コースは特に指示のない場合ライダーと同一とし、逆走は一切認められない。

5) ヘルパーの不正は、そのヘルパーを登録したライダーに罰則が課される。

6) ヘルパーの行ってよい行為（下記以外の行為は認められない）

(1) 移動コース上でライダーに工具、スペアパーツ、飲料等の受け渡しができる。

(2) パドック以外での車両整備（部品の交換を含む）は、選手本人及びその選手に登録されたヘルパーのみが行うことができる。

(3) ヘルパーは原則としてセクション内に立ち入ることはできない。

ただしトライ失敗の際の補助として、その選手に登録されたヘルパーがセクション審判の許可を受けた場合に限りセクション内への立ち入りが認められる。



8 車両検査

1) 車両検査においてフレームボディ、クランクケース、サイレンサーにマーキングを行う。以上の部品は競技の期間中使用され、競技が終了するまで交換をすることができない。これらの部品を車両検査後、あるいは競技中無断で交換した場合、および車検で施されたマーキングを失った場合には失格とされる。

サイレンサーを破損した場合は車検長の許可を得て交換しても良い。

'95全日本トライアル選手権大会特別規則

ただし、競技終了後ただちに音量測定を受けなくてはならない（規定値を越えた場合は失格とされる）。

- 2) 車両検査時には全車に対し、音量測定を行う。

9 スタート

- 1) 第1戦のスタート順序はゼッケン下位の者からとする。
- 2) 第2戦以降は、前戦までのランキングの下位の者から先にスタートするが、ポイント獲得者以外のゼッケン下位の者から先にスタートする。

10 採点カード

- 1) ライダーはスタート時に採点カードを受け取り、各ラップ毎に交換すること。
- 2) セクションでのパンチの点数は、その場でライダーが確認すること。
- 3) セクションをトライしてもパンチを受けないで次のセクションへ入った場合、前セクションはエスケープとみなされる。
- 4) 採点カードの破損等によって採点を確認できない場合、当該セクションはエスケープとみなされる。
- 5) 採点カードを紛失した場合、失格とされる。
- 6) 採点カードはコンピューター処理されるので、折り曲げたりしてはならない。
- 7) 採点カードの交換場所は、大会特別規則または公式通知へ示される。

11 タイムキーピング（タイムコントロール）

- 1) ライダーはスタート、ゴールのタイムチェックを受けなくてはならない。
- 2) 公式通知に特に記載のない場合、スタート時のタイムチェックはスタート時に行われ、ゴール時のタイムチェックは最終セクション出口付近にて行われる。
- 3) ゴールに遅れたライダーは、1分につき1点の減点が課せられ、20分以上の遅れは失格とする。
- 4) ゴールタイムチェックを受けたライダーは、定められたコースに従い10分以内にカード交換場所に戻り、採点カードを係員に提出すること。この時点でゴール完了となる。ゴール完了前に指定されたコース外に出たり、パドックに入ったりしてはならない。

12 ペナルティ

トライアル競技細則に定める減点に加え、下記減点を課す。

- 1) セクションでの持ち時間

各セクションイン毎に2分の持ち時間が与えられ、セクションインから2分以内にセクションアウトできなかった場合、減点5が課される。

13 マシンコントロール

- 1) マシンコントロールでは車両、車両へ施されたマーキング、ゼッケン、服装等の検査が行われる。
- 2) ライダーは各ラップ毎にマシンコントロールでの検査を受けなくてはならない。
- 3) 公式通知に特に記載のない場合、マシンコントロールは、大会本部付近にて行われる。

14 賞および得点

- 1) 各大会ごとに国際A級、国際B級の各クラスへベストクリーン賞が与えられる。
(クリーン数が同数の場合は、成績が上位のものとする)
- 2) 国際A級、国際B級部門全日本選手権ランキングの得点
 - (1) 得点はMFJ国内競技規則によって与えられる。
 - (2) 日本グランプリトライアル大会については規定の得点にさらに3点が加算される。
 - (3) 全日本選手権ランキングの順位は、上記によって与えられた得点のすべてが加算され、その合計得点によって決定される。
 - (4) 詳細は全日本選手権ランキング決定方法(222頁)に示される。

15 本規則の施行

- 1) 本規則は、出場申し込み受付日より有効となる。なお、本規則に示されていない事項は、国内競技規則、トライアル競技細則による。

1995年1月1日
全日本トライアル選手権
大会事務局長

'95全日本トライアル選手権シリーズ開催日程

開催日	大会名	出場申し込み先	開催場所	開催期間
5月6日(土) ～ 5月7日(日)	全日本トライアル選手権シリーズ 第1戦第23回日本グランプリ大会	(財)日本モーターサイクルスポーツ協会 〒103 東京都中央区東日本橋2-16-7 第2オカノビル7F ☎03(3865)8441	神奈川県 宮ヶ瀬ダム特設会場	3月21日(火) ～ 3月30日(木)
5月20日(土) ～ 5月21日(日)	全日本トライアル選手権シリーズ 第2戦東北大会	MFJ岩手 〒020 岩手県盛岡市湯沢第16地割字広川15-11 岩手県二輪車安全普及協会内 ☎0196(39)8025	岩手県 室根高原スキー場	4月11日(火) ～ 4月20日(木)
8月5日(土) ～ 8月6日(日)	全日本トライアル選手権シリーズ 第3戦北海道大会	MFJ北海道 〒065 北海道札幌市東区東福米3条1-4-3 札幌札幌地区軽自動車会館2F ☎011(782)1492	北海道 夕張マウントレースイ リゾート	6月27日(火) ～ 7月6日(木)
8月26日(土) ～ 8月27日(日)	全日本トライアル選手権シリーズ 第4戦九州大会	MFJ九州 〒811-01 福岡県粕屋郡新宮町大字下府631-1 柳ホンダ二輪九州内 ☎092(962)4272	福岡県 八女郡矢部村 奥の院トライアル場	7月18日(火) ～ 7月27日(木)
9月9日(土) ～ 9月10日(日)	全日本トライアル選手権シリーズ 第5戦中国大会	MFJ中国 〒733 広島県広島市西区観音新町1-18-9 広島県二輪車安全普及協会内 ☎082(295)6994	広島県 ヒババレイスキー場	8月1日(火) ～ 8月10日(木)
9月23日(土) ～ 9月24日(日)	全日本トライアル選手権シリーズ 第6戦近畿大会	MFJ近畿 〒550 大阪府大阪市西区立売堀1-7-14 ☎06(534)6422	和歌山県 加太自然の郷 特設会場	8月15日(火) ～ 8月24日(木)
10月14日(土) ～ 10月15日(日)	全日本トライアル選手権シリーズ 第7戦中部大会	MFJ中部 〒466 愛知県名古屋市長和区八事富士見1603 ☎052(833)9676	岐阜県 バイクランド板内	9月5日(火) ～ 9月14日(木)

※第1戦は通常よりエントリー期間が早いのでご注意ください。



スノーモビル

SNOW MOBILE

▼細則7 スノーモビル競技細則

1. 本規則の適用範囲	117
2. スノーモビルレース	117
3. コースの仕様	117
4. 出場車両	117
5. MFJ公認車両	118
6. ライダーの装備	118
7. 公式通知・タイムスケジュール	118
8. 競技会参加定員	118
9. 競技会参加資格	118
10. 出場申し込み	119
11. 参加受理	119
12. 出場受付	119
13. 車両検査	119
14. ライダーの変更	120
15. 車両の変更	120
16. 公式予選	120
17. レース	120
18. 優勝者、入賞者及び完走	121
19. レースの延期、中止及び打ち切り	122
20. 抗議	122
21. 損害の補償	123
22. 競技規則の違反行為に対する罰則	123

23. 主催者の権限	123
24. 大会審査委員会	123
25. 本規則の解釈	123
26. 本規則の施行	123

▼細則8 '95全日本スノーモビル選手権特別規則

1. 全日本選手権対象種目および参加資格	124
2. 全日本選手権カレンダー	124
3. 大会運営実行組織	124
4. 出場申し込み	124
5. 参加受理	125
6. 出場受付	125
7. 車両検査	125
8. 車両の変更	125
9. 公式予選	125
10. レース	125
11. 優勝者、入賞順位および完走	125
12. 賞典	125
13. 損害の補償	125
14. 違反・抗議の裁定	125
15. レースの延期・中止及び打ち切り	125
16. 本規則の解釈	125
17. 本規則の施行	125
附 則	126

スノーモビル 競技細則

1 本規則の適用範囲

以下に記す規則は、国内競技規則とともにすべてのスノーモビル競技会に適用される。

2 スノーモビルレース

スノークロスレース、エンデューロレース、オーバルレース、ドラッグレース等、スノーモビルにて行うレースを総称してスノーモビルレースとし、国内競技規則および本細則により管理される。

1) レースの区分

- (1) スノークロスレース……雪上不整地の周回レース
- (2) エンデューロレース……雪上耐久レース
- (3) オーバルレース……オーバルトラックの円周コースで競うレース
- (4) ドラッグレース……直線短距離コースで競うレース

3 コースの仕様

コースの長さは、1周800m以上2km以下とし、その幅は少なくとも7m以上で、追い越し可能なゆとりを持たせなければならない。また、コースは、別に規定されるスノーモビル競技会会場に関する規則に準拠し、適切なレースコンディションと安全性とが確保されていなくてはならない。

4 出場車両

車両は下記の改造の限度と安全基準を満たし、安全上完全に整備されているものでなければならない。尚、改造されて型式（モデル）が判明できない車両は出場することができない。

スノーモビルの車両仕様（189頁）参照。

1) 車両の区分

スノーモビルの競技車両は、クラス区分と部門別区分とに分けられる。

(1) 車両のクラス区分

車両のクラス区分は、原則として次のように分けられる。

クラス名称	排気量		ゼッケンカラー
	水冷エンジン車両	空冷エンジン車両	
S Jクラス	—	1~125ccまで	赤地に白文字
S 4クラス	1~125ccまで	126~350ccまで	緑地に白文字
S 3クラス	126~350ccまで	351~500ccまで	青地に白文字
S 2クラス	351~500ccまで	501~750ccまで	黄地に黒文字
S 1クラス	オープン	オープン	白地に黒文字



- (2) 車両の部門別区分
 車両の部門別区分は改造限度によって次のように分けられる。
- ① スポーツ部門
 スポーツ部門はMFJ公認車両で、スポーツ部門改造限度を越えないものとする。
- ② モディファイ部門
 モディファイ部門はMFJ公認車両でモディファイ部門改造限度を越えないものとする。

5 MFJ公認車両

MFJ公認車両は、スノーモビルの車両仕様 (189頁) 参照。

6 ライダーの装備

ライダーの服装は、競技中身体の安全を確保し、操縦を妨げるものであってはならない。

- 上記目的を満たすブーツ (足首、つま先を保護できるもの)、防寒服、手袋 (革製、5本指) を着用すること。
- ゴーグル、マスクの使用は自由とするが、ゴーグルは鋭い破片になる材質は禁止される。枠は柔軟なもので転倒時に衝撃を受けた場合でも危険でない物とする。
- ヘルメット
 ヘルメットは、MFJ公認ヘルメットでなければならない。
 (1) ヘルメットは、日本工業規格JIS-T8133-1982-A種以上及び同JIS-T8133-2種(JIS-T8133の1982年8月までの規格) か、またはそれ以上の性能を有するジェット型かフルフェイス型のものでなければならない。
 (2) MFJの公認したヘルメットには、認証マークが貼付されている。
 (3) 競技会の車両検査時にヘルメットの検査が行われ、損傷等により検査に合格しなかったヘルメットはMFJの公認したヘルメットでもライダー本人の安全上使用を禁止される。
 (4) MFJ公認の認証マークの貼付されていないヘルメットについて、車両検査時に特別検査が行われる。その際、検査料 (1,000円) を支払わなければならない。

7 公式通知・タイムスケジュール

公式通知及びタイムスケジュールの詳細は、申し込み締切後に公示される。

8 競技会参加定員

競技会参加定員は定めない。

9 競技会参加資格

- スノーモビル競技会に参加する場合、種目ごとに当該年度有効なライセンスを所持していなければならない。

種目	ライセンス
モディファイA級各クラス	SA
モディファイB級各クラス	SB
スポーツ各クラス	SB、SJ、L
フレッシュマン	SJ、L、運
レディース、ジュニア	SJ、L、運
OBレース	SA、SB、L

SA=スノーモビルA級ライセンス
 SB=スノーモビルB級ライセンス
 SJ=スノーモビルジュニアライセンス
 L=MFJ Lライセンス
 運=運転免許証

2) ライセンス取得条件

ライセンス	参加できる競技会	ライセンス取得条件	ライセンス料
S A	全日本選手権 地方選手権 その他公認競技会 承認競技会	1994年度全日本スノーモビル選手権B級の各クラスにおいて1～6位にランクされたもの。ただし、6位選手と獲得点数が同点の選手も、昇格となる。	8,000円
S B	全日本選手権 地方選手権 その他公認競技会 承認競技会	16才以上で運転免許証を所持しているもの。運転免許証を所持していないもので、公認スノーモビルライセンス講習会を受講し、合格したものの。	8,000円
S J	公認・承認競技会	9～15才で講習会終了者	8,000円
L	承認競技会	運転免許証所持者、講習会終了者	3,000円

10 出場申し込み

- 1) 各クラスとも所定の出場申し込み書に必要事項をすべて記入の上、出場料及びMFJ共済会掛け金を添えて申し込まなければならない。
- 2) 2クラス以上に出場を申し込み場合でも、申し込み用紙は一枚でよい。ただし、2クラス出場に必要な事項をすべて記入すること。もし記入漏れのあった場合、申し込みを拒否される場合がある。
- 3) 郵送の場合は、現金書留とし、締切日当日の消印のあるものまで有効とする。
- 4) 締切日以降の申し込み及び電話・FAX等の申し込みは一切受けつけられない。
- 5) ビットクルー登録のない場合、大会当日ビットクルーとしての作業は許可されない。また、大会当日の登録もできない。

11 参加受理

- 1) 必要事項を記入した出場申し込み書及び所定の金額を大会事務局が受理した時点で参加受理書が発送される。
- 2) 大会が中止された場合、また、参加者が何らかの理由によって拒否された場合、(申し込み者が必要な手続きを怠った場合はこれに当てはまらない)にのみ出場料、共済会掛け金が返却される。
- 3) いったん受理された出場料・共済会掛け金は上記1)、2)及び細則7 [19] のレースの延期、中止及び打ち切り(122頁)の場合を除き、いかなる理由があっても返却されない。公式予選を通過しなかった場合も同様とする。

12 出場受付

- 1) 出場受付の時間及び場所は、公式通知によって示される。
- 2) 定められた時間内に、必ずライダー本人または、当該ライダーのメカニックが、MFJライセンス、参加受理書を提示して出場資格の確認を受けなければならない。
- 3) MFJライセンスを提示できない者は、一切出場が認められない。

13 車両検査

- 1) 車両検査は、公式通知に示されたタイムスケジュールに従って、車両検査区域内にて行われる。
- 2) 車両検査のための車両は、ライダー本人または当該ライダーのメカニックが特参し、必ずタイムスケジュールに示された時間内に検査を受けなければならない。規



定時間以外の車両検査は、競技監督が不可抗力な事情によるものとして特別に認めた場合以外に行わない。

- 3) 車両検査において、規則違反または安全上出場が不適当と判定された車両は、公式予選を含む一切の走行を拒否される。
- 4) 主催者は、大会期間中、必要に応じて随時車両の検査を行うことができる。

14 ライダーの変更

ライダーの変更は認められない。

15 車両の変更

車両の変更は、エントリー時に出場申し込み用紙に記載した車両と変更が生じた場合に、以下の手続きに従って行われる。

破損などやむを得ず出場登録済（車両検査合格済）の車両を変更する必要が生じた場合は、規定の書式に従って車両変更申請を行い、競技監督がこれを認めた場合に限り、車両の変更が認められる。

- 1) 車両の紛争に際して銘柄についての立証の責任は、参加者側にあるものとする。
- 2) その他については、特別規則に示される。
- 3) 車両変更申請は、同部門、同クラスの車両に限定され、車両変更手数料（5,000円）を申請書に添付し、提出しなければならない。
- 4) 公式予選終了後の車両変更は、いかなる理由があっても認められない。

16 公式予選

1) 公式予選の日程

- (1) 公式予選のある場合は、原則として各クラス別に行われる。
- (2) その日程及び時間は公式通知（タイムスケジュール）に示される。

2) 公式予選の内容

- (1) 1つのクラスの出場申し込み台数が20台を越えた場合は、決勝進出者を決定するための公式予選が行われる。尚、決勝進出者は、1クラス20台以内を原則とする。
- (2) 公式予選は原則として大会公示に示される周回数のレースによって行われる。
- (3) 公式予選の有無、周回数、決勝進出台数、その他の詳細は公式通知またはプログラム等に示される。

17 レース

1) スタート位置

レースにおけるスタート位置は、主催者の指示による。

2) スタートまでの行動

- (1) ライダーは決められたタイムスケジュールを厳守しなければならない。
- (2) ライダーはレース直前のチェックの後、車両と共に指定区域内に待機してなければならない。
- (3) エンジンのウォーミングアップは定められた場所と時間のみに行うことができる。

3) スタート

- (1) スタートの方法については原則としてエンジンランニングスタートとする。
- (2) スタート位置はすべて正規のスタートラインからなされるものとし、各ライダーに与えられたスタート位置による距離的、時間的なハンディキャップは一切考

慮されない。

- (3) スタートの合図は、国旗を振ることによって行われる。
 - (4) スタート合図以前にスタートラインを出たものがあつた場合（フライング）、スタートをやり直す。ただし、同一ライダーが2回フライングをするとそのライダーは失格となる。
 - (5) ウォーミングアップ以降、エンジン始動の合図がなされた後は、ライダーからサインがあつてもスタート係はこれを考慮しない。
- 4) レース中
- ライダーは走行中下記事項を遵守しなければならない。
- (1) 必要以外にハンドルから手を離したり、危険な姿勢をとってはならない。
 - (2) 故意に他のライダーの走行を妨害するような走り方をしてはならない。
 - (3) 車両は、それ自身が持つ動力、及びライダーの筋力、または重力等の自然現象以外の方法で走ったり、加速したりしてはならない。
 - (4) 他人の援助を一切受けてはならない。他人の援助とは、そのレースに参加しているライダー、担当のメカニック及び業務執行中の競技役員以外の人から車両に触れることをいう。
 - (5) 車両にいかなる者も同乗させてはならない。
 - (6) ライダーはレース中、酒気を帯びたりまた薬品等（興奮剤、麻薬等）により故意に精神状態をつくろってはならない。
- 5) 走行中、消音器及び排気管が外れた場合、またシュラウドが取れたりした場合は競技役員の指示により当該ライダーに対し黒旗が示され、ピットインし、修理の後競技役員の許可を得た上で再出場が認められる。

6) レース中の公式シグナル（合図）

公式シグナル（合図）は、約750mm×600mm寸法の旗を使用し、次のように与えるものとする。

シグナル	意味
国旗	スタート
赤旗	全員走行停止
黄旗	危険注意
緑旗	先に出された合図の解除
青旗	警告、ラップされようとしている
黒旗	指定されたライダー走行停止
白黒チェッカー旗	レース終了

7) コースアウト

ライダーは走行中やむを得ず定められたコースを外れた場合、再びコースに戻るには外れた地点より走行し直さなければならない。

8) レース終了

全ライダーがゴールインするか、トップ走者のゴールインから5分経過後に終了とする。

18 優勝者・入賞者及び完走

1) 優勝者

優勝者は、規定の周回数を最短時間で完走したライダーである。

2) 入賞者及び順位の優先順序

- (1) チェッカーを受けた完走者の中から周回数の多い順に決定され、同一周回数の場合は、ゴールラインの通過の順位による。



- (2) 前記以外のライダーについては周回数の多い者を優先する。同周回数の場合は、ゴールライン通過の順位による。
- 3) 完走者
 - (1) 優勝者の75%以上の周回数を完了したライダー。
 - (2) レース途中でリタイヤ届けを提出したライダーも完走周回数を完了しているライダーは完走者とみなされる。

19 レースの延期、中止及び打ち切り

- 1) レースは特別な理由のない限り、打ち切り、または中止されることはない。
- 2) 大会審査委員会が特別な理由によってレースのいずれかを中止しなければならないと判断した時に限り、レースを中止することができる。
- 3) すべての関係者は大会審査委員会の決定に従わなければならない。
- 4) 特にやむを得ない理由によって、トップ走者がそのレースに決められた周回数の3分の2を完走しないうちにレースを打ち切った場合は、そのレースは無効となる。
- 5) トップ走者が決められた周回数の3分の2以上を完走した時点でレースを打ち切った場合は、大会審査委員会はそのレースの判定結果に条件を付して発表する。
- 6) レースまたは大会が中止された場合、参加者が支払った出場料は返却されるが、他の一切の損害賠償を主催者に請求することはできない。
- 7) 大会審査委員会が本項に関して下した裁定に対しては、一切抗議することはできない。

20 抗議

- 1) エントラント、ライダー及び当該ライダーのピットクルーのみが抗議申し立てることができる。
- 2) 抗議しようとする時は、定められた手続きによって大会事務局に申し入れしなければならない。

抗議手続きは、大会事務局に備え付けの抗議書に記載し、1項目につき抗議保証金(10,000円)をそえて大会事務局に提出しなければならない。
- 3) 暫定結果に対する抗議は、暫定結果発表後30分以内に限り受け付けられる。
- 4) 正式の手続きにより提出された抗議書だけが受け付けられ、大会審査委員会において審議される。
- 5) 大会審査委員会は、証人を必要と認めた場合は証人をたて、その証言を求め、十分に実情を調査した上で裁定を下すものとする。
- 6) 大会審査委員会が下した裁定に対しては、一切抗議することができない。
- 7) 抗議保証金は、抗議が成立した場合のみ返却される。

21 損害の補償

- 1) 車両の破損
 - (1) 車両及びその付属品等が破損した場合、その責任は参加者が負わなければならない。ただし、車両が車検長または大会審査委員会によって保管されている期間をのぞく。
 - (2) 車検長または大会審査委員会は、車両を保管している期間中に、これらの車両が何らかの理由によって破損した場合には、1台当たり10万円を最高限度額としてその所有者に保証する。

2) 損傷の責任

競技開催期間中、又は、その前後に起きた損傷は自らがその責任を負うものとする。

3) 競技役員責任

ライダー及びピットクルー等の競技参加者は、競技役員が一切の損害補償の責任を免ぜられていることを知っていなければならない。すなわち競技役員はその職務に最善を尽くすが、仮に競技役員によって起きた参加者、ライダー、ピットクルー及び車両等の損傷に対しても、競技役員は一切の責任のないことをいう。

22 競技規則の違反行為に対する罰則

大会中（競技中）における違反行為に対しては、その軽重によって大会審査委員会並びに競技監督の権限で罰則を科すことができる。

罰則の詳細については国内競技規則・第3章 [28違反行為に対する罰則] (38頁) による。

23 主催者の権限

主催者は、必要に応じて随時競技会場内（パドック、ピット等）で、参加者（エントラント、ライダー、ピットクルー）のライセンスの提示を求めることができる。

24 大会審査委員会

大会審査委員会は、競技役員規定に基づき、競技会において最高権限を行使することができる。

25 本規則の解釈

本規則及び競技に関する疑義は、大会事務局宛に質疑申し立てできる。なお、この回答は大会審査委員会の決定を最終的なものとする。

26 本規則の施行

本規則は、1995年1月1日より有効となる。



細則 8

'95全日本 スノーモビル選手権 特別規則

1 全日本選手権対象種目および参加資格

1995年度全日本スノーモビル選手権対象種目は下記の8クラスとする。

	クラス名称	資格	出場対象車両	
A・B級	モディファイS4クラス	セ A ス ン B ノ ス ー 所 ー 持 モ ラ ビ イ ル	水冷-1cc~125cc	空冷-126cc~350cc
	モディファイS3クラス		水冷-126cc~350cc	空冷-351cc~500cc
	モディファイS2クラス		水冷-351cc~500cc	空冷-501cc~750cc
	モディファイS1クラス		水冷-排気量オープン	空冷-排気量オープン

2 全日本選手権カレンダー

	開催日	会場	主催者	申し込み先住所
第1戦	1月22日	新潟県 グリーンピア津南	新潟県モーターサイクルスポーツ協会	〒949-63 新潟県南魚沼郡津沢町大字南田423 RSS高喜屋内事務局 ☎0257-83-2403
第2戦	2月5日	長野県 斑尾高原スキー場	長野県モーターサイクルスポーツ協会	〒381-22 長野県長野市稲屋下水鉤1-1104-1 稲屋自動車内事務局 ☎0262-85-3211
第3戦	2月12日	北海道 南幌リバーサイド公園	MF北海道ブロック協議会	〒065 北海道札幌市東区東福来3条1-4-3 札幌地区軽自動車会館2F ☎011-782-1492
第4戦	2月19日	北海道 士別市剣淵川特設コース		
第5戦	3月5日	北海道 美瑛町滑空場特設コース		
第5戦	3月12日	青森県 岩木青少年スポーツセンター 特設コース	MF東北ブロック協議会	〒030-01 青森県八戸市上林78-55 ヤマハ東北青森(営)事務局 ☎0177-39-8081

3 大会運営実行組織

大会運営・実行組織はプログラムまたは公式通知に示される。

4 出場申し込み

1) 申し込み場所

申し込み場所は各主催者住所とする。

2) 出場申し込み

- (1) スノーモビル競技細則 [10] 出場申し込み (119頁参照)。
- (2) 全日本スノーモビル選手権出場料及び共済会掛け金は下記のとおりとする。
出場料と共済掛け金

出場料		共済会掛け金
1クラス目	2クラス目	1名1大会当たり
9,500円	8,000円	500円

(例)
※1クラスの場合のエントリー料
10,000円
2クラスの場合のエントリー料
18,000円

- (3) 各大会のエントリー締切りは、大会開催10日前(当日有効)とする。
- (4) エントリー用紙にある必要事項は、必ず明記すること。

5 参加受理

スノーモビル競技細則 [11] 参加受理 (119頁参照)。

6 出場受付

スノーモビル競技細則 [12] 出場受付 (119頁参照)。出場車両については付録MFJ公認車両・スノーモビル (●頁) 参照。

7 車両検査

スノーモビル競技細則 [13] 車両検査 (119頁参照)。

8 車両の変更

スノーモビル競技細則 [15] 車両の変更 (120頁参照)。

9 公式予選

スノーモビル競技細則 [16] 公式予選 (120頁参照)。

10 レース

スノーモビル競技細則 [17] レース (120頁参照)。

11 優勝者、入賞者順位および完走

スノーモビル競技細則 [18] 優勝者・入賞者及び完走 (121頁参照)。

12 賞典

賞典は各大会毎の特別規則または公式通知による。

13 損害の補償

スノーモビル競技細則 [21] 損害の補償 (122頁参照)。

14 違反・抗議の裁定

スノーモビル競技細則 [22] 競技規則の違反行為に対する罰則 (123頁参照)。

15 レースの延期・中止及び打ち切り

スノーモビル競技細則 [19] レースの延期、中止及び打ち切り (122頁参照)。

16 本規則の解釈

本規則および競技に関する疑義は、大会事務局あてに質疑申し立てできる。なお、この回答は大会審査委員会の決定を最終とする。

17 本規則の施行

本規則は各大会の参加申し込み受付開始日より有効となる。なお、本規則に示されていない事項はスノーモビル競技細則による。



附 則

1 全日本選手権ランキング規定

- 1) 全日本選手権対象種目（A・B級のS1、S2、S3、S4の各クラス）に参加出場するすべてのライダーを対象とする。
- 2) 得点基準

参加者に与えられる得点は下記に示すとおりとする。

順位	予選出走台数											
	25台以上	22～24	20～21	18～19	16～17	14～15	12～13	10～11	8～9	6～7	5	0～4
1位	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	不成立
2位	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	
3位	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	
4位	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13		
5位	11	11	11	11	11	11	11	11	11			
6位	10	10	10	10	10	10	10	10				
7位	9	9	9	9	9	9						
8位	8	8	8	8	8							
9位	7	7	7	7								
10位	6	6	6									
11位	5	5										
12位	4	4										
13位	3											
14位	2											
15位	1											

- 3) 全日本選手権ランキングの決定方法

全日本選手権の最終順位決定方法は、有効ポイント制度を導入し、全日本選手権全6戦中4戦の合計ポイントにより決定され、最高得点を獲得したものがチャンピオンとなる。

同点者のある場合は、下記優先順位により順位を決定する。

- (1) 上位入賞回数の多いものを上位とする。
 - (2) (1)にて決定できない場合、全日本選手権全6戦のシリーズ獲得ポイントの多いものを優先する。
 - (3) 上記にて決定できない場合、前年度の同部門、同クラスのランキング上位者を優先する。
 - (4) 上記(2)、(3)にて判定できない場合、他部門の成績を考慮する。
 - (5) 上記(2)、(3)、(4)にて決定できない場合、MFJスノーモビル委員会およびMFJスポーツ委員会にて審議・決定する。
- 4) 全日本選手権認定表彰式典

本規則に基づき決定されたA級の各クラス上位1位～3位の者は、その栄誉をたたえ毎年末に開催されるMFJ全日本選手権ランキング認定表彰式典にて表彰される。

2 ライセンス昇格規定

スノーモビルB級からA級への昇格は次のとおりとする。

1995年度全日本スノーモビル選手権シリーズにおいてB級における全日本選手権対象種目のいずれかのクラスにおいてランキング1位～6位に認定された者。ただし、7位以下のもので6位の者と同ポイントを獲得した者もA級へ昇格となる。

AP

Lockheed

BORG & BECK



AP Lockheed HIGH PERFORMANCE BRAKE PAD

世界GPレースのトップチームが採用しているAPレーシングブレーキシステム。その核であるパッドの制動性能は数多くの実績により証明されている。過酷なレースフィールドで鍛えられた高いポテンシャルをもとに、今回は各用途に合わせてリリースされた。

FOR STREET SPORT

ストリートスポーツ用

国産ニューモデルから輸入車までほぼ全車種に対応。耐摩耗性及び低温から高温まで幅広い温度域での安定性を追求したストリートスポーツ用。(サーキットユースもOK)

主材質：ノンアスベスト

FOR ON-ROAD COMPETITION

オンロードレース用(RRシリーズ)

SPレース・ロードレーサーマシンからAP・ブレンボ・パフォーマンスマシン等のレーシングキャリパーにも対応。初期制動、耐フェード性及びコントロール性を追求したオンロードコンペティション専用パッド。

主材質：セमितリック

FOR OFF-ROAD COMPETITION

オフロードレース用(ETシリーズ)

国産モトクロスサーから輸入車にも対応。雨、泥、砂等オフに付随する悪条件を考慮したハードコンパウンドで、中低温域での安定性、初期制動及び耐摩耗性を追求したオフロードコンペティション専用パッド。

主材質：ハイメタリック

モデル	年式	フロント		リア	
		品番	価格	品番	価格
STREET SPORT					
NS-1	93-	LMP238	¥4,800	LMP204	¥4,600
NSR50/80	93-	LMP238	¥4,800	LMP204	¥4,600
TZR50	90-	LMP238	¥4,800	LMP175	¥4,600
CBR250RR	90-93	W LMP227	¥4,800	LMP214	¥4,400
NSR250R	88-93	W LMP222	¥4,800	LMP214	¥4,400
CB400SF	92-	W LMP227	¥4,800	LMP214	¥4,400
CB1000SF	92-	W LMP222	¥4,800	LMP214	¥4,400
FZR250R	89-	W LMP239	¥4,800	LMP170	¥4,800
XJR400	93-	W LMP291	¥4,800	LMP170	¥4,800
XJR1200	93-	W LMP213	¥4,800	LMP155	¥4,800
RGV250F	90-	W LMP231	¥4,800	LMP215	¥4,800
GSX-R400R	90-	W LMP224	¥4,800	LMP156	¥4,400
GSX400 IMPULSE	94-	W LMP227	¥4,800	LMP156	¥4,400
RF400R/RV	93-	W LMP227	¥4,800	LMP156	¥4,400
ZEPHYR400	89-	W LMP197	¥4,800	LMP215	¥4,800
ZEPHYR1100	92-	W LMP231	¥4,800	LMP197	¥4,800
ZXR400R	91-	W LMP266	¥4,800	LMP156	¥4,400
ZRX400	94-	W LMP197	¥4,800	LMP287	¥4,800
ON-ROAD RACE					
RS125	90-93	LMP227RR	¥6,000		
RS250	88-92	W LMP222RR	¥6,000		
RS250	93-	W LMP166RR	¥6,000		
TZ250	90-	W LMP224RR	¥6,000	LMP259RR	¥6,000
NSR250R	88-93	W LMP222RR	¥6,000	LMP214	¥4,400
TZR250R	91-	W LMP234RR	¥6,000	LMP170	¥4,800
NC-30		W LMP222RR	¥6,000	LMP223	¥4,800
RC-30		W LMP222RR	¥6,000	LMP223	¥4,800
RC-45		W LMP222RR	¥6,000	LMP223	¥4,800
OW-01		W LMP224RR	¥6,000	LMP156	¥4,400
RGV250F	90-	W LMP231RR	¥6,000	LMP215	¥4,800
GSX-R400R	90-	W LMP224RR	¥6,000	LMP156	¥4,400
ZXR400R	92-	W LMP266RR	¥6,000	LMP156	¥4,400
YZF750SP	93-	W LMP283RR	¥7,800	LMP155RR	¥6,000
GSX-R750SP(6POT)	94-	W LMP286RR	¥7,800	LMP156	¥4,400
AP RACING 6POT		LMP260RR	¥7,300		
AP RACING 4POT		LMP199RR	¥6,000		
AP RACING 2POT		LMP123RR	¥6,000		
BREMBO 4POT		LMP166RR	¥6,600		
OFF-ROAD RACE					
CR125R/250	87-93	LMP203ET	¥4,800	LMP204ET	¥4,800
XR100/200/250R	87-93	LMP203ET	¥4,800	LMP204ET	¥4,800
CRM250R	90-	LMP203ET	¥4,800	LMP204ET	¥4,800
YZ125/250	90-93	LMP211ET	¥4,800	LMP232ET	¥4,800
WR250R	90-	LMP211ET	¥4,800	LMP232ET	¥4,800
SERROW225/W		LMP175ET	¥4,800		
RM125/RMX250	90-	LMP211ET	¥4,800	LMP248ET	¥4,800
RM250	90-	LMP211ET	¥4,800	LMP232ET	¥4,800
DJEBEL250	92-	LMP211ET	¥4,800	LMP248ET	¥4,800
KX125/250	89-	LMP211ET	¥4,800	LMP232ET	¥4,800
KLX250R/SR	89-	LMP211ET	¥4,800	LMP232ET	¥4,800
KDX200-250R/SR	90-	LMP211ET	¥4,800	LMP232ET	¥4,800

*Wの表示がある機種はダブルディスクの為2セット必要です。

*その他の車種、外車にも適応します。お問合せ下さい。



削り出し1ピース
6ピストンキャリパー
CP3666 ¥240,000



削り出し1ピース
4ピストンキャリパー
CP3586 ¥180,000
CP3569 ¥180,000
CP3485 ¥180,000
削り出し2ピース
4ピストンキャリパー
CP3769 ¥98,000
CP3969 ¥143,000



4ピストンキャリパー
CP3386 ¥77,000
CP3369 ¥77,000
CP3385 ¥92,000
2ピストンキャリパー
CP2696 ¥31,000



フロントマスターシリンダー
CP3125-2・4 ¥33,000
CP3125-5 ¥35,000
CP3125-6・8 ¥36,000
CP3179-2 ¥30,000
CP3180-2 ¥30,000
CP3547-4 ¥35,000
CP4125-2 ¥72,000



ブレーキフルード
スーパーDOT4 (250ml) ¥1,000
(500ml) ¥1,800
600レーシング (500ml) ¥3,000

通信販売 価格に消費税3%を加算の上、代金引替えまたは現金書留でお申し込み下さい。1万円以上は送料無料。

(株)エージェー

神奈川県伊勢原市伊勢原1-12-28
TEL. 0463-92-3793
FAX. 0463-91-1347



代理店募集 詳しくはお電話下さい。

'95ヤマハロードレーサー

TZ125/TZ250

只今絶賛販売中!

スポーツライダーでは、'95ヤマハロードレーサー『TZ125』及び『TZ250』の発売に伴い、ユーザーの皆さんへ販売を開始しました。どうぞ、お気軽にご連絡下さい。

販売受付電話
045-363-5112



'95 TZ125 ■エンジン性能・操縦安定性・整備性・耐久性の4つの向上を図った。
¥998,000 (消費税別)

■TZ125仕様諸元 ●全長1800mm ●全幅510mm ●全高1010mm ●シート高710mm ●軸間距離1220mm ●最低地上高110mm ●半乾燥重量72kg ●エンジン・2サイクル・水冷・クランク室リードバルブ・単気筒・124cc ●内径×行程56.0mm×50.7mm ●圧縮比7.9:1 (出荷時) ●最高出力43ps/12000rpm (アフガス使用時) ●最大トルク28kg-m/11,750rpm (アフガス使用時) ●始動方式・押しがけ ●潤滑方式・混合潤滑 ●ラジエター容量0.63ℓ ●ミッションオイル容量0.33ℓ ●燃料タンク容量13ℓ ●キャブレター型式TM38×1 ●点火方式CDI ●クラッチ型式・乾式多板 ●変速機型式・常時噛合式前進5段・左足動リターン式 ●フレーム型式・アルミデルタボックスフレーム ●タイヤサイズ(前)2.65/3.25-17、(後)115/65-F17 ●ブレーキ(前)油圧式シングルディスク、(後)油圧式シングルディスク ●懸架方式(前)テレスコピック、(後)モノクロスサスペンション

'95 TZ250 ■エンジン性能と空力性能の向上及び細部の熟成を図り、総合性能を一段とアップ。
¥1,790,000 (消費税別)

■TZ250仕様諸元 ●全長1942mm ●全幅650mm ●全高1085mm ●シート高765mm ●軸間距離1328mm ●最低地上高130mm ●半乾燥重量103kg ●エンジン・2サイクル・水冷・クランク室リードバルブ・単気筒・249cc ●内径×行程56.0mm×50.7mm ●圧縮比8.3:1 (出荷時) ●最高出力85ps/12000rpm (アフガス使用時) ●最大トルク51.0kg-m/11,750rpm (アフガス使用時) ●始動方式・押しがけ ●潤滑方式・混合潤滑 ●ラジエター容量1.5ℓ ●ミッションオイル容量0.5ℓ ●燃料タンク容量23ℓ ●キャブレター型式TM38×2 ●点火方式CDI ●クラッチ型式・乾式多板 ●変速機型式・常時噛合式前進5段・左足動リターン式 ●フレーム型式・アルミデルタボックスフレーム ●タイヤサイズ(前)3.25/4.75-F17、(後)165/60-F17 ●ブレーキ(前)油圧式ダブルディスク、(後)油圧式シングルディスク ●懸架方式(前)テレスコピック、(後)モノクロスサスペンション

'95ヤマハコンペモデル・絶賛販売中!

スポーツライダーは、ロードレーサーだけでなく、'95ヤマハモトクロスラー、エンデューロ、及びトライアルマシンも販売しています。マシンでお悩みの方、'95シーズンのレース計画の方、その他レースのことなら何でもご相談下さい。

◀'95ヤマハモトクロスラー▶ ●YZ250 ¥559,000 ●YZ125 ¥475,000 ●YZ80LW ¥319,000
◀'95ヤマハエンデューロ▶ ●WR250Z ¥580,000 (◀'95ヤマハトライアル▶) ●TY250Z ¥850,000

※価格は全て消費税別です。

スポーツライダーは...

KISS

BP

Aral

ヤマハ

DUNLOP

BRIDGESTONE

YOKOHAMA

MOK

DID

安田火災

JAGES

...の各企業に応援頂いています。

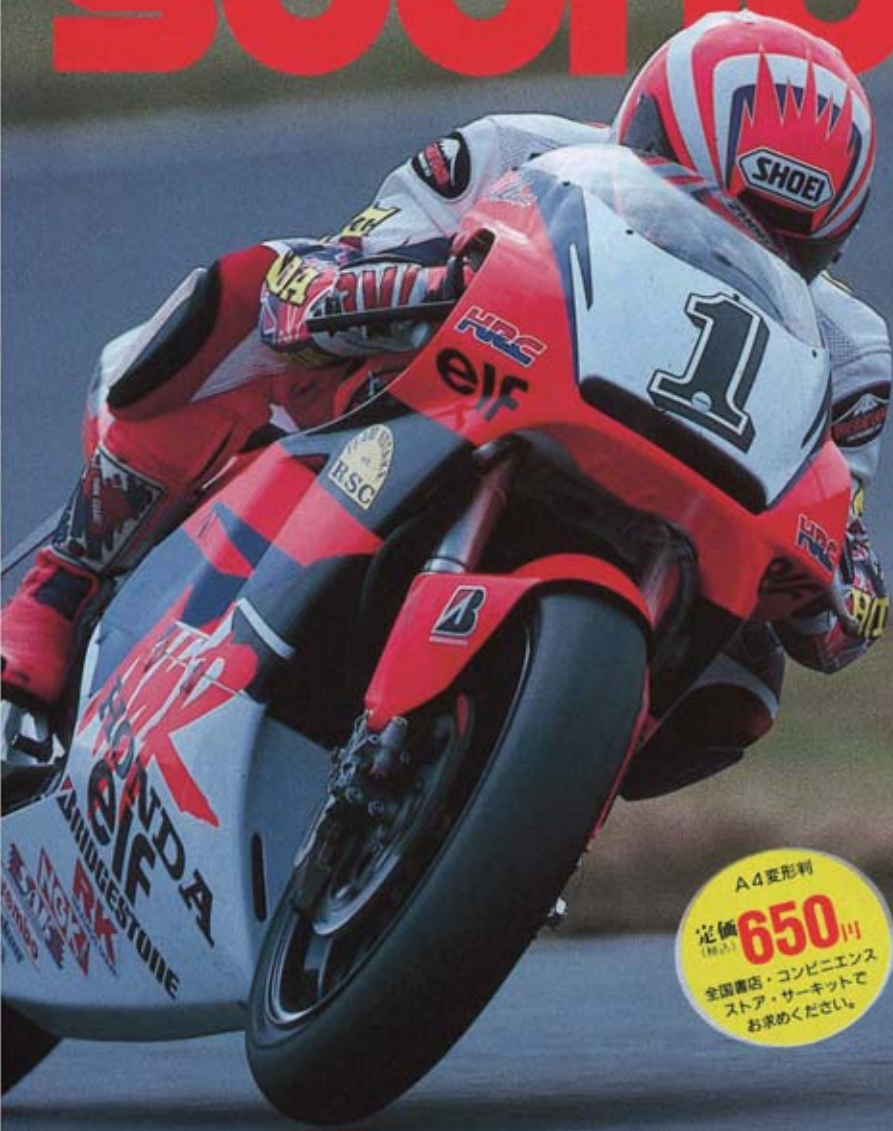
SPORTS RIDER

スポーツライダー/横浜本部：〒241 横浜市旭区東希望ヶ丘188 ☎045-363-5111代 姉妹店：西宮 西宮 西宮 (野口モーターズ)

CYCLE SOUNDS

サイクルサウンズ
ロードスポーツマガジン
毎月1日発売!!

SINCE
1982



「サイクルサウンズ」は総発行人社です
ロードレースの総合誌です

ロードレースを
独走中!!

ミニバイクから世界GPまで
当然地方選手権は
全国をフルレポート

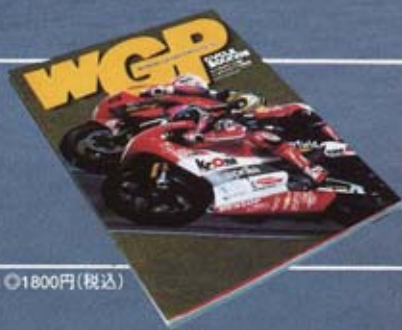
A4変形判
定価 650円
全国書店・コンビニエンス
ストア・サーキットで
お求めください。

WGP YEAR BOOK '94-'95

WGP 総集編

サイクルサウンズ
12月臨時増刊号

企画満載! カラー頁増!



A4変形170頁 1800円(税込)



山海堂

〒113 東京都文京区本郷5-5-18 ☎03(3816)1617 〻03(3816)1619

+++++ベストライダーの皆さまへ+++++

ベストライダーに欠かせない

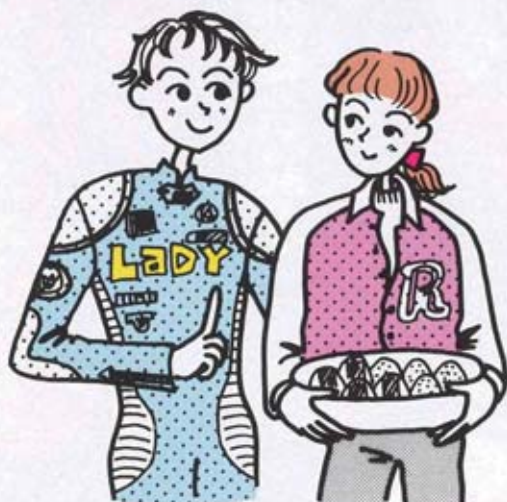
バイクの《自賠責保険》

★法律によって加入が義務づけられている保険です。

大きな安心、
おとどけします

自賠責保険をつ
けずにバイクを
運転すると

- ◎6ヶ月以下の懲役または5万円以下の罰金
- ◎6点の減点
- ◎30日の免許停止処分



バイクの自賠責保険料

(平成5年4月1日改定)

	原付自転車 (125cc以下の2輪)	軽二輪自動車 (125cc超 250cc以下)
3年	11,600円	28,000円
2年	9,800円	21,000円
1年	7,850円	13,650円

損害保険代理店

ホンダ開発株式会社

本社 〒107 東京都港区南青山2丁目1番1号(ホンダ青山ビル) ☎03-3423-2312

事業部

- | | | |
|---------------|---------------------|---------------|
| 和光事業部 〒351-01 | 埼玉県和光市本町9番1号 | ☎048-461-0843 |
| 狭山事業部 〒350-13 | 埼玉県狭山市新狭山3丁目9番2号 | ☎0429-53-7351 |
| 浜松事業部 〒433 | 静岡県浜松市葵東1丁目13番2号 | ☎053-436-2241 |
| 鈴鹿事業部 〒513 | 三重県鈴鹿市大池3丁目13番20号 | ☎0593-79-5407 |
| 熊本事業部 〒869-12 | 熊本県菊池郡大津町大字平川1500番地 | ☎096-293-6222 |
| 栃木事業部 〒321-33 | 栃木県芳賀郡芳賀町芳賀台56番地2 | ☎0286-77-3108 |



BOX NUMBER



タール11mg/ニコチン0.9mg

MADE IN U.S.A.

AN AMERICAN ORIGINAL.

LUCKY STRIKE

未成年者の喫煙は禁じられています/あなたの健康を損なうおそれがありますので吸いすぎに注意しましょう

LUCKY STRIKE

レーシングインフォメーション



リアルタイムでレース速報をお届けしています。

☎03-3490-7878

お待たせしました—MFJオリジナルグッズにニューアイテムが加わりました。
モータースポーツライフをサポートする快適グッズコレクションです。



●Tシャツ

商品No: GTS-94-A
カラー: ホワイト(WH)、ブラック(BK)
ルージュピンク(RP)、アッシュグレー(AG)
メンバー価格: ¥2,500 一般小売価格: ¥2,800
サイズ: M・L

特典サービス



●ポロシャツ半袖(ワッペンタイプ)

商品No: GSS-94-A
カラー: ホワイト(WH)、ブラック(BK)、レッド(RD)、
ネイビー(NY)、グリーン(GN)
メンバー価格: ¥4,200 一般小売価格: ¥4,800 サイズ: M・L

新デザインのMFJワッペンをお付けします。

ポロシャツ(Aタイプ)をお買い求めの方に、下記ワッペンの中から
1ヶを左胸または左袖のどちらか1ヶ所にお付けします。



商品No: GWP-94-A



商品No: GWP-94-B



商品No: GWP-94-C

※ご注文の際にご希望のワッペン商品No、取付位置(左胸または左袖のいずれか)を忘れずにご記入ください。



特典サービス

●ポロシャツ半袖(刺繍タイプ)

商品名: GSS-94-B
カラー: ホワイト(WH)、ブラック(BK)、レッド(RD)、
ネイビー(NY)、グリーン(GN)
メンバー価格: ¥4,300 一般小売価格: ¥4,900 サイズ: M・L



特典サービス

●サテンジャンパー

商品No: GSJ-94-A
カラー: ホワイト(WH)
メンバー価格: ¥3,800
一般小売価格: ¥4,800
サイズ: フリー

※背中にトレーナーと同じ柄のプリントが入ります。



特典サービス

●トレーナー

商品No: GTR-94-A
カラー: ホワイト(WH)、アッシュグレー(AG)
メンバー価格: ¥4,800 一般小売価格: ¥5,800 サイズ: M・L

特典サービス

マークについて

- マークが表示されている商品については、下記のサービスが受けられます。
- ★2層以上同時購入の方→イニシャルを左袖に刺繍入れます。
- ★10層以上一括購入の方→イニシャルサービスに加えて、チーム名などを左袖に刺繍入れます。※但し、チーム名などは10文字以内(日本語・英字)とさせていただきます。
- ご注文の際にイニシャル、チーム名を必ずご記入ください。ご記入無き場合は特典サービスを受けることはできませんのでご了承ください。

NEW COLLECTION



特典
サービス



●フードジャケット(フード・裏地付)

商品No: GFJ-94-A
カラー: グリーン(GN)、イエロー(YL)
メンバー価格: ¥4,800
一般小売価格: ¥5,800
サイズ: フリー

*背中にもプリントが入っています。



●フードジャケット(完全防水タイプ)

商品No: GFJ-94-B
カラー: ホワイト(WH)
メンバー価格: ¥4,800
一般小売価格: ¥5,800
サイズ: フリー

*背中にフードジャケット裏地付と同タイプのプリントが入っています。



●スポーツタオル

商品No: GST-94-A
カラー: ホワイト(WH)、ブラック(GK)、
エンジ(WR)
メンバー価格: ¥1,700
一般小売価格: ¥2,400
サイズ: 38cm x 110cm



●オリジナルワッペン

商品No: GWP-94-D・ブラック(BK)
GWP-94-E・ホワイト(WH)
GWP-94-F・シルバー(SL)
メンバー価格: ¥600 一般小売価格: ¥1,000
サイズ: 左右15.5cm 天地8cm

●キーホルダー(革)

商品No: KH-001
メンバー価格: ¥500 一般小売価格: ¥600



*MFJオフィシャルウエアは競技役員の方しか購入できません。県協会を通じてお申し込み下さい。

MEJ オフィシャルウエア

メンバーサポートのご案内

MFJでは、メンバーの皆様の活動をさらに応援するため、各地区大会、競技、レースなどの記念品、賞品などご注文を承ります。一般商品への大会名などの名入れから、オリジナル商品の製作、Tシャツなどアパレルウエアのオリジナルデザインでの製作まで、特別価格にてご提供させていただきますので、お気軽にお問い合わせください。

●お問い合わせ先
MFJオリジナル・グッズ係



●ジャンパー

商品No: OF-JN-93
価格: ¥7,000
サイズ: M・L



●開襟シャツ半袖

商品No: OF-ST-93
価格: ¥5,200
サイズ: M・L



●ポロシャツ半袖

商品No: OF-PL-93
価格: ¥4,000
サイズ: M・L



●帽子

商品No: OF-CA-93-002(ロゴエンブレム)
価格: ¥1,500

★お申し込み方法

ご希望の商品名、商品No.、サイズ、カラー、数量、そしてあなたのメンバーNo.、名前、住所、電話番号を用紙に記入して現金書留でお申し込みください。

●送料

合計5,000円以上お買い上げの方は無料。
5,000円未満の方は、300円の送料をプラスしてお申し込みください。

★お申し込み先

〒103 東京都中央区東日本橋2-16-7
第2オカノビル7F ☎03-3865-8441
財団法人モーターサイクルスポーツ協会
MFJオリジナル・グッズ係

*表示のメンバー価格は、通信販売の料金設定です。

*料金は全て消費税込みの価格です。
*写真と実際の商品が若干異なる場合がありますのでご了承ください。

*商品によっては発送が少し遅れる場合がありますので、その際はご了承ください。

'94NSR250R

DOG FIGHT —速さの証明—

関東選手権SP250ランキング 永井秀樹選手

'94チャンピオン



- 関東選手権 SP250 ランキング
- 1位 永井選手 140p
 - 2位 江口選手 127p
 - 3位 武田選手 112p
 - 4位 亀谷選手 104p
 - 5位 中野選手 82p
 - 6位 栗山選手 81p

'95NSR250R(SE)

SPコンプリート 予約受付中 ¥108,000 (税別)
 フクシマスペシャル 予約受付中 ¥77,000 (税別)

*SPコンプリートにカラーリングは含まれません。*写真は'94NSR250R SSフクシマフルコンプリートです。

POWER UP KIT SERIES

■NSR250R(レース用)

*'94NSR250Rは、ライセンス、
 検定証、カード付、が必要です。

- '94NSR250R用パワーアップキット.....¥210,000
- '90~'93NSR250R用パワーアップキット.....¥150,000
- '89NSR250R用パワーアップキット.....¥121,000

■TZR250R'91~'94

- STD専用ストリートパワーアップキット.....¥120,000
- SP専用ストリートパワーアップキット('93'94除く)
 ¥160,000

DOG FIGHT チャンパー —速さの証明—

<p>●'94関東選手権SP250R関東チャンピオン</p> <p>'94-'95NSR250R ¥90,000</p>	<p>●'91-'92関東選手権SP250チャンピオン</p> <p>'90-'93NSR250R JMC ¥88,000</p>	<p>●'89関東選手権SP250コースレコード</p> <p>'88-'89NSR250R JMC ¥88,000</p>	<p>●'92関東選手権SP250R 優勝</p> <p>'91-'94TZR250R&SP ¥98,000</p>	<p>●'89-'90TZR250</p> <p>¥88,000</p>
<p>JMCA</p> <p>'94-'95NSR250R ¥100,000</p>	<p>JMCA</p> <p>'90-'93NSR250R ¥98,000</p>	<p>JMCA</p> <p>'88-'89NSR250R ¥98,000</p>	<p>JMCA</p> <p>'91-'94TZR250R&SP ¥108,000</p>	<p>NSR50 ¥38,000 NSR50 JMC ¥39,000 NS-1 ¥38,000 NS-1 JMC ¥39,000</p>
<p>●'94関東選手権SP250R関東チャンピオン</p> <p>RGZ51' ¥48,000</p>	<p>●'91-'92関東選手権SP250チャンピオン</p> <p>'87-'94TZR125 ¥48,000 '87-'94TZR125 JMC ¥53,000</p>	<p>●'90関東選手権SP250チャンピオン</p> <p>'90-'92TZR50 ¥38,000 '90-'92TZR50 JMC ¥39,000</p>	<p>●'93関東選手権SP250R 優勝</p> <p>'93-'95TZR50R ¥43,000 '92-'95TZR50R JMC ¥44,000</p>	<p>●'94関東選手権SP250R関東チャンピオン</p> <p>TZM50R ¥43,000 TZM50R JMC ¥44,000</p>

購入される方に

●お問い合わせはTELにてお願いいたします。平素、ご来店でのお問い合わせは一切出来ません。ご了承下さい。
 ●レーシングウェアは公道走行にはできません。●レーシングウェアの仕様、及び価格は改良のため予告なく変更することがあります。●商品によっては1000円かかる場合がございます。●ご購入の際は必ず納期をご確認ください。●上記の価格は送料は別途お見積りいたします。●北海道、九州は¥1,000、沖縄は¥2,000に増徴いたします。

通販御希望の方に

全国通販OK/TELにて在庫及び納期をご確認の上、ご希望の商品名、住所、氏名、電話番号を明記し、価格に消費税3%を加えた金額を現金書留にて、下記の通販申込書をお付けしFAXしてください。なお、代金が税額が3万円以上の場合は、送料はサービスさせていただきます。北海道、九州は¥1,000、沖縄は¥2,000に増徴いたします。

HRC特約店 RC-SUGO特約店 YAMAHA RSS

信濃市店、カットライター JMC

スポーツショップ フクシマ

〒273 千葉県船橋市夏見1-14-35 営業時間 AM9:00~PM7:00

TEL0474-22-8198代 FAX0474-22-6185 毎週水曜定休

20万円以上クレジットOK/現金ナン/60回まで/御気軽に御相談ください

振込口座:住友銀行船橋支店 普通326007有スポーツショップフクシマ

*上記の価格には、消費税は含まれませんので、価格に消費税3%を加えて下さい。

技術規則

TECHNICAL RULES

MFJ技術規則	138
■基本仕様<ロードレース>	142
■基本仕様<モトクロス>	150
■基本仕様<トライアル>	155
■SPクラスの仕様	160
■SSクラスの仕様	165
■耐久レースの追加仕様	170
■国内ロードレースGPクラスの仕様	172
■国内モトクロスの仕様	176
■国内トライアルの仕様	180
■FIM技術仕様	182
■スノーモビルの仕様	189
■ドラッグレースの仕様	192
■ロードレースジュニアクラスの仕様	199
■ミニバイクの仕様	203

3 小分類ナンバー

各「条」に出てくる対象部分には共通の小分類ナンバーが与えられ、制限されていない場合はその項目番は削除されています。

小分類ナンバー	項 目	小分類ナンバー	項 目
1	エンジンの型式	31	発電機、スパークプラグ、バッテリー
2	シリンダーの数	32	ワイヤーハーネス
3	ピストンストローク	33	予 備
4	ケース、シリンダー、シリンダーヘッド、ギヤボックスの材質と形状	34	コントロールワイヤー関係
5	クラッチの型式	35	灯火器
6	エンジン、ミッションの内部の動く部品の材質	36	メーター関係
7	4サイクルの圧縮比、バルブの径とリフト量	37	予 備
8	2サイクルのポートタイミング、ポートサイズ、圧縮比	38	不安部品関係
9	ケースに対するシリンダー・シリンダーヘッドの位置	39	予 備
10	吸排気のバルブ、ポート、キャブの数	40	ドライブチェーン
11	クランクケースカバー廻りの材質、形状	41	ファイナルスプロケット
12	シリンダー、シリンダーヘッド関係	42	リヤホイール
13	クランクシャフト、ピストン、リング関係	43	リヤブレーキ、キャリア、ディスク、マスターシリンダー
14	カムシャフト、バルブ、バルブスプリング、リードバルブ	44	フロントホイール
15	予 備	45	フロントブレーキ、キャリア、ディスク、マスターシリンダー
16	キャブレター	46	ブレーキペダル
17	フェエルタンク、フェエルコック、フェエルライン	47	予 備
18	エキゾーストパイプ、チャンバー、マフラー	48	タイヤ
19	ラジエーター、水ポンプ、キャッチタンク（冷却系）	49	予 備
20	予 備	50	フレームボディ、ステップ関係含む、カウルステア類
21	予 備	51	フロントフォーク
22	クラッチ関係（プライマリーを含む）	52	リヤクッション、リヤフォーク、サスリンクージ
23	ミッションギヤ関係（ドライブスプロケット含む）	53	ハンドル、トップ・ボトムブリッジ、ステアリングダンパー
24	シフト関係、チェンジベダル	54	カウリングとステア
25	スタート装置	55	シートカウル、フェンダー
26	分離給油オイルポンプ関係	56	ワイヤーロック（安全）
27	ブリーザーシステム、エアクリナーボックス	57	オイルクーラント
28	予 備	58	ガソリン
29	材質	59	調整、仕上げ
30	イグニッションコイル、点火ユニット	60	軽量化
		61	ウイリーバー



技術規則

MFJ 技術規則

モーターサイクルとは、ホイールが4つまでで、エンジンによって推進され、ひとり、あるいはそれ以上の人間（そのうちのひとは車両のドライバーとなる）の輸送のためにデザインされたすべての車両を意味している。ホイールは、瞬間的またはある種の例外的な場合を除いて、通常路面に設置していなければならない。

第1章 目的

- 1 安全の確保
- 2 平等性を最大限に維持する。
- 3 車両のコスト上昇を極力抑える。

第2章 クラス

1. ロードレース

GPフォーミュラ

50cc	50cc以下
80cc	50ccを越え 80cc以下
125cc	100ccを越え 125cc以下
250cc	175ccを越え 250cc以下
500cc	250ccを越え 500cc以下

スポーツプロダクションフォーミュラ

		2st	4st
50cc	50cc以下	○	○
80cc	50ccを越え 80cc以下	○	○
125cc	100ccを越え 125cc以下	○	○
250cc	175ccを越え 250cc以下	○	○
400cc	250ccを越え 400cc以下	—	○
750cc	400ccを越え 750cc以下	—	○

※スーパーバイクはFIM技術仕様参照

2. モトクロス

80cc	50ccを越え 80cc以下
125cc	100ccを越え 125cc以下
250cc	175ccを越え 250cc以下

3. トライアル 排気量区分は定めない
4. エンデューロ 別に定める
5. スノーモビル 別に定める
6. ドラッグレース 別に定める

(参考) ライセンス区分と規則の適用範囲

	ライセンス区分				J
	(全日本・エリア選手権)		(地方選手権)		
ロードレース	IA	IB	NA	NB	J
モトクロス	IA	IB	NA	NB	J
トライアル	IA	IB	NA	NB	
	FIM規則に依る		MFJ規則に依る		MFJ規則

第3章 排気量

総排気量はシリンダー容積を測定するのに用いられる幾何学公式に依って計算される。すなわち直径はボアによって表され、高さはピストンがその最上部から最下部まで移動するのに占めるスペースで表される。

$$\text{公式} \quad \text{排気量} = \frac{D^2 \times 3.1416 \times C}{4} \times \text{気筒数}$$

D=ボア C=ストローク 単位=cm 小数点以下4ケタで切り捨て

測定の際にはボアに1/10mmまでの許容誤差が認められる。この許容誤差を考慮しても排気量が当該クラスのリミットを越える場合、エンジンが冷えた状態で再測定が1/100mmのリミットまで行われる。

シリンダーのボアが真円でない場合断面積を測定し、計算することとする。

全てのカテゴリにおいて、スーパーチャージは禁止される。

第4章 重量

参加車両は以下に定める最小限重量値を半乾燥重量で満たしていること。バラストによる調整は認められない。ただし重量規制が変更され、新たな規則が実施される初年度に限り、5.0kgを限度として完全に固定されたバラストの使用を認める。

レース終了後は1%の誤差が認められる。

1.1) ロードレース

GPフォーミュラ	スポーツプロダクション
50cc 70kg	50 70kg
80cc 70kg	80 70kg
125cc 70kg	125 95kg
250cc 95kg 注)	250 115kg
予告：世界選手権を除く国内競技会においてGP250は1996年1月1日より100kgとなる。	250 F 130kg
500cc 4気筒 130kg	400 145kg
3気筒 115kg	750 165kg
2気筒以下 100kg	※スーパーバイクの重量はFIM 技術仕様参照

重量測定の際、燃料タンクを外した場合には、下記が規定重量より差し引かれる。

GPフォーミュラ：2kg スーパーバイク：4kg

(いずれも排気量による違いはない)

ただし、世界選手権を除く国内競技会において、上記の方法で規定重量を下まわった場合、燃料を抜いたタンクを装着し通常の規定重量にて再度計測を受けることができる。

2) モトクロス

- 80cc 61kg
- 125cc 88kg
- 250cc 98kg

- 3) トライアル 特に定めない
- 4) エンデューロ 特に定めない
- 5) スノーモビル 特に定めない
- 6) ドラッグレース PB179kg他は定めない



技術規則

第5章 公認制度

公認制度の必要性

公認車両を種目別規定の範囲内で改造を実施する際に、平等性と低コストと安全性を最低限確保するために設定する。

従って平等性を確保するために最低数を設定する。制度設定の主旨に合わないとは判断された場合は、公認されない場合もあり得る。

1. 参加車両は市販レーサーまたは一般生産型車両で、MFJの公認を受けた車両に限定される。
2. 完成車公認

公認申請を行うには、下記の条件を満たしていること。

1) 台数

最低台数が出荷されていること。

	国産車		輸入車	
	レーサー	市販車	レーサー	市販車
ロードレース	25台	250cc以下 500台 250ccを超える 250台	10台	25台
モトクロス	100台	250cc以下 500台 250ccを超える 250台	10台	25台
トライアル	5台	250cc以下 500台 250ccを超える 250台	5台	25台
スノーモバイル	5台	—	5台	25台

2) 種目別付帯条件

スポーツプロダクションの各クラス (SP, SS) については各々の種目別公認条件を満たしていること。

第10章 8条……SP

第11章 8条……SS

3. 部品公認

1) 公認範囲

部 品 名	ロードレース			モトクロス	トライアル
	SP	SS	GP	125, 250	
シリンダー		○	○	○	
シリンダーヘッド		○	○	○	
カムシャフト		○			
ミッションギヤー	○			○	
キャブレター	○		○	○	
クラッチ	○				
フロントフォーク		○	○	○	
リヤクッション		○	○	○	
リヤフォーク		○	○	○	
タイヤ					○
エアクリーナーボックス	○				

注) 1. ○印は公認時に組み込まれていた部品の追加工に限定される。またリヤフォーク以外は材料の削除による改造に限る。

2. タイヤは一般公道用として製作されたものに限る。

2) 数量

最低数量が出荷されていること。

カテゴリー	数 量
ロードレース GP	25個以上
ロードレース SP・SS	50個以上
モトクロス	50個以上
トライアル	50個以上

3) 制限

公認申請に際しては各々の部品の仕様は各々のカテゴリー、クラスの種目別仕様に合致していること。

4. 公認申請資格

- 1) 車両及び部品の公認申請を行うことのできる資格者は、MFJの特別会員であるモーターサイクル製造会社または賛助会員であり、かつ当該製品の製造会社、または輸入総代理店でなければならない。申請会社代表者は毎年、車両及び部品の公認申請に関する担当責任者を登録し、その者のみが公認申請を行うことができる。
- 2) 公認申請書は必要書類を添付し、定例技術委員会の開催される月の20日までに事務局に送付されていなければならない。

5. 公認発効と有効期限

- 1) 公認審査は技術委員会が行う。
- 2) 定例技術委員会は原則として毎月第4火曜日に開催される。
- 3) 審査に合格した車両で、すでに発売されている車両の場合は会議日から2ヶ月後の同日付きて公認発効する。
発売日が会議日以降の場合は、発売日の2ヶ月後の同日付きて公認発効する。
- 4) 審査に合格した部品で、すでに発売されている部品の場合は会議日から1ヶ月後の同日付きて公認発効する。
- 5) 市販レーサーの場合は会議日または発売日の1ヶ月後の同日付きて発効する。
- 6) 有効期限は発効年を含み5年間とし、5年目の12月末で失効する。
- 7) 失効した車両または部品は、再申請することができる。

第6章 ガソリン・オイル・クーラント

(1) 競技に使用できるガソリン（ドラッグレースは特別規則による）

競技に使用できるガソリンは下記の項目にすべて合致してはならない。

- ①競技用ガソリンとは一般公道用の市販車に供するために通常のガソリンスタンドにて購入できるもの、あるいはMFJ公認サーキットのガソリンスタンドにて購入できるレース用ガソリンおよび民間航空機用ガソリンとする。
- ②競技用ガソリンは下記の仕様以内（無鉛ガソリン）に制限される。
 - Ⓐ鉛の含有量は0.013g/l以下であること。
 - Ⓑモーターオクタン価が89（MON）以下であること。
 - Ⓒ密度は0.700g/ml～0.785g/ml
- ③ロードレース2ストロークエンジンに限り、ガソリンは下記の仕様以内に制限される。
 - Ⓐ市場で入手可能な日本工業規格（JIS）に規定されたアプガス3号の仕様を満たし、市販されていること。
 - Ⓑ鉛の含有量は0.56g/l以下であること。
 - Ⓒモーターオクタン価が102（MON）以下であること。
 - Ⓓ密度は0.700g/ml～0.785g/mlであること。

* FIM規則のアプガス100LLに相当するものが国内のJIS規格のアプガス3号である。

- (2) 競技用ガソリンには販売時に混入されている以外のいかなるものも添加されてはならない。ただし一般に販売されているスタンダードの潤滑油および1.5%以下のアルコール（燃料精製中に混入されているものに限る）については認められる。
- (3) 水冷エンジンの冷却水は、水あるいは水とアルコールの混合物に限られる。



ロードレース 基本仕様

01 チタニウム合金

すべての車両についてフレーム、フロントフォーク、ハンドルバー、スイングアーム、スイングアーム・スピンドル、およびホイール・スピンドルの構造にチタニウム合金を使用することは禁止される。ホイール・スピンドルに関しては、軽合金の使用も禁止される。チタニウム合金ナットとボルトは使用してもよい。

03 エキゾーストパイプ

- 1) エキゾースト・パイプとサイレンサーは、音量規制に関する必要条件をすべて満たさなくてはならない。
- 2) エキゾースト・パイプの先端は、最低30mmにわたってモーターサイクルの中心軸と水平かつ平行でなくてはならない。(許容誤差 $\pm 10^\circ$)
- 3) 排気ガスは後方に排出しなければならないが、ほこりを立てたり、タイヤやブレーキを汚したり、またパッセンジャーや他のライダーに迷惑をかけるような放出方法であってはならない。後続ライダーに迷惑をかけないようにするために、オイルの飛散を防ぐ措置を施さなくてはならない。
- 4) エキゾースト・パイプの後端は、リヤ・タイヤの垂直接線より後ろにあってはならない。

04 ハンドルバー

- 1) ハンドルバーの最低幅は、80ccまでのマシンは最低400mm、80ccを越えるマシンは最低450mmとする。
- 2) ハンドルバーの最低幅はグリップの外側の先端から、反対側のグリップの外側先端までの距離で測定される。……149頁の図参照
- 3) ハンドルバーの先端が露出される場合は、固形物質を詰めるか、ゴムでカバーされていなければならない。
- 4) ハンドルバーの中心線、または中央位置から両側への回転角度は、最低各 15° 以上なくてはならない。……149頁の図参照
- 5) ストリームライニングがある場合、ハンドルバーがどの位置にあってもフロントホイールがストリームライニングに接触してはならない。
- 6) ライダーの指が挟まれないようにするために、ハンドルを左右いっばいに切ってもハンドルバー（レバーを含む）と燃料タンクの間で最低30mmの間隔があるように、ストッパー（ステアリングダンパー以外のもの）を取りつけなくてはならない。
- 7) ハンドルバー・クランプは、ハンドルバーが折れやすい部分ができないように、

丸みをつけて製作しなくてはならない。

- 8) 軽合金ハンドルバーの溶接による補修は禁止される。

05 コントロールレバー

- 1) すべてのハンドルバー・レバー類（クラッチ、ブレーキ等）は、原則として端部がボール状（このボールの直径は最低19mm）でなくてはならない。このボールを平たくすることも認められるが、どのような場合も端部は丸くなっていてはならない（この平たくした部分の厚みは最低14mmとする）。レバー端部は、レバーと一体構造に固定されていなくてはならない。
- 2) ピボット点からレバーの端（ボール状の先端）まで測った場合のコントロール・レバーの長さは200mmを越えてはならない。
- 3) 各コントロールレバー（ハンドおよびフット・レバー）はそれぞれ独立したピボットを持っており、そのレバー自体のピボットにマウントされていなくてはならない。
- 4) もしブレーキ・レバーが、フットレストの軸にピボットされている場合、フットレストが曲がり、又は変形した場合など、どのような場合でも作動できなくてはならない。

06 スロットルコントロール

- 1) スロットルコントロールは、手を離れた時に自動的に閉じるものでなくてはならない。

07 フュエルポンプ

- 1) 電動フュエル・ポンプは、事故の際に自動的に作動するサーキット・カットアウト（回路開閉器）を介して配線されなくてはならない。

08 フットレスト

- 1) フットレストは折りたたみ式でもよいが、この場合は自動的に元の位置に戻る仕組みになっていなくてはならず、さらにフットレストの先端には最低半径8mmの、一体構造のプロテクションが設けられていなくてはならない。
- 2) フットレストが折りたたみ式でない場合、及びゴムのカバーを装着していない場合は、その先端を最低半径8mm以上の球状に丸められていなくてはならない。
- 3) フットレストは、前後のホイールの中心を結ぶ線よりも100mm以上、上に設けられていなくてはならない。またリヤ・ホイールの中心を通る垂直線よりも前にはなくてはならない。フットレストはコントロール・ペダルの操作がしやすい位置にはなくてはならない。

09 ブレーキ

- 1) モーターサイクルには、各ホイールにひとつずつ、ホイールと同心的に独立して作動する有効なブレーキが装備されていなくてはならない。

10 マッドガードおよびホイールプロテクション

- 1) マッドガードはタイヤの両側方に張り出していなくてはならない。
- 2) フロント・マッドガードは、ホイールの周囲を最低100°に渡ってカバーしていなくてはならない。これは、下記の角度を守っていればホイール自体がカバーされて



もよい。マッドガードの前端とホイールの中心を結ぶ線と、ホイールの中心を通る水平線の作り出す角度は45°と60°の間でなくてはならない。マッドガードの後端とホイール中心を結ぶ線と、ホイールの中心を通る水平線の作り出す角度は20°を越えてはならない。

- 3) リヤ・マッドガードは、ホイールの周囲を最低120°に渡ってカバーしていなくてはならない。リヤ・マッドガード後端とホイールの中心を結ぶ線と、ホイールの中心を通る水平線の作り出す角度は20°を越えてはならない。
- 4) ストリームライニングがある場合、マッドガードは必要とされない。ストリームライニングが無い場合にはマッドガードが必要とされる。シートのフェアリングがリヤ・タイヤの後側の垂直接線にまで達している場合には（許容誤差-50mm）、リヤ・マッドガードを装着する必要は無い。

11 ストリームライニング

- 1) 前輪は（タイヤを除く）、フロントマッドガードに隠れる部分を除き、各サイドからはっきりと見えなくてはならない。
- 2) ストリームライニングのいかなる部分も、フロント・ホイール・アクセルから50mm前方を通る垂直線より前にあってはならない。ノーマルのマッドガードはストリームライニングとはみなされない。
- 3) ストリームライニングのいかなる部分も、リヤ・ホイール・アクセルを通る垂直線の後部にあってはならない。リヤ・ホイールのリムは、この線の後部円周180°に渡ってはっきり見えなくてはならない。モーターサイクルのいかなる部分も、リヤ・タイヤの最後端の垂直接線より後方にあってはならない。
- 4) エアfoil、またはスポイラーは、それがフェアリングまたはシートと一体構造になっている場合に限り取りつけることができる。これは、フェアリングの幅を越えてはならない。ハンドルバーの高さを越えてはならない。尖っているエッジは、少なくとも半径8mmの丸みを持たせなくてはならない。
- 5) ウィンドスクリーンの先端と、全てのストリームライニングの露出部分の先端は丸められていなくてはならない。
- 6) 通常のライディング・ポジションにおいてライダーは後方の両側及び上から全体（腕の前部を除く）が視認されなくてはならない。ライダーの顔またはヘルメットとストリームライニング（ウィンドスクリーン含む）との間の最低スペースは100mmとする。この規則の適用を免れるために透明な材質を使用することは禁止される。
- 7) ライダーシートの後部の高さは最高150mmとする。この高さは、シートの固いベースの最下部から、ライダー後方のフェアリングの最上部までを測った場合のものである。
- 8) ハンドルバーの位置がどこにあっても、ストリームライニングとハンドルバー先端あるいはステアリング・システム、およびそれに装着されている装備類との間隔は最低20mmなくてはならない。
- 9) ナンバープレートが固定されている前部の傾斜角度は垂直面から後部へ30°以上あってはならない。
- 10) モーターサイクルのグラウンド・クリアランス（最低地上高）は100mm以下であってはならない。
- 11) シートまたはその後方にある、いかなる部分（排気系を除く）の幅も450mm以上あってはならない。

12 ホイールとタイヤ

- 1) リムの最低直径は400mmとする。
- 2) リムの最大幅は下記の通りとする。

ホイールリムの幅は、ETRTO (ヨーロッパタイヤリム技術機構) の定める方法によりフランジウォールの内側にて測定される。

クラス	最大幅
125	3.5インチ
250	5.5インチ
500	6.25インチ

13 ナンバープレート

- 1) ナンバープレートは長方形で頑丈な材質で出来ていなくてはならない。最低寸法は285mm×235mmとする。
- 2) プレートは水平面から50mm以上カーブしてはならない。また、カバーされたり曲げたりされてはならない。
- 3) 1枚のプレートがフロントに、垂直面から後方に向かって30°以内の角度で傾斜して固定されなければならない。他の2枚はモーターサイクルの両側に、外に向かって垂直に固定されなくてはならない。ナンバープレートははっきりと見えるように装着され、モーターサイクルのいかなる部分、またはライダーが自分のシートに座った時に身体で隠れてしまわないようにしなくてはならない。
- 4) 別個のナンバープレートを装着する代わりに、ボディーまたはストリームライニングに同寸法のスペースをつや消し色でペイントするか、あるいは固定してもよい。
- 5) 数字ははっきり読めるように、また太陽光線の反射を避ける為に、地の色同様につや消して書かれなければならない。

数字の最低寸法は下記のとおりとする。

数字の高さ	140mm
数字の幅	80mm
ストローク幅	25mm
数字間のスペース	15mm

- 6) 数字は英国式を使用する。「1」は垂直の1本線「7」は水平のラインなしの単純な傾斜線。
- 7) 正規のナンバーと混同する恐れのあるその他のナンバープレート、またはマーキングは競技会の開始前にすべて取り外されなくてはならない。
- 8) ナンバープレートの数字の間に穴を開けることができる。しかしどのような状況においても実際の数字に穴を開けてはならない。
- 9) すべてのナンバープレートの周囲には最低50mmの余白が残され、ここにはいかなる広告も表示されてはならない。この規則に適合していないナンバー・プレートを装着しているモーターサイクルは、車検長に依りレース参加の許可を得ることができない。
- 10) ナンバープレートの地色及び数字の色は下記のとおりとする。
GP125 黒地に白文字 SP 黒地に黄文字
GP250 緑地に白文字 SS 紺地に白文字
GP500 黄地に黒文字



14 フュエルタンク及びオイルタンク

- 1) フュエルタンクの最大容量は下記の通りとする。
 - ・ロードレース 32ℓ
 - ・スーパーバイク 24ℓ
 - ・その他スポーツプロダクションは各カテゴリーごとに設定する。
- 2) 燃料はマシンにしっかりと固定された1つのタンク内に入れるものとする。シートタンクおよび補助タンクは禁止される。すべての競技において、給油の為に容易に脱着出来る取り換えタンクを使用することは厳禁される。
- 3) タンクの容量を減少させる一時的充填物の使用は禁止される。
- 4) タンクに防爆材を完全に充填することが義務づけられる。非金属性のタンクにはフュエルブラダーを内側に設けることが勧められる。
- 5) 認証された燃料タンクを持つスポーツ・プロダクション・マシンは、14-4)の条件を免除される。
- 6) オイルキャッチタンク

オイルブリーザーパイプが装着される場合、オイル放出は容易に手が届く場所に設けられたキャッチタンクに行く。このタンクは競技の前に空にしなくてはならない。

オイル・キャッチタンクの最低サイズは、ギヤボックス・ブリーザーの場合250ccとし、エンジン・ブリーザーの場合には500ccが勧められる。
- 7) すべてのオールドレンボルトは確実に固定され、ドリルで穴を開け、ワイヤーで所定の箇所に固定されなければならない。オイル供給パイプは所定の位置に適切にワイヤー止めされなければならない。

オイル通路に進入する外部オイル・フィルター及びオイル圧力ラインのスクリューやボルトは、安全にワイヤーロックされなければならない。
- 8) 燃料タンク・ブリーザー・パイプ

ノン・リターン・バルブを燃料タンク・ブリーザー・パイプに取りつけなくてはならない。これは、適切な材質でできた、最低容量250ccのキャッチ・タンクに放出されるようになっていなくてはならない。
- 9) 燃料タンク・フィルター・キャップおよびオイル・フィルター・キャップ

燃料タンク・フィルター・キャップおよびオイル・フィルター・キャップは、閉じた状態で漏れないようになっていなくてはならない。さらにこれらはいかなる場合においても誤って開くことのないように完全にロックされていなくてはならない。

15 音量規制

- 1) 計測のためのマイクロフォンの位置は排気管後端から500mmで、かつ中心線から後方45°で排気管と同じ高さとする。

ただし高さが200mm以下である場合は45°上方の点で行う。
- 2) ノイズ・テストの際、ギヤボックスにニュートラルがないマシンは、スタンドに載せた状態で測定を受けなくてはならない。
- 3) 規制に適合しているサイレンサーには車検にてマークが付けられる。車検の後にサイレンサーを変更することは禁止される。ただし同様に車検合格し、マークを受けたスペア・サイレンサーに関しては例外とする。
- 4) ギヤはニュートラルとしてエンジンを回転させ、所定のrpm域に達するまでエンジンの回転を増していかななくてはならない。測定は、所定のrpmに達した時に行う

ものとする。

- 5) rpmは、エンジンのストロークに相応するピストンの平均速度に基づく次の式にて求められる。

$$\text{所定のエンジン回転数 (rpm)} = \frac{30,000 \times \text{ピストンスピード (m/s)}}{\text{ピストンストローク (mm)}}$$

ピストンストローク	2ストローク	4ストローク	ピストンストローク	2ストローク	4ストローク
30	13,000	11,000	66	5,909	5,000
31	12,580	10,645	67	5,820	4,925
32	12,187	10,313	68	5,735	4,853
33	11,818	10,000	69	5,652	4,783
34	11,470	9,706	70	5,571	4,714
35	11,142	9,429	71	5,492	4,648
36	10,833	9,167	72	5,416	4,583
37	10,540	8,919	73	5,342	4,521
38	10,263	8,684	74	5,270	4,459
39	10,000	8,462	75	5,200	4,400
40	9,750	8,250	76	5,132	4,342
41	9,512	8,049	77	5,065	4,286
42	9,285	7,857	78	5,000	4,231
43	9,069	7,674	79	4,937	4,177
44	8,863	7,500	80	4,875	4,125
45	8,666	7,333	81	4,815	4,074
46	8,478	7,174	82	4,756	4,024
47	8,297	7,021	83	4,699	3,976
48	8,125	6,875	84	4,643	3,929
49	7,959	6,735	85	4,588	3,882
50	7,800	6,600	86	4,535	3,837
51	7,647	6,471	87	4,483	3,793
52	7,500	6,346	88	4,432	3,750
53	7,358	6,226	89	4,382	3,708
54	7,222	6,111	90	4,333	3,667
55	7,090	6,000	91	4,286	3,626
56	6,964	5,893	92	4,239	3,587
57	6,842	5,789	93	4,194	3,548
58	6,724	5,690	94	4,149	3,510
59	6,610	5,593	95	4,105	3,474
60	6,500	5,500	96	4,063	3,438
61	6,393	5,410	97	4,021	3,402
62	6,290	5,323	98	3,980	3,367
63	6,190	5,238	99	3,939	3,333
64	6,093	5,156	100	3,900	3,300
65	6,000	5,077			

- 6) 2気筒を越えるエンジンの音量計測は、各エキゾースト・パイプの先端で測定される。

- 7) 規制値をオーバーしているマシンは、再度測定を受けることができる。
 8) 検査を受けるモーターサイクルは、エンジンの正確なピストンストローク値をクランクケースのはっきりと見える場所にスタンプしておかなくてはならない。
 9) ロータリー、バンケルエンジンの場合の測定回転数は、6,000rpmとする。

10) 現行の音量規制値

2ストローク・エンジンについてはピストンスピード13m/secで測って105dB/Aまで。4ストローク・エンジンについては11m/secで測って105dB/Aまでとする。
 レース終了後は3dB/Aの許容誤差が認められる。

予告：スーパーバイクの規制値は、1997年1月1日より102dB/Aとなる。

- 11) 周辺への音量は、モーターサイクルから半径5m以内において90dB/Aまでとする。
 12) 音量測定は気温20°を基準とする。気温10°以下の場合許容誤差+1dB/Aが認められる。気温0°以下の場合許容誤差+2dB/Aが認められる。

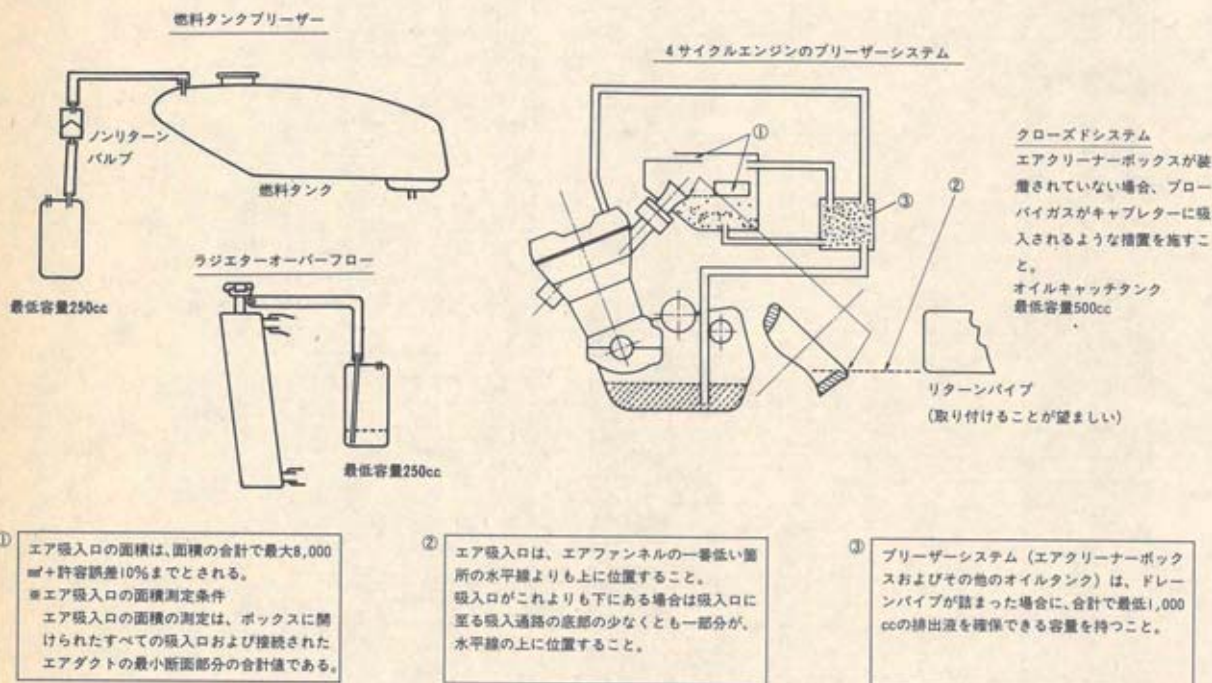


16 車両の傾斜度

- 1) モーターサイクルは荷重がかからない状態において、タイヤ以外のいかなる部分も地面に触れることなく、垂直線から50°の角度に傾斜することができるものでなくてはならない。

17 冷却系のオーバーフロー

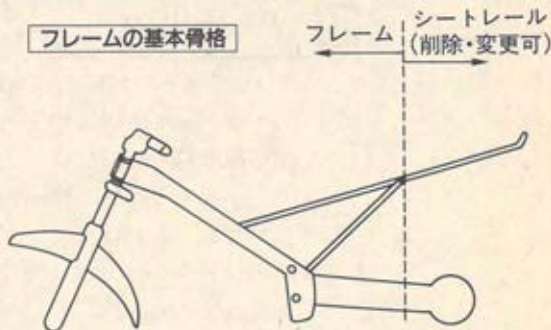
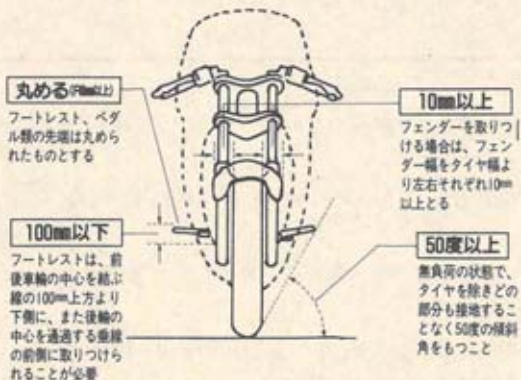
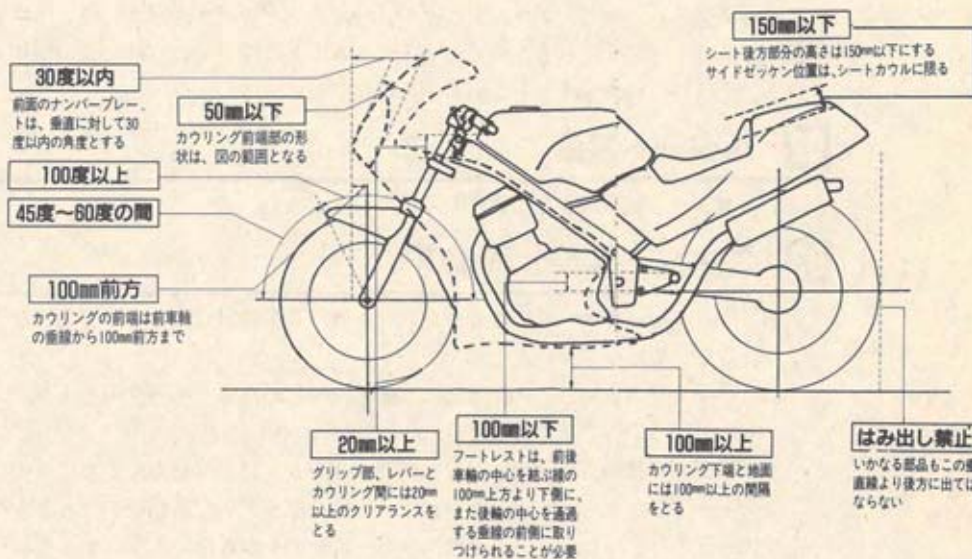
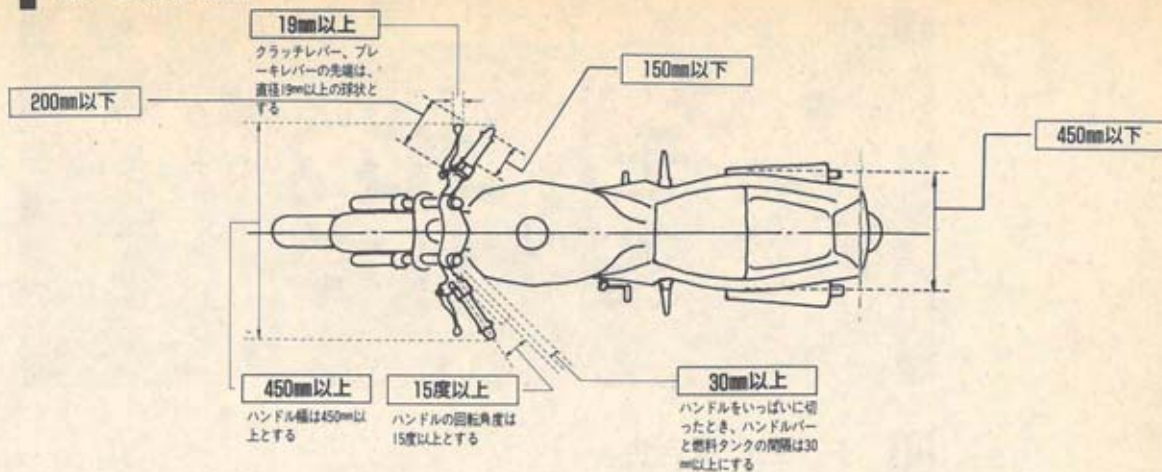
- 1) 水冷式のすべての車両は冷却液オーバーフローパイプを取りつけた場合最低容量250cc以上のキャッチタンクを取りつけること。



下記の項目は国内の事情を考慮し、国内の仕様にて開催する。よって基本仕様と異なる場合、下記の解釈が優先される。

- 1) スーパーバイク 燃料タンクの仕様
- タンクの見横から見た形状（輪郭）は、公認を受けたモデルのものと明白に同じでなくてはならない。
 - タンクは24ℓの最大限容量を充たすための改造が許可される。
 - 燃料キャップは、1個のクイックフィルターキャップと、追加に1個のエア抜き用のキャップにつけ替えられてもよい。これらのキャップはタンクの上部に取り付けなくてはならない。
その他の事項はFIM規則に準ずる。
- 2) GPクラスの仕様
- 予告：1996年1月1日より下記制限を追加する。
- 最低重量 GP250 100kg (GP125は従来通り)
- 最大キャブ径 GP250、125ともにφ39mm相当（インジェクターでも同じサイズ）

MFJ技術規則



モトクロス 基本仕様

01 チタニウム合金

すべての車両についてフレーム、フロントフォーク、ハンドルバー、スイングアーム、スイングアーム・スピンドル、およびホイール・スピンドルの構造にチタニウム合金を使用することは禁止される。ホイール・スピンドルに関しては、軽合金の使用も禁止される。チタニウム合金ナットとボルトは使用されてもよい。

02 スタート装置

- 1) スタート装置は正常に作動しなくてはならない。

03 エキゾースト・パイプ

- 1) エキゾースト・パイプとサイレンサーは、音量規制に関する必要条件をすべて満たさなくてはならない。
- 2) エキゾースト・パイプの先端は、最低30mmにわたってモーターサイクルの中心軸と水平かつ平行でなくてはならない。(許容誤差 $\pm 10^\circ$)
- 3) 排気ガスは後方に排出しなければならないが、ほこりを立てたり、タイヤやブレーキを汚したり、またパッセンジャーや他のライダーに迷惑をかけるような放出の仕方をとってはならない。後続ライダーに迷惑をかけないようにするために、オイルの飛散を防ぐ措置を施さなくてはならない。
- 4) エキゾースト・パイプの後端は、リヤ・タイヤの垂直接線より後ろにあってはならない。

04 ハンドルバー

- 1) ハンドルバーの幅は、600mm以上で、かつ850mm以下でなくてはならない。
- 2) ハンドルバーの幅はグリップの外側の先端から、反対側のグリップの外側先端までの距離で測定される。
- 3) グリップは長さが150mmを越えてはならず、ハンドルバーの先端に取りつけられていなくてはならない。
- 4) ハンドルバーの先端が露出される場合は、固形物質を詰めるか、ゴムでカバーされていなければならない。
- 5) ハンドルバーの中心線、または中央位置から両側への回転角度は、最低各20°以上なくてはならない。……152頁図参照
- 6) ハンドルバー・クランプは、ハンドルバーが折れやすい部分ができないように、丸みをつけて製作しなくてはならない。

- 7) ハンドル・プロテクターが使用される場合には、非粉碎材質でなくてはならない。
- 8) 軽合金ハンドルバーの溶接による補修は禁止される。

05 コントロールレバー

- 1) すべてのハンドルバー・レバー類（クラッチ、ブレーキ等）は、原則として端部がボール状（このボールの直径は最低19mm）でなくてはならない。このボールを平たくすることも認められるが、どのような場合も端部は丸くなっていてはならない（この平たくした部分の厚みは最低14mmとする）。レバー端部はレバーと一体構造に固定されなくてはならない。
- 2) ピボット点からレバーの端（ボール状の先端）まで測った場合のコントロール・レバーの長さは200mmを越えてはならない。
- 3) 各コントロール・レバー（ハンドおよびフット・レバー）はそれぞれ独立したピボットを持っており、そのレバー自体のピボットにマウントされていなくてはならない。
- 4) もしブレーキ・レバーがフットレストの軸にピボットされている場合、フットレストが曲がり、または変形した場合など、どのような場合でも作動できなくてはならない。

06 スロットルコントロール

- 1) スロットルコントロールは、手を離れた時に自動的に閉じるものでなくてはならない。

08 フットレスト

- 1) フットレストは折りたたみ式でもよいが、この場合は自動的に元の位置に戻る仕組みになっていなくてはならず、さらにフットレストの先端には最低半径8mmの一体構造のプロテクションが設けられていなくてはならない。
- 2) フットレストが折りたたみ式でない場合、及びゴムのカバーを装着していない場合は、その先端を最低半径8mm以上の球状に丸められていなくてはならない。
- 3) フットレストは、前後のホイールの中心を結ぶ線よりも50mm以上、上に設けられていなくてはならない。またリヤ・ホイールの中心を通る垂直線より前になくてはならない。フットレストはコントロール・ペダルの操作がしやすい位置になくてはならない。

09 ブレーキ

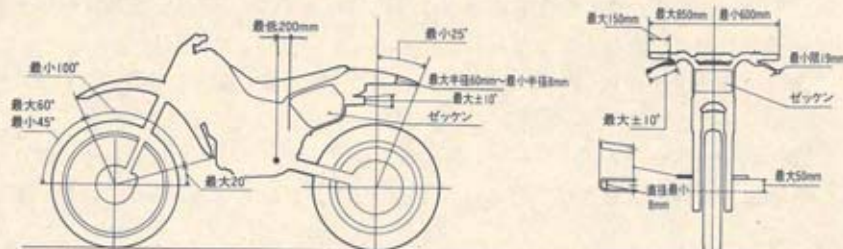
- 1) モーターサイクルには、各ホイールにひとつずつの、ホイールと同心的に独立して作動する有効なブレーキが装備されていなくてはならない。

10 マッドガードおよびホイールプロテクション

- 1) マッドガードはタイヤの両側方に張り出していなくてはならない。
- 2) フロント・マッドガードはホイールの周囲を最低100°にわたってカバーしていなくてはならない。マッドガードの前端とホイールの中心を結ぶ線と、ホイールの中心を通る水平線の作り出す角度は45°と60°の間でなくてはならない。マッドガードの後端とホイールの中心を結ぶ線と、ホイールの中心を通る水平線が作り出す角度は20°を越えてはならない。



- 3) リヤ・マッドガードは、ホイールの周囲を最低120°にわたってカバーしていなくてはならない。リヤ・マッドガードは、リヤホイール・スピンドルを通る垂直線とその垂直線に25°の角度で後方に引かれる線にカバーされる弓形部の後方に及んでいなくてはならない。
- 4) マッドガードの端部は半径最低8mm以上、60mm以下で丸められなくてはならない。
- 5) キャストホイール、または溶接されたホイールが使用される場合には、頑丈なディスクでスポークを覆う形でプロテクションが施されなくてはならない。



11 ストリームライニング

- 1) ストリームライニングの装着は禁止される。

12 ホイールとタイヤ

- 1) ホイールとタイヤに制限はないが、スクープまたはパドル・タイヤ（横断面に連続したリブを持つ）あるいは高さが19.5mm以上のラグ（耳）を持つタイヤの使用は禁止される。
- 2) タイヤ表面に後から滑り止めスパイク、特殊チェーン等の装置を取りつけることは禁止される。

13 ナンバープレート

- 1) ナンバープレートは長方形で頑丈な材質で出来ていなくてはならない。最低寸法は285mm×235mmとする。
- 2) 水平面から50mm以上カーブしていないプレートは、カバーされたり曲げたりされてはならない。
- 3) 一枚のプレートがフロントに、垂直面から後方に向かって30°以内の角度で傾斜して固定されなくてはならない。ナンバープレートには数字の間に穴を開けてもよいが、いかなる場合においても、数字自体に穴を開けてはならない。
- 4) サイド・ナンバープレートは、リヤホイール・スピンドルを通る水平線より上に設けられ、ナンバープレートの前端はライダーのフットレスト後方200mmのところを通る垂直線より後方に位置していなくてはならない。ナンバー・プレートは、はっきりと見えるように装着されなくてはならず、モーターサイクルの一部分や、シートに座ったライダー自身により隠れないようにしなくてはならない。
- 5) 別個のナンバープレートを装着する代わりに、ボディーに同寸法のスペースをつや消し色でペイントするか、あるいは固定してもよい。
- 6) 数字ははっきり読めるように、また太陽光線の反射を避ける為に、地の色同様につや消しで書かれなければならない。数字の最低寸法は下記の通りとする。

数字の高さ	140mm	ストローク幅	25mm
数字の幅	80mm	数字間のスペース	15mm

- 7) 数字は英国式を使用する。「1」は垂直の1本線「7」は水平のラインなしの単純な傾斜線。
- 8) 正規のナンバーと混同する恐れのあるその他のナンバープレート、またはマーキングは競技会の開始前にすべて取り外されなくてはならない。
- 9) すべてのナンバープレートの周囲には、最低50mmの余白が残され、ここにはいかなる広告も表示されてはならない。この規則に適合していないナンバー・プレートを装着しているモーターサイクルは、車検長に依りレース参加の許可を得ることができない。
- 10) ナンバープレートの地色及び数字の色は下記のとおりとする。

ジュニア……白地に赤文字	国内B級……白地に黒文字
国内A級……黄地に黒文字	国際B級……紺地に白文字
国際A級(125cc)……黒地に白文字	国際A級(250cc)……緑地に白文字

15 音量規制

- 1) 計測のためのマイクロフォンの位置は排気管後端から500mmで、かつ中心線から後方45°で排気管と同じ高さとする。ただし高さが200mm以下である場合は45°上方の点で行う。
- 2) ノイズテストの際、ギヤ・ボックスにニュートラルがないマシンは、スタンドに載せた状態で測定を受けなくてはならない。
- 3) 規制に適合しているサイレンサーには車検にてマークが付けられる。車検の後にサイレンサーを変更する事は禁止される。ただし同様に車検合格し、マークを受けたスベア・サイレンサーに関しては例外とする。
- 4) ギヤはニュートラルとしてエンジンを回転させ、所定のrpm域に達するまでエンジンの回転を増していかなくてはならない。測定は、所定のrpmに達した時に行うものとする。
- 5) 音量測定の際のエンジンの回転数 (rpm) は、排気量により異なる。

125ccまで	7,000rpm
125ccを越え250ccまで	5,000rpm
250ccを越える	3,000rpm
- 6) 2気筒以上のエンジンの音量計測には、各エキゾースト・パイプの先端で測定される。
- 7) 規制値をオーバーしているマシンは、再度測定を受けることができる。
- 8) 検査を受けるモーターサイクルは、エンジンの正確なピストンストローク値をクランクケースのはっきりと見える場所にスタンプしておかなくてはならない。
- 9) 現行の音量規制値

2ストローク・エンジン、4ストローク・エンジンともに前述の回転数で測って98dB/Aまで。レース終了後は2dB/Aの許容誤差が認められる。
- 10) 周辺の音量は、モーターサイクルから半径5m以内において90dB/Aまでとする。
- 11) 音量測定は気温20°を基準とする。気温10°以下の場合許容誤差+1dB/Aが認められる。気温0°以下の場合許容誤差+2dB/Aが認められる。
- 12) メーターの読み方は常に切捨てとする。(100.9dB/A=100dB/A)



国内の仕様

下記の項目は国内の事情を考慮し、国内の仕様にて開催する。よって基本仕様と異なる場合、下記の仕様の解釈が優先される。

- 1) 音量測定の際のエンジン回転数は、排気量により異なる。
80ccまで 8,000rpm
- 2) エンジンのすべてのオイルドレンボルト、及び外部のオイル圧力ライン部品へのワイヤーロック。



トライアル 基本仕様

01 チタニウム合金

すべての車両についてフレーム、フロントフォーク、ハンドルバー、スイングアーム、スイングアームの構造にチタニウム合金を使用することは禁止される。チタニウム合金ナットとボルトは使用されてもよい。もし代替えとして非鉄製のファスナーまたはスピンドルを使用する場合、状況に応じて寸法も増さなくてはならない。

02 スタート装置

- 1) スタート装置は正常に作動するものが義務づけられる。

03 エキゾースト・パイプ

- 1) エキゾースト・パイプとサイレンサーは、音量規制に関する必要条件をすべて満たしてはならない。
- 2) エキゾースト・パイプの先端は、最低30mmにわたってモーターサイクルの中心軸と水平かつ平行でなくてはならない。(許容誤差 $\pm 10^\circ$)
- 3) エキゾースト・パイプの後端は、リヤ・タイヤの垂直接線より後ろにあってはならない。

04 ハンドルバー

- 1) ハンドルバーの幅は、600mm以上で、かつ850mm以下でなくてはならない。
- 2) ハンドルバーの幅はグリップの外側の先端から、反対側のグリップの外側先端までの距離で測定される。
- 3) グリップの長さは150mmを越えてはならず、ハンドルバーの先端に取り付けられてはならない。
- 4) ハンドルバーの先端が、露出される場合は、固形物質を詰めるか、ゴムでカバーされていなければならない。
- 5) ハンドルバーの中心線、または中央位置から両側への回転角度は、最低各 20° 以上なくてはならない。……157頁図参照
- 6) ハンドルを左右いっばいに切った時ライダーの指を挟まないように、ハンドルとタンクの上に30mm以上のすきまを確保するように、ストッパーを取り付けなくてはならない。
- 7) ハンドルバー・クランプは、ハンドルバーが折れやすい部分を作らないために、丸みをつけて製作しなくてはならない。
- 8) ハンドル・プロテクターが使用される場合には、非粉砕材質でなくてはならず、



手を入れるための開口部分が常に開いていなくてはならない。

- 9) 軽合金ハンドルレバーの溶接による補修は禁止される。

05 コントロールレバー

- 1) すべてのハンドルレバー・レバー類（クラッチ、ブレーキ等）は、原則として端部がボール状（このボールの直径は最低19mm）でなくてはならない。このボールを平たくすることも認められるが、どのような場合も端部は丸くなっていてはならない（この平たくした部分の厚みは最低14mmとする）。レバー端部はレバーと一体構造に固定されていなくてはならない。
- 2) ピボット点からレバーの端（ボール状の先端）まで測った場合のコントロール・レバーの長さは200mmを越えてはならない。
- 3) 各コントロール・レバー（ハンドおよびフット・レバー）はそれぞれ独立したピボットを持っており、そのレバー自体のピボットにマウントされていなくてはならない。
- 4) もしブレーキ・レバーがフットレストの軸にピボットされている場合、フットレストが曲がり、又は変形した場合など、どのような場合でも作動できなくてはならない。

06 スロットルコントロール

- 1) スロットルコントロールは、手を離した時に自動的に閉じるものでなくてはならない。

08 フットレスト

- 1) フットレストは折りたたみ式でもよいが、この場合は自動的に元の位置に戻る仕組みになっていなくてはならず、さらにフットレストの先端には最低半径8mmの一体構造のプロテクションが設けられていなくてはならない。
- 2) フットレストが折りたたみ式でない場合及びゴムのカバーを装着していない場合は、その先端を最低半径8mm以上の球状に丸められていなくてはならない。
- 3) フットレストは、前後のホイールの中心を結ぶ線よりも50mm以上、上に設けられていなくてはならない。またリヤ・ホイールの中心を通る垂直線より前になくてはならない。フットレストはコントロール・ペダルの操作がしやすい位置になくてはならない。

09 ブレーキ

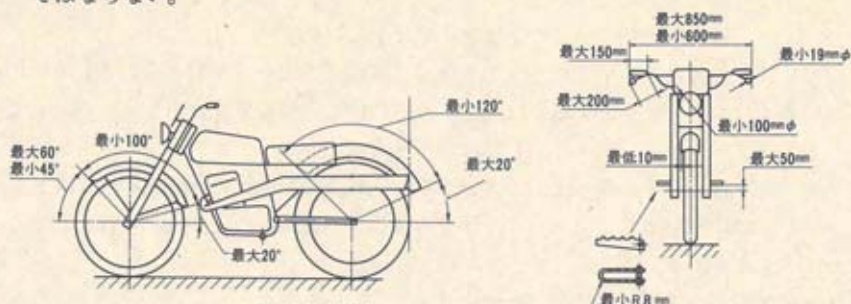
- 1) モーターサイクルには、各ホイールにひとつずつの有効な、ホイールと同心的に独立して作動するブレーキが装備されていなくてはならない。

10 マッドガードおよびホイールプロテクション

- 1) マッドガードはタイヤの両側方に張り出していなくてはならない。
- 2) フロント・マッドガードはホイールの周囲を最低100°にわたってカバーしていなくてはならない。マッドガードの前端とホイールの中心を結ぶ線と、ホイールの中心を通る水平線の作り出す角度は45°と60°の間でなくてはならない。マッドガードの後端とホイールの中心を結ぶ線と、ホイールの中心を通る水平線が作り出す角度は20°を越えてはならない。
- 3) リヤ・マッドガードは、ホイールの周囲を最低120°にわたってカバーしていなく

てはならない。リヤ・マッドガードの後端とホイールの中心を結ぶ線とホイールの中心を通る水平線が作り出す角度は、 20° 以上あってはならない。

- 4) インドアトライアルまたはアリーナトライアルのような公道を使用しない競技会では、リヤ・マッドガードはリヤ・ホイールスピンドルを通る垂直線と、その垂直線に 25° の角度で後方に引かれる線にカバーされる弓形部より後方に及んでいてはならない。

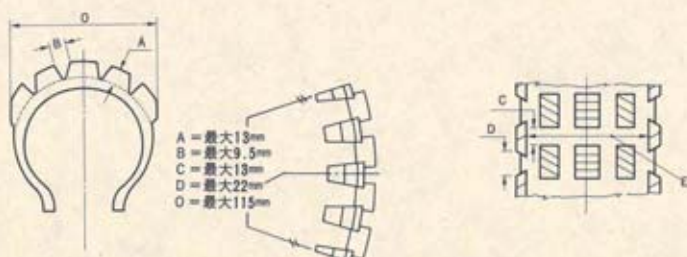


11 ストリームライニング

- 1) ストリームライニングの装着は禁止されている。

12 ホイール、タイヤ

- ホイールに正常に装着された状態でタイヤの全幅は、115mmを越えてはならない。
- トレッドの深さ (A) はトレッド面から直角に測った場合、13mmを越えてはならない。同一円周のブロックはすべて同じ深さでなくてはならない。……157頁の図参照
- ブロック間のトレッドの幅は、タイヤ幅方向 (B) で9.5mm、円周方向 (C) で13mmを越えてはならない。
- ショルダーブロック (D) 間のトレッド幅は、22mmを越えてはならない。
- トレッド横幅 (E) は、タイヤウォールに直角に測った場合、ブロックで中断されていない限り、タイヤ全幅に及んでいなければならない。
- すべてのトレッドブロック (ショルダーブロックを除く) は、タイヤの軸に対し直角そして平行な長方形でなければならない。(タイヤは、図に適合し、逆回転させても同じ外観でなければならない。)
- タイヤは一般の購入者が入手できるマニファクチャラーの商品カタログ、またはタイヤ仕様リストに掲載されているものでなくてはならない。
- これらのタイヤは、荷重、スピードコードに関してヨーロッパ・タイヤ・リム技術機構 (ETRTO) の定める条件に適合し、最低45Mの使用等級のものでなければならない。



15 音量規制

- 1) 計測のためのマイクロフォンの位置は排気管後端から500mmで、かつ中心線から後方45°で排気管と同じ高さとする。ただし高さが200mm以下である場合45°上方の点で行う。
- 2) ノイズテストの際、ギヤボックスにニュートラルのないマシンについては、スタンドに載せた状態で測定を受けなくてはならない。
- 3) 規制に適合しているサイレンサーには車検にてマークが付けられる。車検の後にサイレンサーを変更する事は禁止される。但し同様に車検合格し、マークを受けたスペア・サイレンサーに関しては例外とする。
- 4) ギヤはニュートラルとしてエンジンを回転させ、所定のrpm域に達するまでエンジンの回転を増していかなくてはならない。測定は、所定のrpmに達したときに行うものとする。
- 5) エンジンスピードは5000rpmとする。
- 6) 2気筒以上のエンジンの計測には、各エキゾースト・パイプの先端で測定される。
- 7) 規制値をオーバーしているマシンは、再度測定を受けることができる。
- 8) 検査を受けるモーターサイクルは、エンジンの正確なピストンストローク値をクランクケースのはっきり見える場所にスタンプしておかなくてはならない。
- 9) 現行の音量規制値
5000rpmのエンジンスピードで測って94dB/Aまでとする。
- 10) 周辺への音量は、モーターサイクルから半径5m以内において80dB/Aまでとする。
- 11) 音量測定は気温20°を基準とする。気温10°以下の場合許容誤差+1dB/Aが認められる。気温0°以下の場合許容誤差+2dB/Aが認められる。
競技結果が発表される前に再車検が行なわれる競技会では少なくとも上位3名以上の音量測定が行なわれなくてはならない。この場合誤差+1dB/Aが認められる。

19 ライト類、警告装置およびスピードメーター

- 1) モーターサイクル及びその装置類は、特別規則 (SR) に記載されない限り、その車両が登録されている国の法的条件に適合していなくてはならない。

下記の項目は国内の事情を考慮し、国内の仕様にて開催する。よって基本仕様と異なる場合、下記の仕様の解釈が優先される。

10 マッドガードおよびホイールプロテクション

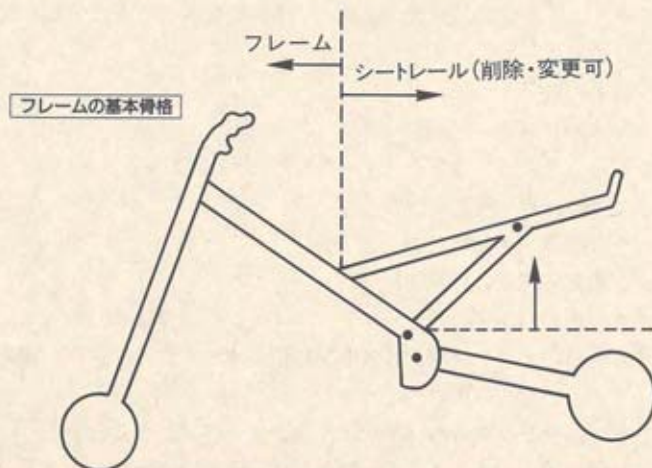
- 1) リヤ・マッドガードは、ホイールの周囲を最低120°にわたってカバーしていなくてはならない。リヤ・マッドガードは、リヤホイール・スピンドルを通る垂直線とその垂直線に25°の角度で後方に引かれる線にカバーされる弓形部の後方に及んでいなくてはならない。

13 ナンバープレート

- 1) ナンバープレートは長方形で頑丈な材質でできていなくてはならない。最低寸法は175mm×150mmとする。
- 2) ナンバープレートは1枚を車両の前面に見やすいよう前向きに取り付けなくてはならない。
- 3) 数字は英国式を使用する。「1」は垂直の1本線。「7」は水平のラインなしの単純な傾斜線。
- 4) 数字および地色に蛍光色は一切認められない。
- 5) 判読しづらい文字等は車検長に依りレース参加の許可を得ることができない。
- 6) 国際A級及び国際B級部門についてはプレート下部にライダーの名前を記入するものとする。
- 7) 全日本選手権の国際A級・国際B級に関する特別規則
数字は英国式とし、観客とオフィシャルが明確に識別できるようにしなくてはならない。(デザインされた書体の使用を認める)
- 8) ナンバープレートの地色及び数字の色は下記のとおりとする。
ジュニア……黒地に白文字 国内B級……白地に黒文字
国内A級……黄地に黒文字 国際B級……緑地に白文字
国際A級……赤地に白文字

19 ライト類、警告装置およびスピードメーター

- 1) 灯火器のレンズの処理または取りはずし、保安部品(バックミラー、補助ステップ、ウィンカー類)の取りはずしが義務づけられる。



技術規則

SPクラスの仕様

01 クラス区分

クラス	排気量範囲	2サイクル	4サイクル	最大限気筒数	最大限変速段数
400	250を越え400以下	×	○	4	6
250	125を越え250以下	○	×	2	6
250F	125を越え250以下	×	○	4	6
125	80を越え125以下	○	○	1	6
80	50を越え 80以下	○	○	1	6
50	50以下	○	○	1	6

02 出場車両

- 1) 車両は（市販レーサーを除く）一般生産型車両でMFJが公認したもの、又はSP用コンプリートマシンとしてMFJが公認したもの。
- 2) 車両は国内競技規則およびロードレース基本仕様（第7章）に示されているすべての条項に適合していること。
- 3) 車両のホイールリムの最大幅は下記のとおりとする。

クラス	最大幅フロント	最大幅リヤ
400以下	3.5インチ	4.5インチ

03 公認車両に対して下記事項は仕様の変更が出来ない

（仕様の変更とはその部品の改造、変更、寸法の変更又は取りはずしを言う）

- 1) エンジンの型式
- 2) シリンダーの数
- 3) ピストンストローク
- 4) シリンダー（スリーブ及びライナー含む）、シリンダーヘッド、クランクケース、ギヤボックスの材質・鋳造及び形状
- 5) クラッチの構造 *ただし04.22)参照
- 6) エンジン内部の部品の材質
- 7) 4サイクル車のバルブの径、リフト、タイミング及び圧縮比
- 8) 2サイクル車のシリンダー、ピストンに依るポートタイミング、排気デバイス、ポートサイズ、一次、二次の圧縮比
- 9) シリンダー、シリンダーヘッドのクランクケースに対する向き
- 10) 吸入、排気系統のシステム、バルブ数、ポート数、キャブレター数

- 11) クランクケースカバー類の材質・鋳造および形状
- 12) シリンダー（2サイクル）、シリンダーヘッド（4サイクル）のポートの形状、寸法
- 13) クランクシャフトアッセンブリー、ピストン
- 14) カムシャフト、バルブ、バルブスプリング、リードバルブアッセンブリー（リード単体含む）
- 16)(1) キャブレター *ただし04.16) .(4)及び08.3) .(1)参照
(2) マニホールドタイプのフェイエルインジェクションは公認車両に装備されているものに限り認められる。
- 17) フェイエルタンク *ただし04.17)参照
- 22) プライマリーギヤ *ただし04.22)参照
- 23) ミッション *ただし04.23)参照
- 27) 4サイクル車のエアクリーナーボックス *ただし04.27)参照
- 42) リヤホイール
- 43) リヤブレーキ関係 *ただし04.43)参照
- 44) フロントホイール
- 45) フロントブレーキ関係 *ただし04.45)参照
- 50) フレームボディ *ただし04.50)参照
- 51) フロントフォーク *ただし04.51)参照
- 52)(1) リヤフォーク
(2) リヤサスペンション、サスペンションのシステム *ただし04.52)参照
- 53) ステアリングシステムを含むボトムブリッジ、トップブリッジ
- 54) ストリームライニングの外観形状 *ただし04.55)参照

04 公認車両に対し下記事項の変更が出来るが、ロードレース基本仕様（第7章）には適合していることを条件とする

- 16)(1) キャブレターのセッティング（取り外し可能なジェット、ニードル、スロットルバルブの範囲）
(2) エアファンネルの取り付け又は寸法の変更（キャブ本体は除く）
(3) リストリクターの取り付け
リストリクターは5mmの区間に渡って最小断面積を確保するように処置されていなければならない。リストリクターの取り付け位置はキャブレターの混合気の通路内であれば自由とする。
(4) 公認キャブレターの使用（マグネシウム等高価素材のものは公認されない）
- 17)(1) フェイエルタンクの給油口は改造変更出来るが位置は変えられない。
(2) フェイエルパイプ、フェイエルコックの変更
- 18) エキゾーストパイプ、マフラーの変更（但し音量規定に適合していること）
- 22) クラッチディスクの材質とスプリングの諸元
- 23) ミッションギヤのレシオ（但し公認部品に限られる）
- 27)(1) 2サイクル車両のエアクリーナーボックスの改造または取りはずし
(2) 4サイクル車両のエアクリーナーボックスの改造は、下記条件の基に認められる。いずれの場合もクローズドシステム（ブローバイガスを直接大気へ放出しない）を維持していること。
①公認キャブ取り付けのための改造（キャブ取り付け部分のみ）
②口径φ100mm相当（8,000mm誤差10%）を最大とするエア吸入口の拡大



- ③ボックス内部の切削、取りはずし
- ④公認エアクリーナーボックスへの交換（改造は認められない）
- (3) ブローパイプをエアクリーナーボックス内に導入する配管のための加工
- (4) エア吸入口の位置
 - ①エアファンネルの一番低い箇所（148頁の図参照）の水平線よりも上に位置すること。
 - ②吸入口がエアファンネルの一番低い箇所の水平線よりも下にある場合は、吸入口に至る吸入通路の底部の少なくとも一部分が、上記水平線の上に位置することを条件とする。
- (5) ブリーザーシステム

ブリーザーシステム（エアクリーナーボックスおよびその他のオイルキャッチタンク）は、ドレインパイプが詰まった場合に、合計で最低1,000ccの排出液を確保できる容量を持つこと。
- 43) リヤブレーキパッドの材質と油圧ホースの変更
- 45) フロントブレーキパッドの材質と油圧ホースの変更
- 48) タイヤは変更出来るがMFJ公認SP用タイヤに限られる。ウエット時はレーシンググレインの使用が認められる
- 50) フレームボディーの不要なステー類のカット（但しフレームボディーの強度、剛性に全く影響を与えないこと）
- 51)(1) フロントサスペンションのスプリングの変更
 - (2) フロントフォークの剛性アップの為にスタビライザーの取り付け
- 52) リヤサスペンションのスプリングの変更
- 54) カウリングの材質（但しカーボン、ケブラー強化繊維等の高価素材を除く）
- 55)(1) シートカウルの形状・材質（但しカーボン、ケブラー強化繊維等の高価素材を除く）
 - (2) ラジエター、オイルクーラー等にエアーを取り入れるためのドリルによる穴開けは許可される。（直径10mm以下に限る）
- 58) ガソリンの仕様及び供給方法は制限される。（ガソリン・オイル・クーラントの項141頁、ロードレース規則51頁参照）
- 59) すべての部品に関して調整・仕上げは認められる。

調整とは各部品の単品またはアッセンブリーコンプリートの状態で個々のまたは合計の公差内で意図的に選定すること（メタル合わせ、タペットクリアランス、点火時期等）

仕上げとは各部品の基準寸法内で表面粗度を向上させる作業をいう（コンロッドみがき、ピストンみがき、コンパクションチャンパー等）2サイクル、4サイクルともにポートについては、バリ取り、カーボン除去に限り認められる。

シリンダーポート、シリンダーヘッドポートにおけるバリとは以下のものを指す。

 - ①型合わせバリ
 - ②シリンダー加工バリ（164頁の図参照）

「ポート内のザラつき」は錆ハダと解釈し、切削、研磨は認められない。
- 60)(1) 不要なステー類（シートレールの一部含む）のカット
 - (2) ゼッケンプレート、メーター、シート等の取り付けのためのステーの追加

05 重量

SPクラスの最低重量は下記のとおりとする（半乾燥重量）。

クラス	最低重量
400	145kg
250	115kg
250F	130kg
125	95kg

注) 半乾燥重量とは走行可能な状態から燃料を抜いた値とする。分離給油の場合のオイルは燃料とみなす。

06 公認車両が下記事項に適合していない場合、改造・変更が義務づけられる

16)(1) キャブレターのサイズ（気筒あたりの最大径）

クラス	最大径サイズ
400	直径32mm相当以下
250	直径32mm相当以下
250F	直径31mm相当以下
125	直径32mm相当以下

注) キャブサイズとはキャブレターの吸入混合気通路の最小断面積部分の面積が上記サイズ相当以下であること。この場合、ジェットニードル、バタフライシャフト、バルブ、スロットルバルブ等の形状、断面積は考慮されないものとする。

マニホールドタイプのフェュエルインジェクションへのキャブサイズ制限値も同様とする。

- (2) 規制値を越えるキャブレター装着車両については公認キャブレターに交換するか、リストラクターによって口径を調整しなければならない。
- 17)(1) フェュエルタンクの給油口を改造した場合、ノンリターンバルブ付きのオーバーフローパイプとキャッチタンク（250cc以上）の取り付け。
- (2) 電動式フェュエルポンプを装備している場合は、転倒の際にただちにフェュエルポンプが自動的に停止する装置を備えていなければならない。
- 19) ラジエターのオーバーフローパイプとキャッチタンクの取り付け（250cc）
- 27)(1) エンジンブリーザーのキャッチタンク取り付け（容量は4サイクル車は500cc以上、2サイクルは250cc以上）。
- (2) 4サイクル車両のキャッチタンクからのブローパイガスはエンジンに再吸入させること（図参照）
- 32) エンジンキルスイッチの取り付け（ハンドルを握って操作可能な位置に取りつけなければならない）。
- 36) 灯火器のレンズの処置または取り外し。
- 38) 保安部品（スタンド、バックミラー、補助ステップ、ウインカー類）の取り外し。
- 56) エンジンのすべてのオイルドレンボルト、及び外部部品のオイル圧力ライン部品へのワイヤーロック。

07 いかなる場合も禁止される事項

- 29) 改造・変更にあたって特殊な材料の使用（チタニウム合金、カーボン、ケブラー強化繊維等の高価な材料）。
- （カーボンサイレンサーは1993年より完全禁止となった。）
- 42) リヤホイールスピンドル構造に軽合金の使用。
- 44) フロントホイールスピンドル構造に軽合金の使用。
- 48) タイヤへの追加工



技術規則

- 53) ステアリングダンパーのハンドルストッパーとしての使用。
 58) ガソリンの仕様及び供給方法は制限される。(ガソリン・オイル・クーラントの項141頁、ロードレース規則51頁参照)

08 MFJへの公認手続き・条件

- 1) 車両は一般公道用として定められた台数以上を出荷し発売日が明確になっていること。

*最低台数は第5章、第2条、完成車公認参照

- 2) 技術委員会は毎月第4火曜日に開催され、そこで公認された車両はすでに発売されている車両の場合は会議日から2ヶ月後の同日付けて公認発効。発売日が会議日以降の場合は発売日から2ヶ月後の同日付けて公認発効する。
 3) 車両は以下の条件に適合している事

- (1) キャブレターのサイズ (気筒あたりの最大径)

クラス	最大径サイズ
400	直径32mm相当以下
250	直径32mm相当以下
250F	直径31mm相当以下
125	直径32mm相当以下

注) キャブサイズとはキャブレターの吸入混合気通路の最小断面積部分の面積が上記サイズ相当以下であること。この場合、ジェットニードル、バタフライシャフト、バルブ、スロットルバルブ等の形状、断面積は考慮されないものとする。

- (2) ホイールリム最大幅

クラス	最大幅フロント	最大幅リヤ
400以下	3.5インチ	4.5インチ

- (3) 01条のクラス区分に適合していること (排気量内にあること)。

- 4) 専用コンプリートマシンはそのベース車両が公認車両であることを条件とする。

09 音量規定

FIM方式で測定し99dB/A以下であること。

レース終了後は3dB/Aの誤差値が認められる。

10 互換性

フレーム打刻型式とエンジン打刻型式のいずれも同一のモデル内にあつては、一切の追加工なしで単品またはアッセンブリーで組みつけ可能な部品は相互に交換が認められる。

注) コンプリートマシンはベースマシンと型式が異なるが互換性が認められる。

(コンプリートマシンのベース機種の打刻型式に基づき判断される。)

'92年度までに公認を受けた車両は互換性の対象から外される。

('92年度末を区切りとして、この前後にまたがった組み合わせは禁止される)



第11章

SSクラスの仕様

01 クラス区分

クラス	排気量範囲	2サイクル	4サイクル	最大限気筒数	最大限変速段数
750	400を越え750以下	×	○	4	6
400	250を越え400以下	×	○	4	6
250	125を越え250以下	○	×	2	6

02 出場車両

- 1) 車両は(市販レーサーを除く)一般生産型車両でMFJが公認したもの。又はSP/SS用コンプリートマシンとしてMFJが公認したもの。
- 2) 車両は国内競技規則およびロードレース基本仕様(第7章)に示されているすべての条項に適合していること。
- 3) 車両のリム幅(最大限リム幅)は下記のとおりとする。

クラス	最大幅フロント	最大幅リヤ
400以下	3.5インチ	5.25インチ
750以下	3.5インチ	6.25インチ

03 公認車両に対して下記事項は仕様の変更が出来ない。

(仕様の変更とはその部品の改造、変更、寸法の変更又は取りはずしを言う)

- 1) エンジンの型式
- 2) シリンダーの数
- 3) ピストンストローク
- 4) シリンダー(スリーブ及びライナー含む)、シリンダーヘッド、クランクケース、ギヤボックスの材質・鋳造及び形状
- 5) クラッチ構造(但しディスクの材質とスプリングは除く) *04.22)参照
- 6) エンジン内部の部品の材質
- 7) 4サイクル車のバルブの径
- 8) 2サイクル車の一次圧縮比
- 9) シリンダー、シリンダーヘッドのクランクケースに対する向き
- 10) 吸入、排気系統のシステム、バルブ数、ポート数、キャブレター数
- 11) クランクケースカバー類の材質・鋳造及び形状
- 13) クランクシャフトアッセンブリー、ピストン
- 14) バルブ、バルブスプリング、リードバルブアッセンブリー
- 16)(1) キャブレター *ただし04.16)及び08.3)(1)参照



- (2) SS750のキャブレターは車両公認時のものに限る。
- (3) マニホールドタイプのフェューエルインジェクションは公認車両に装備されているものに限り認められる。
- 17) フェューエルタンク *ただし04.17)参照
- 22) プライマリーギヤ *ただし04.22)参照
- 23) ミッション *ただし04.23)参照
- 27) 4サイクルエンジンのエアクリーナーボックス *ただし04.27)参照
- 50) フレームボディ *ただし04.50)参照
- 52)(1) リヤフォーク *ただし04.52)(1)参照
- (2) リヤサスペンションのシステム *ただし04.52)(2)参照
- 54) ストリームライニングの外観形状 *ただし04.54)参照

04 公認車両に対し下記事項の変更が出来るが、ロードレース基本仕様(第7章)に適合していることを条件とする

- 7) 4サイクルのシリンダーヘッドの面削に依る圧縮比の変更(但し燃焼室形状は変更出来ない)。
- 8)(1) 2サイクルのシリンダーへの追加工(切削に限る)に依るポートタイミングとポートエリアの変更。
- (2) 2サイクルのシリンダーヘッドの面削による圧縮比の変更(但し燃焼室形状は変更できない)
- 10) 4サイクルのシリンダーヘッドのポートの追加工(切削に限る)による拡大。
- 12) 4サイクルのシリンダーヘッドのガスケット面の面削。
- 14) カムシャフトは追加工(切削に限る)に依るバルブリフト量、タイミングの変更。
- 16)(1) キャブレターのセッティング(取り外し可能なジェット、ニードル、スロットルバルブの範囲)
- (2) エアファンネルの取り付け又は寸法の変更(キャブ本体は除く)。
- (3) リストリクターの取り付け
- リストリクターは5mmの区間に渡って最小断面積を確保するように処置されていなければならない。リストリクターの取り付け位置はキャブレターの混合気の通路内であれば自由とする。
- (4) 公認キャブの使用(マグネシウム等の高価素材のものは公認されない)
- 17)(1) フェューエルタンクの給油口は改造変更出来るが位置は変えられない。
- (2) フェューエルパイプ、フェューエルコックの変更
- 18) エキゾーストパイプ、マフラーの変更(但し音量規定に適合している事)
- 22) クラッチディスクの材質とスプリングの諸元
- 23) ミッションギヤのレシオ(但し公認部品に限られる)
- 27)(1) 2サイクル車両のエアクリーナーボックスの改造または取りはずし
- (2) 4サイクル車両のエアクリーナーボックスの改造は、下記条件の基に認められる。いずれの場合もクローズドシステム(ブローバイガスを直接大気へ放出しない)を維持していること。
- ①公認キャブ取り付けのための改造(キャブ取り付け部分のみ)
- ②口径φ100mm相当(8,000mm²+誤差10%)を最大とするエア吸入口の拡大
- ③ボックス内部の切削、取りはずし
- ④公認エアクリーナーボックスへの交換(改造は認められない)
- (3) ブローバイガスをボックス内に導入する配管のための加工

(4) エア吸入口の位置

- ①エアファンネルの一番低い箇所(148頁図①、図②参照)の水平線よりも上に位置すること。
- ②吸入口がエアファンネルの一番低い箇所の水平線よりも下にある場合は、吸入口に至る吸入通路の底部の少なくとも一部分が、上記水平線の上に位置することを条件とする。

(5) ブリーザーシステム

ブリーザーシステム(エアクリーナーボックスおよびその他のオイルキャッチタンク)は、ドレンパイプが詰まった場合に、合計で最低1,000ccの排出液を確保できる容量を持つこと。

42)(2) リヤホイールは交換出来るが、最大限リム幅は下記のとおりとする。

43) リヤブレーキ関係は改造・変更出来る。

44)(1) フロントホイールは交換出来るが最大限リム幅は下記のとおりとする。

クラス	最大幅フロント	最大幅リヤ
400以下	3.5インチ	5.25インチ
750以下	3.5インチ	6.25インチ

45) フロントブレーキ関係の改造変更

50)(1) フレームボディの補強

- (2) 不要なステー類の取り外し 但しフレームボディの強度、剛性に全く影響を与えないこと。

51)(1) フロントサスペンションユニットの交換(但し公認部品に限る)

- (2) フロントフォークの剛性アップの為にスタビライザーの取り付け

52)(1) リヤフォークの補強

- (2) リヤサスペンションユニットの交換(但し公認部品に限る)
- (3) リヤサスペンションスプリングの変更

54) カウリングの材質(但しカーボン、ケブラー強化繊維等の高価素材を除く)。

55)(1) シートカウルの形状・材質(但しカーボン、ケブラー強化繊維等の高価素材を除く)。

- (2) ラジエター、オイルクーラー等にエアを取り入れるためのドリルによる穴開けは許可される。(直径10mm以下に限る)

59) すべての部品に関して調整・仕上げは認められる。

調整とは各部品の単品またはアッセンブリーコンプリートの状態で個々のまたは合計の交差内で意図的に選定すること(メタル合わせ、タペットクリアランス、点火時期等)。

仕上げとは各部品の基準寸法内で表面粗度を向上させる作業を言う(ポートみがき、コンロッドみがき、ピストンみがき、コンパクションチャンパー等)。

60)(1) 不要なステー類(シートレールの一部含む)のカット

- (2) ゼッケンプレート、メーター、シート等の取り付けのためのステーの追加

05 重量

SSクラスの最低重量は下記のとおりとする(半乾燥重量)。

クラス	最低重量
750	165kg以上
400	145kg以上
250	115kg以上

注) 半乾燥重量とは走行可能な状態から燃料を抜いた値とする。分離給油の場合のオイルは燃焼とみなす。



06 公認車両が下記事項に適合していない場合、改造・変更が義務づけられる

16)(1) キャブレターのサイズ (気筒あたりの最大径)

クラス	最大径サイズ
400	直径32mm相当以下
250	直径32mm相当以下

注) キャブレターサイズとはキャブレターの吸入混合気通路の最小断面積部分の面積が上記サイズ相当以下であること。この場合、ジェットニードル、バタフライシャフト、バルブ、スロットルバルブ等の形状、断面積は考慮されないものとする。
マニホールドタイプのフェルインジェクションへのキャブサイズ制限値も同様とする。

- (2) 規制値を越えるキャブレター装着車両については公認キャブレターに交換するか、リストラクターによって口径を調整しなければならない。
- 17)(1) フュエルタンクの給油口を改造した場合、ノンリターンバルブ付きオーバーフローパイプとキャッチタンク (250cc以上) を取り付けなければならない。
- (2) 電動式フュエルポンプを装備している場合は、転倒の際にただちにフュエルポンプが自動的に停止する装置を備えていなければならない。
- 19) ラジエターのオーバーフローパイプとキャッチタンクの取り付け (250cc以上)。
- 27)(1) エンジンブリーザーのキャッチタンク取り付け (4サイクル車は500cc以上、2サイクルは250cc以上)。
- (2) 4サイクル車両のキャッチタンクからのブローバイガスはエンジンに再吸入させること (図参照)。
- 32) エンジンキルスイッチの取り付け (ハンドルを握って操作可能な位置に取り付けなくてはならない)。
- 36) 灯火器のレンズの処理または取り外し。
- 38) 保安部品 (スタンド、バックミラー、補助ステップ、ウインカー類) の取り外し。
- 56) すべてのオイルドレンボルト、及び外部のオイル圧力ライン部品へのワイヤーロック。

07 いかなる場合も禁止される事項

- 29) 改造・変更にあたって特殊な材料の使用 (チタニウム合金、カーボン、ケブラー強化繊維等の高価な材料)。
(カーボンサイレンサーは1993年より完全禁止となった)
- 42) リヤホイールスピンドル構造に軽合金の使用。
- 44) フロントホイールスピンドル構造に軽合金の使用。
- 53) ステアリングダンパーのハンドルストッパーとしての使用。
- 58) ガソリンの仕様及び供給方法は制限される。(ガソリン・オイル・クーラントの項141頁、ロードレース規則51頁参照)

08 MFJへの公認手続き・条件

- 1) 車両は一般公道用として定められた台数以上を出荷し、発売日が明確になっていること。
*最低台数は第5章、第2条、完成車公認参照
- 2) 技術委員会は毎月第4火曜日に開催され、そこで公認された車両は、すでに発売されている場合は会議日から2ヶ月後の同日付けて公認発効、発売日が会議日以降の場合は発売日から2ヶ月後に公認発効される。

3) 車両は以下の条件に適合している事

(1) キャブレターのサイズ (気筒あたりの最大径)

クラス	最大径サイズ
400	直径32mm相当以下
250	直径32mm相当以下

注) キャブレターサイズとはキャブレターの吸入混合気通路の最小断面積部分の面積が上記サイズ相当以下であること。この場合、ジェットノードル、バタフライシャフト、バルブ、スロットルバルブ等の形状、断面積は考慮されないものとする。

(2) ホイールリムの最大幅

クラス	最大幅フロント	最大幅リヤ
400以下	3.5インチ	5.25インチ
750以下	3.5インチ	6.25インチ

(3) 01条のクラス区分に適合していること (排気量内にあること)。

4) 専用コンプリートマシンはそのベース車両が公認車両であることを条件とする。

09 音量規定

FIM方式で測定し99dB/A以下であること。

レース終了後は3dB/Aの誤差値が認められる。

10 互換性

フレーム打刻型式とエンジン打刻型式のいずれも同一のモデル内にあっては一切の追加加工なしで、単品またはアッセンブリーで組みつけ可能な部品は相互に交換が認められる。

注) コンプリートマシンはベースマシンと型式が異なるが互換性が認められる。

(コンプリートマシンのベース機種 of 打刻型式に基づき判断される)

'92年度までに公認を受けた車両は互換性の対象から外される。

('92年度末を区切りとして、この前後にまたがった組合わせは禁止される)



耐久レースの追加仕様

(国内の各クラス)

01 クラス区分

一般生産型車両をベースとした下記カテゴリーで行われる。(SBはFIM規則とする。
ただし05重量の項参照)

SP・SS

02 出場車両

- 1) 一般生産型車両でMFJが公認し、参加しようとする各クラスの仕様に適合していること。
- 2) ロードレースの基本仕様に合致していること。
- 3) 耐久用の仕様を満たしていること。

05 重量

それぞれの定められた最低重量に3kgを加えることとする。

世界選手権ならびに灯火類の装備を義務づけられるスーパーバイク耐久レースでは、定められた最低重量に5kgを加えることにする。

11 耐久仕様

- 1) 車両は公認された状態の、確実に作動するスタート装置を備えていること。
- 17)(1) フュエルタンクは給油口を改造することは認められるが、位置は変えられない。
 - (2) 給油口は最大直径62.5mmとし、2ヶ所取り付けが許可される。
 - (3) タンク容量は以下の通りとする。

SS750	24ℓ以下
SS400・SP400	18ℓ以下
SS250・SP250	18ℓ以下
SP250F	15ℓ以下

 各クラスとも最大限容量を増やすための改造は認められるが、サイドからの外観形状は変えられない。
 - (4) 燃料は、マシンにしっかりと固定されたひとつのタンク内に入れられるものとする。シートタンク、および補助タンクは禁止される。すべての競技において給油のために簡単に脱着できる取り換えタンクを使用することは厳禁される。
- 31)(1) レースが夜間にかかる場合は公認された発電・充電装置を備えていること。これらはレース期間中及びレース後の車検において正常に作動するものであること。
 - (2) 灯火器はヘッドライトとテールライト、ストップランプは正常に作動すること。

またエキストラのライトを追加することは認められる。

- 42) ホイール交換を容易にするための改造は、各々のクラスの改造範囲でなければならない。
- 43) ブレーキ廻りのメンテナンス性向上のための改造は、各々のクラスの改造範囲内でなければならない。
- 49) ジャッキアップのための装置は一部をマシンに取りつけてもよいが、ストリームランニングから外側にあってはならず、レース期間中確実に固定されていること。これらはマシンの重量に含まれるものとする。



第14章

国内ロードレース GPクラスの仕様

(地方選手権)

'95年度よりライセンス区分の変更にもない、車両規則は選手権ごとに下表のように適用される。特に国内ライセンスでは地方選手権とエリア選手権の両方に出場できるので、仕様の違いに注意すること。

選手権ごとの車両規則の適用

選手権	ライセンス区分	適用される車両規則	参照頁
地方選手権	国内ライセンス(N A T)	国内ロードレースGPクラスの仕様(第14章)	172頁~175頁
エリア選手権	国内ライセンス(N A T)	FIM規則01章GPフォーミュラの技術仕様	182頁~183頁
	国際ライセンス(I N T)		
全日本選手権	国際ライセンス(I N T)	FIM規則01章GPフォーミュラの技術仕様	182頁~183頁

01 クラス区分

クラス	排気量範囲	最大限気筒数	最大級変速段数
50	~50以下	1	6
80	50を越え 80以下	1	6
125	100を越え 125以下	1	6
250	175を越え 250以下	2	6

02 出場車両

- 1) 車両は市販レーサーまたは一般生産型車両でMFJが公認したもの。
- 2) 車両は国内競技規則およびロードレース基本仕様(第7章)に示されているすべての条項に適合していること。
- 3) 車両のリム幅(最大限リム幅)は下記のとおりとする。

クラス	最大幅
50	3.5インチ
80	3.5インチ
125	3.5インチ
250	5.5インチ

03 公認車両に対して下記事項は仕様の変更が出来ない

(仕様の変更とはその部品の改造、変更、寸法の変更または取りはずしを言う)

- 1) エンジンの型式
- 2) シリンダーの数
- 3) ピストンストローク
- 4)(1) クランクケース *ただし04.4)参照

- (2) 市販レーサーのシリンダー、シリンダーヘッド *ただし10条参照
- 10) バルブ数、ポート数、キャブ数
- 16) キャブレター *ただし04.16)及び10条参照
- 29) 特殊な高価な材質の使用 (チタニウム合金)
- 50)(1) 市販レーサーのフレームボディ
- (2) 一般市販車のフレームボディ *ただし04.50)参照
- 51) 市販レーサーのフロントフォーク *ただし04.51)及び10条参照
- 52) 市販レーサーのリヤフォーク及びサスペンションとリンク *ただし04.52)及び10条参照

04 公認車両に対して下記事項の変更が出来るが、ロードレース基本仕様(第7章)に適合していることを条件とする

4) クランクケースの切削に依る加工

- 12)(1) シリンダーの切削によるポートタイミングとポートエリアの変更。
- (2) シリンダーヘッドの切削に依る圧縮比、燃焼室の形状変更。
- 16) キャブレターのセッティング (取り外し可能なジェット、ニードル、スロットルバルブの範囲)。
- 50)(1) フレームボディの補強 (ただし一般生産型車両に限る)
- (2) 不要なステー類の取りはずし、ただしフレームボディーの強度、剛性に全く影響を与えないこと (ただし一般生産型車両に限る)
- 51) フロントサスペンションのスプリングの変更。
- 52) リヤフォークの補強とリヤサスペンションのスプリングの変更。
- 59) すべての部品に関して調整・仕上げは認められる。

調整とは各部品の単品またはアッセンブリーコンプリートの状態で個々のまたは合計の公差内で意図的に選定すること (メタル合わせ、タベットクリアランス、点火時期等)

仕上げとは各部品の基準寸法内で、表面粗度を向上させる作業をいう (ポートみがき、コンロッドみがき、コンバネンションチャンパー等)

- 60) フレームボディとリヤフォークを除き軽量化の為の改造は出来るが、最低重量以上であること。

05 重量

- 1) GPクラスの最低重量は下記のとおりとする (半乾燥重量)。

クラス	最低重量
50	70kg
80	70kg
125	70kg
250	95kg

注) 半乾燥重量とは走行可能な状態から燃料を抜いた値とする。
分離給油の場合のオイルは燃料とみなす。
ダミーウェイトによる調整は認められない。

予告: GP250は1996年1月1日より100kgとなる。

06 公認車両が下記事項に適合していない場合、改造変更が義務付けられる

- 17)(1) フュエルタンクの給油口を改造した場合、ノンリターンバルブ付きのオーバーフローパイプとキャッチタンク (250cc以上) の取り付け。
- (2) 電動式フュエルポンプを装備している場合は転倒の際にただちにフュエルポンプが自動的に停止する装置を備えていなければならない。
- 19) ラジエーターのオーバーフローパイプとキャッチタンクの取り付け (250cc以



上)。

- 27)(1) エンジンブリーザーのキャッチタンクの取り付け(4サイクル車は500cc以上、2サイクルのギヤボックスからのブリーザーは250cc以上)。
 (2) 4サイクル車両のキャッチタンクからのブローバイガスはエンジンに再吸入させること。
 32) エンジンキルスイッチの取り付け(ハンドルを握って操作可能な位置に)。
 36) 灯火器のレンズの処理または取り外し。
 38) 保安部品の取りはずし。
 56) すべてのオイルドレンボルト及び外部のオイル圧力ライン部品へのワイヤーロック。

07 いかなる場合も禁止される事項

- 29) 改造変更にあたって特殊な材料の使用(チタニウム合金)
 42) リヤホイールスピンドル構造に軽合金の使用
 44) フロントホイールスピンドル構造に軽合金の使用
 53) ステアリングダンパーのハンドルストッパーとしての使用
 58) ガソリンの仕様及び供給方法は制限される。(ガソリン・オイル・クーラントの項141頁、ロードレース規則51頁参照)

08 MFJへの公認手続き、条件

- 1) 車両は一般公道用として定められた台数以上を出荷し発売日が明確になっていること、または市販レーサーとして定められた台数以上を出荷し発売日が明確になっていること。
 *最低台数は第5章、第2条、完成車公認参照
 2) 技術委員会は毎月第4火曜日に開催され、そこで公認された車両はすでに発売されている車両の場合は会議日から2ヶ月後の同日付きて公認発効する。発売日が会議日以降の場合は発売日2ヶ月後の同日付きて公認発効とする。但し市販レーサーは各々1ヶ月後とする。
 3) 車両は以下の条件に適合していること。

(1) 最大限リム幅

クラス	最大幅
50	3.5インチ
80	3.5インチ
125	3.5インチ
250	5.5インチ

(2) 01条のクラス区分内にあること

09 音量規定

- 1) FIM方式で測定し105dB/A以下のこと。
 2サイクルは13m/s、4サイクルは11m/sのピストンスピードとする。
 レース終了後は3dB/Aの誤差値が認められる。

10 互換性

- 1) フレームの打刻型式とエンジン打刻型式のいずれも同一のモデル内にあつては一切の追加工なしで単品またはアッセンブリーで組みつけ可能な部品は相互の交換が認められる。

注) コンプリートマシンはベースマシンと型式が異なるが互換性が認められる。
(コンプリートマシンのベース機種 of 打刻型式に基づき判断される)

- 2) 下記の部品は同一メーカー同士でかつ公認車両であれば流用することが出来る。

- (1) ミッションアッセンブリーまたは単品
- (2) フロントフォークアッセンブリーまたは単品
- (3) リヤサスペンションユニットおよびリンク関係
- (4) リヤフォーク
- (5) キャブレター
- (6) シリンダー
- (7) シリンダーヘッド

- 3) 公認部品として下記の部品またはアッセンブリーが認められる。

- (1) フロントフォークアッセンブリーまたは部品
- (2) リヤサスペンションユニット、アッセンブリーまたは部品
- (3) リヤフォーク
- (4) キャブレター
- (5) シリンダー
- (6) シリンダーヘッド

注) 部品公認申請条件を満たしていること。



第15章

国内モトクロスの仕様

(国際B級、国内A級、国内B級)

01 クラス区分

クラス	排気量	最大気筒数	最大伝達段数
80	~80以下	1	6
125	100を越え125以下	1	6
250	175を越え250以下	1	6

*ジュニアクラスは80cc以下に限定される。

02 出場車両

- 1) 車両は市販レーサー、または一般生産型車両でMFJが公認したもの。
- 2) 車両は国内競技規則書及びモトクロス基本仕様(第8章)に示されているすべての条件に適合していること。

03 公認車両に対して下記事項は仕様の変更ができない

(仕様の変更とはその部品の改造、変更、寸法の変更または取りはずしを言う)

- 1) エンジンの型式
- 2) シリンダーの数
- 3) ピストンストローク
- 4) クランクケース、シリンダー、シリンダーヘッドの材質、鑄造及び形状 *ただし10条参照
- 10) 吸排気系のバルブ数、ポート数、キャブ数。
- 12) シリンダー、シリンダーヘッド。
- 16) キャブレター *ただし10条参照
- 19) 冷却方式の変更
- 23) ミッションギヤ *ただし10条参照
- 50) フレームボディー
- 51) フロントフォーク *ただし04.51)及び10条参照
- 52) リヤフォーク、リヤサスペンションユニット及びサスリンケージ *ただし04.52)及び10条参照

04 公認車両に対し下記事項の変更はできるが、モトクロス基本仕様(第8章)に適合していることを条件とする

- 5) クラッチの構造
- 11) クランクケースカバーの材質、形状
- 13) クランクシャフト(但しストローク変更は不可、ピストン、リング。

- 16) キャブレターのセッティング (取り外し可能なジェット、ニードル、スロットルバルブの範囲)
- 17) フューエルタンク、フューエルコック、フューエルライン。
- 18) エキゾースト系 (但し音量規定に適合していること)
- 19) 冷却系 (但し方式の変更は不可)
- 26) 分離給油関係の取りはずし、または変更 (但し方式の変更は不可)。
- 41) ファイナルレシオ
- 42) リヤホイールの変更
- 43) リヤブレーキ関係の変更
- 44) フロントホイールの変更
- 45) フロントブレーキの変更
- 48) タイヤの変更
- 51) フロントサスペンションのスプリングの変更
- 52) リヤサスペンションのスプリングの変更
- 59) すべての部品に関して、調整・仕上げが認められる。

調整とは各部品の単品またはアッセンブリーコンプリートの状態で、個々のまたは合計の公差内で意図的に選定すること。(メタル合わせ、タペットクリアランス、点火時期等)

仕上げとは各部品の基準寸法内で表面粗度を向上させる作業をいう。(ピストンみがき、コンパクションチャンパー等) シリンダーポートについては、バリ取り、カーボン除去に限り認められる。

05 重量

- 1) 各クラスの最低車両重量は下記のとおりとする。(半乾燥重量)

クラス	最低重量
80	61kg
125	88kg
250	98kg

注) 半乾燥重量とは走行可能な状態から燃料を抜いた値とする。
分離給油の場合のオイルは燃料とみなす。
ダミーウェイトによる調整は認められない。

06 公認車両が下記事項に適合していない場合、改造、変更が義務づけられる

- 32) エンジンキルスイッチの取り付け (ハンドルを握って操作可能な位置に取り付けなければならない)
- 36) 灯火器のレンズ処置または取りはずし
- 38) 保安部品 (スタンド、バックミラー、補助ステップ、ウィンカー類) の取りはずし
- 40) もしプライマリーチェーンが露出している場合、安全措置としてチェーンガードを装着していなければならない。チェーンガードは、いかなる場合においてもライダーがトランスミッションパーツに誤って触れることがないようにガードを取りつけていなければならない。カウンターシャフトスプロケットにもガードが取り付けられていなければならない。
- 56) エンジンのすべてのオイルドレンボルト、及び外部のオイル圧力ライン部品へのワイヤーロック



07 いかなる場合も禁止される事項

- 29) 改造変更にあたって特殊な材料の使用 (チタニウム合金)
 42) リヤホイールスピンドル構造に軽合金の使用
 44) フロントホイールスピンドル構造に軽合金の使用
 58) ガソリンは一般公道用の市販車に供するために通常のガソリンスタンドにて購入できるもの、あるいは各MFJ公認サーキットのガソリンスタンドにて購入できるレース用ガソリンおよび民間航空機用ガソリンに限る。ガソリンの仕様は制限される。……第6章ガソリン・オイル・クーラントの項 (141頁) 参照

08 MFJへの公認手続き、条件

- 1) 車両は市販レーサー又は、一般公道用として定められた台数以上を出荷し、発売日が明確となっていること。

	国産車	輸入車
一般生産型車両	500台	25台
市販レーサー	100台	10台

- 2) 技術委員会は毎月第4火曜日に開催され、そこで公認された車両はすでに発売されている車両の場合は会議日から2ヶ月後の同日付きで公認発効する。発売日が会議日以降の場合は発売日の2ヶ月後の同日付けて公認発効する。ただし市販レーサーは各々1ヶ月後とする。

09 音量規定

- 1) FIM方式で測定し98dB/A以下のこと。
 レース終了後は、2 dB/Aの誤差値が認められる。
 1995年より音量規制値は98dB/Aまで引き下げられた。
- 2) 音量測定の際のエンジン回転数 (rpm) は、排気量により異なる。
- | | |
|-----------------|----------|
| 80ccまで | 8,000rpm |
| 80ccを越え125ccまで | 7,000rpm |
| 125ccを越え250ccまで | 5,000rpm |
| 250ccを越える | 3,000rpm |

10 互換性

- 1) フレームの打刻型式とエンジン打刻型式のいずれも同一モデル内にあっては、一切の追加工なしで単品、またはアセンブリーで組みつけ可能な部品については相互に互換が認められる。
- 2) 下記の部品は同一メーカー同士でかつ公認車両であれば流用することが認められる。
- (1) ミッションアセンブリーまたは単品
 - (2) フロントフォークアセンブリーまたは単品
 - (3) リヤサスペンションユニットまたはリンク関係
 - (4) リヤフォークアセンブリーまたは単品
 - (5) キャブレター
 - (6) シリンダーコンプリート
 - (7) シリンダーヘッドコンプリート
- 3) 公認部品として下記の部品またはアセンブリーが認められる。

3) 公認部品として下記の部品またはアッセンブリーが認められる。

- (1) ミッションギヤセットまたは単品
- (2) フロントフォークアッセンブリーまたは単品
- (3) リヤサスペンションユニットアッセンブリーまたは単品
- (4) リヤフォークコンプリート
- (5) キャブレター
- (6) シリンダーコンプリート
- (7) シリンダーヘッドコンプリート

注) 部品公認申請条件を満たしていること。

第15章 補則 ジュニア部門の仕様

02 出場車両

- 1) 車両は市販レーサー、または一般生産型車両でMFJが公認したもの。
- 2) 車両は国内競技規則書及びモトクロス基本仕様（第8章）に示されているすべての条件に適合していること。

03 公認車両に対し、下記04条以外の改造、変更は認められない

04 公認車両に対し、下記事項の変更はできるが、モトクロス基本仕様（第8章）に適合していることを条件とする

- 24) チェンジペダル
- 26) 分離給油関係の取りはずし、または変更。(但し方式の変更は不可)
- 34) ポジション変更目的のコントロールワイヤーの変更
- 40) ドライブチェーン
- 41) ファイナルレシオ
- 46) ブレーキペダル
- 48) タイヤの変更
- 50) ステップ類
- 53) ハンドル及びその付属品
- 59) すべての部品に関して、調整・仕上げが認められる。

調整とは各部品の単品またはアッセンブリーコンプリートの状態で、個々のまたは合計の公差内で意図的に選定すること。(メタル合わせ、タベットクリアランス、点火時期等)

仕上げとは各部品の基準寸法内で表面粗度を向上させる作業をいう。(ポートみがき、コンロッドみがき、ピストンみがき、コンパクションチャンパー等)



国内トライアルの仕様

(国内A級、国内B級、ジュニア)

01 クラス区分

排気量によるクラス区分は特に設定しない。

02 出場車両

- 1) 車両は市販レーサー、または一般生産型車両でMFJが公認したもの。
- 2) 車両は国内競技規則書及びトリアル基本仕様(第9章)に示されているすべての条件に適合していること。

03 公認車両に対して下記事項は仕様の変更ができない

(仕様の変更とはその部品の改造、変更、寸法の変更または取りはずしを言う)

- 1) エンジンの型式
- 2) シリンダーの数
- 3) ピストンストローク
- 4) クランクケース、シリンダー、シリンダーヘッドの材質、鑄造及び形状
- 10) 吸排気系のバルブ数、ポート数、キャブ数
- 42) リヤホイールスピンドルの材質の変更
- 44) フロントホイールスピンドルの材質の変更

04 公認車両に対し下記事項の変更はできるが、トリアル基本仕様(第9章)に適合していることを条件とする

- 18) エキゾースト系(ただし音量規定に適合していること。)
- 48) タイヤは変更できるが、MFJ公認トリアルタイヤに限られる。タイヤにはチェーン、スパイクを装備する等、改造を加えてはならない。
- 50) フレームボディーの改造
- 59) すべての部品に関して、調整・仕上げが認められる。

調整とは各部品の単品またはアッセンブリーコンプリートの状態で、個々のまたは合計の公差内で意図的に選定すること。(メタル合わせ、タペットクリアランス、点火時期等)

仕上げとは、各部品の基準寸法内で表面粗度を向上させる作業をいう。(ポートみがき、コンロッドみがき、ピストンみがき、コンパンションチャンパー等)

06 公認車両が下記事項に適合していない場合、改造、変更が義務づけられる

- 23) カウンターシャフトスプロケットには、指を挟まないようなカバーを取りつけること。
- 32) エンジンキルスイッチの取り付け。
- 36) 灯火器のレンズ処置または取りはずし。
- 38) 保安部品（スタンド、バックミラー、補助ステップ、ウィンカー類）の取りはずし。
- 56) エンジンのすべてのオイルドレンボルト、及び外部のオイル圧力ライン部品へは、ゆるみ、脱落等によるオイル漏れをおこさないような処置を施すこと。

07 いかなる場合も禁止される事項

- 29) 改造変更にあたって特殊な材料の使用。（チタニウム合金）
- 58) ガソリンは一般公道用の市販車に供するために通常のガソリンスタンドにて購入できるもの、あるいは各MFJ公認サーキットのガソリンスタンドにて購入できるレース用ガソリンおよび民間航空機用ガソリンに限る。ガソリンの仕様は制限される。……第6章ガソリン・オイル・クーラントの項（141頁）参照

08 MFJへの公認手続き、条件

- 1) 車両は市販レーサー、又は一般公道用として定められた台数以上を出荷し発売日が明確となっていること。

	国産車	輸入車
一般生産型車両	500台	25台
市販レーサー	100台	5台

- 2) 技術委員会は毎月第4火曜日に開催され、そこで公認された車両は、すでに発売されている車両の場合は会議日から2ヶ月後の同日付けて公認発効。発売日が会議日以降の場合は、発売日の2ヶ月後の同日付けて公認発効とする。但し市販レーサーに限り、各々1ヶ月後とする。

09 音量規定

- 1) FIM方式で測定し、94dB/A以下のこと。エンジンスピードは5000rpmとする。競技終了後は1dB/Aの誤差値が認められる。

10 互換性

- 1) フレームの打刻型式とエンジン打刻型式のいずれも同一モデル内にある場合は、一切の追加工をなし単品、またはアセンブリーで組みつけ可能な部品については相互に互換が認められる。



FIM 技術仕様

ロードレース

以下のクラスはFIM技術仕様にて開催される。

全日本・エリア選手権：GPフォーミュラクラス

全日本・エリア選手権：スーパーバイククラス

地方選手権は国内の仕様にて開催される。

以下の種目別仕様とMFJ技術規則第7章ロードレース基本仕様に合致していることとする。種目別仕様と基本仕様の間で解釈の違いが生じた場合は種目別仕様を優先する。

FIM規則01章 GPフォーミュラの技術仕様

01 クラス区分

カテゴリー	排気量範囲	最大限気筒数	最大限変速段数
GP 125	80を越え125以下	1	6
GP 250	175を越え250以下	2	6
GP 500	350を越え500以下	4	6

注) 国内競技会においては当分の間、500ccクラスの排気量区分を「250を越え500以下」とする。

- 1) エンジンのシリンダー数は、燃焼室の数で決定される。
- 2) もし燃焼室が分けられている場合、それらは総吸気ポートエリアの最低50%にあたる通路によって連結されていなければならない。

02 出場車両

- 1) 車両の選択に制限はない。
- 2) 車両はMFJ技術仕様第7章ロードレース基本仕様に示されるすべての条件に適合していなければならない。

05 重量

GPクラスの最低重量は下記のとおりとする。(半乾燥重量)

クラス	最低重量
125	70kg
250	95kg
500	130kg (4気筒)、115kg (3気筒)、100kg (1~2気筒)

*半乾燥重量は走行可能な状態から燃料を抜いた値とする。分離給油の場合のオイルは燃料とみなす。

予告：世界選手権を除く国内競技会において1996年1月1日よりGP250は100kgとなる。

12 ホイールリム幅

各クラスのリヤホイール幅の制限は下記とする。

クラス	最大幅
125	3.5インチ
250	5.5インチ
500	6.25インチ

13 ナンバープレート

各クラスに下記の色が指定される。

125	黒地に白文字
250	緑地に白文字
500	黄地に黒文字

ロードレース・スポーツプロダクションフォーミュラ (スーパーバイク)

スポーツ・プロダクション用のモーターサイクルは、現在量産されているモーターサイクルで、ハイ・パフォーマンス・マシンを入手することを希望する一般の人々が購入できるものとする。スポーツ・プロダクション・レース用に認可されるモーターサイクルは、カタログに載っているスタンダードの量産モデルで、過去5年以内に生産され、公道で一般的に使用されるために販売され、ライト類を完全に装備したものとす。

モーターサイクルはすべての点で、1968年度のウィーン協定に基づくものとし、これはマシンを生産する国がこの協定に調印していない場合でも同じとする。

これらの規則は、下記の目的で設定された。

- 外観上できるかぎり量産車に近づける。
- チューナーに自由を与えると同時に、コスト的に制限する要素を設ける。
- 通常の市販ルートを通じて、充分な量のイクイップメント（装備）が入手できるレーシング・クラスを設ける。
- アフターマーケット・サプライヤー（供給者）に興味を抱かせる。
- スピードと馬力を安全なレベルに保てるようにする。
- ヴァンケル2：3は許可されない。

すべてのモーターサイクルは、すべての点において、本規則に明記されているロードレースの必要条件をすべて満たしていなくてはならない。

論議が生じた場合には“スポーツ・プロダクション”仕様に優先権がある。

スポーツ・プロダクション用のモーターサイクルは、全て認証を受けなくてはならない（事項60.08参照）。スポーツ・プロダクション用のモーターサイクルは、カテゴリーI、グループA1に属するものでなくてはならない。



スーパーバイクの技術仕様 (FIM規則01章59条)

01 クラス区分

スーパーバイク	4ストローク	
	400を越え 750以下	気筒数
	500を越え 900以下	4
	550を越え 1000以下	3
		2

03 公認車両に対して下記事項は仕様の変更ができない

- 1) エンジンのタイプ
- 2) シリンダーの数
- 3) ストローク
- 4) シリンダー、シリンダーヘッド、クランクケース、およびギヤボックスシエルの材質とキャスティング（鋳造）。シリンダーは、当該クラスの排気量制限内でスリーブリングまたはライニングによって修理されてもよい。認証時の材質と表面フィニッシュは維持されなくてはならない。（クローム、シリコン、セラミック等）
- 10) バルブ数、ポート数及びキャブレター（またはその他のエアインプットシステム）の数を含む吸排気システム。
- 11) 燃料が直接燃焼室にインジェクトされる真のフュエル・インジェクションは認可されない。マニホールド・タイプのフュエル・インジェクションは、それが認可されたモデルに採用されているプロダクション（量産）・ユニットであるということをも条件に認可される。
- 13) キャブレターまたはその他の吸気装置（インジェクター）のシリンダーヘッド側接触面からキャブレター（インジェクター）ボディの反対側の端まで。サイズ、タイプ、取りはずし可能なジェットの数、およびエンジン製造業者のパーツナンバーが、寸法を記入したインダクション・トラクトの図とともに認可書類にリストアップされていなくてはならない。キャブレターボディ、インジェクターボディ、あるいはパタフライバルブ内のインダクショントラクトの改造または研磨は許可されない。
- 15) フレーム（ステアリング・ヘッドからリヤのシート・サポートまで）とその構造材質。ガゼット（補強板）またはチューブを追加することはできるが、本来存在するガゼット、またはチューブを取り外してはならない。
- 16) フロントフォーク、リヤ・スイングアーム、リンケージ・システム、ピボット・ポイント、及び材質は認証されているものでなくてはならない。
- 17) ストリームライニング、フェアリング、およびシートに隣接するリヤ・パーツは認可時通りの形状をしていなくてはならない。
- 19) ブレーキディスク材質にカーボン素材の使用は認められない。

04 公認車両に対し下記事項の変更ができる

（これは明確化の目的のためであり、このリストに載っていない他のパーツも変更あるいは交換されてよい）

- 1) 排気量がそのクラスの制限を超えなければ、ボアを拡大することができる。
- 2) シリンダー、シリンダー・ヘッド、クランクケースおよびギヤ・ボックス・シエルにおいては、材質は溶接または機械作業によってのみ追加されたり削除されたりすることができる。ストック・パーツの研磨および軽量化は許可される（事項3.13にも注意）。
- 3) エンジン内部の動くパーツ、ギヤボックスおよびクラッチ・パーツは改造されても交換されてもよい。
- 4) ギヤ・レシオ。ギヤの仕様。6速までに制限されたギヤ段数、スプロケット。
- 5) エキゾースト・パイプ、サイレンサーとその配列。
- 6) フットレストの位置を変更してもよいが、これはリヤ・ホイールの手前に設けられなくてはならない。

- 7) モーターサイクルにはどのようなタイプのハンドルバーを装着しても良い。
- 8) フロント・フォークは全体的あるいは部分的に交換可能だが、認可されたモデルのそれと同じタイプ（リーディング・リンク、テレスコピック等）でなくてはならない。
- 9) リヤ・ショック・アブソーバーは変更、または取り付け位置を変えても良い。ただし、それと同等のシステムが採用されなくてはならない。すなわち、デュアル・ショックか、モノ・ショックかということ。スイングアームは改造されても交換されてもよい。（事項59.03.16も参照）。
- 10) 燃料タンクは、外から見えるならば外観上は認可されたモデルのそれと同じでなくてはならない。オリジナルのタンクを変更して、最大容量を達成することは許可される。

燃料タンク・ベンチレーション・パイプには燃料が流出するのを防ぐデバイスが設けられなくてはならない。タンクの両側の間にあるクロス・オーバー・ラインは許可される（最大内径10mm）。プラクティス中に使われたのと同じサイズの燃料タンクが、大会期間中使われなくてはならない。

- 11) オリジナルのオイル・クーラーは、マシンの外観を変更しない範囲において変更および追加が認められる。
- 12) 16インチ以下のホイール・リムの使用は認められない。鋳造、鋳型、リベット・タイプのホイール、または軽合金リムが認められる。
- 13) マッドガード（フェンダー）は、外観上オリジナルと同じでなくてはならないが、ホイールとタイヤのサイズ変更に合わせて位置を変えることが許可される。追加のマッドガードをスイングアームに取り付けることができる。
- 14) ストリームライニング、燃料タンク、フェアリングおよびリヤ・シートに隣接したリヤ・パーツの材質は変更されても良い。

オイルクーラーにエアを取り入れるためのドリルによる穴開けは許される。直径10mm以上の穴については、メタルガーゼか繊細なメッシュによりカバーされなくてはならない。（基本仕様・事項13.8にも注意）

- 16) シートは改造または、交換されてもよい。
- 17) キック・レバー、ペダル、スターター・クランク・ギヤ、およびスターター・シャフトを含む電動、あるいはマニュアルのスタート・システムは取り外し可能。ただし、耐久は除く。
- 18) エアクリナーボックス

(1) エアクリナーボックスの密閉

下記部分の周囲をひとつのボックスで覆うことにより、外気から完全に密閉すること。（ボックスへのエア吸入は、148頁の図に示す吸入口のみ許可される）

- ①キャブレターまたはインジェクターのファンネル
- ②すべてのエンジンプリーザーパイプの出口

(2) エア吸入口の位置

- ①エアファンネルの一番低い箇所（148頁の図）の水平線よりも上に位置すること。
- ②吸入口がエアファンネルの一番低い箇所の水平線よりも下にある場合は、吸入口に至る吸入通路の底部の少なくとも一部分が、上記水平線の上に位置することを条件とする。

(3) 吸入口の大きさ

エア吸入口の面積は、面積の合計で最大8,000mm²+許容誤差10%（φ100mm相当）までとされる。（キャブレターまたはインジェクターの本体を、完全にエア



クリーナーボックスの中に納めることもできる。)

(4) ブリーザーシステム

ブリーザーシステム (エアクリーナーボックスおよびその他のオイルキャッチタンク) は、ドレンパイプが詰まった場合に、合計で最低1,000ccの排出液を確保できる容量を持つこと。

- 19) 確動圧を含むオイル・ラインは、もし変更されるならばスチール製の構造で、型鉄で曲げた、またはネジ山式のコネクターを持っていてはならない。
- 20) ステアリング・ダンパーは追加されても良いが、装着方法は正当な方法に従ったものとする。既存のステアリング・ストップが適切でない場合、金属製のステアリング・ストップをフレームに取り付けることができる。いかなる場合においても、ダンパーはステアリング・ロック・リミティング・デバイスとしての役目を果たしてはならない。最低ステアリング・ロックは15°とする (基本仕様04ハンドルバーにも注意)。
- 26) キャブレター・ジェット、スロットル・バルブ、ニードル (パタフライではない) 及びベルマウスのサイズ。(事項04.18にも注意)

05 車重

液冷モーターサイクルの場合、燃料なしの状態での重量測定するが、測定の前に水がラジエーターに追加されてもよい。ラジエーターに水を追加するのみでレース後、指定の車重に適合しなくてはならない。

重量測定の際、レース終了後は1%の誤差が認められる。

排気量区分	気筒数	最低重量
400ccを越え 750cc以下	4 気筒	162kg
500ccを越え 900cc以下	3 気筒	155kg
550ccを越え 1000cc以下	2 気筒	147kg

06 公認車両が下記事項に適合していない場合、改造・変更が義務づけられる

- 1) モーターサイクルには、始動しているエンジンおよびその他のすべての電動部品を停止することのできる機能的なイグニッション・キル・スイッチ、またはボタンが、ハンドル・バーの右あるいは左に設けられていてはならない (グリップを握って届く位置になくてはならない)。
- 2) セーフティ・バー、センターおよびサイド・スタンドは取り外されなくてはならない (固定されたブラケットは残されなくてはならない)。
- 3) すべてのドレン・プラグは、ワイヤー・ロックされなくてはならない。外部のオイル・フィルター・スクリューおよびボルトでオイルキャビティに進入するものは、すべて安全にワイヤー・ロックされてなくてはならない。
- 4) ブリーザー、またはオーバーフロー・パイプが装備される場合、これらは現存する排出口から排出しなくてはならない (基本仕様14.06に基づいて)。オリジナルのクローズド・システムは維持されなくてはならない。直接大気へ排気することは許可されない。
- 5) オイル・クーラーはリアのマッドガード (フェンダー) の上、又はそれよりも上に設けられてはならない。
- 6) ヘッドライト、テールライト、およびウインカーは取り外さなくてはならない。しかし原則としてプロファイルは維持されなくてはならない。(事項03.17にも注意)

08 認証の手順

認証の手順についてはFIM規則参照。

耐久の追加仕様 (FIM規則01章61条)

- 1) 本来すべてのモーターサイクルには、正常に作動する電装類が完全に装備されなくてはならない。
フロントのヘッドライトを追加することが許可される。
- 2) ライト点灯が要請されるレースにおいては、モーターサイクルに二つの別個のリヤ・ライトと、作動するジェネレーター（最低出力100W）を装備することが義務づけられる。電装類を追加することが許可される。
- 3) さらに、後続ライダーの視認性を上げるために、モーターサイクルのリヤに、最低面積40cm²の赤い反射面が設けられなくてはならない。
- 4) すべてのモーターサイクルにはスタート装置が設けられていなくてはならない。
最大容量と最適なライディングポジションを得るための燃料タンクの改造、およびフューエル・フィルターキャップをクイックフィルタイプに変更することが許可される。（基本仕様・事項14.4が守られなくてはならない）
- 5) 最低重量は定められている重量に対して5kgを加える。

モトクロス

国際A級部門は下記に示すFIM技術仕様にて開催されるが、下記に示す規則とMFJ基本仕様第8条モトクロス基本仕様に合致していることとする。FIM技術仕様とMFJ基本仕様の間で解釈の違いが生じた場合は、FIM技術仕様を優先する。

FIM規則01章 モトクロス技術仕様

01 クラス区分

クラス	排気量範囲	最大限気筒数
125	100を越え125以下	1
250	175を越え250以下	-

02 出場車両

- 1) 出場の車両に制限はない
- 2) 車両はMFJ技術規則第8章モトクロス基本仕様に示される、すべての条件に適合していなければならない。

05 重量

車両の最低重量は下記のとおりとする。（半乾燥重量）

クラス	最低重量
125	88kg
250	98kg

注) 半乾燥重量とは走行可能な状態から燃料を抜いた値とする。分離給油の場合のオイルは燃料をみなす。



技術規則

06 公認車両が下記事項に適合していない場合、改造・変更が義務づけられる

- 1) もしプライマリーチェーンが露出している場合、安全措置としてチェーンガードを装着しなければならない。チェーンガードは、いかなる場合においてもライダーがトランスミッションパーツに誤って触れることがないようにガードを取りつけていなければならない。カウンターシャフトスプロケットにもガードが取り付けられていなければならない。

07 いかなる場合も禁止される事項

- 1) ストリームライニング（カウル）の装着は禁止される。
- 2) 使用するタイヤのタイプに制限はないが、タイヤの表面に滑り止めスパイク、特殊チェーン等を取りつけることは禁止される。

トライアル

国際A級・国際B級部門は下記に示すFIM技術仕様にて開催されるが、下記に示す規則とMFJ技術規則第9条トライアル基本仕様に適合していることとする。FIM規則とMFJ規則が相違する場合は、FIM技術規則を優先する。

FIM規則01章 トライアル技術仕様

01 クラス区分

国際A級

国際B級

*車両の排気量によるクラス区分は設定されない。

06 公認車両が下記事項に適合していない場合、改造・変更が義務づけられる

カウンターシャフト・スプロケットには安全ガードが取り付けられていなければならない。

スノーモビルの 仕様

1 車両の改造の限度

競技の公平及び安全を確保するため次のように制限する。

1) スポーツ部門

車両は一般生産型のMFJ公認車両で次に示された改造のみ認められる。

(1) 変更してもよい部品

- A 点火プラグ
- B スキー（スプリングを含み公認型式のものに限る）
- C サスペンション・スプリング（公認型式のものに限る）
- D ドライブチェーンとスプロケット
- E Vベルト
- F キャブレター内の各ジェット類

(2) 取り外さなければならない部品

- A ライト類及びガラス類（ただし、レンズ及びライト類の飛散防止を施せば良い）
- B バックミラー
- C ウィンドシールド
- D キャリア類

(3) 取り外してよいもの

- A 車両番号標版（ブラケットごと）
- B バッテリー
- C セルモーター・セル用ギヤ
- D アシスタント・グリップ
- E ヘッドライトボディー（ただし、ライト及びライトボディーを外した場合の穴は完全にふさがなければならない）

2) モディファイ部門

車両は一般生産型スノーモビルでMFJ公認車両でなければならない。機械加工または仕上げによる修正、調整、軽量もしくは形状の変更、パーツの交換を行う場合は下記各項に規定されている事項を遵守しなければならない。

- (1) フレームの基本骨格は公認型式のものでなければならないが、補強は行ってもよい。しかし形状の変更は認められない。
- (2) 異なった機種エンジンのエンジン・アッセンブリー、フレームの組み合わせは認めない。ただし、同型式、同機種、同排気量のものに限り認める。



- (3) エンジン
- A クランクケース本体、クランクシャフト・アッセンブリーは公認車両のものに限る。
 - B ボアの拡大は最大0.5mmとし、出場クラスの変更はできない。
- (4) ステアリング
- A ステアリングの基本構造は、公認型式のものでなければならない。
 - B 補強は認められるが、変形は認められない。
 - C ステアリングパッドを取りつけなければならない。
 - D スキースタンスの変更は認められない。
(スタンスとは、スキーの中心と中心との距離)
 - E ハンドルはMFJ公認型式(二輪を含む)のものとの交換は認められるが、変形は認められない。しかし、ハンドル幅の減少は認められる。
 - F ハンドルは公認、未公認の区別のつかないものの使用は認められない。
- (5) 音量
- 音量は下記の条件を満たしていなければならない。
- A 車両には有効かつ外見で判断しうる市販の消音器が装着されていなければならない。なお排気管(排気方向)の向きは、雪面に向けて垂直(真下)でなければならない。
 - B 音量は、FIM測定方式で104db/A(ただし、パワーベルトを直結してある場合は、最大120db/Aとなる)以内でなければならない。104db/Aを上回る車両の出場は一切認められない。

2 車両の安全基準

スノーモビルレースに出場する車両は、次の安全基準を満たしていなければならない。

- 1) エンジン自動停止装置
- (1) ライダーが走行中車両から離れた場合にエンジンが自動的に停止する装置を装着していなければならない。
 - (2) 自動停止装置はレース全区間(公式練習、パドック走行も含む)で有効に働く状態であらなければならない。
 - (3) 本基準に違反したライダーは、失格とする。
- 2) 排気管及び消音器
- (1) 車両は規定の音量規制値を満たしていなければならない。
 - (2) 排気消音器はボディー側面より突出してはならない。
 - (3) 排気管は、シュラウドまたは車体内部に収められていること。
- 3) スノーフラップ
- トラック最後端より後ろに有効なものを必ず装着し、公認時の形状を維持すること。
- 4) スロットル
- 手を離れたら確実にまたスムーズに戻らなければならない。
- 5) ドライブガード
- ドライブガードは、公認車両のものとし、取り外してはならない。
- 6) シュラウド
- (1) シュラウドを外してはならない。
 - (2) レース中に外れるものであってはならない。
 - (3) モディファイ部門のみのシュラウド基準

- A シュラウド付属パーツ、ルーバー類は取り外してもよい。ただし、エンジン回転部分、排気管部分が露出またはその部分に触れる恐れのあるものであってはならない。
- B 新たに通風孔を設けた場合は4mm以下の網目構造か、同等以下のルーバー構造とする。
- C シュラウド・アッセンブリーの強度は、車両公認時と同等か、それ以上でなければならない。
- D 新たに通風孔を設けたものや、改造したシュラウドで、強度が不足するものは必ず補強しなければならない。

7) スキー

- (1) 先端に弓形ガードを装着するなど安全を十分に確保しなければならない。
- (2) スキーランナーは丸棒状で、鋭利な形状であってはならない。又、スキー側面を十分にカバーする措置が施されていないなければならない。
- (3) スキー側面は、R形状に丸められていなければならない。
- (4) スキースキンの取り付けは認められるが、スキーとスキーランナーとの間に故意に隙間を設けてはならない。

8) トラック (キャタピラ)

- (1) 本体はゴム製でなければならない。
- (2) 如何なるものも付加してはならない。
- (3) 他機種のトラックを取り付けることはできない。
- (4) トラックを逆付けすることはできない。

9) ブレーキレバー及びスロットルレバー

- (1) ブレーキレバーの末端は安全上丸められていなければならない。
- (2) スロットルレバーは、その先端が安全上丸められていなければならない。

10) ブレーキ

必ず有効なブレーキ機能を備えていなければならない。

11) 取り外さなければならないもの

- (1) ライト類及びガラス類 (ただし、飛散防止を施せば良い)
- (2) キャリア類
- (3) ウィンドシールド



ドラッグレースの仕様

ドラッグレースの基本仕様

01 チタニウム合金

すべての車両についてフレーム、フロントフォーク、ハンドルバー、スイングアーム、スイングアーム・スピンドル、およびホイール・スピンドルの構造にチタニウム合金を使用することは禁止される。ホイール・スピンドルに関しては、軽合金の使用も禁止される。チタニウム合金のナットとボルトの使用は許可される。

03 エキゾースト・パイプ

エキゾースト・パイプはリヤホイールの後ろに伸びてはならない。またライダー、燃料タンク、およびタイヤから離れて放出されるようにする。フレキシブル・パイプは許可されない。

04 ハンドルバー

- 1) ハンドルバーの最低幅は、80ccまでのマシンは最低400mm、80ccを越えるマシンは最低450mmとする。
- 2) ハンドルバーの最低幅はグリップ外側の先端から、反対側のグリップの外側先端までの距離で測定される。
- 3) ハンドルバーの先端が露出される場合は固形物質を詰めるか、ゴムでカバーされていないなければならない。
- 4) ハンドルバーの中心線、または中央位置から両側に対する回転角度は最低各15°以上なくてはならない。
- 5) ストリームライニングがある場合、ハンドルバーの位置がどこにあっても、フロント・ホイールがストリームライニングに接触してはならない。
- 6) ライダーの指が挟まれないようにするために、ハンドルを左右いっぱい切ってもハンドルバー（レバーを含む）と燃料タンクの間、最低30mmの間隔があるように、ストッパー（ステアリングダンパー以外のもの）を取り付けなくてはならない。
- 7) ハンドルバー・クランプは、ハンドルバーが折れやすい部分ができないように丸みをつけて製作しなくてはならない。
- 8) 軽合金ハンドルバーの溶接による補修は禁止される。

05 コントロールレバー

- 1) すべてのハンドルバー・レバー（クラッチ、ブレーキ等）は、原則として端部が丸くなっていなければならない。
- 2) ピボット点からレバーの端（ボール状の先端）まで測った場合のコントロール・レバーの長さは200mmを越えてはならない。
- 3) 各コントロールレバー（ハンドおよびフット・レバー）はそれぞれ独立したピボットを持っており、そのレバー自体のピボットにマウントされていなくてはならない。
- 4) もしブレーキ・レバーがフットレストの軸にピボットされている場合、フットレストが曲がったり、又は変形した場合など、どのような場合でも作動できなくてはならない。

06 スロットルコントロール

- 1) スロットルコントロールは、手を離れた時に自動的に閉じるものでなくてはならない。

予告事項：

-'96年より下記項目が追加される

オートマチック・クラッチを用いるモーターサイクルには、バーンアウトの後でアシスタントがマシンをスターティングラインに押し戻す際に、スロットルが開くのを防ぐための安全装置が装着されていなければならない（ツイストイグリップ・スリーブとハンドルバーにピンを導入し、目立った飾りふさを装着すれば十分）。

07 フットレスト

- 1) フットレストは折りたたみ式でもよいが、この場合は自動的に元の位置に戻る仕組みになっていなくてはならず、さらにフットレストの先端には半径最低8mmの、一体構造のプロテクションが設けられていなくてはならない。
- 2) もしフットレストが折りたたみ式でない場合、及びゴムのカバーを装着していない場合は、その先端を半径最低8mm以上の球状に丸められていなくてはならない。
- 3) フットレストは、前後のホイールの中心を結ぶ線よりも100mm以上、上に設けられていなくてはならない。またリヤ・ホイールの中心を通る垂直線よりも前にはなくてはならない。フットレストはコントロール・ペダルの操作が行いやすい位置にはなくてはならない。

08 ホイール

モーターサイクルにはフロントにモーターサイクル用に製造されたホイールを装備していなければならない。リヤ・ホイールリムの幅はリヤ・タイヤの接地面よりも50mm以上狭くなければならない。

09 タイヤおよびチューブ

タイヤはスリック・タイプまたはトレッドの深さが最低2mmのものとする。トップスピードが200km/hを越えるモーターサイクルの場合、フロント・タイヤは最低“V”レートあるいはロードレース・タイプとする。リヤ・タイヤのチューブは天然ゴム製のレーシングタイプとする。



10 ブレーキ

- 1) モーターサイクルには、各ホイールにひとつずつ、ホイールと同心的に独立して作動する有効なブレーキが装備されていなくてはならない。
- 2) ディスクブレーキの最低直径は175mm、ドラムブレーキの最低直径は150mmとする。500cc以上のモーターサイクルはフロントにディスクブレーキを装備していなければならない。シングルディスクは最低250mm×5mm。ダブルディスクは最低220mm×5mmとする。

11 フロントフォーク

フロントフォークは油圧タイプとする。フォーク・チューブはトップ・フォーク・クラウンより30mm以上突出してはならない。最低ストロークは、50mmとする。フォークがボトムした状態で、ホイール以外のいかなる部分も路面に接地してはならない。

トップ・フォーク・チューブの最低直径は：

350ccを越え750cc以下 28mm

750ccを越え 32mm

12 最低地上高

ライダーがポジションにつき、正当な空気圧で、フォークが完全に圧縮された状態での最低地上高は50mmとする。垂直位置からモーターサイクルを左右に12°づつ傾けることが可能でなければならない。これはホイール以外のいかなる部分も路面に接地しない状態で達成されなければならない。

13 マッドガードおよびホイールプロテクション

- 1) マッドガードはタイヤの両側方に張り出していないてはならない。
- 2) フロント・マッドガードは、ホイールの周囲を最低100°に渡ってカバーしてはならない。この部分において、下記の角度を守っていればホイール自体がカバーされてもよい。マッドガードの前端とホイールの中心を結ぶ線と、ホイールの中心を通る水平線の作り出す角度は45°と60°の間でなくてはならない。マッドガードの后端とホイールの中心を結ぶ線と、ホイールの中心を通る水平線の作り出す角度は20°を越えてはならない。
- 3) リヤ・マッドガードは、ホイールの周囲を最低120°に渡ってカバーしてはならない。リヤ・マッドガードの后端とホイールの中心を結ぶ線と、ホイールの中心を通る水平線の作り出す角度は120°を越えてはならない。
- 4) ストリームライニングがある場合には、マッドガードは必要とされない。ストリームライニングが無い場合にはマッドガードが必要とされる。シートのフェアリングがリヤ・タイヤの外側の垂直接線にまで達している場合には（許容誤差-50mm）、リヤ・マッドガードを装着する必要は無い。

14 ストリームライニング

- 1) ストリームライニングは、ライダーがストリームライニングのパーツを取り外さなくてもマシンに乗り降り出来るようにできていなければならない。また、ライダーがモーターサイクルを操作するのを妨げてはならない。

15 シート

シートはライダーに安全なライディング・ポジションを提供するように作られ、危険なほど不快であってはならない。

16 ナンバープレート

- 1) ナンバープレートは長方形で頑丈な材質で出来ていなくてはならない。最低寸法は285mm×235mmとする。
- 2) 水平面から50mm以上カーブしていないプレートは、カバーされたり曲げたりされてはならない。
- 3) ナンバープレートはモーターサイクルの両側に、外に向かって垂直に固定されなくてはならない。ナンバープレートははっきりと見えるように装着され、モーターサイクルのいかなる部分、またはライダーが自分のシートに座った時に身体で隠れてしまわないようにしなくてはならない。ワイリーバーが付いている車両はワイリーバーに付けることが望ましい。
- 4) 別個のナンバープレートを装着する代わりに、ボディーまたはストリームライニングに同寸法のスペースをつや消し色でペイントするか、あるいは固定してもよい。
- 5) 数字ははっきり読めるように、また太陽光線の反射を避ける為に地の色同様につや消して書かれなければならない。

数字の最低寸法は下記のとおりとする。

数字の高さ	140mm
数字の幅	80mm
ストローク幅	25mm
数字間のスペース	15mm

- 6) 数字は英国式を使用する。「1」は垂直の1本線「7」は水平のラインなしの単純な傾斜線
- 7) 正規のナンバーと混同する恐れのあるその他のナンバープレート、またはマーキングは競技会の開始前にすべて取り外されなくてはならない。
- 8) すべてのナンバープレートの周囲には最低50mmの余白が残され、ここにはいかなる広告も表示されてはならない。この規則に適合していないナンバー・プレートを装着しているモーターサイクルは、車検長に依りレース参加の許可を得ることができない。
- 9) ナンバープレートの地色及び数字の色は下記のとおりとする。

PB (プロストックバイク)	黄地に黒文字
SB (ストックバイク)	白地に黒文字
SS (スーパースプリント)	黒地に白文字

17 ウイリーバー

ワイリーバーの装着が強く勧められる。

18 プロテクティブ・カバー

すべてオープン・トランスミッションにはカバーが設けられ、回転するパーツとの接触が保護される。機械式駆動のコンプレッサーには“ポップ・オフ・バルブ”、インターク・マニフォールドへのゴム製コネクション、または爆発を防ぐための他のデバイスが設けられていなければならない。



技術規則

19 フュエルタンク及びオイルタンク

- 1) 燃料タンクはフレームに安全に固定されていなければならない
- 2) すべてのオイルドレーンボルトは確実に固定され、ドリルで穴を開け、ワイヤーで所定の箇所に固定されなければならない。オイル供給パイプは所定の位置に適切にワイヤー止めされなくてはならない。オイル通路に進入する外部オイル・フィルター及びオイル圧力ラインのスクリューやボルトは、安全にワイヤーロックされなければならない。
- 3) 燃料およびオイル・フィルター・キャップ
燃料およびオイル・フィルター・キャップは、閉じた状態で濡れないようになっていなくてはならない。さらにこれらはいかなる場合においても誤って開くことのないように完全にロックされていなくてはならない。

20 燃料システム

すべてのモーターサイクルには、機械的な燃料シャットオフ・バルブが装着されていなければならない。ポンプによって駆動されるフュエル・インジェクション・システムにはエアロクイップまたは同様のハイプレッシャー・チューブがもうけられていなければならない。イグニッションによって停止できないエンジンの場合、すぐに作動する燃料シャット・オフ・バルブがもうけられていなければならない。これはライダーが両手でハンドルバーを握った状態で操作できなければならない。また、これは、ライダーがモーターサイクルを離れた際にエンジンへの燃料の供給を止めるような構造（どの方向においても作動するように）になっていなければならない。シャットオフバルブはエンジンスタート時に延長された状態で1m以内の長さのコードによって、常にライダーに連結されていなくてはならない。

21 キャブレターとフュエル・インジェクション

キャブレターとフュエル・インジェクター・インレットは、バックファイヤーが生じた際に、ライダーが怪我をしないような位置に置かれるか、覆われていなければならない。フュエル・インジェクションには、デュアル・ケーブルのポジティブ・リターン・スロットル（または2本のリターン・スプリング）が必要とされる。

22 キル・スイッチ

モーターサイクルには、ライダーがモーターサイクルのコントロールを失った時に、エンジンへのすべての電源をカットする電気式接触が装備されていなければならない。これはエンジン始動時には常にライダーにコネクタされていなければならない。

23 オイル・キャッチ・タンク

- 1) オイル・ブリーザー・パイプが装着されている場合、排出口はキャッチ・タンクに放出するようになっていなければならない。（下記の物も安全なようにワイヤー・ロックされていなければならない。リヤ・スプロケット、フロント・アクスル、リヤ・アクスル、ブレーキ・キャリパーのピン、ブレーキ・ディスク、フットブレーキのマスターシリンダー。）
- 2) オイルキャッチタンクはアクシデント発生時でも容易に破損したり脱落せず、かつ高温に耐えられる材質であること。
- 3) キャッチタンクに溜まったオイルはエンジンにもどるリターンパイプを取り付けることが望ましい。……ロードレース基本仕様の図（148頁）参照。

24 チェーン

チェーンはマスターリンクのないクローズド・タイプとする。またはマスターリンクがある場合には安全にワイヤーロックされなくてはならない。

PB(プロストックバイク)クラスの 車両規則 (A級・B級)

01 クラス区分

定義：このクラスはストックの外観（メーカーが一般用に販売したモーターサイクルをドラッグレース用に改造）でガソリンを燃焼するモーターサイクル用のクラスである。

クラス	排気量範囲	2サイクル	4サイクル	最大限気筒数	最大限変速数
プロストックバイク(PB)	無制限	○	○	6	6段

02 出場車両

1) 車両は（市販レーサーを除く）一般生産型車両とする。

03 車両に対して下記事項は仕様の変更が出来ない

- 1) エンジンの型式
- 2) シリンダーの数

04 下記部品は各項の制限内で改造出来る（ドラッグレースの基本仕様に合致すること）

- 42)(2) リヤホイールは交換出来るが下記制限内とする。
最低直径 15インチ 最大直径 18インチ
- 44)(1) フロントホイールは交換出来るが下記制限内とする。
最低直径 16インチ 最大直径 19インチ
- 50)(1) フレームボディ
修正・変更は認められる。但しキャスト角は最大で40°、シート高は最低50cm
- 51)(1) フロントサスペンション
フロントサスペンションユニットは交換出来る。ただしサスペンションストロークは最低35mm。
- 54) カウリング
 - (1) オートバイ用として生産されていなければならない。生産モデルの外見と同じ形をしていなければならない。他のモデルと混じってはならない。
 - (2) パーツの変更は認められるが生産時の形状を維持しなければならない。カウルの両側にブランド名が入っていること。
 - (3) カウルの下部はエキゾーストパイプのクリアランスのために修正及び取り除いてもよい。
 - (4) カウルの外側にエアインタークホースの取り付けは認められない。
 - (5) ヘッドライト、テールライトはエアブラシ等で描かれていること。



ドラッグレースの基本仕様

55) シート・シートカウル

改造変更出来るがライダーが後ろに滑るのを防ぐステップがついていることが望ましい。

05 重量

PBクラスの最低重量は下記とする（半乾燥重量）

最低重量 179kg以上

注) 半乾燥重量とは走行可能な状態から燃料を抜いた値とする。分離給油の場合のオイルは燃料とみなす。

予告事項：'96年度より最低車両重量は下記とする。

ライダーが乗車した状態で600ポンド（272.16kg）

06 車両が下記事項に適合していない場合、改造・変更が義務づけられる

17) 電動式フュエルポンプを装備している場合は、転倒の際にただちにフュエルポンプが自動的に停止する装置を備えていなければならない。

27)(1) エンジンブリーザーのキャッチタンク取り付け（4サイクル車は500cc以上、2サイクルは250cc以上）

36) 灯火器のレンズの処置または取り外し

38) 保安部品（スタンド、バックミラー、補助ステップ、ウインカー類）の取り外し

40) チェーンガード

リヤアクスルを越えてチェーンの上部をカバーすること。

56) すべてのオイルドレンボルト、及び外部のオイル圧力ライン部品へのワイヤーロック。

61) ウイリーバーの取り付け

フロントアクセルセンターからウイリーバーアクセルセンターまでは最大3,300mm以内である事。

07 いかなる場合も禁止される事項

23) シフトは手動またはエアシフターとし、コンピューターによるシフトチェンジは禁止する。

42) リヤホイールスピンドル構造に軽合金を使用してはならない。

44) フロントホイールスピンドル構造に軽合金を使用してはならない。

53) ステアリングダンパーを取りつけた場合ハンドル切れ角のストッパーとしてはならない。

58) 燃料はガソリンとし、アルコール燃料は禁止する。

ロードレース ジュニアクラスの仕様

01 クラス区分

カテゴリー	クラス	排気量範囲	最大限気筒数	最大限変速段数
S P (スーパープロダクション)	50	～50以下	1	6
	80	50を越え80以下	1	6
G P	50	～50以下	1	6
	80	50を越え80以下	1	6

02 出場車両

- 1) 車両は市販レーサーまたは一般生産型車両でMFJが公認したもの。または一般生産型車両をベースとしたSP用コンプリートマシンとしてMFJが公認したもの。
- 2) 車両は国内競技規則及びロードレース基本仕様（第7章）に示されているすべての条項に適合していること。
- 3) ホイールリム直径が16インチ以上で、80cc以下の二輪車。

03 公認車両に対して下記事項は仕様の変更が出来ない

(仕様の変更とはその部品の改造、変更、取りはずしをいう)

- 1) エンジンの型式
- 2) シリンダーの数
- 3) ピストンストローク
- 4) シリンダー（スリーブ及びライナーを含む）、シリンダーヘッド、クランクケース、ギヤボックスの材質、鋳造および形状
- 5) クラッチの構造
- 6) エンジン内部の部品の材質及び寸法形状
- 7) 4サイクルエンジンのバルブの径、バルブのリフト量、バルブタイミング及び圧縮比
- 8) 2サイクルエンジンのシリンダー、ピストンに依るポートタイミング、ポートサイズ、一次、二次圧縮比
- 9) シリンダー、シリンダーヘッドのクランクケースに対する向き
- 10) 吸入、排気系統のシステム、バルブの数、ポートの数、キャブレターの数
- 11) クランクケースカバー類の材質、鋳造、及び形状
- 12) 2サイクルのシリンダー、4サイクルのシリンダーヘッドのポートの寸法、形状
- 13) クランクシャフトアセンブリー、ピストンの材質、寸法、形状
- 14) カムシャフト、バルブ、バルブスプリング、リードバルブアセンブリーの材質、



ロードレースジュニアクラスの仕様

形状、寸法

- 16) キャブレター *ただし04.16)及び08.3)(1)参照
- 17) フュエルタンク
- 22) プライマリーギヤのレシオ、及び寸法形状 *ただし04.22)参照
- 23) ミッションギヤのレシオ、及び寸法形状
- 42) リヤホイール
- 43) リヤブレーキ関係 *ただし04.43)参照
- 44) フロントホイール
- 45) フロントブレーキ関係 *ただし04.45)参照
- 48) タイヤ *ただし08.3)(4)参照
- 50) フレームボディ *ただし04.50)参照
- 51) フロントフォーク *ただし04.51)参照
- 52) リヤフォーク、リヤクッション、リヤクッションリンケージ
- 53) ステアリングステム、トップ、ボトムブリッジ *ただし04.53)参照
- 54) ストリームライニングの形状 *ただし04.54)参照

04 公認車両に対して下記事項の変更が出来るが、ロードレース基本仕様(第7章)に適合していることを条件とする

- 16) キャブレターのセッティング、(取り外し可能なジェット、ニードル、スロットルバルブの範囲) エアーファンネルの取り付け、または寸法の変更。(キャブ本体を除く)
- 22) クラッチディスクの材質とスプリングの諸元
- 25) スタート装置の取り外し
- 27) エアクリーナーボックスの改造
- 43) リヤブレーキパッドの材質と油圧ホースの変更
- 45) フロントブレーキパッドの材質と油圧ホースの変更
- 50) フートレストを含むブラケット、ペダル類の改造、変更
- 51) フロントサスペンションセッティングのためのオイル交換、セット荷重調整
- 53) ステアリングダンパーの取り付け
- 54) カウリングの材質(但しカーボン、ケブラー等高価素材は除く)
- 55) シートカウルの形状、材質(但しカーボン、ケブラー等高価素材は除く)
- 59) すべての部品についての調整・仕上げは自由である。
- 60) 不要なステー類のカットは可(但し軽量化目的の材料カットは除く)

05 重量

クラス	最低限重量
S P	50 77kg
	80 79kg
G P	50 77kg
	80 79kg

最低限重量は半乾燥重量とする。
半乾燥重量とは走行可能状態からガソリンを抜いた値とする。
分離給油の場合のオイルは燃料とみなす。

06 公認車両が下記事項に適合していない場合、改造変更が義務付けられる

16)(1) キャブレターのサイズ (気筒あたりの最大径)

クラス	最大径サイズ
50(S P、G P)	直径18mm相当以下
80(S P、G P)	直径28mm相当以下

- (2) 規制を越えるキャブレター装着車は公認キャブで、かつ規制値以下のキャブレターに交換すること
- 17) 電動式フュエルポンプを装着している車両は、転倒時に自動的に停止する装置を備えていること。
- 19) ラジエターのオーバーフローパイプとキャッチタンクの取り付け (250cc以上)
- 27)(1) エンジンブリーザーのキャッチタンクの取り付け (4サイクル車は500cc以上、2サイクルのギヤボックスからのブリーザー250cc以上)
- (2) 4サイクル車のキャッチタンクからのブローバイガスはエンジンに再吸入させること。
- 32) エンジンキルスイッチの取り付け (ハンドルを握って操作可能な位置にとりつけなくてはならない)。
- 36) 灯火器のレンズの処置または取り外し。
- 38) 保安部品の取りはずし (スタンド、バックミラー、補助ステップ、ウインカー類)。
- 56) エンジンのすべてのオイルドレンボルト、及び外部のオイル圧力ライン部品へのワイヤーロック。

07 いかなる場合も禁止される事項

- 29) 改造・変更に当たって特殊な材料の使用 (チタン合金、カーボン、ケブラー強化繊維等の高価な材料)
(’93年からカーボンサイレンサーも完全禁止)
- 42) リヤホイールスピンドル構造に軽合金の使用
- 44) フロントホイールスピンドル構造に軽合金の使用
- 48) タイヤへの追加工
- 53) ステアリングダンパーを取りつけた場合、ハンドル切れ角のストッパーとしての使用。
- 58) ガソリンの仕様及び供給方法は制限される。(ガソリン・オイル・クーラントの項141頁、ロードレース規則51頁参照)

08 MFJへの公認手続、条件

- 1) 車両は一般公道用として定められた台数以上を出荷し発売日が明確になっていること、または市販レーサーとして定められた台数以上を出荷し発売日が明確になっていること。

	国産車	輸入車
一般生産型車両	500台	25台
市販レーサー	25台	10台

*SPコンプリート車は、ベースとなる車両が公認を取得していること。台数の制限はない。



技術規則

ロードレースジュニアクラスの仕様

- 2) 技術委員会は毎月第4火曜日に開催され、そこで公認された車両はすでに発売されている車両の場合は会議日から2ヵ月後の同日付きて公認発行する。発売日が会議日以降の場合は発売日の2ヵ月後の同日付き出公認発行とする。但し市販レーサー、SPコンプリート車は各々1ヵ月後とする。
- 3) 申請する車両は以下の仕様に適合していることを条件とする。
- (1) キャブレターのサイズ (気筒あたりの最大径)

クラス	最大径サイズ
50(S P、G P)	直径18mm相当以下
80(S P、G P)	直径28mm相当以下

注) キャブレターのサイズとはキャブレターの吸入混合気通路の最小断面部分の面積が上記サイズ相当以下であること。この場合、ジェットニードル、バタフライシャフト、バルブ、スロットルバルブ等の形状、断面積は考慮されないものとする。

- (2) ホイールリムのサイズ
直径は16インチ以上であること。

クラス	最大幅フロント	最大幅フロント
50(S P、G P)	2.15インチ	2.75インチ
80(S P、G P)	2.15インチ	2.75インチ

- (3) タイヤはメーカーのラインで装着されている50/80ccクラスの一般公道用タイヤで、上記リムサイズに適合しているもの。
- (4) 01条のクラス区分内にあること。

09 音量規定

FIM方式で測定し99dB/A以下であること。
レース終了後は3 dB/Aの誤差値が認められる。

10 互換性

フレーム打刻型式とエンジン打刻型式が同一のモデル内にある場合は一切の追加加工なしで単品またはアッセンブリーで組みつけ可能な部品は相互に交換が認められるが、'93年1月1日以降の公認車両同士に限られる。

注) コンプリートマシンはベースマシンと型式が異なるが互換性が認められる。
(コンプリートマシンのベース機構の打刻型式に基づき判断される。)

ミニバイクの仕様

01 クラス区分

クラス	排気量範囲	2サイクル	4サイクル	最大排気筒数	最大限定速度数
N 5 (スクーター50cc一部改造)	50cc以下	○	○	1	6
S 5 (スポーツバイク50cc一部改造)	50cc以下	○	○	1	6
S 8 (スポーツバイク80cc一部改造)	50ccを越え80cc以下	○	○	1	6

02 出場車両

- 1) 車両は(市販レーサーを除く)一般生産型車両でMFJが公認したもの。

03 公認車両に対して下記事項は仕様の変更が出来ない

(仕様の変更とはその部品の改造、変更又は取りはずしを言う)

- 1) エンジンの型式。
- 2) シリンダーの数。
- 3) ピストンストローク。
- 4) シリンダー(スリーブ及びライナー含む)、シリンダーヘッド、クランクケース、ギヤボックスの材質・鋳造及び形状。
- 5) クラッチの構造(但しディスクの材質とスプリングは除く) - 04.22参照。
- 6) エンジン内部の部品の材質。
- 7) 4サイクル車のバルブの径、リフト、タイミング及び圧縮比。
- 8) 2サイクル車のシリンダーピストンに依るポートタイミング、ポートサイズ、一次、二次の圧縮比。
- 9) シリンダー、シリンダーヘッドのクランクケースに対する向き。
- 10) 吸入、排気系統のシステム、バルブ数、ポート数、キャブレター数。
- 11) クランクケースカバー類の材質・鋳造および、形状。
- 12) シリンダー、シリンダーヘッド。
- 13) クランクシャフトアッセンブリー、ピストン。
- 14) カムシャフト、バルブ、バルブスプリング、リードバルブアッセンブリー。
- 16) キャブレター(メインジェットのみ変更可)。
- 17) フュエルタンク。
- 22) プライマリーギヤ。
- 23) ミッション。
- 27) ブリーザーシステム。
- 42) リヤホイール。
- 43) リヤブレーキ関係。



- 44) フロントホイール。
- 45) フロントブレーキ関係。
- 50) フレームボディ。
- 51) フロントフォーク。
- 52)(1) リヤフォーク。
- (2) リヤサスペンション。
- 53) ステアリングシステムを含むボトムブリッジ、トップブリッジ。
- 54) ストリームライニング。

04 公認車両に対し下記事項の変更が出来るが、ロードレース基本仕様（第7章）には適合していることを条件とする

- 16)(1) キャブレターのメインジェットの変更は可。
- (2) ゼッケンプレート、メーター、シート等の取り付けのためのステーの追加ができる。
- 30) イグニッションコイル、点火ユニット、リミッターの改造・変更は可。
- 31) プラグの変更は可。
- 36) スピードメーターの取りはずしは可。
- 40) チェーンの変更は可。
- 41) スプロケットの変更は可。
- 48) タイヤ
一般市販され通常ルートで購入出来るもののみ交換は可。ただし、スリックタイヤ（インターメディアエイト含む）および摩耗限度を越えたタイヤの使用は禁止。

06 公認車両が下記事項に適合していない場合、改造・変更が義務づけられる

- 32) エンジンキルスイッチの取り付け（ハンドルを握って操作可能な位置に）
- 36) 灯火器のレンズの処置または取り外し
- 38) 保安部品（スタンド、バックミラー、補助ステップ、ウインカー類）の取り外し
- 56) すべてのオイルドレンボルト、及び外部のオイル圧力ライン部品へのワイヤーロック

07 いかなる場合も禁止される事項

- 29) 改造・変更に当たって特殊な材料の使用（チタニウム合金、カーボン強化繊維等の高価な材料）
- 42) リヤホイールスピンドル構造に軽合金を使用してはならない。
- 44) フロントホイールスピンドル構造に軽合金を使用してはならない。
- 48) タイヤへの追加工
- 53) ステアリングダンパーを取りつけた場合、ハンドル切れ角のストッパーとしてはならない。
- 58) ガソリンは通常のスタンドで購入できるか各サーキットのスタンドで購入できるレースガス又はアブガスに限る。

08 MFJへの公認手続き・条件

- 1) 車両は一般公道用として定められた台数以上を出荷し発売日が明確になっていること。

		国産車	輸入車
一般生産型車両	250cc以下	500台	25台

- 2) 技術委員会は毎月第4火曜日に開催され、そこで公認された車両はすでに発売されている車両の場合は会議日から2ヵ月後の同日付けて公認発行。発売日が会議日以降の場合は発売日の2ヵ月後の同日付けて公認発行する。

09 音量規定

FIM方式で測定し99dB/A以下であること。
レース終了後は3dB/Aの誤差値が認められる。

10 互換性

フレーム打刻型式とエンジン打刻型式が同一のモデル内にあつては一切の追加加工なしで単品またはアッセンブリーで組みつけ可能な部品は相互に交換が認められる。

'92年度までに公認を受けた車両は互換性の対象から外される。

('93年1月1日以降の公認車両同士に限られる)



技術規則

付 録

SUPPLEMENT

- ▼ドラッグレース競技細則207
- ▼全日本選手権特別規則214
- ▼MFJライセンス昇格・降格に関する規則 217
- ▼MFJ共済会制度223
- ▼MFJ公認車両・部品・用品224
- ▼全国公認サーキット239
- ▼歴代チャンピオン242

ドラッグレース 競技細則

1 適用の範囲

以下に記す規則は、国内競技規則に基づき、すべての国内のドラッグレース競技会に適用される（世界選手権を除く）

2 ドラッグレース

- 1) 完全にクローズドされたサーキットで行われる。2台の車両がE.T.（直線の区間タイム）を競う。シグナルによるスタートとし、先にゴールラインを通過した者が勝者となる。また、単にE.T.（直線の区間タイム）だけを競う競技もある。国内競技規則および細則により運営、管理される。
- 2) 区間タイムについては下記2種類がある。
 - ① SS1/4マイル（402.33m）
 - ② SS1/8マイル（201.165m）

3 レース出場車両

- 1) 一大会において同一車両を複数の種目のレースに使用することはできない。
- 2) 一大会において同一車両を複数のライダーが使用することはできない。

4 参加資格

- 1) エントラント及びライダー
エントラント及びライダーは、1995年度版MFJ国内競技規則第3章(◎競技参加者)に合致していなければならない。

5 出場申込

- 1) 出場申込場所は、大会特別規則の定めるところとする。
- 2) 出場申込手続き
 - (1) 各部門とも所定の申込書に必要事項をすべて記入し、出場料およびMFJ共済会掛金を添えて大会事務局に提出しなければならない。
 - (2) 2クラス以上に出場を申し込む場合は、別々に、申し込み書を提出しなければならない。
 - (3) 郵送の場合は、現金書留又は主催者の定める方法とし、締め切り当日の消印のあるものが有効となる。
 - (4) 電話による申込及び締め切り日以降の申込は一切受けない。



6 参加受理

- 1) 必要事項を記入した出場申込書、金額を大会事務局が受理した時点で、参加受理書が発送される。
- 2) いったん受理された出場料、MFJ共済会掛金はいかなる理由があっても返還されない。公式予選を通過しなかった場合も同様である。
- 3) 大会が取り止めになった場合、また参加が拒否された場合にのみ出場料、MFJ共済会掛金が返還される（申込者が必要な手続きを怠った場合は、これにあてはまらない）。

7 ゼッケン・ナンバー

- 1) 主催者によってナンバーが割り当てられ、参加受理書に記入して通知される。
- 2) ゼッケン・ナンバーは、車両検査までに規定の書体および色分けで記入しておかなければならない。
- 3) ゼッケン・ナンバーについては、車両検査時に検査され、判読しにくいと判断された場合には修正が要求される。
- 4) 最初に決められたゼッケン・ナンバーは、年度末まで変更できない。

8 ライダーの装備

- 1) ヘルメット
 - (1) ヘルメットはフルフェイス型のもので、MFJが公認したものでなければならない。
 - (2) MFJの公認したヘルメットには、下記の認証マークが貼付される。
 - (3) 競技会の車両検査受付時に、ヘルメットの検査が行われる。MFJの公認したヘルメットでも、検査に合格しなかったヘルメットは、当該ライダーの安全上その使用を禁止する
 - (4) MFJ公認ヘルメットであっても、MFJの公認マークの貼付されていないヘルメットについては、特別検査料（1,000円）を支払い、特別に検査を受けなければならない。
- 2) ライダーの服装
 - (1) レーシングスーツ
 - ① 皮もしくは、同等の素材であること。MFJ公認スーツが望ましい。スーツはワンピースデザインもしくはウエストでつながるジッパータイプ。



MFJが公認したレーシングスーツには、シルバー地の公認マークが付いている。

- (2) ブーツ・グローブ
 - ブーツはくるぶしが完全に覆われるもので、皮製、サイドボタンタイプ。
グローブは、手を覆うサイドボタンタイプ。
- 3) 競技中のライダーは、難燃性の素材を使用した肌着を着用しなければならない。

9 出場受付

- 1) 出場受けの時間および場所は、公式通知に示される。
- 2) 定められた時間内に、必ず本人または参加者がMFJライセンス、参加受理書を提出して出場資格の確認を受けなければならない。
- 3) MFJライセンスまたは参加受理書の提示ができない者は、出場が認められない。

10 出場車両の変更

- 1) 車両の変更は国内競技規則・第3章(⑩ライダーおよび車両の変更)による。
- 2) 車両変更の申請は、同部門・同クラスの車両に限られ、手数料5,000円を添付して大会事務局に申請しなければならない。

11 車両および装備の検査

- 1) 車両検査は、公式通知に示されたタイムスケジュールに従って、パドック内の車両検査区域において行われる。
- 2) 車両検査の車両は、ライダー本人が特参し、必ずタイムスケジュールに示された時間内に検査を済ませなければならない。これ以後の検査は大会審査委員会が、不可抗力な事情によるものとして特別に認めた場合以外は行われない。
- 3) ライダーは、車両仕様書を提出し、装備品一式の検査を受けなければならない。
- 4) 車両検査持ち込み台数は、地方選手権および地方大会は出場1レースにつき1台に限られる。
- 5) 車両検査において、規則違反または安全上出場が不適当と判断された車両は、公式予選を含む一切の走行を拒否される。
- 6) 主催者は、大会期間中、必要に応じて随時車両検査を行うことがある。

12 公式予選

- 1) 公式予選
 - (1) 公式予選は、原則として各クラス別に行われる。
 - (2) 公式予選日の日程および時間は、特別規則書に示される。
 - (3) 公式予選はタイムトライアル方式とする。
 - (4) 全ての競技車は、セルフスタートし、セルフステージしなければならない。
 - (5) 公式予選で同タイムが出た場合は、トップスピードの記録が良い方が予選順位が上位となる。
- 2) 公式予選の内容
 - (1) レースに出場する全てのライダーは、必ず公式予選に参加し、最終的に出場資格を取得しなければならない。
 - (2) 2種目以上に出場するライダーは、出場全種目の公式予選に出場しなければならない。
 - (3) 最終的な予選選出方法は、大会審査委員会の決定による。
- 3) 予選通過者で出場不可能となった者は、すみやかにその旨を届けなければならない。
- 4) レース出場が不可能となったことを届け出たライダーがあった場合、予選タイムを基準として繰り上げる場合がある。(スタート前チェック時間内に連絡のないライダーはリタイヤとみなす)。



5) ラダー（トーナメント方式）

(1) トーナメント

予選タイムでラダーポジションが決められる。1度ラダーペアリングが決まった場合は、主催者が必要としない限り変更はできない。16台分のラダー時に14台しか参加していない場合は、14台分のラダーを使用する。

(2) タイムトライアル

タイムトライアルによるクラスの場合は最大で、3ヒートまでとする。

13 決勝レース出場台数

1) 決勝レース出場台数は、特別規則に示される。

14 スタート方法及びレース
(スターティングシステム別紙)

1) スタート方法

(1) スタンディングスタートとしスタンディングシステムは、プロスタートとストックスタートがある。スタート方法は特別規則および公式通知によって発表する。

2) スターティングシステム

(1) プロスタート

クリスマスツリーの3黄色、全ての黄色ライトは同時に作動（点灯）し、グリーンライトまでのディレイ（間隔）は、0.4秒。

(2) スtockスタート

クリスマスツリー、3黄色のカウントダウンを利用し黄色ライトとライトのディレイは、0.5秒。

3) レース

(1) 予選によりラダーポジションを決定し、先にゴールラインを通過した者が次のラダーへ進む。最大で4ヒート行う。タイムトライアルによるレースの場合は、E.T.の速い者を上位とする。同タイムの場合は、トップスピードによって決定される。更にトップスピードが同一の場合は前のヒートE.T.によって決定される。

(2) バーンアウト

レースのバーンアウトは指定された場所により制限する。競技者がバーンアウト時に壊れて後ろにさがれない、もしくは後ろに押せない場合、コース上でUターンをしスタートラインに戻ることは禁止。バーンアウト時にセンターラインを越えることは失格ではない。

バーンアウト規制は、スタート審判員の判断による。

(3) ステージング（スタート準備、および方法）

① コースインした時点でレーススタートの準備ができていなければならない。

② 競技車は、セルフスタートし、セルフステージしなければならない。

この規則は1台で走行する場合も同じでブッシュスタートや、ブッシュステージは禁止。

車両のエンジン動力で行うこと。

③ ライダーがステージングライン（スタートライン）と競技車の位置を確かめるために機械や電子装置を使用してはいけぬ。競技車の位置を確かめるためには肉眼のみ認める。

④ スタートするためにはステージライト、プレステージライトの両方が点灯して

いなければならない。スタート前にステージラインを越えた場合は失格となる。但し競技の最終ヒートの場合、両者がステージラインを越えた場合のみ再スタートとなる。

- ⑤ ステージングする場合、両者ともステージビームに前進するまえにプレステージライトを作動させなくてはならない。ステージするために適度な時間が与えられる。タイムリミットは、スタート審判員の判断とする。
- ⑥ スタート審判員の指示通りステージしない場合は失格となる場合がある。
- ⑦ ステージを完了し、スタート審判員のゴーサインがでた後にステージし直すのは禁止する。
- ⑧ スタートシステムが作動する前に、スタートラインを越えた場合と、スタート審判員に指示された者はそのヒートのタイムは無効となる。

(4) シングルラン

ライダーが1台で走る場合、ステージしスタートシグナルを受けた時点で勝者とみなされる。シングルランで競技車がレーン判断のため、センターラインを越えた場合のタイムは無効となる。

15 コース選択

- 1) コースの選択は、コースイン順に競技役員の指示に従って行われる。
- 2) トーナメントの場合は、前のヒートのタイムの良い方(予選含む)に選択権がある。

16 勝者の判定

- 1) タイムトライアル
2台ずつ同時にスタートし2回～3回のE.T.(区間タイム)のベストタイムによって順位付けされる。
- 2) トーナメント
2台同時にスタートし先にゴールラインを越えた者が勝者となる。タイムの発表は、E.T.のみとする。
- 3) E.T.(区間タイム)は、SS1/4マイル(402.33m)もしくはSS1/8マイル(201.175m)によって競われる。
- 4) グリーンランプ点灯後5秒以内にスタートしない者は当該ヒート無効とする。
- 5) スタート後1分を経過してゴールラインを通過できない車両は当該ヒート無効とする。

17 計 時

- 1) 計時はスタートからフィニッシュまでの所要時間を1/1000秒単位まで計測を行う。
- 2) 競技会の計測は、原則として光電管装置を使用してその計測値を記録する。計測装置の故障、事故等の場合は、ストップウォッチにて1/10秒まで計測する。

18 失 格

- 1) 競技車両はバーニアアウト上で故障した場合、車両を後退させることができない場合、コース上を旋回してスタートラインまで戻るとは許されない。
- 2) スタート前にエンジンが停止した場合、エンジンの再始動は1回のみ認められる。
- 3) コース上に記されたラインを越えた場合は失格。ラインを越えるとは、タイヤの



1部でもラインの塗装上を越えた場合、ガードレール、バリア、あるいはその他の設備、(スタートシグナル、タイム計測設備、パイロン等)

- 4) 対戦相手との接触を避けるため、意図してラインを越えた場合は、失格にはならない。
- 5) 競技役員の許可なしにコースを逆走することは認められない。
- 6) パドック内、ゴール後のリターンロードでは、最低速度を維持しなければならない。これに違反した者は失格となる。

19 リタイヤ(棄権)と停止

- 1) リタイヤと停止は、国内競技規則・第3章(⑩競技)による。
- 2) ライダー本人が負傷その他の理由でリタイヤ届を提出できないときには、競技役員の判定によりリタイヤと認めることができる。

20 優勝者、入賞者順位、賞典の制限

- 1) トーナメントの場合
16台の場合最大4ヒート行い、決勝ヒート(第4ヒート)で勝者となったものが優勝者となり、第4ヒートの敗者が2位、3位は、第3ヒートの敗者でE.T.の良い者。以下これに準ずる。
出走台数が16台以下であってもこれに準じ、32台の場合は最大5ヒートとなる。
トーナメントの途中で競技の続行が不可能となった場合は、その時点で完全に終了しているヒートの勝者からタイム順で順位をつけ、次にヒートの敗者からタイム順で順位をつけ、順位を決定する。
- 2) タイムトライアルの場合
2回~3回のタイムトライアルの1番良いタイムをマークした者が優勝者となり、以下これに準ずる。同タイムの場合は、トップスピードの速い者を上位とする。
- 3) 賞典および制限は、各大会の特別規則に記載される。

21 レース終了後の車両保管と再車検

- 1) 上位入賞車両は、所定の位置より競技役員の誘導に従って車両保管区域へ入らなくてはならない場合がある。
- 2) エンジンを分解して排気量を測定するほか、規定を越える改造などについて再車検を行うことがある。
- 3) 出場者は、必要に応じて車両保管を行うことがある。

22 レースの成立

各クラスの参加者が全員1回のランを終了していれば(予選を含む)その時点で競技は成立する。その場合の順位決定は、E.T.(区間タイム)によって速いものから順位づけされる。

クラスの全車とはタイムテーブルに記載されている時間内に走行した者、また競技役員の指示によりコースインを完了した者を言う。この場合抗議は一切受けられない。

23 レースおよび大会の延期・中止等

- 1) 大会は原則として本規則に発表した日程から変更または延期されることはない。
- 2) レースまたは大会が参加申込後に中止された場合、参加者が支払った出場料、MFJ共済会掛金は返還されるが、他の一切の損害賠償を主催者に請求することはできない。

24 抗議

- 1) 抗議は、国内競技規則・第3章〔㉔抗議〕(37頁)による。
- 2) 車両の分解検査に要した費用は、その抗議が不成立の場合は抗議提出者、成立した場合には抗議対象者が支払わなければならない。この車両の分解等に要した費用は車検長が算定する。

25 違反に対する罰則

競技規則による違反行為に対する罰則は、国内競技規則・第3章〔㉕違反行為に対する罰則〕(38頁)による。

26 本規則の解釈

本特別規則および競技に関する疑義は事務局宛に質疑をすることができる。なお、この回答は、大会審査委員会の解釈、決定が最終的なものとして示される。

27 本規則の施行

本規則は、各競技大会の参加申込受付日より有効となる。なお本規則に示されていない事項は国内競技規則による。

附 則

1. 本規則は、1995年1月1日から施行する。



'95全日本 ドラッグレース選手権 特別規則

1 公 示

全日本ドラッグレース選手権は、FIM国際スポーツ憲章に基づいたMFJ国内競技規則と各大会の特別規則に基づきMFJ公認の国内格式として開催される。

2 開催種目と競技会の日程

- 1) 開催種目は下記とする。
ドラッグレースライセンスA級 プロストックバイク (PB)
- 2) 競技会の日程は巻末に示す。
- 3) ドラッグレースA級所持者であっても全日本選手権に出場するためには、一定の制限が設けられる場合がある。

3 追加のクラス

全日本選手権には併催クラスが追加されてもよい。但し下記の条件が満たされなければならない。パドックが充分広く、主催者が全日本選手権のレースを優先させ規定の予選・決勝レースを設定できること。

4 コース

コースはMFJが国内公認したコースとする。

5 大会審査委員会

- 1) 大会審査委員長は、MFJが任命する。
- 2) 任命された審査委員長が定時までには会場に到着しない場合は次席の者がこれにあたる。

6 参加定員

制限が設けられる場合がある。

7 出場料およびMFJ共済会掛金

出場料：1クラス	35,000円
MFJ共済会掛金 1人1口	2,000円
JDRA共済掛金	3,000円
合計	40,000円

8 ピット要員

- 1) 1ライダーに対して3名のピットクルーが認められる。いずれもピットクルーライセンスが必要である。エントリー時に申請が必要であり、当日の変更は可能であるが追加は認められない。

9 ゼッケンナンバー

- 1) 前年度全日本選手権の有得点者には当該クラスのランキング順位に従って年間指定ゼッケンナンバーが与えられる。
- 2) その他のライダーには大会ごとに主催者からゼッケンナンバーが指定される。

10 公式予選

- 1) 公式予選は、タイムトライアル方式により最低1回行う。

11 決勝レース

- 1) 16台によるトーナメント（勝ち抜き方式）によって行われる。また参加台数によって32台のトーナメントを行う場合がある。

12 コース選択

- 1) コース選択は、経過タイムにより決定する。予選のE.T.（直線の区間タイム）の速い方が第1ヒートのレーン選択ができる。続くヒートでは、前回のヒートの速い方がレーン選択ができる。同タイムの場合は、トップスピードの速い者が優先される。

13 賞および得点

- 1) 賞の詳細については公式通知に示される。
- 2) 得点は国内競技規則第3章「24. 公式得点」によって与えられる。
 - (1) 大会を通じてベストタイム（予選を含む）をマークしたライダーに2ポイント追加される。
 - (2) コースレコードを樹立した場合2ポイントが追加される。
 - (3) 最終戦は、上記ポイントに2ポイント追加される。
- 3) MFJのスポーツ国籍以外の選手については賞典は与えるが、全日本選手権の得点が与えられない。（但し下位の繰り上げは行わない）
- 4) 全日本選手権のランキングは上記得点の総合計によって決定される。
- 5) 大会の測定区間がSS1/4マイル未満で行なわれた場合の得点は下記とする。
1位：15点、2位：12点、3位：10点、4位：8点、5位：6点、6位：5点、7位：4点、8位：3点、9位：2点、10位：1点。

14 主催者の権限

- 1) 参加申込みの受付に際して、その理由を示すことなく、参加者、ライダー、ピットクルーを選択あるいは参加を拒否することができる。
- 2) 競技監督が必要と認めた場合、ライダーに対し、指定医師による健康診断書の提出を要求し競技出場の健康上の理由による可否を最終的に決定することができる。
- 3) 競技番号の指定、あるいはピットの割り当て等にあたり、各参加者の優先順位を決定することができる。



- 4) やむを得ざる理由により、公式プログラムの印刷に間に合わなかったライダーの指名登録又は変更について許可することができる。
- 5) すべての参加者、ライダーピット要員およびその参加車両の音声、写真、映像など報道、放送、出版、ビデオ等に関する権利を有し、この権限を第3者が使用することを許可できる。

15 本規則の施行

本規則は、各競技会の参加申込受付日より有効となる。なお本規則に示されていない事項は国内競技規則による。

1995年度 MFJ全日本ドラッグレース選手権シリーズカレンダー

開催日	大会名	出場申込先	出場申込期間
5月5日(日)	MFJ全日本ドラッグレース選手権シリーズ 第1戦FISCO大会	日本ドラッグレース協会(JDRA) 〒205 東京都羽村市緑が丘4-10-16	3月29日(水) ～
	富士スピードウェイ	RRC内 ☎0425-55-0462	4月5日(水)
5月14日(日)	MFJ全日本ドラッグレース選手権シリーズ 第2戦仙台ドラッグレース大会	日本ドラッグレース協会(JDRA) 〒205 東京都羽村市緑が丘4-10-16	4月7日(金) ～
	日本ドラッグレースウェイ	RRC内 ☎0425-55-0462	4月14日(金)
8月6日(日)	MFJ全日本ドラッグレース選手権シリーズ 第3戦仙台ドラッグレース大会	日本ドラッグレース協会(JDRA) 〒205 東京都羽村市緑が丘4-10-16	6月29日(水) ～
	日本ドラッグレースウェイ	RRC内 ☎0425-55-0462	7月6日(水)
8月27日(日)	MFJ全日本ドラッグレース選手権シリーズ 第4戦FISCO大会	日本ドラッグレース協会(JDRA) 〒205 東京都羽村市緑が丘4-10-16	7月20日(水) ～
	富士スピードウェイ	RRC内 ☎0425-55-0462	7月27日(水)
9月17日(日)	MFJ全日本ドラッグレース選手権シリーズ 第5戦仙台ドラッグレース大会	日本ドラッグレース協会(JDRA) 〒205 東京都羽村市緑が丘4-10-16	8月10日(水) ～
	日本ドラッグレースウェイ	RRC内 ☎0425-55-0462	8月17日(水)
10月15日(日)	MFJ全日本ドラッグレース選手権シリーズ 第6戦仙台ドラッグレース大会	日本ドラッグレース協会(JDRA) 〒205 東京都羽村市緑が丘4-10-16	9月7日(水) ～
	日本ドラッグレースウェイ	RRC内 ☎0425-55-0462	9月14日(水)
11月12日(日)	MFJ全日本ドラッグレース選手権シリーズ 第7戦FISCO大会	日本ドラッグレース協会(JDRA) 〒205 東京都羽村市緑が丘4-10-16	10月5日(水) ～
	富士スピードウェイ	RRC内 ☎0425-55-0462	10月12日(水)

細則 9

MFJライセンス 昇格・降格に関する 規則

1 目的

本規則は、(財)日本モーターサイクルスポーツ協会(以下MFJという)が発給管理する競技ライセンスの昇格・降格に関して規定し、モーターサイクル競技の公正を図ることを目的とする。

2 自動昇格

1) 自動昇格とは

- (1) 下記に述べる期間内に規定の得点または順位を得た場合、ライセンスは上位区分に昇格する。自動昇格者にはMFJより昇格が通知される。
- (2) 昇格後のライセンス区分が有効になるのは翌年の1月1日からとする。(’94年の成績で昇格した場合’95年1月1日からの有効とする。)

3 ’95年度の自動昇格対象期間

’95年度の自動昇格対象期間は1995年1月1日から1995年10月31日までとする。

4 自動昇格に必要な得点

- 1) 自動昇格に必要な得点(ポイント)は公認競技会の格式別にその成績に応じて下記のように与えられる。
- 2) ジュニア部門の公認競技会における得点(ポイント)は競技会の格式にかかわらず下記②その他の公認競技会の得点(ポイント)とする。

①全日本選手権・エリア選手権および地方選手権競技会

順位	得点	25	21-24	20	18-19	16-17	14-15	12-13	10-11	8-9	6-7	5	0-4
1位	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	不成立
2位	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17
3位	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	
4位	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13		
5位	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11			
6位	10	10	10	10	10	10	10	10					
7位	9	9	9	9	9	9							
8位	8	8	8	8	8								
9位	7	7	7	7									
10位	6	6	6										
11位	5	5											
12位	4	4											
13位	3												
14位	2												
15位	1												

②その他の公認競技会(トライアルは除く)

順位	予選出場台数					
	12以上	10-11	8-9	6-7	5	0-4
1位	10	10	10	10	10	不成立
2位	9	9	9	9	9	
3位	8	8	8	8	8	
4位	7	7	7	7		
5位	6	6	6			
6位	5	5	5			
7位	4	4				
8位	3	3				
9位	2					
10位	1					

注：出走台数は、そのクラスの決勝レースのスタートラインに並んだ台数とする。ただし、公式予選がある場合は、予選のスタートラインに並んだ総台数とする。



付録

5 ロードレースライセンスの昇格

1) ジュニア→国内

- (1) ジュニアライセンスにてGP50・GP80クラスにて優秀な成績をおさめ昇格を希望するものは当該シリーズの主催者ならびに所属県協会の推選を得て申請しMFJスポーツ委員会で認められた場合昇格できる。当該年度に16歳になる者はフレッシュマンとなる。
- (2) 昇格した後も16歳に達するまでは参加できるクラスは原則的に下記を上限とする。
GP125、SP250F（この解除を希望する場合は、親権者の承諾書を添えてスポーツ委員会に申請し許可を得ること）

2) フレッシュマン→国内

下記条件のいずれかを満たし申請することにより国内ライセンスが随時取得できる。

- (1) 公認サーキットでの3時間走行証明を得る（複数のサーキットでの合計は不可）。
※走行証明の有効期間は発行より1年間。
- (2) 承認ロードレース競技会にて6位以内の成績を納めること。（過去2年以内）
- (3) 承認ロードレース競技会に過去2回以上参加した実績を有する。（過去2年以内）
- (4) 国内ライセンス講習会を受けること。
※講習会終了証の有効期限は6ヶ月。

3) 国内→国際

国内ライセンスから国際ライセンスへの昇格

1. 毎年1月～10月に開催された各地方選手権のGP125/250で下記の得点（ポイント）で自動昇格。

（SP250/400にて下記のポイントを得た場合は希望者のみ昇格できる。）

北海道(HSP選手権、十勝選手権の合計)	60点以上
SUGO選手権	50点以上
仙台選手権	50点以上
エビス選手権	50点以上
関東選手権(筑波・富士・那須・間瀬)	50点以上
間瀬選手権	60点以上
鈴鹿選手権	50点以上
中山選手権	60点以上
西日本選手権(MINE)	50点以上
T6選手権	60点以上
四国選手権(阿讃)	60点以上
九州選手権(HSR九州・SPA直入・大分阿蘇RP)	60点以上

2. エリア選手権のGP125/250/スーパーバイクで獲得ポイントが30点以上の者
（SPクラスで30点以上の者は申請により昇格できる）

6 モトクロス・ライセンスの昇格

1) ジュニア部門→国内B級部門

- (1) 公認競技会において各地方で下記に示す得点以上を獲得し、昇格申請を提出し

た者。(複数のブロックにまたがる得点の合計はしない)。注：得点は格式にかかわらず細則9の4自動昇格に必要な得点(217頁)に順ずる。(当該年度に16歳になる者は国内B級となる)

地方	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州
得点	20	20	20	20	20	20	20	20

(2) 上記の基準と同等以上の技量を持つ者と判断され、県協会およびブロックの承認推薦された者で、MFJスポーツ委員会が承認した者。

(3) MFJスポーツ委員会が特に必要と認め承認した者。

2)国内B級部門→国内A級部門

(1) 公認競技会において各地方で下記の得点を得た者(複数のブロックにまたがる得点の合計はしない)。

地方	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州
得点	40	40	30	30	30	40	50	30

(2) 上記の基準と同等以上の技量を持つ者と判断され、県支部およびブロックの承認推薦された者で、MFJスポーツ委員会が承認した者。

(3) MFJスポーツ委員会が特に必要と認め承認した者。

3)国内A級部門→国際B級部門

(1) 公認競技会において各地方で、下記の得点以上を得た者。

地方	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州
得点	80	85	50	50	50	60	100	50

(2) 前記の基準と同等以上の技量を持つ者と判断され、県支部およびブロックの承認推薦された者で、MFJスポーツ委員会が承認した者。

(3) MFJスポーツ委員会が特に必要と認め承認した者。

4)国際B級部門→国際A級部門

(1) 全日本選手権ランキングで、各クラス1位から15位にランクされた者。

(2) MFJスポーツ委員会が特に必要と認め承認した者。

7 トライアル・ライセンスの昇格

1)ジュニア部門→国内A級部門

(1) ジュニア部門は国内B級部門との混走が認められ、国内B級とジュニア部門の参加者が合計10名以上の公認競技会において下記成績を得た者。(当該年度に16才になる者は国内B級となる)

① 国内B級・ジュニア部門混走で合計参加者が29名以下の公認競技会で総合優勝した者(国内B級・ジュニア部門が同セクション、同ラップ数で行われた場合のみ)。

② 国内B級・ジュニア部門混走で合計参加者が30名以上の公認競技会で総合優勝者および2位の者(国内B級・ジュニア部門が同セクション、同ラップ数で行われた場合のみ)。

(2) その他、上記の基準と同等以上の技量を持つ者と判断され、県支部の承認推薦された者で、MFJスポーツ委員会が承認した者。

(3) MFJスポーツ委員会が特に必要と認め承認した者。



2)国内B級部門→国内A級部門

- (1) 国内B級部門参加者10名以上の公認競技会において下記の成績をおさめた者。
- ① 国内B級部門で参加者29名以下の公認競技会において国内B級部門での優勝者(次の大会より国内A級部門で出場すること)。
 - ② 国内B級部門で参加者30名以上の公認競技会において、国内B級部門での優勝者および2位の2名の者(次の大会より国内A級部門で出場すること)。
- ※(1)(2)においてジュニア部門と混走の場合、成績は総合成績とし、人数の繰り上げは認められない。
- (2) その他、上記の基準と同等以上の技量を持つ者と判断され、県協会およびブロック承認推薦された者で、MFJスポーツ委員会が承認した者。
 - (3) MFJスポーツ委員会が特に必要と認め承認した者。

3)国内A級部門→国際B級部門

- (1) 各ブロックごとの地方選手権(10月31日まで)において、下記の人数で得点上位の成績を得た者。ただし、同点者のある場合は、この人数を超えることができる。

地方	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州
人数	2	5	15	10	10	6	5	7

- (2) 上記の基準と同等以上の技量を持つ者と判断され、県支部およびブロックの承認推薦された者で、MFJスポーツ委員会が承認した者。
 - (3) MFJスポーツ委員会が特に必要と認め承認した者。
- 4)国際B級部門→国際A級部門
- (1) 全日本選手権ランキングで、1位から8位にランクされた者。ただし、同点者のある場合はこの人数を超えることができる。
 - (2) MFJスポーツ委員会が特に必要と認め承認した者。

8 ドラッグレースライセンスの昇格

1)ドラッグレースB級部門→ドラッグレースA級部門

- (1) 対象クラス：ストックバイク
- (2) 昇格基準：地方選手権において20ポイント以上の得点を得たもの。

9 自動降格の基準

- 1) ライセンスの更新がなされなかった場合は、その期間によって下表によりライセンス等級が自動降格される。

●自動降格基準表

未更新期間	モトクロス・トライアル				ロードレース
	国内B級	国内A級	国際B級	国際A級	国際
1年	国内B級	国内A級	国際B級	国際A級	国際
2年	//	//	//	//	//
3年	//	国内B級	国内A級	//	//
4年	//	//	国内B級	国際B級	国内
5年	//	//	//	//	//
6年以上	//	//	//	国内A級	//

※ロードレース国内ライセンスについては5年以上の未更新期間がある場合は、MFJ公認サーキットの走行証明が必要。

10 特別昇格およびその手続き

- 1) 昇格基準と同等とみなされる成績を得た者で、昇格を希望する者は、特別昇格の申請ができる。
- 2) 前項の申請は、特別昇格をしようとする前年の11月1日から12月31日までMFJ事務局に到着されることを要し、それ以外の申請は受理されない。
- 3) 申請は所定の申請書に必要事項を記入し、所属する県支部およびブロックの承認を得て、MFJ事務局に申請するものとする。
なお、所定の申請書は、県協会またはMFJ事務局に用意されており、請求に応じて送配布される。
- 4) 申請にあたっては、申請書に申請料3,000円を添えて県協会に提出すること。
- 5) 特別昇格についての最終決定はMFJスポーツ委員会の審査結果による。

11 特別降格およびその手続き

- 1) MFJ競技ライセンス資格の降格を希望する者は次の手続きによって申請し、MFJスポーツ委員会の審査によって認められた場合は、降格することができる。
- 2) 前項の申請は、特別降格をしようとする前年の11月1日から12月31日までMFJ事務局に到着されることを要する。申請者の用紙は、県協会又はMFJ事務局に準備され、それに必要事項を記入し申請料3,000円を添えて県協会およびブロック協議会の承認を得、MFJ事務局に申請する。
- 3) 降格承認後は降格が認められた日より、その年度の終了する日まで、再昇格基準が適用される。
- 4) 特別降格についての最終的な決定は、MFJスポーツ委員会の審査結果による。
※特別降格申請は、原則的にそのライセンス区分にて1年間経過し、得点の得られなかった者のみとする。

12 再昇格基準

ライセンスの降格があった者が、次の基準に適合することとなった場合は、原則としてMFJスポーツ委員会において次の競技会から再昇格することを決定する。再昇格された者は、昇格されたライセンスと引き換えに旧ライセンスを、MFJ事務局に返納しなければならない。(但し、特別降格申請が認められた年度のみ適用する)

- 1) ロードレース
 - (1) 地方選手権以上のシリーズ大会において、原則として優勝した者。
 - (2) 公式記録によるラップタイム等により、MFJスポーツ委員会が特に必要と認め、承認した者。
- 2) モトクロス
 - (1) 国際B級部門から国内A級部門に降格した場合は、スポーツ常任委員会にて審議し、承認された者。
 - (2) 国内B級部門に降格した場合は、MFJ公認競技会において、1回優勝した者。
 - (3) MFJスポーツ委員会が特に必要と認め、承認した者。
- 3) トライアル
 - (1) 国際B級部門に降格した場合、全日本選手権シリーズにおいて優勝した者。
 - (2) 国内A級部門に降格した場合は、地方選手権シリーズにおいて優勝した者。
 - (3) 国内B級部門に降格した場合は、MFJ公認競技会において6位以内に入賞した者。



- (4) その他MFJスポーツ委員会が特に必要と認め、承認した者。

附 則

本規則は、1995年1月1日から施行する。

全日本選手権ランキング決定基準

1) 全日本選手権ランキング順位づけ決定方法

全日本選手権ランキングの順位づけは次の方法により決定される。

- (1) 全日本選手権シリーズ大会で得たすべての得点を合計し、総合得点の大なるものから順位を決定する。ただし、40点未満のものはチャンピオンとはせず、ランキング2位とする。
- (2) 上記1)で同点となった場合、上位入賞回数の多い者が上位となる。
- (3) 上記2)で決定できない場合、前年度のランキング上位のものを上位とする。
- (4) 上記3)で決定できない場合、MFJスポーツ委員会において最終決定する。

全日本選手権認定表彰式典

全日本選手権ランキング決定基準に基づき決定された、ロードレース、モトクロス、トライアル、ドラッグレース、スノーモビルA級の全日本選手権各クラス上位1位～3位の者は、その栄誉をたたえ、1995年12月9日に開催される'95MFJ全日本選手権ランキング認定表彰式にて表彰される。受賞者は必ず出席しなければならない。

MFJ共済会制度

種 目	MFJ共済会掛金 (1名1大会)	共済会見舞金支払額		請求のために必要な書類
		最高限度額 (死亡、後遺症100%)	共済会見舞金支払額	
ロードレース	全日本 4,500円	MFJ共済会見舞金 1,000万円 (MFJが契約した傷害 保険含む)	MFJ共済会見舞金 A 通院実日数(ギプス等の 固定期間および通勤、通 学、就業が不可能として 診断された日数含む)× 1,000円 B 入院実日数×1,500円 C 診断書作成補助金 5,000円	○MFJ共済会見舞金請求書 (様式9) ○完治したときの医師の診断 書 (様式10) 死亡、後遺症の場合は、上 記、様式9のほかに傷害保 険請求用紙(三井海上)等 の各種書類が必要となりま す。
SP、SS、GP、TT、SB、ノーマ ル車、シングル・ツイン、ク ラシック、S50、S80等のロー ドレース	4,000円			
サイドカー (パッセンジャー分含む)				
ミニロードレース (GP50、GP80、SP50、SP80に限る)	2,000円			
ドラッグレース	2,000円			
モトクロス (市販車、レーサー125cc以上)	1,000円			
ミニモトクロス (80cc以下)	500円			
トライアル	300円			
ミニバイクレース	500円			
エンデュロ	500円			
ジムカーナ	500円			
スノーモビル	500円			
ツーリング・ラリー	500円			
ロードレースライセンス講習会 (ライセンス保持者のレーシングスクール含む)	1,000円			
モトクロスライセンス講習会 (ライセンス保持者のレーシングスクール含む)	500円			
トライアルライセンス講習会 (ライセンス保持者のテクニカルスクール含む)	300円			
スノーモビルライセンス講習会	500円			
ミニバイク講習会	500円			
ロードレース競技役員講習会	200円			
モトクロス競技役員講習会	200円			
トライアル競技役員講習会	200円			
ビットクルー	年間 500円 (ライセンス料に含まれる)			

☆競技役員、講師の共済会見舞金は別に定めるMFJ共済会制度による。

☆見舞金の支払われる期間は、受傷日から最高180日間以内の入院および通院の実日数分となります。

☆見舞金の請求期限は、受傷日より一年以内です。一年以上経過しますとその請求権は無効となります。

☆見舞金の支払われる適用範囲は、公認または承認された当該競技会の公式日程期間(主催者が申請した大会期間)で、かつ競技監督の統轄下において行われた競技中、または公式練習中に発生した事故とする(※サーキットが行う特別スポーツ走行時の事故は、見舞金の請求は出来ません)。

☆同一大会で二種目以上出場する場合は、掛金の高い種目が適用されます。

☆MFJ共済会は治療費の支払いはありません。

☆死亡、後遺症見舞金を受ける場合は、入院見舞金および診断書作成補助金は受けられません。

☆死亡見舞金の請求者は、法定相続人に限られます。

共済会見舞金請求の手続きは…

1. まず主催者に連絡

負傷したその日に主催者に連絡してください。万一その日に連絡できない場合は、負傷日より2日後までにご連絡ください。なお、連絡がない場合は、見舞金が支払われませんのでご注意ください。

2. 大会主催者からMFJ共済会 見舞金請求書(様式9)と 診断書書式(様式10)をもらう

ケガをした大会の主催者またはMFJに、MFJ共

済会見舞金請求書(様式9)とMFJ指定の診断書書式(様式10)を請求してください。

3. 請求先は主催事務局

請求書中に必要な事項を自分で記入し、治療先の医師に診断書の記入を依頼してください。書類は一括して負傷者本人(代理人でもよい)が主催者事務局長宛に請求してください。見舞金は書類に不備のない場合に限り、2ヶ月以内に指定口座に振り込まれます。



MFJ公認車両

★は公認が継続された車両

■本田技研工業株式会社 〒107 東京都港区青山2-1-1 ☎03-3423-1111

●一般市販車(オンロードタイプ)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SS	TT	SB	GP	MX	TR	ED
NSR250R	MC21	MC16E	249	54.0×54.5	'91.7.4	○	○			○			
CB400 SUPER FOUR	NC31	NC23E	399	55.0×42.0	'92.7.12	○	○						
CBR600F	PC25	PC25E	599	65.0×45.2	'92.11.1			○	○				
★VFR750R(初回公認'87年)	RC30	RC07E	748	70.0×48.6	'93.1.26				○	○			
★VFR400(初回公認'88年)	NC30	NC13E	399	55.0×42.0	'93.11.23			○	○				
★NSR250R SP(初回公認'88年)	MC18	MC16E	249	54.0×54.5	'93.11.23			○	○				
★CBR250R(初回公認'88年)	MC19	MC14E	249	48.5×33.8	'93.11.23			○	○				
NSR250R	MC28	MC16E	249	54.0×54.5	'94.1.10			○	○				
NSR250R SE	MC28	MC16E	249	54.0×54.5	'94.1.10			○	○				
NSR250R SP	MC28	MC16E	249	54.0×54.5	'94.2.10			○	○				
CBR400RR	NC29	NC23E	399	55.0×42.0	'94.2.28			○	○				
RVF/RC45	RC45	RC45E	749	72.0×46.0	'94.3.25				○				
RVF	NC35	NC13E	399	55.0×42.0	'94.3.25			○	○				
NS1	AC12	AC08E	49	39.0×41.4	'94.5.22			○	○				
CB400SUPERFOUR	NC31	NC23E	399	55.0×42.0	'94.5.22			○	○				
NSR50	AC10	AC08E	49	39.0×41.4	'94.5.22								

●一般市販車(オフロードタイプ)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SS	TT	SB	GP	MX	TR	ED
XLR250R	MD22	MD17E	249	73.0×59.5	'91.2.17						○	○	
★TLR250R(初回公認'86年)	MD18	MD18E	244	72.0×60.0	'93.1.26							○	○
★TLM200R(初回公認'87年)	MD15	MD15E	193	67.0×55.0	'93.1.26								○
XLR200R	MD29	MD29E	196.0	63.5×62.2	'93.10.24								
XLR125R	JD16	JD09E	124.0	56.5×49.5	'93.10.24							○	
★TLM220R(初回公認'88年)	MD23	MD23E	216	69.0×58.0	'93.11.23								
CRM250	MD24	MD24E	246	66.0×72.0	'94.5.22								

●スポーツ専用市販車(モトクロス)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SS	TT	SB	GP	MX	TR	ED
XR200R	ME05	ME05E	195	65.5×57.8	'91.2.17						○	○	
CR80R	HE04	HE04E	79.4	46.0×47.8	'91.9.10								
CR125R	JE01	JE01E	124.8	54.0×54.5	'91.9.10						○		
CR250R	ME03	ME03E	249.3	66.4×72.0	'91.9.10						○		
CR125R	JE01	JE01E	124.8	54.0×54.5	'92.9.20								
CR250R	ME03	ME03E	249.3	66.4×72.0	'92.9.20						○		
CR250R	ME03	ME03E	249.3	66.4×72.0	'93.9.24						○		
CR125R	JE01	JE01E	124.8	54.0×54.5	'93.9.24						○		
CR80R	HE01	HE01E	79.4	46.0×47.8	'93.9.24						○		
★CR125R(初回公認'88年)	JE01	JE01E	124.8	54.0×54.5	'93.10.26						○		
★CR250R(初回公認'88年)	ME03	ME03E	249.3	66.4×72.0	'93.10.26						○		
CR250R	ME03	ME03E	249.3	66.4×72.0	'94.9.23						○		
CR125R	JE01	JE01E	124.8	54.0×54.0	'94.9.23						○		

■株式会社ホンダレーシング 〒352 埼玉県新座市野火止8-18-4 ☎048-477-9538

●スポーツ専用市販車(ロードレーサー)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SS	TT	SB	GP	MX	TR	ED
'91RS125R	RS125RF	NF4	124	54.0×54.5	'91.2.1						○		
'92RS250R	RS250RF	RS250RE	249	54.0×54.5	'91.12.1						○		
'92RS125R	RS125RF	RS125RE	124	54.0×54.5	'92.2.1						○		
'93RS250R	RS250RF	RS250RE	249	54.0×54.5	'92.12.1						○		
'93RS125R	RS125RF	RS125RE	124	54.0×54.5	'93.1.1						○		
★'87RS250R(初回公認'86年)	RS250RF	RS250RE	249.0	54.0×54.5	'93.3.23						○		
★'87RS125R(初回公認'86年)	RS125RF	RS125RE	124.0	54.0×54.5	'93.3.23						○		
★'88RS125R(初回公認'87年)	RS125RF	RS125RE	124.0	54.0×54.5	'93.3.23						○		
'94RS125R	RS125RF	RS125RE	124.0	54.0×54.5	'93.12.1						○		
'94RS250R	RS250RF	RS250RE	249.0	54.0×54.5	'94.1.1						○		
★'89RS250R(初回公認'88年)	RS250SF	RS250RE	249.0	54.0×54.5	'94.1.25						○		
★'89RS125R(初回公認'89年)	RS124RF	RS125RE	124.0	54.0×54.5	'94.1.25						○		
★'88RS250R(初回公認'88年)	RS250RF	RS250RE	249.0	54.0×54.5	'94.1.25						○		
★'90RS250R(初回公認'89年)	RS250RF	RS250RE	249.0	54.0×54.5	'94.1.25						○		
★'90RS125R(初回公認'89年)	RS125RF	RS125RE	124.0	54.0×54.5	'94.1.25						○		
'95RS125R	JR01	JR01E	124.0	54.0×54.5	'94.11.1						○		
'95RS250R	MR01	MR01E	249.0	54.0×54.5	'94.12.1						○		

●スポーツ専用市販車(トライアラー)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SS	TT	SB	GP	MX	TR	ED
'92TLM260R	TLM260RF	NNI	256.2	75.0×58.0	'91.11.1								○
TLM260R	TLM260RF	NNI	256.2	75.0×58.0	'92.11.1								○
*'85RTL250S(初回公認'84年)	RTL250SF		249.0	70.0×64.9	'93.3.23								○
*'86RTL250S(初回公認'86年)	RTL250SF		249.0	70.0×64.9	'93.3.23								○
*'87RTL250S(初回公認'86年)	RTL250SF	RTL250E	249.0	70.0×64.9	'93.3.23								○
*'86TLM240R(初回公認'85年)	TLM240F		236.0	72.0×58.0	'93.3.23								○
*'87TLM240R(初回公認'86年)	TLM240F		236.0	72.0×58.0	'93.3.23								○
'94TLR260	TKR260F	TLRE	261.0	71.0×66.0	'94.1.1								○
*'88TLM250R(初回公認'88年)	TLM250F		249.0	74.0×58.0	'94.1.25								○
*'88RTL250S(初回公認'88年)	RTL250SF		249.0	70.0×64.9	'94.1.25								○
*'89TLM250R(初回公認'88年)	TLM250F		249.0	74.0×58.0	'94.1.25								○
*'89RTL250S(初回公認'88年)	RTL250SF		249.0	70.0×64.9	'94.1.25								○
'95TLR260	TLR260F	TLRE	261.0	71.0×66.0	'95.1.1								○

■ヤマハ発動機株式会社 〒438 静岡県磐田市新貝2500 ☎0538-32-1150

●一般市販車(オンロードタイプ)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SS	TT	SB	GP	MX	TR	ED
TZR250	3XV	3XV	249	56.0×50.7	'91.4.1	○	○						
TZR250SP	3XV	3XV	249	56.0×50.7	'91.3.25	○	○						
FZX250	3YX	3YX	249	48.0×34.5	'91.4.5	○							
XJ400S	4BP	4BP	398	47.7×55.7	'91.8.2	○	○						
TZR250SP	3XV	3XV	249	56.0×50.7	'92.2.20	○	○						
TZR50	3TU	3TU	49	40.0×39.7	'92.4.10					○			
TZR250R	3XV	3XV	249	56.0×50.7	'92.4.8	○	○						
TDM850	4EP	4EP	849	89.5×67.5	'92.6.7			○					
TZR250RS	3XV	3XV	249	56.0×50.7	'92.7.5								
FZR250R	3LN	3LN	249.7	48.0×34.5	'93.4.10	○	○						
TZR250R	3XV	3XV	249	56.0×50.7	'93.4.25	○	○						
YZF750SP	4JD	4JD	749	72.0×46.0	'93.5.5	○	○	○					
SR500	1JN	2J2	499	87.0×84.0	'93.4.25	○	○						
R1-Z	3XC	3XC	249	56.4×50.0	'93.2.24								
SR400	1JR	2H6	399	87.0×67.2	'93.4.25	○	○						
TZR50R	4EU	4EU	49	40.0×39.7	'93.5.10	○							
*FZR400R(初回公認'87年)	1WG	1WG	399	56.0×40.5	'93.2.23	○	○						
XJR400	4HM	4HM	399	55.0×42.0	'93.5.27	○	○						
SRV250	4DN	4DN	248	49.0×66.0	'93.6.27	○							
SRV250	4DN	4DN	248	49.0×66.0	'93.7.22	○							
SRV250S	4DN	4DN	248	49.0×66.0	'93.7.22	○							
TZR250RSP	3XV	3XV	249	56.0×50.7	'93.2.15	○	○						
FZR400RRSP	3TJ	1WG	399	56.0×40.5	'93.2.8	○	○						
TZR250RS	3XV	3XV	249	56.0×50.7	'93.3.8	○	○						
TZR250R SP	3XV	3XV	249	56.0×50.7	'94.2.15	○							
TZR250RS	3XV	3XV	249	56.0×50.7	'94.3.12	○	○						
TZM50R	4KJ	4EU	49	40.0×39.7	'94.4.26	○							
XJR1200	4KG	4CC	1188	77.0×63.8	'94.5.4								
*TZR125(初回公認'88年)	2UT	2RM	124	56.4×50.0	'94.4.26	○							
*TZR125(初回公認'87年)	2RM	2RM	124	56.4×50.0	'94.4.26	○							
XJR400S	4HM	4HM	399	55.0×42.0	'94.8.28	○	○						
TZR250SPR	3XV	3XV	249	56.0×50.7	'95.2.15	○	○						

●一般市販車(オフロード)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SS	TT	SB	GP	MX	TR	ED
DT200WR	3XP		199	66.8×87.0	'91.2.12							○	○
DT125R	3FW	3FW	124	56.4×50.0	'91.6.8							○	○
XT400E	4DW	5Y7	399	87.0×67.2	'91.9.6							○	○
XT225	1KH	1KH	223	70.0×58.0	'92.7.16							○	○
XT400E	4DW	5Y7	399	87.0×67.2	'92.11.1							○	○
TT250R	4GY	4GY	249	73.0×59.6	'93.5.24							○	○
XT225W	4JG	1KH	223	70.0×58.0	'93.8.11							○	○
TT250Raid	4GY	4GY	249	73.0×59.6	'94.5.28							○	○
TY250ZS	4ML	4ML	249	74.0×58.0	'95.2.1							○	○

●スポーツ専用市販車(ロードレーサー)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SS	TT	SB	GP	MX	TR	ED
TZ250	3YT	4DP	249	56.0×50.7	'91.1.20							○	
TZ250	4DP	4DP	249	56.0×50.7	'92.1.20							○	
TZ50	3XM	3XM	49	40.0×39.7	'92.4.1	○							
TZ250	4DP	4DP	249	56.0×50.7	'92.12.14							○	
TZ125	4JT	4JT	124	56.0×50.7	'93.11.9							○	
TZ250	4DT	4DT	249	56.0×50.7	'93.12.15							○	
TZ125	4JT	4JT	124	56.0×50.7	'94.12.20							○	
TZ250	4DT	4DT	249	56.0×50.7	'95.1.5							○	



付録

●スポーツ専用市販車(モトクロス)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	会誌年月日	SP	SS	TT	SB	GP	MX	TR	ED
YZ125	4DB	4DB	124	56.0×50.7	'91. 9. 20						○		
YZ250	4DA	4DA	249	68.0×68.8	'92. 9. 20						○		
WR250Z	4DC	4DC	249	68.0×68.8	'92. 2. 14						○	○	
YZ250	4EW	4EW	249	68.0×68.8	'92. 9. 27						○		
YZ80	4GT	4GT	79	46.0×47.8	'92.11.13						○		
YZ125	4EX	4EX	124	56.0×50.7	'92.11.13						○		
YZ250	4JX	4JX	249	68.0×68.8	'93. 9. 7						○		
YZ80LW	4LB	4LB	79.4	46.0×47.8	'93.10.10						○		
WR250Z	4JW	4JW	249	68.0×68.8	'93.11.13						○		
YZ125	4JY	4JY	124	54.0×54.5	'93.11. 4						○		
YZ125	4PE	4PE	124	54.0×54.5	'94. 9. 10						○		
YZ80L	4LB	4LB	79.4	46.0×47.8	'94. 9. 1						○		
YZ250	4MX	4MX	249	68.0×68.8	'94.10.20						○		
WR250Z	4JW	4JW	249	68.0×68.8	'94.11. 1						○		

●スポーツ専用市販車(トライアラー)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	会誌年月日	SP	SS	TT	SB	GP	MX	TR	ED
TY250Z	4GG	4GG	249	74.0×58.0	'93. 1. 15							○	
TY250Z	4GG	4GG	249	74.0×58.0	'94. 1. 6							○	
TY250Z	4GG	4GG	249	74.0×58.0	'95. 1. 15							○	

■スズキ株 〒432 静岡県浜松市高塚町300 ☎053-440-2376

●一般市販車(オンロードタイプ)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	会誌年月日	SP	SS	TT	SB	GP	MX	TR	ED
GSX-R400 SP(M)	GK76A	K709	398	56.0×50.6	'91. 2. 20	○	○						
GSX-R750(M)	GR7AC	R719	749	56.0×40.4	'91. 2. 20		○	○					
RGV250I(M)	VJ22A	J206	249	56.0×50.6	'91. 2. 20	○	○						
RGV250I SP(M)	VJ22A	J206	249	56.0×50.6	'91. 2. 20	○	○						
ウルフ125	NF13A	F116	124	56.0×50.6	'92. 3. 9	○							
RG125I	NF13A	F116	124	56.0×50.6	'92. 3. 9	○							
グース250	NJ46A	J422	249	73.0×59.6	'92. 3. 28	○							
グース350	NK42A	K406	348	79.0×71.2	'92. 3. 9	○							
GSX-R750	GR7BC	R722	749.68	70.0×48.7	'92. 3. 22	○	○	○					
GSX-R400RSP	GK76A	K709	397.820	56.0×40.4	'93. 3. 29	○	○						
RGV250I SP	VJ22A	J206	249.13	56.0×50.6	'93. 2. 22	○	○						
GSX-R750SP	GR7BC	R722	794	70.0×48.7	'94. 5. 23	○	○		○				

●一般市販車(オフロードタイプ)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	会誌年月日	SP	SS	TT	SB	GP	MX	TR	ED
TS200R	SH12A	H102	195	66.0×57.0	'91. 4. 11							○	○
RMX250S	SJ13A	J113	249.6	67.0×70.8	'92. 7. 28								
RMX250	PJ12A	J112	249.6	67.0×70.8	'92.10.10								
RMX250S	SJ13A	R722	249.6	67.0×70.8	'94. 6. 26						○		

●スポーツ専用市販車(ロードレーサー)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	会誌年月日	SP	SS	TT	SB	GP	MX	TR	ED
RGV250I SF(SFコンプリート)	EJ2RR	J206	249.2	56.0×50.6	'91. 2. 20	○	○				○		

●スポーツ専用市販車(モトクロス)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	会誌年月日	SP	SS	TT	SB	GP	MX	TR	ED
RM80XN	RC12A	C114	79.5	46.5×46.8	'91. 8. 13							○	
RM125N	RF14A	F114	124.8	54.0×54.5	'91. 8. 13							○	
RM250N	RJ15A	J110	249.6	67.0×70.8	'91. 8. 13							○	
RM80	RC12A	C114	79.5	46.5×46.8	'92. 7. 15							○	
RM125	RF14A	F114	124.8	54.0×54.5	'92. 7. 25							○	
RM250	RJ16A	J110	249.6	67.0×70.8	'92. 7. 15							○	
RMX250	PJ12A	J112	249.6	67.0×70.8	'92.10.10							○	○
RM250R	RJ16A	J114	249.6	67.0×70.8	'93. 8. 27							○	
RM125R	RF14A	F114	124.8	54.0×54.5	'93. 8. 27							○	
RM80XR	RC12A	C114	79.5	46.5×46.8	'93. 8. 27							○	
DR350R	JS1DK41A	K404	349	79.0×71.2	'93. 8. 30								○
RM80 Large-Wheel	RC12A	C114	79.5	46.5×46.8	'94. 2. 25							○	
RMX250	PJ12A	J112	249.6	67.0×70.8	'94. 3. 22							○	
RM250S	RJ16A	J114	249.6	67.0×70.8	'94. 7. 28							○	
RM125S	RF14A	F114	124.8	54.0×54.5	'94. 7. 28							○	
RM80ラージホイール仕様	RC12B	C114	79.5	46.5×46.8	'94.12.22							○	

■川崎重工業株式会社 〒673 兵庫県明石市川崎町1-1 ☎078-921-1451

●一般市販車(オンロードタイプ)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SS	TT	SB	GP	MX	TR	ED
ZXR400R	ZX400L	ZX400GE	398	57.0×39.0	'91.3.5	○	○						
ZXR400	ZX400L	ZX400GE	398	57.0×39.0	'91.3.10	○	○						
ZXR250	ZX250C	ZX250CE	249	49.0×33.1	'91.4.5	○	○						
ZXR250R	ZX250C	ZX250CE	249	49.0×33.1	'91.4.5	○	○						
ZXR750R	ZX750J	ZX750JE	749	91.0×47.3	'91.4.5	○	○						
ZEPHYR	ZR400C	ZX400AE	399	55.0×42.0	'91.4.11	○	○						
ZXR750	ZX750J	ZX750JE	749	91.0×47.3	'91.4.20	○	○						
XANTHUS	ZR400D	ZX400GE	398	57.0×39.0	'92.10.4								
ZXR250	ZX250C	ZX250CE	249	49.0×33.1	'93.4.1	○	○						
ZXR400	ZX400L	ZX400GE	398	57.0×39.0	'93.4.1	○	○						
ZXR400R	ZX400L	ZX400GE	398	57.0×39.0	'93.4.1	○	○						
ZXR750	ZX750J	ZX750JE	749	71.0×47.3	'93.4.15	○	○						
XANTHUS	ZX400D	ZX400GE	398	57.0×39.0	'93.2.27	○	○						
BALILIUS	ZR250A	ZX250CE	249	49.0×33.1	'93.6.27	○							
BALILIUS	ZR250A	ZX250CE	249	49.0×33.1	'93.6.27	○							
ZEPHYR	ZR400C	ZR400AE	399	55.0×42.0	'93.6.27	○	○						
ZXR750R	ZX750J	ZX750JE	749	71.0×47.3	'94.2.28	○	○						
ZRX	ZR400E	ZX400KE	399	57.5×38.5	'94.4.25	○	○						
ZX-4(初回公認'88年)	ZX400G	ZX400GE	398	57.0×39.0	'94.2.22	○	○						
★ KR-1(初回公認'88年)	KR250B	KR250BE	249	56.0×50.6	'94.2.22	○	○						
★ ZXR750(初回公認'89年)	ZX750H	ZX750FE	748	68.0×51.5	'94.11.22	○	○						
★ ZXR400R(初回公認'89年)	ZX400H	ZX400GE	398	57.0×39.0	'94.11.22	○	○						
★ ZXR400(初回公認'89年)	ZX400H	ZX400GE	398	57.0×39.0	'94.11.22	○	○						
★ ZXR250R(初回公認'89年)	ZX250A	ZX250AE	249	48.0×34.5	'94.11.22	○	○						
★ ZXR250(初回公認'89年)	ZX250A	ZX250AE	249	48.0×34.5	'94.11.22	○	○						
★ KR-1R(初回公認'89年)	KR250C	KR250BE	249	56.0×50.6	'94.11.22	○	○						
★ KR-1S(初回公認'89年)	KR250C	KR250BE	249	56.0×50.6	'94.11.22	○	○						

●一般市販車(オフロードタイプ)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SS	TT	SB	GP	MX	TR	ED
KDX125SR	DX125A	DX125AE	124	56.0×50.6	'91.3.10						○		○
KDX250SR	DX250F	DX250FE	249	67.4×70.0	'91.4.5						○		○
KLX250 ANHELO	LE250A	EX250AE	248	62.0×41.2	'93.6.27								
KLX250SR	LX250E	LX250DE	249	72.0×61.2	'93.6.27								
KLX250ES	LX250E	LX250DE	249	72.0×61.2	'94.5.22						○		
KDX220SR	DX220B	DX220AE	216	69.0×58.0	'94.6.26						○		

●スポーツ専用市販車(モトクロス)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SS	TT	SB	GP	MX	TR	ED
KDX250R	DX250D	DX250DE	249	67.4×70.0	'91.3.5							○	○
KX125	KX125J	KX125JE	124	54.0×54.5	'91.9.27							○	
KX250	KX250J	KX250JE	249	66.4×72.0	'91.9.27							○	
KX80	KX080S	KX080SE	79	47.0×45.8	'91.10.3							○	
KX80-II	KX080V	KX080SE	79	47.0×45.8	'91.10.3							○	
KX250	KX250J	KX250JE	249	66.4×72.0	'92.9.4							○	
KX125	KX125J	KX125JE	124	54.0×54.5	'92.9.4							○	
KX80	KX080S	KX080SE	79	47.0×45.8	'92.9.4							○	
KX80-II	KX080V	KX080SE	79	47.0×45.8	'92.9.4							○	
KX60	KX060B	KX060BE	60	43.0×41.6	'92.9.4							○	
KX250	KX250K	KX250KE	249	66.4×72.0	'93.8.27							○	
KX125	KX125K	KX125KE	124	54.0×54.5	'93.8.27							○	
KLX250R	LX250D	LX250DE	249	72.0×61.2	'93.5.27							○	○

●スポーツ専用市販車(モトクロス)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SS	TT	SB	GP	MX	TR	ED
KX80	KX080S	KX080SE	79	47.0×45.8	'93.8.27							○	
KX80-II	KX080V	KX080SE	79	47.0×45.8	'93.8.27							○	
KX60	KX060B	KX060BE	60	43.0×41.6	'93.8.27							○	
KDX220R	DX220A	DX220AE	216	69.0×58.0	'94.5.26							○	
★ KX250(初回公認'87年)	KX250F	KX250FE	249	64.7×70.0	'94.4.26							○	
KX250	KX250K	KX250KE	249.3	66.4×72.0	'94.8.20							○	
KX125	KX125K	KX125KE	124.8	54.0×54.5	'94.8.20							○	
KX80	KX080S	KX080SE	79	47.0×45.8	'94.9.10							○	
KX80-II	KX080V	KX080SE	79	47.0×45.8	'94.9.10							○	
KX60	KX060B	KX060BE	60	43.0×41.6	'94.9.10							○	

■旺文社パシフィック株式会社 〒162 東京都新宿区横寺町55 ☎03-3266-6035

●スポーツ専用市販車(トライアラー)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公認年月日	SP	SS	TT	SB	GP	MX	TR	ED
FANTIC K-ROO	364	FM364	249.4	74.0×58.0	'91.7.4							○	
FANTIC 309	364	FM364	249.4	74.0×58.0	'91.7.4							○	
FANTIC 249	363	FM363	212	69.0×56.5	'91.7.4							○	



付録

■株式会社ファンティックジャパン 〒240-01 神奈川県三浦郡葉山町長柄512-1 ☎0468-76-2677

●スポーツ専用市販車(トライアラー)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公称年月日	SP	SS	TT	SB	GP	MX	TR	ED
FANTIC K-ROO	361	FM361	123.7	52.8×56.5	'92. 4. 3								○
FANTIC K-ROO	363	FM363	212	69.0×56.5	'92. 4. 3								○
FANTIC K-ROO	364	FM364	249.4	74.0×58.0	'92. 4. 3								○
FANTIC K-ROO	364	FM364	249.4	74.0×58.0	'93. 4.23								○

■株式会社村山モータース 〒151 東京都渋谷区笹塚2-7-8 ☎03-3378-0181

●一般市販車(オフロードタイプ)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公称年月日	SP	SS	TT	SB	GP	MX	TR	ED
DUCATI851SP	ZDM888S	ZDM888W4	888	94.0×64.0	'91. 7. 4			○					

■株式会社ボスコ・モト 〒562 大阪府箕面市外院3-1-6 ☎0727-29-3365

●スポーツ専用市販車(トライアラー)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公称年月日	SP	SS	TT	SB	GP	MX	TR	ED
Aprilia climber240		ROTAX244	238.2	70.5×61.0	'91. 1.31								○
Aprilia climber300		ROTAX244	276.6	76.0×61.0	'91. 1.31								○
アプリーリア クライマー280	HE型	ROTAX244	276.6	76.0×61.0	'92. 4. 3								○
アプリーリア クライマー240	HE型	ROTAX244	276.6	76.0×61.0	'92. 4. 3								○
アプリーリア クライマー240	HE型	ROTAX244	238.2	70.5×61.0	'93. 3.23								○
アプリーリア クライマー280	HE型	ROTAX244	276.6	76.0×61.0	'93. 3.23								○

■株式会社モリワキエンジニアリング 〒513 三重県鈴鹿市南玉垣町6477-1 ☎0593-70-0090

●スポーツ専用市販車(ロードレーサー)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公称年月日	SP	SS	TT	SB	GP	MX	TR	ED
MORIWAKI MH80R	MH80RF	HED4E	79.4	46.0×47.8	'92. 2.25							○	

■株式会社レイズ 〒577 大阪府東大阪市長田西5-81-1 ☎06-746-1010

●スポーツ専用市販車(トライアラー)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公称年月日	SP	SS	TT	SB	GP	MX	TR	ED
BETA ZERO	BETA B4	BETA6300	239.2	72.8×57.5	'92. 3. 4								○
BETA SYNT240	BETA B4	BETA6300	239.2	72.8×57.5	'92. 8. 7								○
BETA ZERO125	BETA B1	BETA6300	123.6	54.0×54.0	'92. 8. 7								○
BETA Super Trial150	BETA T3	BETA4AM	49.86	40.0×39.7	'92. 8. 7								○
BETA SYNT240	B4	6300	239.2	72.8×57.5	'93. 3.23								○
BETA ZERO240	B4	6300	239.2	72.8×57.5	'93. 3.23								○
BETA ZERO260	B4	6300	260.7	76.0×57.5	'93. 3.23								○
BETA TECHNO250	BETA B4	BETA6300	247.7	72.5×60.0	'94. 1.28								○
BETA SYNT125	BETA B5	BETA6300	123.6	54.0×54.0	'94. 5.26								○
BETA TECHNO250	BETA B6	BETA6605	247.5	72.5×60.0	'94.12.22								○

■株式会社亜路欧 〒154 東京都世田谷区太子堂2-1-3 ☎03-3419-6053

●スポーツ専用市販車(トライアラー)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公称年月日	SP	SS	TT	SB	GP	MX	TR	ED
GAS-GAS DELTA	VTR GG		237.9	71.0×60.0	'91. 9. 6								○
GAS-GAS TRIAL125AG	VTR GC		124.8	56.0×50.0	'92. 4. 3								○
GAS-GAS CONTACTGT-25	VTRG-G		237.9	71.0×60.0	'92. 5.10								○
GAS-GAS CONTACTGT12	VTRG-G		123.2	56.0×50.0	'92.11. 6								○
GAS-GAS CONTACTGT16	VTRG-G		141.4	60.0×50.0	'92.11. 6								○
GAS-GAS CONTACT T-25	VTR GG		237.9	71.0×60.0	'93. 3.23								○
GAS-GAS CONTACT JT25	VTR GG		237.9	71.0×60.0	'94. 2.25								○

■株式会社サイクルワールド 〒673 兵庫県神戸市西区森友4-13 ☎078-928-6644

●スポーツ専用市販車(トライアラー)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公称年月日	SP	SS	TT	SB	GP	MX	TR	ED
MONTESSA COTA-311	YTDNT02AGMM		237	71.0×60.0	'92. 7. 2								○

■株式会社オオタニモータープロダクト 〒171 東京都板橋区上板橋3-12-4 ☎03-3934-6666

●スポーツ専用市販車(トライアラー)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公称年月日	SP	SS	TT	SB	GP	MX	TR	ED
FANTIC K-ROO	364	FM364	249.4	74.0×58.0	'94. 4.22								○

■南アルプスファン 〒407-02 山梨県韭崎市穴山町7804 ☎0551-22-7222

●スポーツ専用市販車(トライアラー)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公称年月日	SP	SS	TT	SB	GP	MX	TR	ED
スコルパワークス294	ST	376	272	72.0×68.0	'94. 7.28								○

■ヤマハオートセンター(株) 〒444 愛知県岡崎市大平町字市木28 ☎0564-24-5312

●一般市販車(オンロードタイプ)

車名	フレーム打刻	エンジン打刻	排気量	ボア×ストローク	公称年月日	SP	SS	TT	SB	GP	MX	TR	ED
ベルガルダヤマハTZR125RR	4DL	4DL	124.8	56.0×50.68	'94. 9.26	○							

MFJ公認部品

●株菅生RC・SUGO 〒989-13 宮城県柴田郡村田町菅生 ☎0224-83-3111

部品名	型式	適用車種	公認発動日	SP	SS	F1	GP	MX	TR
TZ250ミッションレシオ変更キット	3YL-AO	TZ250	'91. 3. 5						
FZR750Rクロスミッション	3FV-RM	FZR750R	'92. 4. 3						
YZF750SPフロントフォークセット	4FN-70-FF	YZF750SP	'93. 4. 23						
YZF750SPクロスミッションASSY	4FN-00-SCM	YZF750SP	'93. 4. 23						
FZR400RRSPフロントフォークセット	3TJ-70-FF	FZR400RRSP	'93. 4. 23						
TZR250SPクロスミッションキット	SKV-17400-70	TZR250R SP	'93. 12. 22						
TZR250R SPクロスミッションオプション	3KV-17400-OP	TZR250R SP	'93. 12. 22						
FZR400RR-SPインダクションボックスセット	3TJ-14400-7B	FZR400RR-SP	'94. 1. 26						
FZR400RR'92インダクションボックスセット	3TJ-14410-70	FZR400RR	'94. 2. 23						
YZF750SP'94インダクションボックスセット	4FN-14410-71	YZF750SP	'94. 2. 23						
YZF750SP'93インダクションボックスセット	4FN-14410-70	YZF750SP	'94. 2. 23						
FZR750R'91~'92インダクションボックスセット	3FV-14410-72	FZR750R(OW01)	'94. 2. 23						

●株エムシー・インターナショナル 〒550 大阪市西区新町4-15-18 ☎06-536-0901

部品名	型式	適用車種	公認発動日	SP	SS	F1	GP	MX	TR
ホワイトパワーリザーブタンク別体リアショック	3612SA/CC	GP各種	'91. 3. 31						
ホワイトパワーリザーブタンク付リアショック	4681SA/VAP	モトクロス用	'91. 3. 31						
ホワイトパワーリザーブタンク付リアショック	4681SA/CC	GP各種	'91. 3. 31						
ホワイトパワーフロントフォーク(倒立)	4054RC/MA	GP各種	'91. 3. 31						

●株オーエックスレーシング 〒133 東京都江戸川区北篠崎2-97 ☎03-3679-4266

部品名	型式	適用車種	公認発動日	SP	SS	F1	GP	MX	TR
TZR125φ30キャブレター	YC-1011	TZR125	'92. 4. 1						

●株オートリメッサ 〒431-02 静岡県浜松市篠原町21339 ☎0534-48-9851

部品名	型式	適用車種	公認発動日	SP	SS	F1	GP	MX	TR
トランスミッション	17E	GSX-R750WN	'92. 4. 10						
リヤクッションASSY	17E	GSX-R750WN	'92. 4. 10						
フロントフォークASSY	17E50	GSX-R750W	'92. 6. 12						
リヤクッションASSY	17E	GSX-R750/W/SP	'94. 5. 26						
キャブレターボックス	17E	GSX-R750SP	'94. 4. 26						
フロントフォークASSY	17E	GSX-R750/W/SP	'94. 5. 26						
トランスミッション	17E	GSX-R750WN/SP	'92. 4. 10						

●株カロッツェリアジャパン 〒103 東京都中央区日本橋浜町1-6-8 ☎03-3863-4333

部品名	型式	適用車種	公認発動日	SP	SS	F1	GP	MX	TR
オーリンズショックアブソーバー	HO-8063	VFR750R	'92. 6. 5						
オーリンズショックアブソーバー	KA-0490	ZXR750	'92. 6. 5						
オーリンズショックアブソーバー	KA-2070	ZXR750	'92. 6. 5						
オーリンズショックアブソーバー	SU-0031	GSX-R750	'92. 6. 12						
MX用フロントフォーク	FG3000	H-Y-6規格、115cc、750ccモトクロス	'93. 4. 23						
オーリンズショックアブソーバー	YA2430	YZF750	'93. 5. 27						
オーリンズショックアブソーバー	YAR283	FZR400RR	'93. 5. 27						
オーリンズショックアブソーバー	KA3040	ZXR400	'93. 5. 27						
オーリンズショックアブソーバー	HO3250	CR250	'93. 5. 27						
オーリンズショックアブソーバー	YA3250	YZ250	'93. 5. 27						
オーリンズショックアブソーバー	SU3250	RM250	'93. 5. 27						
オーリンズショックアブソーバー	KA3250	KX250	'93. 5. 27						
オーリンズショックアブソーバー	HO4040	RC45	'94. 5. 26						
オーリンズショックアブソーバー	YA3040	TZR250	'94. 5. 26						
オーリンズショックアブソーバー	YA4010	TZ125	'94. 5. 26						
オーリンズ倒立フロントフォーク	FG9360	各機種750	'94. 5. 26						
オーリンズ倒立フロントフォーク	FG9410	各機種125	'94. 5. 26						

●カワサキモーターズジャパン(株) 〒673 兵庫県明石市市川崎町1-1 ☎078-922-5039

部品名	型式	適用車種	公認発動日	SP	SS	F1	GP	MX	TR
ZXR400R用トランスミッション	ZX400L	ZXR400R	'91. 3. 5						
ZXR400R用リヤショックダンパーASSY	232RC-1	ZXR400R	'92. 1. 5						
ZXR750R用トランスミッションセット		ZXR750R	'92. 1. 5						
ZXR750R SP仕様(輸出用)トランスミッションセット(A)		'91 ZXR750R '91~'93 ZXR750	'93. 3. 15						
ZXR750・ZXR750R用トランスミッションセット(A-1)		'91 ZXR750R '91~'93 ZXR750	'93. 3. 15						
'93 ZXR750R用オアションミッションセット(B)	13330-1004	'91 ZXR750R '91~'93 ZXR750	'93. 3. 15						
'93 ZXR750R用オアションミッションセット(B-1)		'91 ZXR750R '91~'93 ZXR750	'93. 3. 15						
'93 ZXR750R用オアションミッションセット(B-2)		'91 ZXR750R '91~'93 ZXR750	'93. 3. 15						
ZXR750・750R用エアボックスキット		ZXR750 '93~ZXR750R '93~	'94. 2. 4						
ZXR400・400R・ザンザス用エアボックスキット		ZXR400 ZXR400Rザンザス('91~'94)	'94. 2. 5						
'91~'93 ZXR400・400R・ザンザス用エアボックスキット		ZXR400 ZXR400R ザンザス('91~'93)	'94. 1. 28						
'93~ZXR750・750R用エアボックスキット		ZXR750'93~ZXR750R'93~	'94. 1. 26						
ZXR750・750R用エアボックスキット		ZXR750'91~'92 ZXR750R'91~'92	'94. 1. 26						

●株クルーズ 〒981-15 宮城県角田市角田字町152 ☎0224-62-0671

部品名	型式	適用車種	公認発動日	SP	SS	F1	GP	MX	TR
キャブレター	PJ38S PAX	RS125, RS250R, TZ250	'92. 2. 4						



付録

●株式会社ビート工業 〒591 大阪府堺市八下町4-102-10 ☎0722-57-7600

部 品 名	型 式	適用車種	公認発効日	SP	SS	F1	GP	MX	TR
BEETフルバワーカムキット	SS-A	ZXR400	'92. 6. 5		○				
NASSERT クロスミッションASSY	ZRM-C	ZEPHYR400/750 GPZ400R/600R	'94. 5. 26	○					
NASSERT クロスミッションASSY	ZRM-E	ZRX ZZR400/600	'94. 7. 28	○	○				

●南パムレーシング 〒110 東京都台東区台東4-13-23 ☎03-3833-5232

部 品 名	型 式	適用車種	公認発効日	SP	SS	F1	GP	MX	TR
FLATCR 4連小型32ホ(ホンダVF800用インシュレータセット)	FSR-0(キヤブFSR)(インシュレータ)	VFR400R	'92. 5. 7	○	○				
'91・'92RS125Rフロントフォークカートリッジキット	T2601-180-0A	RS125R	'93. 4. 23				○		
'93RS125Rフロントフォークカートリッジキット	T2601-180-1A	RS125R	'93. 4. 23				○		
PWK39MS	1000-45R-0000	TZR125 RS125R	'94. 2. 25				○		
PJ39Sキャプテラー	1000-S32-A000	RS125R RS250R	'94. 2. 25				○		
FLATCR4連小型32VF用インシュレータセット	FCR-D,FCR3Z(インシュレータ)	VFR400R RVF	'92. 5. 7	○					

●株式会社ホンダレーシング 〒352 埼玉県新座市野火止8-18-4 ☎048-477-9538

部 品 名	型 式	適用車種	公認発効日	SP	SS	F1	GP	MX	TR
VFR400Rトランスミッション	NLI	VFR400R, CBR400RR	'91. 2. 17	○	○				
NSR250Rトランスミッション	NKD	NSR250R	'92. 2. 9	○	○		○		
NSR250RシリンダASSY	NKD	NSR250R	'92. 2. 9	○	○		○		
VFR750Rリヤクッション	NLO	VFR750R	'92. 3. 4	○	○				
VFR750Rトランスミッションセット	NLO	VFR750R	'92. 3. 4	○	○				
VFR750R R/LフロントフォークASSY	NLO	VFR750R	'92. 3. 4	○	○				
CBR400RRトランスミッションセット	NKB	CBR400RR	'92. 5. 7	○	○				
NSR250RフロントフォークASSY	NFS-66I	NSR250R	'92. 6. 5	○					
NSR250RフロントフォークASSY	NFS-71I	NSR250R	'92. 6. 5	○					
トランスミッションNSR250R(MC28)		NSR250R	'94. 1. 28	○	○				
エアクリナーアッパーカバー	NKA	VFR400R RVF	'94. 2. 23	○	○				
エアクリナーボックスセット	NKB	CBR400RR	'94. 3. 15	○	○				
トランスミッション		RVF(NC35)	'94. 3. 22	○	○				
VFR400Rトランスミッション	NLI	VFR400R RVF(NC35)	'92. 2. 4	○	○				

●株式会社ミクニ 〒101 東京都千代田区外神田6-13-11 ☎03-3833-2736

部 品 名	型 式	適用車種	公認発効日	SP	SS	F1	GP	MX	TR
キャプテラーキット	TM32SS	GSXR400	'92. 8. 7	○	○				

●南モリワキエンジニアリング 〒513 三重県鈴鹿市南玉垣町6477-1 ☎0593-70-0090

部 品 名	型 式	適用車種	公認発効日	SP	SS	F1	GP	MX	TR
CBR400RRフロントフォークキット	H08F	CBR400RR	'92. 6. 5		○				
CBR400RRリヤサスペンションキット	H08R	CBR400RR	'92. 6. 5		○				

●ヤマハ発動機株式会社 〒438 静岡県磐田市新貝2500 ☎0538-37-4111

部 品 名	型 式	適用車種	公認発効日	SP	SS	F1	GP	MX	TR
TZ250オプシヨギヤ	4DP	TZ250	'92. 1. 20					○	
TZ250同軸ミッションギヤ、スプロケット	4DP	TZ250	'92. 1. 20					○	
TZ250同軸ミッションギヤ	4DP	TZ250	'92. 12. 3					○	
TZ250オプシヨギヤ	4DP	TZ250	'92. 12. 3					○	
TZ125同軸ミッションギヤ		TZ125	'93. 11. 9					○	

●スズキ株式会社 〒432 静岡県浜松市高塚町300 ☎053-440-2376

部 品 名	型 式	適用車種	公認発効日	SP	SS	F1	GP	MX	TR
キャプテラーアッソ	BDST35(φ32)	GSX-R400R	'93. 2. 29	○	○				
キャプテラーアッソ	TM32	RGV250T ¹ RG125T ¹	'93. 1. 22	○	○				

●株式会社エス・アール・エス スガヤ 〒130 墨田区本所3-3-7 ☎03-3625-7100

部 品 名	型 式	適用車種	公認発効日	SP	SS	F1	GP	MX	TR
RG125T ¹ 用トランスミッション	93M-SRS-125	RG125FN	'93. 4. 15	○					

●オートショップスガハラ南 〒114 東京都北区王子4-4-16 ☎03-3914-7500

部 品 名	型 式	適用車種	公認発効日	SP	SS	F1	GP	MX	TR
エアボックスキット		CBR400RR'90~	'94. 3. 10	○	○				

●株式会社アドクリエーション 〒152 東京都目黒区目黒本町2-23-14 ☎03-5721-2878

部 品 名	型 式	適用車種	公認発効日	SP	SS	F1	GP	MX	TR
QUANTUM RACING DAMPER(リア・ダンパー)	QRS-4	VFR750 YZF750 GSX-R750 ZXR750	'94. 2. 25	○	○				
QUANTUM RACING DAMPER(リア・ダンパー)	QRS-4	RS125R RS250R TZ125 TZ250	'94. 2. 25				○		

●T-CRAFT COMPETITION 〒320 栃木県宇都宮市下戸祭2-4-3 ☎0286-21-5500

部 品 名	型 式	適用車種	公認発効日	SP	SS	F1	GP	MX	TR
ラムエアボックスセット	TC91A1	ZXR750R'91	'94. 2. 23	○					

●南イトウ 〒355 埼玉県東松山市大字唐子1244 ☎0493-23-0113

部 品 名	型 式	適用車種	公認発効日	SP	SS	F1	GP	MX	TR
エアクリナーBOX		ZXR750 '91・'92	'94. 3. 23	○	○				

MFJ公認ヘルメット

取得規格/T用=ツーリング用,M用=モトクロス用,TR用=トライアル用,
R用=ロードレース用,R特選=ロードレース特選
形状/J=ジェットタイプ,F=フルフェイスタイプ

●昭栄化工(株)

〒110 東京都台東区上野5-8-5 cp10ビル ☎03-5688-5190

名	称	取得規格	形状	公認年月
1F-SARRON		SNELL JIS-C・R特選	F	'87.3.4
VJ-201		JIS-C-T用	F	'87.3.31
TJ-72		JIS-C-T用	J	'87.6.31
GX-2		SNELL JIS-C・R特選	J	'87.6.5
GX-2(FAVOR)		SNELL JIS-C・R特選	F	'87.6.5
RFV-TASK5		SNELL JIS-C・R特選	F	'88.1.6
RFV-VESTA		SNELL JIS-C・R特選	F	'88.1.6
GRV		SNELL JIS-C・R特選	F	'88.1.6
RFV-VOGUE		SNELL JIS-C・R特選	F	'88.1.6
RF-TRITONE		SNELL JIS-C・R特選	F	'88.1.6
RFV-DEGREE		SNELL JIS-C・R特選	F	'88.1.6
RFV-VOGUE		SNELL JIS-C・R特選	F	'88.7.5
REV-DEGREE		SNELL JIS-C・R特選	F	'88.7.5
REV-TASK5		SNELL JIS-C・R特選	F	'88.7.5
REV-VESTA		SNELL JIS-C・R特選	F	'88.7.5
GRV-ROBERTS		SNELL JIS-C・R特選	F	'88.7.5
GRV		SNELL JIS-C・R特選	F	'88.7.5
GRV-LAWSON		SNELL JIS-C・R特選	F	'88.7.5
GRV-GARDNER		SNELL JIS-C・R特選	F	'88.7.5
JET-X		SNELL JIS-C・R特選	F	'89.1.11
RSV		SNELL JIS-C・R特選	F	'89.1.11
VZ		JIS-C-M用	F	'89.6.13
VZ-II		JIS-C-M用	F	'89.6.13
GFV-R		JIS-C-R用	F	'89.9.5
VX-4R		JIS-C-M用	F	'89.11.7
FX-1		JIS-C-R用	J	'90.5.8
RHV		JIS-C-R用	F	'90.9.4
FX-TOURING		JIS-C-M用	J	'90.4.10
X-8		JIS-C-R特選用	F	'93.1.27
TSV		JIS-C-R特選用	F	'93.1.27
VF-X		JIS-C-M用	F	'93.1.27
X-8 SP		JIS-C-R特選用	F	'93.2.24
FX-AFREET		JIS-C-M用	F	'93.2.24
NEW SR-X7		JIS-C-TR,T用	J	'93.2.24
TR-2P		JIS-B-TR用	J	'93.2.24
FX-J		JIS-C-M用	F	'93.2.24
BL-J		JIS-B-TR,T用	J	'93.2.24
ES-J		JIS-B-T用	F	'93.2.24
X-FOUR Light		JIS-C-R用	F	'93.4.28
NRV		SNELL M90 JIS-C種	F	'93.11.23
X-8V		SNELL JIS-C-R特選	F	'94.12.1
VF-X2		SNELL JIS-C-M用	F	'94.12.1

●(株)アライヘルメット

〒330 埼玉県大宮市東町2-12 ☎0486-41-3825

名	称	取得規格	形状	公認年月
F-V		SNELL JIS-C・R特選	F	'89.6.13
GIGA		SNELL JIS-C・R特選	F	'89.6.13
ASTRO-R		SNELL JIS-C・R特選	F	'89.6.13
MX-2		JIS-C-M用	J	'89.6.13
RAPIDE-VIII		JIS-C-R用,SNELL M85	F	'90.5.8
RAPIDE-μ		JIS-C-R用,SNELL M85	F	'90.5.8
MX-Enduro		JIS-C-M用,SNELL M85	J	'90.5.8
AT-S		JIS-B-TR用	F	'90.5.8
Super cLc RX-7RR		JIS-C-R特用	F	'93.1.27
OW		JIS-C-R,M用	F	'93.2.24
VX		JIS-C種	F	'94.11.30

●東京シート(株)

〒351 埼玉県朝霞市栄町3-7-27 ☎0484-62-1121

名	称	取得規格	形状	公認年月
AMI(L-06)		JIS-B・TR,T用	F	'87.10.7
AMI(L-07)		JIS-B・TR,T用	F	'87.10.7
AMI(L-08)		JIS-B・TR,T用	F	'87.10.7
RHEOS(R-21)		JIS-C-R用	F	'87.10.7
RHEOS(R-92)		JIS-C-R用	F	'87.10.7
RHEOS(R-93)		JIS-C-R用	F	'87.10.7
RHEOS(R-94)		JIS-C-R用	F	'87.10.7
RHEOS(R-95)		JIS-C-R用	F	'87.10.7
RHEOS(R-96)		JIS-C-R用	F	'87.10.7
RHEOS(R-97)		JIS-C-R用	F	'87.10.7
SEED(J-23)		JIS-B・TR,T用	J	'87.10.7
Ami		JIS-B・TR,T用	J	'88.1.18
SEED-R22		JISC-R用	F	'88.1.18
SEED-R23		JISC-R用	F	'88.1.18
RHEOS R98		JISC-R用	F	'88.1.18
RHEOS R99		JISC-R用	F	'88.1.18
RHEOS R92LED		JISC-R用	F	'88.7.5
RHEOS RR101		SNELL JIS-C・R特選	F	'88.12.12
RHEOS RR102		SNELL JIS-C・R特選	F	'88.12.12
RHEOS RR103		SNELL JIS-C・R特選	F	'88.12.12
RHEOS RR104		SNELL JIS-C・R特選	F	'88.12.12
RHEOS RR301		SNELL JIS-C・R特選	F	'88.12.12
RHEOS RR302		SNELL JIS-C・R特選	F	'88.12.12
RHEOS PA101		JIS-C-R用	F	'89.2.14
RHEOS PA102		JIS-C-R用	F	'89.2.14
RHEOS PA103		JIS-C-R用	F	'89.2.14
RHEOS(RC)		JIS-C-R用	F	'91.2.20
Rheos(RD)		JIS-C-R用	F	'92.3.11
Rheos(JB)		JIS-C-M・T用	J	'92.4.17
HONDA Rheos(RC)		SNELL R特選	F	'92.5.13
Rheos RC		JIS-C-R用	F	'93.6.20
ami L10		JIS-C-TR,T用	J	'93.7.28
ami J10		JIS-C-TR,T用	J	'93.7.28
RHEOS			J	'93.1.7
RHEOS(RE2)		JIS-C種	F	'94.4.27

●(株)コミネオートセンター

〒111 東京都台東区小島2-20-11 ☎03-3862-9774

名	称	取得規格	形状	公認年月
KF-RV		JIS-C-R用	F	'86.3.26
KF-RC		JIS-C-R用	F	'86.9.9
ANSWER		SNELL JIS-C-M用	F	'86.9.9
NARVA NC-2		JIS-C-R特選	F	'88.10.5
NARVA CROSS		JIS-C-M用	J	'90.1.9
Spazio		JIS-C-R用	F	'90.4.3
JT		JIS-C-M用	J	'90.4.3

●(株)エフイーティー

〒157 東京都世田谷区千歳台4-30-11 ☎03-3329-3951

名	称	取得規格	形状	公認年月
NOLAN N35 AIR		JIS-C-R用	F	'88.5.6
NOLAN N35 AIR		JIS-C-R用	F	'88.5.13
AXO SPORT X-49		JIS-C-M用	F	'89.6.13
AXO SPORT RX-1		JIS-C-M用	J	'91.8.20
AXO SPORT RX-2		JIS-C-M用	F	'92.9.25

●大日本インキ化学工業(株)

〒103 東京都中央区日本橋3-7-20 ☎03-3278-9806

名	称	取得規格	形状	公認年月
DIC(TY-1)		JIS-C-R用	F	'86.4.30
DIC(DF-1)		JIS-C-R用	F	'86.1.9
DIC(DF-2)		JIS-C-R用	F	'87.3.31
DIC(GP*87)		JIS-C-R用	F	'87.7.7
DIC(K)		JIS-C-R用	F	'87.9.4
DIC(AR)		JIS-C-R用	F	'87.9.4
DIC(ZIO)		JIS-C-R用	F	'87.11.4
SUZUKI(IONE)S50C			F	'81.1.18

付録

●興和精機(株)

〒105 東京都港区芝1-13-17 ☎03-3453-6011

名	称	取得規格	形状	公認年月
GRIFFIN(G100TD)		JIS-B・TR, T用	J	'86.10.23
GRIFFIN(GS-520)		JIS-B・T用	F	'86.10.23
GRIFFIN(GX-707)		JIS-B・T用	F	'86.10.23
GRIFFIN(GS530)		JIS-B・T用	F	'86.11.23
GRIFFIN(GX707)		JIS-C・M用	F	'87.3.4
GRIFFIN(GS530)		JIS-C・R用	F	'87.3.4

●(株)光輪モーターズ

〒110 東京都台東区東上野4-26-4 ☎03-3841-4112

名	称	取得規格	形状	公認年月
AGV(KR2000)		JIS-C・R用	F	'86.1.30

●ワールド通商(株)

〒113 東京都文京区本郷1-24-1 本郷MFビル3F ☎03-3818-5451

名	称	取得規格	形状	公認年月
ポルシェ・デザイン(CP-4)		JIS-C・R用	F	'86.2.25
KIWI(K-16)		JIS-C・R用	F	'86.7.2
KIWI(K-20)		JIS-C・R用	F	'88.1.6

●(株)モトワールド

〒110 東京都台東区台東3-31-4

名	称	取得規格	形状	公認年月
ANSWER A-TECH-5			F	'88.8.4

●(株)谷尾商会

〒530 大阪府大阪市北区松ヶ枝町5-4 ☎06-358-0651

名	称	取得規格	形状	公認年月
NAVA 3A/C		JIS-C・R用	F	'86.4.28
NAVA-8		JIS-C・R用	F	'87.7.7

●(株)ヤナセ

〒108 東京都港区芝浦1-6-38

名	称	取得規格	形状	公認年月
FJ(FJ-01)		JIS-C・R用	F	'86.5.28
FJ(FJ-02)		JIS-C・R用	F	'86.4.28
F-J(FJ-II-インテグ)		JIS-C・R用	F	'87.7.7

●クノ工業(株)

〒141 東京都品川区西五反田7-22-17 TOC内 ☎03-3494-3371

名	称	取得規格	形状	公認年月
EF-2		JIS-C・M用	J	'86.8.5
DELTA		JIS-C・M用	J	'86.8.5
AGLE		JIS-C・M用	J	'86.8.5
LYNX		JIS-C・M用	J	'86.8.5
SETA(045)		JIS-C・R用	F	'87.3.4

●ユニコ(株)

〒106 東京都港区六本木7-3-17 ☎03-3478-2707

名	称	取得規格	形状	公認年月
VS-2		JIS-C・R用	F	'86.3.26
NEF(VS-2)		JIS-C・R用	F	'86.12.15
NEF-RO2		JIS-C・R用	F	'88.6.10

●(株)立花自動車用品

〒133 東京都江戸川区本一色3-16-20 ☎03-3653-6278

名	称	取得規格	形状	公認年月
カスタム ES-2(A型)		JIS-A・T用	J	'92.4.8
カスタム(A型)		JIS-A・T用	J	'92.3.11
ライジン(A型)		JIS-A・TR用	J	'93.2.24
ライジン(レザートップ)		JIS-A・TR用	J	'93.2.24

●ヤマハ大船渡製造(株)

〒022 岩手県大船渡市大船渡町字欠の向下一1 ☎0192-27-4101

名	称	取得規格	形状	公認年月
GEORAMA-TS		JIS-C・R用	F	'86.1.30
GEORAMA-RS		JIS-C・R用	F	'86.2.24
FE-X		JIS-C・R用	F	'86.2.24
OE		JIS-C・M用	F	'86.2.24
GEORAMA-GFV			F	'86.3.15
GEORAMA-GFV-R		JIS-C・R用	F	'89.9.5

GFS	JIS-C・R用	F	'89.10.11
YFR	JIS-C・R用	F	'90.5.8
YFV	JIS-C・R用	F	'90.5.8
INPURE(YOA)	JIS-C・R用	F	'90.5.8
YFV(HJ1)	SNELL・R特選	F	'91.7.3
GFV(YOE)	JIS-C・R用	F	'92.6.3
YJ-X(YON)	JIS-C・M用	J	'92.7.8
STAIR	JIS-C・R特選	F	'93.6.23
GIBSON	JIS-C・M用	F	'92.2.5
YSF(YOH)	JIS-C種	F	'94.7.27

●(株)ジャパンプロダクト

〒133 東京都江戸川区上一色416-1 ☎03-3655-9055

名	称	取得規格	形状	公認年月
R120N R2-1		JIS-C・R用	F	'86.7.2

●(株)RSタイチ

〒574 大阪府大東市中垣内3-1-25 ☎0720-74-3268

名	称	取得規格	形状	公認年月
JT(ALS-1)		JIS-C・M用	J	'87.9.4
JT(ALS-2)		JIS-C・M用	F	'87.9.4

●旺文社パシフィック(株)

〒162 東京都新宿区横寺町55 ☎03-3266-6035

名	称	取得規格	形状	公認年月
NAVA		JIS-C・T用	セリJ	'86.7.26

●(株)大郡

〒110 東京都台東区北上野1-7-1 ☎03-3843-6426

名	称	取得規格	形状	公認年月
BELL(MAG-4)		SNELL JIS-C・M用	J	'86.9.30

●(株)丸万茂又

〒530 大阪府大阪市北区西天満6-1-5 ☎06-364-4678

名	称	取得規格	形状	公認年月
MAC		JIS-C・R用	F	'87.8.5

●(株)ドルフィン・インターナショナル

〒193 東京都八王子市散田町5-24-11 ☎0426-65-7843

名	称	取得規格	形状	公認年月
BELL MOTOS		SNELL JIS-C・R特選	F	'89.5.9

●日栄プラスチック(株)

〒362 埼玉県北足立郡伊奈町大字小室字志久4429 ☎048-723-0611

名	称	取得規格	形状	公認年月
DIC(DFX)		SNELL・R特選	F	'91.2.15
Gibson(YX)		JIS-C・M用	F	'92.2.5
DIC(RT35-06)		JIS-C・R用	F	'92.7.8
DIC-VR		JIS-C・R用	F	'89.12.12
SYDEEN		SNELL JIS-C・R用	F	'89.3.7
DIC-Inc State		JIS C・M用	J	'89.5.9
DIC-zio-SX		JIS C・R用	F	'89.7.20
DIC ZR		JIS C・R用	F	'89.11.7

●オーケー販売(株)

〒577 大阪府東大阪市御厨西ノ町60 ☎06-783-5906

名	称	取得規格	形状	公認年月
RS-1		JIS-C・R用	F	'91.6.6
RS-1R		JIS-C・R用	F	'92.9.25
EX-R/S-93G		JIS-C・R用	F	'93.6.23

●ヤマハ発動機(株)

〒438 静岡県磐田市新貝2500 ☎0538-37-4111

名	称	取得規格	形状	公認年月
YZ07		JIS-C・R用	F	'93.6.23

●(株)イエローコーン

〒154 東京都世田谷区新町2-7-1 ☎03-3479-0444

名	称	取得規格	形状	公認年月
SIMPSON(BANDIT5)		JIS-C種	F	'94.1.26

●岡田商事株

〒105 東京都港区芝大門1-3-7 ☎03-5473-0371

名称	取得規格	形状	公認年月
BELL(MOTO6)	JIS-C種	F	'94.5.10
BELL(RACE STAR)	JIS-C種	F	'94.6.29

●裾大都

〒110 東京都台東区北上野1-7-1 ☎03-3843-6426

名称	型式	公認月日
THE BIKE	RCシリーズ	'90.10.23
D'S	DRS-3007,3008	'91.5.8
THE BIKE	オーダーメイド	'91.5.8
THE BIKE	FR-10,11,12,13	'91.6.5
THE BIKE	FR-3,5,6,7,8,9	'91.2.6
THE BIKE	GP-3,GP-5	'91.2.6
THE BIKE	RC-335,RS-NB	'93.8.25

●(株)光輪モータース

〒110 東京都台東区東上野4-26-4 ☎03-3841-4112

名称	型式	公認月日
PLICANA	グループC(PT-MS)	'90.10.23
PLICANA	グループA(PT-RXIGP)	'91.2.6
PLICANA	グループB(PT-NIGP)	'91.2.6
PLICANA	グループH(PT-ATILS)	'91.2.6
PLICANA	PT-ZEAI	'91.11.5

●(有)セクレテール

〒152 東京都目黒区目黒本町6-21-15 ☎03-3714-0533

名称	型式	公認月日
セクレテール	RF,RC,RS,TR,MFR	'90.10.23
セクレテール	(オーダー)	'90.10.23
セクレテール	MFR-912	'92.3.11
セクレテール	RS-26,27	'92.3.11
セクレテール	RS-28,29,30,REP	'92.11.28
セクレテール	RF,RS,REP	'93.5.26
セクレテール	RF33,RS43,RF7944,RF7945	'94.10.31

●株デグナー

〒607 京都府京都市山科区川田前畑町1-8 ☎075-501-7137

名称	型式	公認月日
デグナー	R-1	'90.10.23
デグナー	R-2	'90.10.23
デグナー	R-6	'90.10.23

●(株)ナカタケ

〒721 広島県福山市港町2-16-22 ☎0849-23-2423

名称	型式	公認月日
ナカタケ	NS・ゴーズアップシリーズ	'90.10.23
ナカタケ	NS-R	'91.11.5

●(株)邑輝総研

〒150 東京都目黒区青葉台3-18-10 #201 ☎03-3462-1591

名称	型式	公認月日
Boldor	レーシングワンピース	'90.10.23

●ツナギのコウタ

〒300-35 茨城県結城郡八千代町佐野16 ☎0296-49-0626

名称	型式	公認月日
コウタ	(オーダー)	'90.9.29

●(有)ライブラ

〒491 愛知県一宮市大和町高安賀字角出62 ☎0586-44-6451

名称	型式	公認月日
ライブラレーシングスーツ	LRS-01	'90.10.23
COSMIC(Libra)	オーダーメイド	'92.1.9

●東京ベルト(株)

〒181 東京都三鷹市下連雀1-13-7 ☎0422-45-2970

名称	型式	公認月日
TO BEL	TBシリーズ	'90.10.23

●(有)フォーヘッドインターナショナル

〒271 千葉県松戸市穂台37 ☎0473-64-6555

名称	型式	公認月日
フォーヘッド(FOR HEAD)	(オーダーメイド)	'90.11.17
フォーヘッド(FOR HEAD)	FH-001,002,009	'90.11.17

公認レーシングスーツ

●(株)カドヤ

〒111 東京都台東区西浅草3-29-21 ☎03-3843-2000

名称	型式	公認月日
ON THE RACE G2	RP,PX,MM,RD,PT	'90.10.23
NEW CONCEPTER	MDシリーズ(MD1,2は兼)	'90.10.23
KADOYA	OR-SR	'90.10.23
ON THE RACE G2	RP-FS 0020	'91.4.10
ON THE RACE G2	G2/RP(G2/RP-125)	'92.3.11
ON THE RACE G2	G2/RP(G2/RP-07.08)	'92.3.11

●(株)クシタニ

〒430 静岡県浜松市三島町231 ☎053-44-2251

名称	型式	公認月日
KUSHITANI	KR-KRN	'90.10.23
KUSHITANI	KI	'90.10.23
KUSHITANI	K	'91.1.18
KUSHITANI	KV	'91.1.18
KUSHITANI	オーダーメイド	'91.2.6
KUSHITANI	KI-101,102,103	'91.4.10
KUSHITANI	KX-1	'91.11.5
KUSHITANI	KX-1	'91.11.5
KUSHITANI	KI-X(KI-107X)	'92.11.1
KUSHITANI	KI-XM(KI-106)	'92.11.1
KUSHITANI	KI-X	'93.3.24
KUSHITANI	KI-X(KI-109,KI-111)	'94.1.10
KUSHITANI	KI-X(KI-112,KI-113)	'94.11.23

●(株)ルック

〒125 東京都葛飾区亀有4-3-7 ☎03-3604-7800

名称	型式	公認月日
SR	SR-01-03	'90.10.23
RS	RS-I-V	'90.10.23
SS	SS-I-III	'90.10.23
Look	(オーダー)	'90.10.23
ラファール3	オーダーメイド	'91.4.10
GPシリーズ		'92.11.28
SPシリーズ	SP	'93.11.24

●(株)RSタイチ

〒574 大阪府大東市中垣内3-1-25 ☎0720-74-3268

名称	型式	公認月日
Nixeレーシングレザースーツ	NXL	'90.9.29
NIXEレーシングレザースーツ	NXL005,006,007,008,009	'91.9.8
NIXEレーシングレザースーツ	NXL,NXL(オーダー)	'91.1.18
NIXEレーシングレザースーツ	NXL(NXL001)	'92.10.7
NIXEレーシングレザースーツ	NXL(NXL012,015)	'92.10.7
NIXEレーシングレザースーツ	NXL(NXL011)	'92.10.14
NIXE NXL	NXL016	'94.1.26
NIXE NXL	NXL017-018	'94.1.26

●(株)アズ・スポーツ

〒158 東京都世田谷区玉川谷1-1-3 ☎03-3709-3750

名称	型式	公認月日
Justys!	J-001R~J-023R	'90.10.23
Justys! J-PRO-R	JPR-001R~JPR004R	'90.10.23
A's Racing	AS001SO~AS-007SO	'90.10.23

付録

●(株)レインボー

〒110 東京都台東区北土野1-5-5 ☎03-3843-5606

名 称	型 式	公認月日
レインボー	(オーダーメイドレーシング)	'90.11.17

●(有)アールシーエム

〒661 兵庫県尼崎市武庫の里1-11-1-104 ☎06-431-8066

名 称	型 式	公認月日
Toril	オーダーメイド	'91.5.8
ファルコン	オーダーメイド	'91.5.8
HAL	オーダーメイド	'91.5.8
FALCON	FS	'91.3.12
Toril	TX, TXR	'91.3.12
HAL	01A, 02A, 03A, 05A, 06A	'91.5.8
プラスト	オーダーメイド	'91.11.5

●(株)アイアンドエイ

〒660 兵庫県尼崎市大物町1-1-15 ☎06-401-1011

名 称	型 式	公認月日
B-LINE	オーダーメイド	'91.5.8

●(株)アダチ

〒462 愛知県名古屋市中区丸新町453 ☎052-902-4343

名 称	型 式	公認月日
JRP	オーダーメイド	'91.2.6
MOTO FLASH	オーダーメイド	'91.2.6
RSA	オーダーメイド	'91.2.6
MOTOR KING MICHIO KOSHINO	オーダーメイド	'92.3.11

●(株)アチーブ

〒340 埼玉県草加市谷塚町288-1 ☎0489-24-7164

名 称	型 式	公認月日
レーシングスラップYONEZO	オーダーメイド	'91.1.8

●(有)エフワン

〒114 東京都北区豊島4-14-2 ☎03-3912-5149

名 称	型 式	公認月日
エフワン	FR-2A, 4B, G3A, Z1, Z2, カスタム	'91.5.8
F.ONE	FR-G2B	'91.2.6

●ジュベットレザーハウス

〒434 静岡県浜北市小松4646-9 ☎053-586-6001

名 称	型 式	公認月日
JUBET	オーダーメイド	'91.4.10

●(株)木島

〒123 東京都足立区西新井4-16-3 ☎03-3897-2167

名 称	型 式	公認月日
KISS	オーダーメイド	'91.4.10
KISS RACING	プロトワン・プロトツー	'91.2.6

●(株)キャロップ

〒171 東京都豊島区目白2-2-2平口ビル2F ☎03-3982-7531

名 称	型 式	公認月日
FORZA	FO-404, 405, 406	'91.2.6
FORZA	オーダーメイド	'91.2.6
R-SPORTS	R-SPORTS02, 401, 402, 403	'91.5.8
FORZA	FO407	'91.10.16
STREET SLIDER	SSシリーズ SS-03	'92.9.5
TRX	X-Sシリーズ	'93.1.27
FORZA	FOシリーズ	'93.2.24
ワンズワン	GOシリーズ	'93.5.26
STREET SLIDER	SSシリーズ	'93.5.26
モトプラザGT	GTシリーズ	'93.11.23
FORZA FOシリーズ	FO-411	'94.4.27
FORZA FOシリーズ	FO-412	'94.9.15
FORZA FOシリーズ	FO-413	'94.10.31

●(株)ホンダショップアルトモスポーツクラブ

〒537 大阪市東成区大今里3-15-25 ☎06-971-6381

名 称	型 式	公認月日
KIKUTANI	AK	'93.2.24

●(有)後藤商店

〒182 東京都調布市千川町3-12-6 ☎03-3308-8135

名 称	型 式	公認月日
GOTO MD-Performance	MD-1-Ⅷ	'91.1.8
GOTO	オーダーメイド	'91.1.8
GOTO MD-Performance	MD-Y9, 10, 11	'93.4.28

●(株)コミネオートセンター

〒111 東京都台東区小島2-20-11 ☎03-3862-9811

名 称	型 式	公認月日
Spazioレーシング	A, S-11	'91.2.6
KOMINE Spazio	オーダーメイド	'91.2.6
Spazio	S-14R	'91.5.8
Spazio	S-B, S-8, S-10, S-14	'91.6.5
Spazio	S-15	'92.1.9
Spazio	S-16	'92.11.28

●ジニアス

〒579 大阪府東大阪市客坊町4-14 ☎0729-87-0165

名 称	型 式	公認月日
ジニアス	SIR-G	'91.2.6

●ステーシレザ

〒133 東京都江戸川区北小岩7-14-10 ☎03-3672-4968

名 称	型 式	公認月日
PRO STAGE	レーシングワンピース	'91.1.18

●ダイネーゼジャパンインク

〒564 大阪府吹田市南吹田5-9-1 ☎06-369-0851

名 称	型 式	公認月日
ダイネーゼ	T, MONZA, T, MORGANO, T, SILVERSTONE	'91.8.7
ダイネーゼ	T, GRAPHICA, T, FRECCIA, T, CHILLYTEAM	'91.8.7
ダイネーゼ	T, STORM, T, KIL, T, EIGER, T, SPINATA	'92.5.13
ダイネーゼ	T, K. S.	'93.4.28
ダイネーゼ	T-SAFETY PRO	'94.6.29

●(株)谷尾商会

〒530 大阪府大阪市北区松ヶ枝町5-4 ☎06-358-0651

名 称	型 式	公認月日
ラビーン	RVX-1-5	'91.1.18

●南海部品(株)

〒530 大阪府大阪市北区曾根崎新地2-6-28 ☎06-344-1581

名 称	型 式	公認月日
ナンカイ	SDシリーズ	'91.2.6
SRシリーズ	SRシリーズ	'91.2.8
ナンカイ	オーダーメイド	'91.6.5
ナンカイ	NR-011R平レブリカスーツ	'91.6.5
ナンカイ	NR-50プロレーシングスーツ	'91.6.5
ナンカイ	NRシリーズ	'91.1.8
ナンカイ	SR-16	'92.5.13
ナンカイ	SR-17	'92.5.13
ナンカイ	NR-51	'92.5.13
ナンカイ	SD8	'92.11.1
ナンカイ	NR-52	'92.11.1
ナンカイ	NR-51, SR-16, 17	'93.3.24
ナンカイ	SR-18	'93.11.24
'94年ドゥーハンレブリカニューモデル	NR-06R8, NR-013R1	'94.4.27
SDシリーズ	SD-SPECIAL	'94.4.27
'94ドビーターマールプロレーシングレブリカ	NR-015R1	'94.7.27
'94原田哲也レーシングレブリカ	NR-018R1	'94.7.27
'94ノボラタキーストライクレーシングレブリカ	NR-014R1	'94.7.27
'94辻村猛レーシングレブリカ	NR-016R1	'94.7.27
'94丹野とも子レーシングレブリカ	NR-017R1	'94.7.27

●(有)ハイブ

〒116 東京都荒川区南千住6-59-16 ☎03-3803-6292

名 称	型 式	公 認 月 日
ハイブ	オーダーメイド	'91.3.12

●バギー(株)

〒636-03 奈良県磯城郡川西町梅戸226 ☎07454-3-0177

名 称	型 式	公 認 月 日
バギー, ベルベット BR	オーダーメイド	'91.4.10
バギー, ベルベット BR	A, AP, AR	'91.1.18

●(有)ビッグスター

〒110 東京都台東区北上野1-5-5 ☎03-3487-1480

名 称	型 式	公 認 月 日
ビッグスター	オーダーメイド	'91.4.10

●ファクトリースズキ

〒982 宮城県仙台市太白区郡山穴田東25-1 ☎022-248-5315

名 称	型 式	公 認 月 日
PRIDE ONE	オーダーメイド	'91.9.4

●(有)フジタレザー

〒502 岐阜県岐阜市福光西2-10-15 ☎0582-33-5620

名 称	型 式	公 認 月 日
フジタレザー	オーダーメイド	'91.6.5

●ユニバース

〒183 東京都府中市寿町1-1-10 ☎0423-60-6311

名 称	型 式	公 認 月 日
STUFF U	SU1003, 5, 6, 7STAGE	'91.3.12
STUFF U	オーダーメイド	'91.3.12
PROSPEC	RC・1-001, RC・1-002	'91.6.5

●ブレンレザー

〒579 大阪府東大阪市石切町2-4-22 ☎0729-88-2664

名 称	型 式	公 認 月 日
ブレンレザー	オーダーメイド	'91.3.12

●(株)モータースポーツミスターヒロ

〒580 大阪府松原市立部2-499-1 ☎0723-36-1580

名 称	型 式	公 認 月 日
Mr. hiro	オーダーメイド	'91.9.4

●アレス

〒340 埼玉県草加市青柳町7-11-22 ☎0489-31-4319

名 称	型 式	公 認 月 日
アレス	オーダーメイド	'91.2.6

●ヤマハ発動機(株)

〒438 静岡県静岡市新貝2500 ☎0538-32-1111

名 称	型 式	公 認 月 日
YAMAHA YL-Aシリーズ	YL-340, 336, 337, 338	'91.2.6
Takai R	TR・TRL	'90.10.23
PRO SHOP TAKAI	オーダーメイド	
Takai R	TR TRL	'91.5.8

●ライティングコスチュームT&T

〒673 兵庫県神戸市西區池上4-13-8 ☎078-974-8682

名 称	型 式	公 認 月 日
T&T	TS	'91.1.18

●レーシングプロショップO.S.F.C

〒954-04 新潟県西蒲原郡西川町新栄町296 ☎0256-88-7441

名 称	型 式	公 認 月 日
レーシングプロショップO.S.F.C	O.S.F.C	'91.2.6

●(有)ワンステップライダー

〒452 愛知県名古屋市中区赤城町1 ☎052-502-7517

名 称	型 式	公 認 月 日
OSR	YR-07	'90.11.17

●パパス

〒116 東京都荒川区南千住2-16-15 高畑ビル1F ☎03-3801-0438

名 称	型 式	公 認 月 日
Papa's	オーダーメイド	'92.1.9

●(有)福富洋商会

〒300-11 茨城県稲敷郡阿見町大字荒川沖1924-1 ☎0298-42-8161

名 称	型 式	公 認 月 日
SURE(シュアー)	オーダーメイド	'92.1.9

●BCピロータ

〒193 東京都八王子市千人町3-4-21 ☎0426-46-9661

名 称	型 式	公 認 月 日
BC, ピロータ	オーダーメイド	'92.1.9

●(株)ブランツ

〒111 東京都台東区駒形1-10-9 村上ビル ☎03-3844-4135

名 称	型 式	公 認 月 日
ハロスギア レーシングスーツ	OP-1 オーダーメイド	'92.1.9

●レザーハウスA&M

〒277 千葉県柏市花野井1925 ☎0471-33-1664

名 称	型 式	公 認 月 日
レザースーツA&M	オーダー	

●美津濃(株)

〒559 大阪府大阪市住之江区南港北1-12-35 ☎06-614-8124

名 称	型 式	公 認 月 日
MIZUNO	オーダーメイド	'92.3.11

●WORK BOX KASAI

〒985 宮城県多賀城市笠神2-2-1 ☎022-366-6879

名 称	型 式	公 認 月 日
[balet]	オーダーメイド	'92.3.11

●ツカサプランニング

〒120 東京都足立区青井3-34-3 ☎03-3801-0438

名 称	型 式	公 認 月 日
HELIO TROPE	HERIO RACING	'92.3.11

●(有)レーシングショップアイティーエ

〒982 宮城県仙台市太白区若葉町25-25 ☎022-229-0490

名 称	型 式	公 認 月 日
ITAレーシングスーツ	ITAオーダー	'92.3.11

●アトリエ・ワン

〒485 愛知県小牧市南外山長田64-1 ☎0568-71-3040

名 称	型 式	公 認 月 日
A-ONE RACING	オーダーメイド	'92.7.8

●レースサービスAxtas

〒192 東京都八王子市北野町510-13 ☎0426-48-2558

名 称	型 式	公 認 月 日
Axtas	AYシリーズ	'94.2.23

●(株)ホンダアクセス

〒351 埼玉県朝霞市泉水3-15-1 ☎048-466-3511

名 称	型 式	公 認 月 日
Super Bold'os	ダイトナ, イモラ, オクケンハイム, キヤクシ, タグナセカ, アッセン, イースタンクレーク, スズア, ヘルス, シルバーストーン, '94オカダ	'94.9.28

MFJ公認タイヤ

●井上ゴム工業(株)

〒450 愛知県名古屋市中村区名駅南1-23-17笹島ビル8F ☎052-581-0701

タイヤ名	サイズ	登録月日
TRIAL WINNER	4.00R18, TR-7	'86.3.26
TRIAL WINNER TR-9	4.00R18	'87.7.8
PRO-TECH NS-50F	2.75-174PR, 2.75-184PR, 80/100R16, 80/90R16	
NS-50R	2.75-184PR, 3.00-174PR, 90/90R18, 90/90R17	
PRO-TECH NS-10F	90/90R18, 100/80R17, 100/90R16, 110/70R17, 110/80R17, 110/80R18, 120/70R17, 120/80R16	
NS-10R	110/80R18, 120/80R17, 120/80R18, 130/70R18, 130/90R16, 140/60R18, 140/70R18, 160/60R18	
SPATOLA SPO 1F RADIAL	110/70R17 54H, 120/60R17 55H, 150/60R17 66H, 160/60R17 69H	'92.7.1
TRIAL WINNER TRO11F TUBE TYPE	2.75-21	'92.10.1
TRIAL WINNER TRO11F TUBELESS	4.00R18	'92.10.1

●日本ミシュランタイヤ(株)

〒102 東京都千代田区富士見1-6-1富士見ビル ☎03-5210-2731

タイヤ名	サイズ	登録月日
MICHELIN TRIAL COMPETITIONX11TL	4.00R18 TL	'87.7.8
ラジアルA59X	130/60R16, 120/80R16, 130/60R17 (59H, 59Z), 110/70R17, 120/70R17 (58, 58Z)	
ラジアルM59X	160/60R16, 160/80R16, 180/55R17, 160/60R17 (60H, 60Z), 160/60R18, 150/70R70	
ハイスポートラジアルTX11	120/80R16, 130/60R17, 120/70R17, 100/80R17, 110/80R17, 120/60R17 (55H, 55Z), 110/70R17, 110/80R18	
ハイスポートラジアルTX23	160/80R16, 180/55R17, 150/60R17, 160/60R17 (60H, 60Z), 130/70R17, 150/70R17	
P2301	12/60R17	
P3104	15/61R17, 18/67R17	
P1201	12/60R17	
P3103	15/61R17, 18/67R17	
MICHELIN TRIAL COMPETITION	2.75-21TT	'91.11.1
MICHELIN TRIAL COMPETITION	2.75-21TL	'91.11.1
MICHELIN TRIAL COMPETITIONX11TL	4.00R18TL	'91.11.1
A59X	120/60R17 55Z	'92.4.3
MICHELIN TRIAL COMPETITIONX11TL	4.00R18 T/L	'92.5.1
ハイスポートラジアルTX11B/TX23	110/70ZR17 120/70ZR17 120/60ZR17 190/50ZR17 180/55ZR18	'94.7.28

●阿部商会(株)

〒101 東京都千代田区神田美土代町3 ☎03-3233-2212

タイヤ名	サイズ	登録月日
ビレットラジアルタイヤ・MT73グラトラジアル	2.75-21 MT73	'90.9.7
MP7スポーツレーシング	110/70ZR17, 120/60ZR17, 120/70ZR17, 150/60ZR17, 160/60ZR17, 180/55ZR17, 140/60ZR18, 170/60ZR18	'91.7.4
MT75レーシング	100/80T16, 100/80T17, 130/70T17, 140/70T17, 130/70T18	'91.7.4

●(株)日本ダンロップ

〒651 兵庫県神戸市中央区筒井町1-1-1 ☎078-231-4141

タイヤ名	サイズ	登録月日
K320	2.75-21 4PR	'86.11.23
K320	4.00R18 4PR	'86.11.23
TT500F GP	80/90R16, 90/90R16, 100/90R16, 90/80R17, 100/18R17 (52H, 57H, 54H)	
TT50GP	90/90R17, 120/80R17, 140/80R17, 130/70R17, 140/70R17, 100/90R18, 130/70R18	
RIDEEN GPR-30E	110/70R17, 120/70R17, 120/60R17, 100/60R17, 150/60R17, 160/60R17, 170/60R17, 140/60R18, 150/60R18	
MR677	3.25/4.75R17, 4.00/6.00R18, 2.50/3.00R18, 2.75/3.75R18, 3.25/5.75R17, 3.25/5.75R18, 2.65/3.25R17, 2.85/4.00R17, 3.80/6.00R17, 3.60/6.70R18	
RIDEEN GPR-60F	110/70R1754H, 120/60R1755H	'91.5.9
RIDEEN GPR-60	150/60R1766H, 160/60R1769H, 140/60R1864H, 150/60R1867H	'91.5.9
TT700F GP	100/80-1752H, 110/70-1754H, 100/90-1654H	'91.5.9
TT700GP	130/70-1762H, 140/70-1766H, 120/80-1761H, 130/70-1863H, 130/90-1667H	'91.5.9
TT700F GP	90/90-18, 110/80-17	'92.3.4
TT700 GP	110/80-18, 110/90-18, 120/80-18, 140/70-18, 150/70-17	'92.3.4
K375F	100/80-17	'92.2.4
K375FG	100/80-17	'92.2.4
K375	120/80-17	'92.2.4
K420GPチューブレス	4.00R18 4PR	'92.4.1
K420GPチューブレス	4.00R18 4PR	'92.4.1
TT500F GP	100/80-17 52S	'92.6.20
TT500GP	120/80-17 61S	'92.6.20
K420チューブタイプ	2.75-21 (45K)	'92.11.6
K420チューブレス	2.75-21 (45K)	'92.11.6
K420GPチューブタイプ	2.75-21 (45M)	'92.12.3
K420GPチューブレス	2.75-21 (45M)	'92.12.3
K420GPチューブタイプ	4.00R18 (64M)	'92.12.15
K420GPチューブレス	4.00R18 (64M)	'92.12.15
MR777	150/60R17	'93.3.23
MR977	90/75R17 115/65R17 120/70R17 160/60R17	'94.3.22
D801Fチューブタイプ	2.75-21 4P.R. (45M)	'94.5.1
D801Fチューブレスタイプ	2.75-21 4P.R. (45M)	'94.5.1
D801チューブタイプ	4.00R18 4P.R. (64M)	'94.5.1
D801チューブレスタイプ	4.00R18 4P.R. (64M)	'94.5.1
MR977	110/70R17	'94.7.28

●(株)ブリヂストン

〒104 東京都中央区京橋1-10-1 ☎03-3563-6819

タイヤ名	サイズ	公認月日
BATTLAX BT-72FS	110/80R17, 110/70R17, 120/60R17, 120/70R17	
BATTLAX BT-72RS	140/70R17, 140/60R17, 150/60R17, 160/60R17, 120/80R18, 140/60R18, 150/60R18, 170/60R17	
BATTLAX BT-09SS	90/90R16, 90/80R17	
BATTLAX BT-70FS	110/70R17, 120/60R17, 120/70R17, 130/60R17, 140/60R17, 140/60R18, 150/60R17, 150/60R18, 160/60R17, 170/60R17	
MF72	80/595R18, 85/575R17, 110/590R17, 95/600R18, 140/630R18, 120/595R17, 150/600R17	
ME76	105/575R17, 150/635R18, 155/620R17	
BATTLAX BT-50F	120/70ZR17, 130/60ZR17	'91. 6. 7
BATTLAX BT-50R	170/60ZR17, 180/55ZR17, 160/60ZR18	'91. 6. 7
ME77	90/55R17	'91. 6. 1
ME782	105/585R17	'91. 6. 1
BATTLAX BT-09SS SOFT	90/90-16, 90/80-17, 100/80-17	'92. 4. 20
BATTLAX BT-10SS SOFT	120/80-17, 100/90-18	'92. 4. 20
BATTLAX BT-80S F RADIAL	110/70R7, 120/70R17, 120/60R17	'92. 3. 20
BATTLAX BT-80S R RADIAL	150/60R17, 160/60R17, 150/60R18	'92. 3. 20
BATTLAX BT-50	120/70ZR17	'92. 4. 20
ME77	90/570R17	'92. 6. 10
ME77	105/585R17	'92. 6. 10
ME77	160/625R17	'92. 6. 20
ME77	150/635R18	'92. 6. 20
ME77	155/620R17	'93. 7. 1
ME01Z	120/600R17	'94. 2. 10
BATTLAX BT-80F-RADIAL	110/70R17 54 120/70R17 55H 120/70R 58H	'94. 7. 20
BATTLAX BT-80R-RADIAL	130/60R17 66H 160/60R17 66H	'94. 5. 20
BATTLAX BT-90F-RADIAL	110/70 R17 54H 120/60 R17 55H 120/70 R17 58H	'95. 1. 20
BATTLAX BT-90R-RADIAL	150/60 R17 66H 160/60 R17 69H 140/60 R18 64H 150/60 R18 67H	'95. 1. 20

●横浜ゴム(株)

〒105 東京都港区新橋5-36-11 ☎03-3432-7111

タイヤ名	サイズ	公認月日
F-003A2	80/90R16, 90/90R16, 90/80R17, 90/90R17, 100/90R18	
F-610	80/595R18, 85/570R17, 90/600R18, 100/580R17, 110/600R17, 120/605R17, 135/640R18, 150/600R17, 150/630R18, 180/630R17, 180/655R18	
F-003	110/70R17, 120/60R17, 140/60R17, 150/60R17, 160/60R17, 140/60R18, 150/60R18, 120/70R17, 170/60R17, 170/60R18	
F-006	110/70R17, 120/60R17, 140/60R17, 150/60R17, 160/60R17, 140/60R18, 150/60R18, 120/70R17, 170/60R17, 170/60R18	
GETTAR F007RR	110/70F1754H, 120/60F1755H	'91. 6. 10
GETTAR F007RR	140/60R1763H, 150/60R1867H	'91. 7. 1
GETTAR F007RR	150/60F1766H, 160/60R1769H	'91. 6. 10
GETTAR F007RR	110/70R17 54H	'92. 4. 3
GETTAR F007RR	120/60R17 55H	'92. 4. 3
GETTAR F007RR	140/60R17 63H 150/60R17 66H 150/60R18 67H 160/60R17 69H	'92. 4. 3
GETTAR F007RR	110/70R17 54H 120/60R17 55H	'92. 7. 15
GETTAR F007RR	140/160R17 63H 150/160R17 66H 150/60R18 67H 160/60R17 69H	'92. 7. 15
GETTAR F610 GETTAR R610	110/600R17, 120/605R17, 150/600R17, 105/580R17	'93. 6. 15
GETTAR F007RR GETTAR R007RR	100/80-17 52S 120/80-17 61S	'93. 6. 10
GETTAR R610	150/600R17 150/630R18	'94. 2. 25
GETTAR R007A SPRINT	110/70R17 54H 120/60R17 55H 150/60R17 66H 160/60R17 69H 140/60R17 63H 150/60R18 67H	'94. 7. 20



付録

MFJ公認車両〔スノーモビル〕

部門	クラス	SJクラス	S4クラス	S3クラス	S2クラス	S1クラス
排気量	水冷エンジン	—	~125ccまで	126cc~350ccまで	351cc~500ccまで	オープン
	空冷エンジン	~125ccまで	126~350ccまで	351cc~500ccまで	501cc~750ccまで	オープン
車名	SV80(E) SV125E	CS340(E) S340 S250 ET250 ET300 ET340 GPX338 EC340 TXL340 S300T S350DX INDY SPORTS INDY-LITE	PZ480 PZ480ED PZ480E PZ480LT PZ480SP S440 SS440 GPX433 INDY-TRAIL CUTLASS-SS TXL-INDY VT480E	PZ480 PZ480ED PZ480E PZ480LT PZ480SP S440 SS440 GPX433 INDY-TRAIL CUTLASS-SS TXL-INDY VT480E	SS40 EC540 XL540 INDY500(SP) INDY400 PROWER440 SKI-DOO FORMULA MX-Z VX500E	EX570(E) EX570SP INDY650(FXL) FORMULA-MACHI EL-TIGRE WILD-CAT WILD-CAT700 FORMULA-PLUS VX750 INDY XLT ARCTIC CAT INDY STORM INDY XLT SPECIAL SKI-DOO MACH Z VX600E EX570LT EX570SP

その他の部門別車両区分 ▶ フレッシュマンレース、レディース・ジュニア、OBレースのクラス区分は主催者により定める。

MFJ事務局インフォメーション

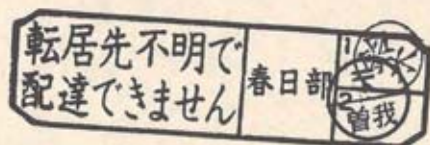
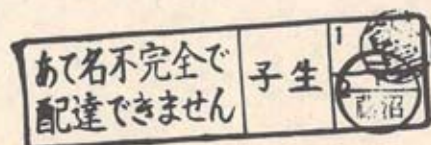
住所変更する場合は、お早めに届けてください。

右側に押されているような印形をご存知ですか。そうです。住所が変わったために事務局から発送された郵便物が戻って来ています。事務局からの大切なお知らせ等も通知できず、トラブルが発生する場合があります。

そこで、みなさんをお願いいたします。新しく住所を変更された方は、住所変更届けを郵便局だけでなく、MFJ事務局にも届け出てください。

住所変更届けを出す時は、新住所とともに旧住所も書いて下さい。また、アパート等の棟、室番号漏れがないかご注意ください。そして、表札と名前が異なる場合は「様方」が必要です。

■住所変更の届けは、官製ハガキに「住所変更」と書き新住所を記入して投函するか、または電話(☎03-3865-8441)及びファックス(FAX03-3865-8446)でMFJ事務局登録課までお願いします。



MFJ
MOTORCYCLE FEDERATION OF JAPAN

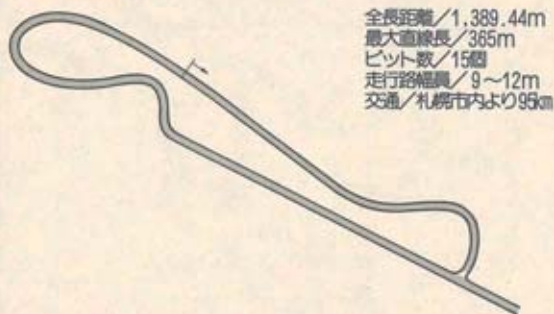
MFJ 全国公認 サーキット

北海道

'95地方選手権
開催サーキット

▶HSP (北海道スピードパーク)

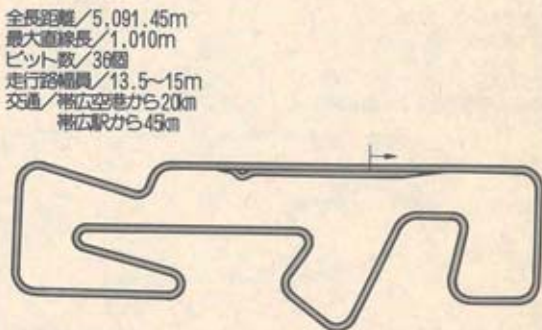
〒044 北海道虻田郡倶知安町手峠下155
☎0136(23)3880



全長距離/1,389.44m
最大直線長/365m
ピット数/15個
走行路幅員/9~12m
交通/札幌市内より95km

▶十勝インターナショナルスピードウェイ

〒089-15 北海道河西郡更別町字弘和477番地
☎0155(52)3910



全長距離/5,091.45m
最大直線長/1,010m
ピット数/36個
走行路幅員/13.5~15m
交通/帯広空港から20km
帯広駅から45km

MFJ 全国公認サーキット

東北 中部 関東 中国 近畿

'95全日本選手権サーキット
及び地方選手権主要イベント
開催サーキット

▶スポーツランドSUGO

〒989-13 宮城県栗原郡村田町菅生
☎0224(83)3111



全長距離/3,737.5m
最大直線長/704.5m
ピット数/45個
走行路幅員/10~12.5m
交通/東北自動車道・村田I.C.より約10km

▶仙台ハイランドレースウェイ

〒989-34 宮城県仙台市青葉区新川早坂12
☎022(395)2120



全長距離/4,029.60m
最大直線長/584.34m
ピット数/35個
走行路幅員/12~15m
交通/東北自動車道
仙台宮城I.C.より約20km

▶日本海間瀬サーキット

〒963-01 新潟県西蒲原郡岩室村間瀬610
☎0256(85)2201



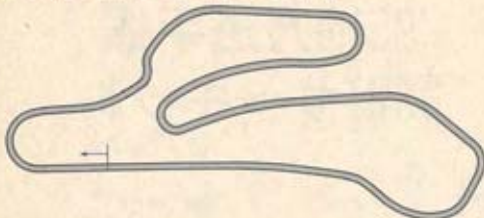
全長距離/2,000m
ピット数/15個
走行路幅員/7~20m
交通/関越自動車道・新潟東I.C.より約30km

▶エビスサーキット

〒964 福島県二本松市沢松倉1

☎0243(24)2972

全長距離/2,061m
最大直線長/420m
ピット数/20個
走行路幅員/10~12m
交通/東北自動車道・二本松I.C.より約10km



▶那須エクスプローラーサーキット

〒325 栃木県那須市寺子字坂の上677

☎0287(63)7300

全長距離/1,156m
最大直線長/360m
ピット数/12個
走行路幅員/7.5~10m
交通/東北自動車道・那須I.C.より約10km

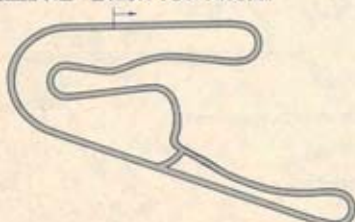


▶筑波サーキット

〒300-34 茨城県結城郡千代川村大字村向

☎0296(44)3146

全長距離/2,070m
最大直線長/437.75m
ピット数/20個
走行路幅員/10~15m
交通/常磐自動車道・谷和原I.C.より約25km

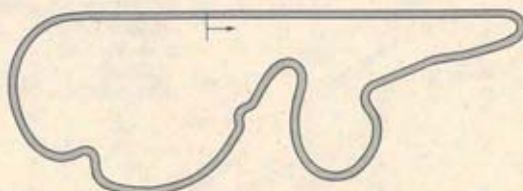


▶富士スピードウェイ (FISCO)

〒410-13 静岡県駿東郡小山町大森神

☎0550(78)1234

全長距離/4,474m
最大直線長/1,600m
ピット数/45個
走行路幅員/12~15m
交通/東名高速道路・御殿場I.C.より約10km



MFJ 全国公認サーキット

▶鈴鹿サーキット

〒510-02 三重県鈴鹿市稲生町17992

☎0593(78)1111

全長距離/5,864.03m
最大直線長/900m
ピット数/48個
走行路幅員/9.2~12m
交通/東名阪自動車道・鈴鹿I.C.より約13km



▶鈴鹿サーキット南コース

全長距離/1,264m

最大直線長/190m

ピット数/20個



▶猪名川サーキット

〒666-02 兵庫県川辺郡猪名川町清水字前谷72-1

☎0727(69)0193

全長距離/1,021m
最大直線長/131.7m
ピット数/30個
走行路幅員/8~12m
交通/東海/西尾山線から1.5km



▶Tサーキット・英田

〒701-26 岡山県英田郡英田町滝宮1210

☎08687(4)3311

全長距離/3,702m
最大直線長/680m
ピット数/54個
走行路幅員/12~15m
交通/中国自動車道・美作I.C.より約26km

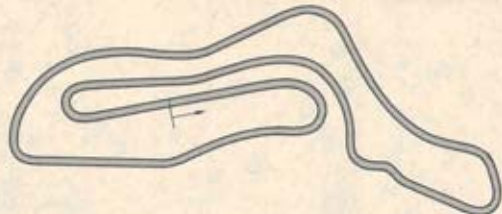


▶中山サーキット

〒709-04 岡山県和気郡和気町大中山751

☎0869(93)2333

全長距離/2,007m
最大直線長/250m
ピット数/56箇所
走行路幅員/10~18m
交通/山陽自動車道・和気I.Cより約800m



▶MINEサーキット

〒759-21 山口県美祿市西野保町長尾

☎08375(8)0321

全長距離/3,238.98m
最大直線長/900m
ピット数/46箇所
走行路幅員/10~15m
交通/中国自動車道
小月I.Cより約16km、美祿I.Cより約18km



四 玉

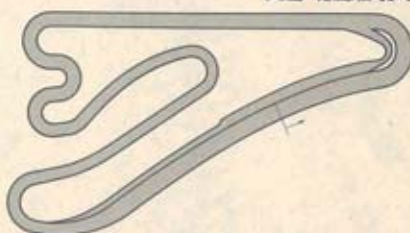
'95地方選手権 開催サーキット

▶阿讃サーキット

〒771-25 徳島県三好郡三好町大字東山字滝久保319

☎0883(79)3705

全長距離/1,004.31m
最大直線長/2229.549m
ピット数/10箇所
走行路幅員/9~12m
交通/徳島市内より約70km



MFJ 全国公認サーキット

九 州

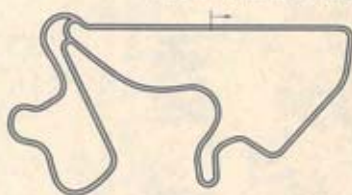
'95地方選手権 開催サーキット

▶大分阿蘇レーシングパーク (オートポリス)

〒877-03 大分県日田郡上津江村

☎0973(26)1111

全長距離/4,674m
最大直線長/902m
ピット数/46箇所
走行路幅員/12~15m
交通/九州自動車道・菊水I.Cより約45km
大分自動車道・日田I.Cより約45km



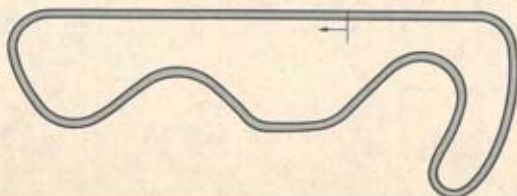
▶スポーツ&セーフティ ライディングフィールド・SPA直入

〒878-04 大分県直入郡直入町大字上田北字菊原510-15

☎0974(75)3191

交通/大分市内より40km

全長距離/1,430m
最大直線長/420m
ピット数/24箇所
走行路幅員/10~11m

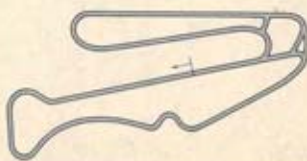


▶ホンダセーフティ& ライディング・プラザ九州(HRS九州)

〒869-12 熊本県菊池郡大津町大字平川11500

☎096(293)1370

全長距離/1,987m
最大直線長/350m
ピット数/30箇所
走行路幅員/9~12m
交通/九州縦貫道路・熊本I.Cより約15km



歴代チャンピオンズ

SNOWMOBIL TRIAL

ROAD RACE DRAG RACE MOTOCROSS STADIUM TRIAL

ROAD RACE

●ロードレース部門('67~'94年)

年	部門	クラス	氏名
'67	ジュニア	50cc	柴田 正之
		90cc	中 隆造
		125cc	大沢 安男
	セニア	250cc	太田 耕治
		251cc以上	富沢 善次
		50cc	伊藤 光夫
'68	ジュニア	90cc	増田 靖徳
		125cc	野田 恒弘
		250cc	増田 啓司
	セニア	251cc以上	矢野 善
		90cc	角谷 新二
		125cc	鈴木 聖弘
'69	アマチュア	250cc	大脇 俊夫
		251cc以上	中山 仁
		90cc	酒井 幸春
	ジュニア	125cc	森井 一夫
		250cc	谷口 茂夫
		251cc以上	栗木 哲哉
'70	アマチュア	90cc	神谷 良明
		125cc	馬場 忠雄
		250cc	和田 正宏
	セニア	251cc以上	松水 善
		90cc	野田 正彦
		125cc	斎藤 茂憲
'71	アマチュア	250cc	尾 康夫
		251cc以上	数井 隆
		90cc	角谷 新二
	ジュニア	125cc	高井 俊次郎
		250cc	尾崎 俊彦
		251cc以上	里村 祥二
'72	アマチュア	90cc	小田 豊
		125cc	関谷 守男
		250cc	金谷 秀夫
	セニア	251cc以上	関谷 守男
		90cc	岩道 博
		125cc	榮谷 正昭
'73	アマチュア	250cc	小塚 法征
		251cc以上	鎮田 正明
		90cc	江崎 正
	ジュニア	125cc	青山 英二
		250cc	糟野 雅治
		251cc以上	只野 光男
'74	アマチュア	90cc	近藤 英二
		125cc	小田 豊
		250cc	大脇 俊夫
	セニア	251cc以上	河崎 裕之
		90cc	平井 裕
		125cc	上田 公次
'75	アマチュア	250cc	大橋 富夫
		251cc以上	松谷 光明
		90cc	渡辺 富士夫
	ジュニア	125cc	青木 辰己
		250cc	内田 隆
		251cc以上	加藤 昇平
'76	アマチュア	90cc	江崎 正
		125cc	速藤 恒雄
		250cc	中尾 康夫
	ジュニア	251cc以上	浅見 貞男
		90cc	金谷 秀夫
		125cc	杉本 泉
'77	アマチュア	250cc	大脇 俊夫
		251cc以上	金谷 秀夫
		90cc	菅原 伸夫
	ジュニア	125cc	坂上 公平
		250cc	上野 真一
		251cc以上	富江 昭孝
'78	アマチュア	90cc	毛利 良一
		125cc	大本 十生
		250cc	大本 十生
	セニア	251cc以上	片山 敬済
		90cc	渡辺 富士夫
		125cc	阿部 孝夫
'79	アマチュア	250cc	内田 隆
		251cc以上	小田 豊
		90cc	小田 豊
	ジュニア	125cc	小田 豊
		250cc	小田 豊
		251cc以上	小田 豊
'80	アマチュア	90cc	菅原 伸夫
		125cc	坂上 公平
		250cc	上野 真一
	ジュニア	251cc以上	富江 昭孝
		90cc	毛利 良一
		125cc	大本 十生
'81	アマチュア	250cc	大本 十生
		251cc以上	片山 敬済
		90cc	渡辺 富士夫
	セニア	125cc	阿部 孝夫
		250cc	内田 隆
		251cc以上	小田 豊
'82	アマチュア	90cc	菅原 伸夫
		125cc	坂上 公平
		250cc	上野 真一
	ジュニア	251cc以上	富江 昭孝
		90cc	毛利 良一
		125cc	大本 十生
'83	アマチュア	250cc	大本 十生
		251cc以上	片山 敬済
		90cc	渡辺 富士夫
	セニア	125cc	阿部 孝夫
		250cc	内田 隆
		251cc以上	小田 豊
'84	アマチュア	90cc	菅原 伸夫
		125cc	坂上 公平
		250cc	上野 真一
	ジュニア	251cc以上	富江 昭孝
		90cc	毛利 良一
		125cc	大本 十生
'85	アマチュア	250cc	大本 十生
		251cc以上	片山 敬済
		90cc	渡辺 富士夫
	セニア	125cc	阿部 孝夫
		250cc	内田 隆
		251cc以上	小田 豊
'86	アマチュア	90cc	菅原 伸夫
		125cc	坂上 公平
		250cc	上野 真一
	ジュニア	251cc以上	富江 昭孝
		90cc	毛利 良一
		125cc	大本 十生
'87	アマチュア	250cc	大本 十生
		251cc以上	片山 敬済
		90cc	渡辺 富士夫
	セニア	125cc	阿部 孝夫
		250cc	内田 隆
		251cc以上	小田 豊
'88	アマチュア	90cc	菅原 伸夫
		125cc	坂上 公平
		250cc	上野 真一
	ジュニア	251cc以上	富江 昭孝
		90cc	毛利 良一
		125cc	大本 十生
'89	アマチュア	250cc	大本 十生
		251cc以上	片山 敬済
		90cc	渡辺 富士夫
	セニア	125cc	阿部 孝夫
		250cc	内田 隆
		251cc以上	小田 豊
'90	アマチュア	90cc	菅原 伸夫
		125cc	坂上 公平
		250cc	上野 真一
	ジュニア	251cc以上	富江 昭孝
		90cc	毛利 良一
		125cc	大本 十生
'91	アマチュア	250cc	大本 十生
		251cc以上	片山 敬済
		90cc	渡辺 富士夫
	セニア	125cc	阿部 孝夫
		250cc	内田 隆
		251cc以上	小田 豊
'92	アマチュア	90cc	菅原 伸夫
		125cc	坂上 公平
		250cc	上野 真一
	ジュニア	251cc以上	富江 昭孝
		90cc	毛利 良一
		125cc	大本 十生
'93	アマチュア	250cc	大本 十生
		251cc以上	片山 敬済
		90cc	渡辺 富士夫
	セニア	125cc	阿部 孝夫
		250cc	内田 隆
		251cc以上	小田 豊
'94	アマチュア	90cc	菅原 伸夫
		125cc	坂上 公平
		250cc	上野 真一
	ジュニア	251cc以上	富江 昭孝
		90cc	毛利 良一
		125cc	大本 十生

●ROAD RACE

年	部門	クラス	氏名
'73	ノービス	90cc	杉野 順三
		125cc	山久 守
		250cc	橋本 久仁啓
	ジュニア	90cc	新田 茂
		125cc	坂 公平
		250cc	山崎 達衛
'74	ノービス	350cc	佐藤 順二
		90cc	毛利 良一
		125cc	片山 敬済
	ジュニア	250cc	角谷 新二
		251cc以上	根本 健
		90cc	佐藤 隆史
'75	ノービス	125cc	佐藤 健正
		250cc	酒井 克
		90cc	合津 悟志
	ジュニア	125cc	津井 康夫
		250cc	橋本 久仁啓
		350cc	鈴木 修
'76	アマチュア	250cc	岩道 博
		251cc以上	阪本 裕介
		90cc	青木 辰己
	ジュニア	125cc	高井 俊次郎
		250cc	片橋 英治
		251cc以上	橋本 俊彦
'77	アマチュア	125cc	東金 博
		250cc	桶谷 保克
		251cc以上	山梨 孝治
	ジュニア	250cc	酒井 清
		350cc	大島 康男
		90cc	相沢 清
'78	アマチュア	125cc	石井 康男
		250cc	江崎 正
		251cc以上	浅見 貞男
	ジュニア	90cc	牧野 栄浩
		125cc	川上 恵司
		250cc	木下 博
'79	アマチュア	250cc	東金 博
		251cc以上	水谷 一博
		90cc	飯田 浩之
	ジュニア	125cc	毛利 良一
		250cc	佐藤 順造
		251cc以上	高井 俊次郎
'80	ノービス	90cc	鈴木 利彦
		125cc	伊藤 裕之
		250cc	藤本 泰東
	ジュニア	125cc	川上 浩久
		250cc	山名 仁久
		350cc	徳外 修
'81	ノービス	125cc	順田 裕之
		250cc	鈴木 修
		350cc	毛利 良一
	ジュニア	90cc	平野 芳男
		125cc	上田 幸也
		250cc	長谷川 嘉久
'82	ノービス	250cc	伊藤 裕之
		251cc以上	藤本 巧
		90cc	藤本 泰東
	ジュニア	125cc	上田 公次
		250cc	上田 岩夫
		350cc	石川 真一
'83	ノービス	125cc	上野 真一
		250cc	富田 英志
		251cc以上	富田 光雄
	ジュニア	125cc	吉村 俊宏
		250cc	阿部 三吉
		350cc	平 忠彦
'84	ノービス	125cc	斎藤 三夫
		250cc	木下 恵司
		350cc	水谷 勝
	ジュニア	125cc	五百部 徳雄
		250cc	窪田 正二
		251cc以上	山本 陽一
'85	ノービス	125cc	山本 清孝
		250cc	理内 光男
		350cc	田中 一
	ジュニア	125cc	一の瀬 善明
		250cc	平 忠彦
		350cc	鈴木 修

●ROAD RACE

年	部門	クラス	氏名
'81	ノービス	125cc	荒木 利春
		250cc	中山 博文
	国際 B 級	125cc	竹村 浩生
		250cc	七尾 道夫
国際 A 級	125cc	一の瀬 憲明	
	350cc	藤本 泰東	
'82	ノービス	125cc	篠田 雅樹
		250cc	三浦 昇
	国際 B 級	125cc	荒木 利春
		250cc	小林 光
国際 A 級	125cc	一の瀬 憲明	
	500cc	福田 照男	
'83	ノービス	フォーミュラ3	宮城 光
		125cc	吉田 健一
	国際 B 級	125cc	宮城 光
		250cc	篠田 雅樹
国際 A 級	125cc	坂口 彰	
	500cc	栗谷 二郎	
'84	ノービス	フォーミュラ3	斉藤 兼一
		125cc	山田 浩史
	国際 B 級	フォーミュラ3	宮城 光
		250cc	清水 雅弘
国際 A 級	フォーミュラ1	八代 俊二	
	500cc	江崎 正	
'85	国際 B 級	フォーミュラ1	梅田 利一
		250cc	井上 賢博
	国際 A 級	フォーミュラ1	辻本 聡
		500cc	山本 久大
'86	ジュニア	フォーミュラ3	町井 邦生
		250cc	藤沢 哲也
	国際 A 級	フォーミュラ3	山本 聡
		500cc	吉田 健一
'87	ジュニア	フォーミュラ3	新垣 敏之
		250cc	佐藤 聡一郎
	国際 A 級	フォーミュラ3	山口 益充
		500cc	大島 敏久
'88	ジュニア	フォーミュラ3	白井 直樹
		250cc	原田 哲也
	国際 A 級	フォーミュラ3	塩森 俊修
		500cc	宮崎 祥司
'89	ジュニア	フォーミュラ3	福島 聡
		250cc	坂田 和人
	国際 A 級	フォーミュラ3	グダ、ボレン
		500cc	山崎 冬樹

●ROAD RACE

年	部門	クラス	氏名
'90	国内 A 級	SP750	吉川 和多留
		フォーミュラ3	高橋 勝義
	国際 A 級	125cc	渡辺 学
		250cc	仲内 正人
'91	国内 A 級	フォーミュラ3	鶴田 竜二
		SP750	森北 貴行
	国際 A 級	125cc	小林 敏也
		500cc	岩橋 健一郎
'92	国内 A 級	フォーミュラ3	松戸 直樹
		SP750	阿部 徹
	国際 A 級	125cc	稲垣 幸則
		500cc	宇川 徹
'93	国内 A 級	スーパーカップ	椎名 明
		フォーミュラ3	高橋 勝義
	国際 A 級	125cc	宮崎 祥司
		500cc	小野 真央
'94	国内 A 級	125cc	斎藤 明
		500cc	原田 哲也
	国際 A 級	125cc	加藤 義昌
		500cc	宇川 徹

MOTO CROSS
●モトクロス部門('87~'94年)

年	部門	クラス	氏名
'87	アマチュア	50cc	黒川 陸
		90cc	河野 和憲
	ジュニア	125cc	高橋 道雄
		250cc	高橋 道雄
'88	アマチュア	50cc	堀 勇
		90cc	堀 勇
	ジュニア	125cc	山下 和男
		250cc	山下 和男
'89	アマチュア	50cc	堀 勇
		90cc	堀 勇
	ジュニア	125cc	堀 勇
		250cc	堀 勇

●MOTOCROSS

年	部門	クラス	氏名
'70	ノービス	50cc	一色 薫
		90cc	小田切 慎雄
	ジュニア	125cc	平野 芳男
		250cc	青木 雅和
'71	ノービス	90cc	鈴木 都良夫
		125cc	岩尾 一敏
	ジュニア	125cc	岩尾 一敏
		250cc	吉村 太一
'72	ノービス	90cc	栗原 和年
		125cc	栗原 和年
	ジュニア	125cc	中村 忠
		250cc	杉浦 謹保
'73	ノービス	90cc	藤 秀信
		125cc	藤 秀信
	ジュニア	125cc	小田切 慎雄
		250cc	池田 勝
'74	ノービス	90cc	唐沢 栄三郎
		125cc	唐沢 栄三郎
	ジュニア	125cc	唐沢 栄三郎
		250cc	鈴木 秀明
'75	ノービス	90cc	菅家 惠
		125cc	村上 光則
	ジュニア	90cc	菅家 惠
		125cc	古田 哲郎
'76	ノービス	90cc	古田 哲郎
		125cc	古田 哲郎
	ジュニア	125cc	岸川 清秀
		250cc	藤 秀信
'77	ノービス	90cc	鈴木 都良夫
		125cc	鈴木 秀明
	ジュニア	90cc	谷川 薫
		125cc	光安 大貴
'78	ノービス	90cc	渡辺 明
		125cc	渡辺 明
	ジュニア	125cc	鈴木 秀明
		250cc	鈴木 秀明

付録

付録

●MOTOCROSS

年	部 門	クラス	氏 名
'79	ジュニア	90cc	斉藤 武男
		125cc	大久保和親
		250cc	堀口 雅史
エキスパート	125cc	秋元 春夫	
	250cc	原口 衛	
セニア	125cc	光安 鉄美	
	250cc	光安 鉄美	
'80	ジュニア	125cc	小野沢良一
		250cc	小野沢良一
		250cc	谷川龍太郎
国際 B 級	125cc	庄司 覚	
	250cc	庄司 覚	
国際 A 級	125cc	東福寺保雄	
	250cc	杉尾 良文	
ジュニア	125cc	平山 勝一	
	250cc	茶谷 学	
国際 B 級	125cc	岡部 篤史	
	250cc	岡部 篤史	
国際 A 級	125cc	東福寺保雄	
	250cc	榎本 敏夫	
ジュニア	125cc	ロン・キング	
	250cc	馬場 善人	
国際 B 級	125cc	小橋 勝年	
	250cc	小橋 勝年	
国際 A 級	125cc	大関 晶典	
	250cc	東福寺保雄	
'83	ジュニア	125cc	天田 淳
		250cc	天田 淳
		250cc	茶谷 学
国際 B 級	125cc	茶谷 学	
	250cc	茶谷 学	
国際 A 級	125cc	庄司 覚	
	250cc	杉尾 良文	
ジュニア	125cc	舘所 伸一	
	250cc	小栗 伸幸	
国際 B 級	125cc	菅原 義広	
	250cc	鶴田 忍	
国際 A 級	125cc	東福寺保雄	
	250cc	スティーブ・マシ	
ジュニア	125cc	長沼 朝之	
	250cc	花田 茂樹	
国際 B 級	125cc	田道 武	
	250cc	川崎 智之	
国際 A 級	125cc	岡部 篤史	
	250cc	スティーブ・マシ	
ジュニア	125cc	藤本 正勝	
	250cc	吉田 和泉	
国際 B 級	125cc	花田 茂樹	
	250cc	花田 茂樹	
国際 A 級	125cc	伊田井佐夫	
	250cc	東福寺保雄	
ジュニア	125cc	岸田 隆夫	
	250cc	橋本 慎二	
国際 B 級	125cc	吉田 和泉	
	250cc	石橋 博也	
国際 A 級	125cc	岡部 篤史	
	250cc	東福寺保雄	
ジュニア	125cc	大塚 元和	
	250cc	大塚 元和	
国際 B 級	125cc	大塚 忠和	
	250cc	大塚 忠和	
国際 A 級	125cc	岡部 篤史	
	250cc	東福寺保雄	
ジュニア	125cc	黒古 尚利	
	250cc	黒古 尚利	
国際 B 級	125cc	芹沢大樹	
	250cc	榎本 正剛	
国際 A 級	125cc	光安 鉄美	
	250cc	岡部 篤史	

●MOTOCROSS

年	部 門	クラス	氏 名
'90	国内 A 級	125cc	萩島 忠雄
		250cc	萩島 忠雄
国際 B 級	125cc	元木 篤幸	
	250cc	村橋健太郎	
国際 A 級	125cc	東福寺保雄	
	250cc	東福寺保雄	
'91	国際 B 級	125cc	半場 謙吾
		250cc	城田 賢一
国際 A 級	125cc	萩島 忠雄	
	250cc	宮内 隆行	
'92	国際 B 級	125cc	佐々木裕介
		250cc	田沢 豊昌
国際 A 級	125cc	講川 意次	
	250cc	エディ・ウォレン	
'93	国際 B 級	125cc	益留信太郎
		250cc	益留信太郎
国際 A 級	125cc	佐々木裕介	
	250cc	ロン・ティナー	
'94	国際 B 級	125cc	倉林啓一郎
		250cc	成田 亮
国際 A 級	125cc	小田綱一剛	
	250cc	ロン・ティナー	

TRIAL

●トライアル部門('73~'94年)

年	部 門	クラス	氏 名
'73	選 抜	木 村 治 男	
'74	ノービス	伊 吹 健 次 志	
		近 藤 秀 男	
'75	ジュニア	蜂 巣 秀 男	
		埃 藤 文 博	
'76	エキスパート	町 田 晴 男	
		黒 山 一 郎	
'77	ジュニア	山 本 昌 也 志	
		近 藤 博 志	
'78	ジュニア	山 田 氏 雄 志	
		近 藤 博 志	
'79	ジュニア	佐 藤 雄 一 志	
		近 藤 博 志	
'80	ジュニア	広 木 一 美 保	
		丸 山 嵐	
'81	ジュニア	石 原 正 美 郎	
		黒 山 一 郎	
'82	国際 B 級	高 山 雅 孝 也	
		山 本 昌 也	
'83	国際 B 級	和 田 弘 行 也	
		山 本 昌 也	
'84	国際 B 級	米 沢 満 夫 也	
		山 本 昌 也	
'85	国際 B 級	泉 山 裕 朗 也	
		山 本 昌 也	
'86	国際 B 級	小 林 直 樹 也	
		山 本 昌 也	
'87	国際 B 級	小 谷 徹 志	
		伊 藤 敏 志	
'88	国際 B 級	成 田 匠 志	
		伊 藤 敏 志	
'89	国際 B 級	宮 道 晶 浩 匠	
		成 田 匠 志	
'90	国際 B 級	前 野 繁 志	
		伊 藤 敏 志	
'91	国際 B 級	本 多 元 治 博	
		中 川 義 博	
'92	国際 B 級	小 川 友 幸	
		バスカル・トゥリエ	
'93	国際 B 級	田 中 善 弘	
		バスカル・トゥリエ	
'94	国際 B 級	寺 澤 慎 也 匠	
		成 田 匠 志	

STADIUM TRIAL

●スタジアムトライアル部門('91~'93年)

'91	国際 A 級	中 川 義 博
'92	国際 A 級	バスカル・トゥリエ
'93	国際 A 級	バスカル・トゥリエ

SNOW MOBIL

●スノーモービル部門('71~'94年)

'71	モディファイ300cc	大月 信和
		青木 雅和
'72	モディファイ300cc	丹治 章
		丹治 章
'73	モディファイ340cc	伊藤 盛男
		小田切信雄
'74	モディファイ340cc	伊藤 盛男
		伊藤 盛男
'75	モディファイ340cc	伊藤 盛男
		伊藤 盛男
'76	モディファイ340cc	春名 薫
		春名 薫
'77	モディファイ340cc	藤本 整司
		高橋 和雄
'78	モディファイ340cc	丹治 章
		丹治 章
'79	モディファイ340cc	高橋 和雄
		高橋 和雄
'80	モディファイ340cc	高橋 和雄
		高橋 和雄
'81	モディファイオープン	領毛 信治
		本田 勝義
'82	モディファイオープン	佐々木善之
		南雲 静夫
'83	モディファイオープン	高橋 和雄
		高橋 和雄
'84	モディファイオープン	高橋 和雄
		高橋 和雄
'85	モディファイオープン	高橋 和雄
		高橋 和雄
'86	モディファイオープン	高橋 和雄
		高橋 和雄
'87	モディファイオープン	高橋 和雄
		高橋 和雄
'88	モディファイオープン	高橋 和雄
		高橋 和雄
'89	モディファイオープン	高橋 和雄
		高橋 和雄
'90	モディファイA級S1	江口 享二
		江口 享二
'91	モディファイA級S1	江口 享二
		江口 享二
'92	モディファイA級S1	江口 享二
		江口 享二
'93	モディファイA級S1	江口 享二
		江口 享二
'94	モディファイA級S1	江口 享二
		江口 享二

● SNOW MOBIL

'92	モディファイA級S1	成田 正弘
	モディファイA級S3	上高 泰隆
	モディファイA級S4	高橋 晴彦
	モディファイB級S1	山内 康裕
'93	モディファイB級S3	又村 哲哉
	モディファイB級S4	八木橋光治
	モディファイA級S1	上高 泰隆
	モディファイA級S3	三好 一浩
'94	モディファイA級S2	上高 泰隆
	モディファイA級S3	中村 光貴
	モディファイA級S4	高橋 晴彦
	モディファイB級S1	関井 誠
	モディファイB級S2	大和 長武
	モディファイB級S3	郷 和幸
	モディファイB級S4	戸田 幸廣

DRAG RACE

●ドラッグレース部門('93~)

'93	プロストックバイク	田中 文樹
-----	-----------	-------

'94年は最終戦延期のため、ライティングにて公示する。

SUPER CROSS

●スーパークロス部門('94~)

'94	125cc	高見 俊次
	250cc	榎本 正剛

MFJライセンスの 再発行 手続きは いたって簡単!

MFJ事務局 インフォメーション



MFJライセンスは競技に出場するための第1ステップです。選手受付時に呈示できなければ競技に出られない場合があります。そこで、万一、ライセンスを紛失した場合は、再発行をします。

再発行の手続きは、便せんに再発行希望と書き①住所、②名前、③ライセンス種目、④ライセンスNo(わかれば可)を記入し、再発行料1,000円(1種目)と顔写真3×2.4cm1枚(1種目)を同封して現金書留でMFJ事務局登録課へ送ってください。

■例：ロードレース国内とピットクルーライセンスを紛失の場合
——再発行料2,000円、顔写真2枚

■送り先：〒103 東京都中央区東日本橋2-16-7
第2オカノビル7F
(財)日本モーターサイクルスポーツ協会
登録課 ☎03-3865-8441

MFJ

MOTORCYCLE FEDERATION OF JAPAN

RIDER'Sビッグ保障プラン

1 無配当新定期保険(災害入院特約・疾病入院・手術特約付)

万一の死亡はもとより、入院・手術まで保障。

給付金の種類	支払事由	給付金額
入院給付金 (入院日額×(入院日数-4日)) (入院 120分程度)	災害で入院を開始し5日以上の継続入院のとき	日額 5,000円
	病気で5日以上の継続入院のとき	
手術給付金 (手術に起因して入院日額の50・30・15倍)	病気や災害で所定の手術を受けた場合	種類により 25・15・7.5万円
死亡保険金	災害で死亡された場合	500万円
	病気で死亡された場合	

月払保険料例(口座振替・特約保険料を含む)

年齢	男性	女性
20才	2,495円	2,180円
30才	2,850円	2,440円
40才	3,540円	3,005円

- 契約年齢は5歳～60歳。
- 保険期間は10年。
- 保険料は1歳きざみで異なります。

2 医療保険(無配当・ガン倍額支払特約付)

入院・看護・手術まで医療重点の幅広い保障。

給付金の種類	支払事由	給付金額
入院給付金 (入院日額×入院日数) (入院 120日限度)	災害で5日以上入院・病院で継続して8日以上入院された場合	日額 5,000円
	ガンと診断され継続して8日以上入院された場合	日額 10,000円
手術給付金 (手術に起因して入院日額の50・30・15倍)	病気や災害で所定の手術を受けた場合	種類により 25・15・7.5万円
看護給付金 (入院日額×看護日数) (看護 120日限度)	病気や災害で入院中、継続して8日以上所定の付添看護を受けたとき	日額 5,000円
死亡保険金	病気で死亡された場合	50万円
	災害・ガンで死亡された場合	100万円

月払保険料例(口座振替・特約保険料を含む)

年齢	男性	女性
20才	1,705円	1,590円
30才	1,900円	1,785円
40才	2,345円	2,185円

- 契約年齢は5歳～60歳。
- 保険期間は10年。
- 保険料は1歳きざみで異なります。

RIDERSビッグ保障プランは、ほとんどすべての不慮の事故・病気を安い保険料で幅広く保障いたします。

RIDER'Sビッグ・保障プラン Q&A

Q.1 趣味としてモーターサイクル・スポーツを楽しんでいます。万が一の場合の保障は?

この保険はロードレース・モトクロス・トライアル・スノーモビルなど、趣味で楽しむモーターサイクル・スポーツ中(練習中や予選・決勝も対象)はもちろ、一般的な交通事故・傷害/災害事故・仕事上の労災事故、また病気やガンまでオールマイティに保障いたします。

保障内容は、死亡の場合は【死亡保険金】、入院された場合は【入院給付金】、手術された場合は【手術給付金】をお支払いします。さらに医療保険には【看護給付金】もお支払いします。詳しくは資料・パンフレットをご参照ください。

※参考まで、一般の傷害保険(損害保険会社が取扱う交通事故傷害保険・普通傷害保険など)は「危険なスポーツでの傷害事故は免責(適用除外)」と約款(契約上の取り決め)で定められていて全く保障されません。ご注意ください。

Q.2 通院や自宅療養のときは保障してくれますか?

残念ながら、通院や自宅療養は保障の対象ではありません。人間ドック等、検査を目的とする入院も保障の対象外です。このプランは、オールマイティ(広範囲な保障)と加入しやすい(割安な保険料)というニーズを優先し、最低限必要なものだけにスポットをあて、保険を設計いたしましたので、あしからず、まさにMFJメンバーの為の保険です。

Q.3 現在、ケガで通院しています。加入出来ますか?

残念ですが、契約できません。契約する時点で「健康な方」という条件がありますので、しっかりとケガを治したあとにお申込みください。

なお、医師(はり・整骨医等)の指導や指示を受け服薬中の方、リハビリ中の方、障害などで定期検査を指示されている方、また妊娠中の女性の方も同様に契約出来ません。また、ご職業・既往症などによっては契約が出来ない場合がありますので、お問合せください。

「備えあれば、憂いなし」ということわざがありますが、ぜひ保険もパーツの1つと考え、健康なときに加入する事をおすすめします。

Q.4 入院した場合の保障期間と給付金は?

1事故ないし1入院のケガ・病気に対する給付金のお支払い対象期間120日間。通算してそれぞれ700日間。つまりケガ・病気を合計して1400日間(10年の保険期間中)も保障します。なお、保険種類によって算出方法が異なります。

無配当新定期保険

お支払い給付金=5,000円×(入院日数-4日)

医療保険

お支払い給付金=5,000円×入院日数
(ただし、ケガは5日、病気8日以上の継続入院です。)

Q.5 申込締切日と保障開始日? 保険料とその払込方法は?

締切日は毎月1日。保障の開始日は翌々月の1日。保険料は契約時の年齢別保険料が10年間(保険期間)にわたり適用となります。保険料のお支払いは第1回日から安心確実な銀行自動振替です。つまり、正式申込みから契約、保険料が振替・保障開始となるまで約3か月の手続期間を必要としますので計画的にお申込みください。なお、年齢が若ければ保険料が割安です。早めに資料を請求ください。

Q.6 ライセンスを継続しないその後の事。また保険の請求方法は?

このプランは、日本モーターサイクル協会に登録された皆様に、一般に契約するよりも割安な集団割引保険料、そして幅広い保障の保険をおとどける任意保険制度です。ライセンス未継続のOBの方もメンバーズ・サービスとして、そのまま自動継続(10年単位で自動更新)いたしますのでご安心ください。保険料も同額で口座自動振替とありありません。

なお、保険金・給付金の請求のほか、住所・銀行口座の変更、解約などの手続きは、MFJ保険事務局または最寄りの日本団体生命保険網の本店・各営業所までご連絡ください。所定の手続きの方法をご案内します。

お問い合わせ・資料請求について

お問い合わせ・資料請求は下記のテレフォンセンターまたはおハガキでどうぞ。詳しい案内書・申込書をお送りいたします。受付時間AM9:00~PM5:00(月~金)

☎03(3865)8426 保険事務局直通
☎045(201)2188 日本団体生命保険株式会社

※日本モーターサイクルスポーツ協会担当へお問い合わせ下さい。

① 希望の保険
② 住所/フリガナ
③ 生年月日
④ 性別
⑤ 職業
⑥ M/F/J
⑦ 保険料請求先
〒103
東京都中央区
第二本町二丁目六十七番七号
MFJ内
保険事務局
係

50 資料はがき
〒103
東京都中央区
第二本町二丁目六十七番七号
MFJ内
保険事務局
係

- ①無配当新定期保険②医療保険のいずれか一方をお選びください。
- ご契約の際には「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。
- ご職業・既往症などによっては契約が出来ない場合があります。
- このプランは満期金や配当金がない掛け捨て型の生命保険です。

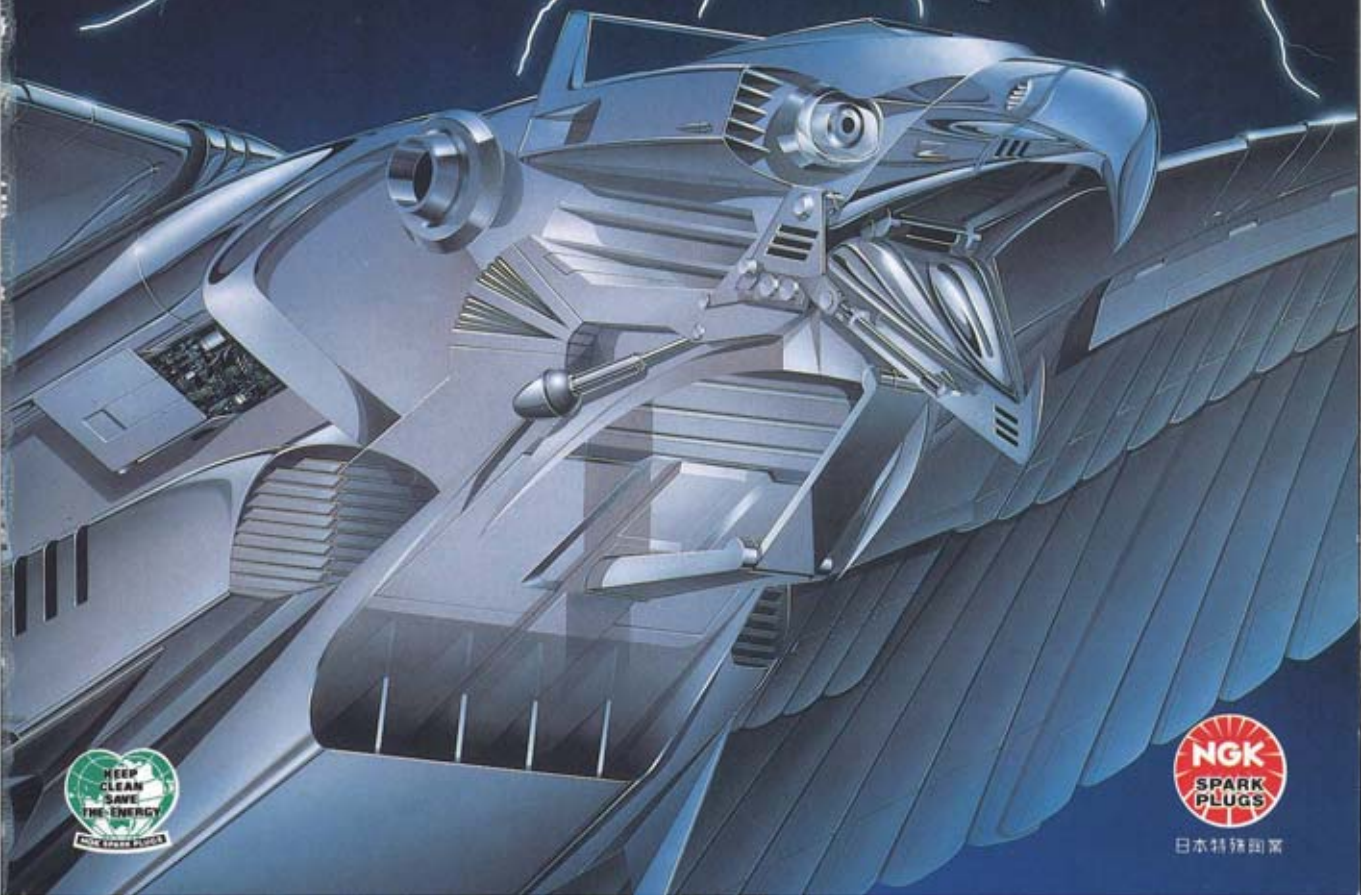
引受保険会社 日本団体生命保険株式会社

The Winning Spark

火花が閃いた瞬間、眠るマシンに力がみなぎる。
レスポンスを捉え、果敢にスピードに挑戦する凄い奴。
その名はNGK Vシリーズプラグ。Vパワーが加速を制覇する。

驚異的パワー

NGK **V**シリーズプラグ



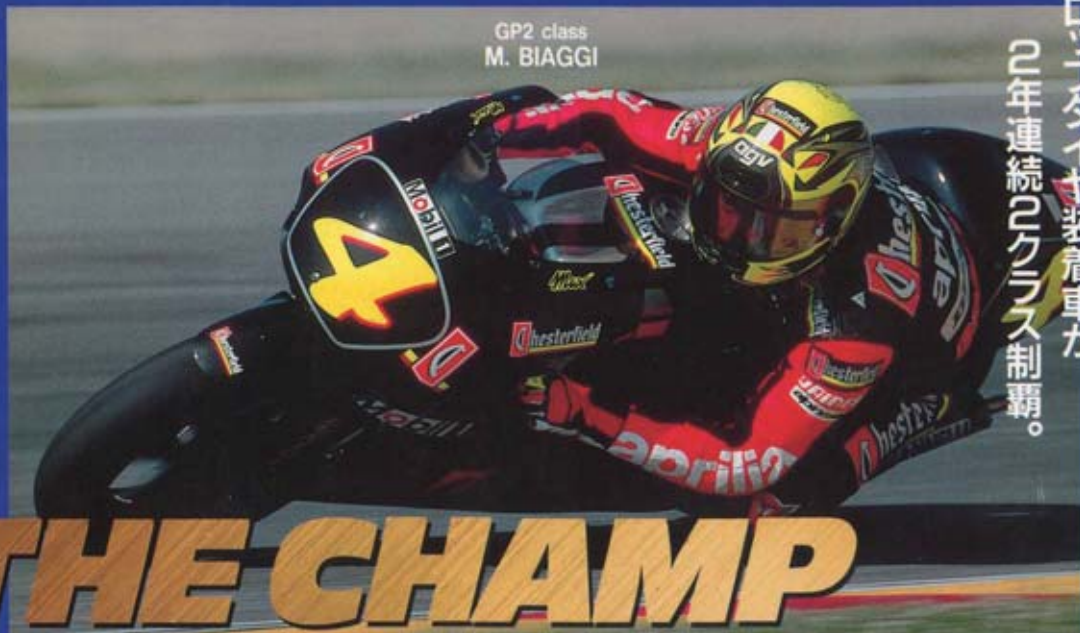
日本特殊陶業

'94世界選手権ロードレースで

ダンロップタイヤ装着車が

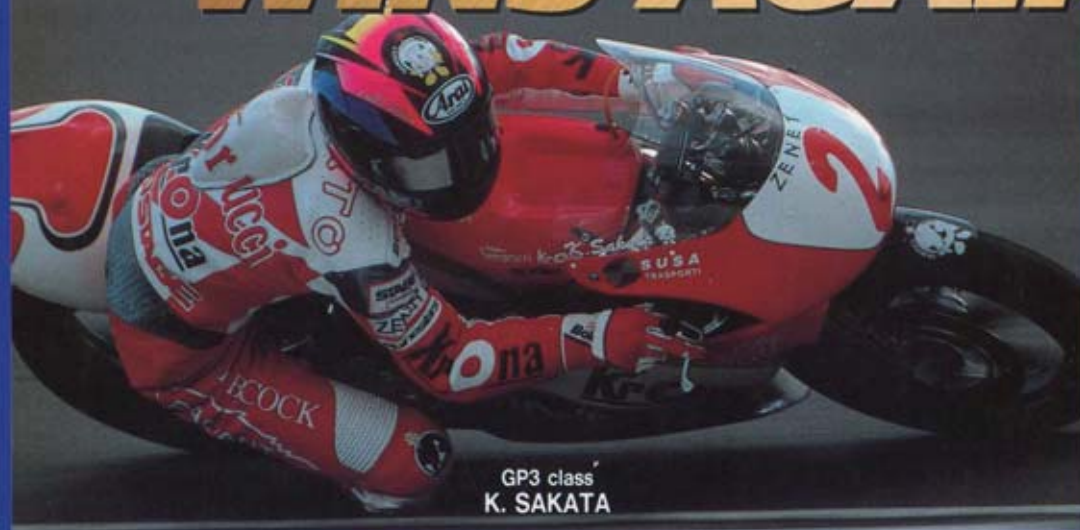
2年連続2クラス制覇。

GP2 class
M. BIAGGI



THE CHAMP WINS AGAIN

GP3 class
K. SAKATA



Inheriting the Superior performance of the tyres
that rode to a proud victory
at the '94 Road Race World Championship.

GPR-50 GPR-60

Rideen

